

北区民意識・意向調査報告書

平成30年8月

北 区

はじめに

この調査は、「北区基本計画 2015」の改定に向けて、基礎資料を得るために実施したものです。

「北区基本計画 2015」を策定してから3年が経過し、この間にも北区を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しています。こうした状況の変化や区民要望の動向に迅速かつ的確に対応し、「人生百年時代」の到来を見据え、区民一人ひとりが幸せを実感でき、希望をもてる明るい北区を実現するため、「北区基本計画 2015」改定に向けての準備作業に着手することといたしました。計画改定にあたり、区民のみなさまの意識や行政ニーズを把握するため、この調査を実施いたしました。

この調査では、アンケートにより、定住意向や北区の将来像のほか、4つの重点戦略に基づき子育て支援や学校教育、健康づくりや産業活性化、生活環境、安全・安心なまちづくりなど、区の施策への要望など区民の皆さまの声をお聞きしました。

調査結果は、基本計画改定のための基礎資料にとどまらず、広く区政の推進・運営のための貴重な資料として活用していきたいと考えています。

おわりに、この調査にご協力いただきました区民の皆さまをはじめ、関係の皆さまに厚くお礼を申し上げます。

平成30年（2018年）8月

東京都北区長 花川 與惣太

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	3
2	調査の内容と方法	3
3	調査の実施要領	4
4	前回の調査の実施概要	4
5	回収状況	4
6	調査結果の集計と分析について	5
II	調査結果の概要	7
1	回答者の基本属性	9
(1)	性別	9
(2)	年齢	9
(3)	職業	10
(4)	通勤先・通学先	10
(5)	家族構成	11
(6)	子ども・高齢者との居住の有無	11
(7)	居住形態	11
(8)	居住地区	12
(9)	SNSの利用状況	12
(10)	国籍	12
2	調査結果のポイント	13
III	調査結果	29
【1	定住意思】	31
(1)	居住年数	31
(2)	－1前住地	34
(2)	－2前住地（北区以外の特別区）	35
(3)	定住意思	36
(4)	転居希望理由	40
(5)	転居希望地	43
(6)	区への愛着度	44

【2 生活圏・行動圏】	48
(1) 生活圏・行動圏	48
(2) 日用品や食料品の買物圏	51
【3 生活環境評価】	53
(1) 生活環境評価	53
(2) 自宅周辺の住みやすさ	56
(3) - 1 住宅の満足度	58
(3) - 2 住宅の不満理由	59
【4 区政への関心・評価】	60
(1) 区政への関心度	60
(2) 区政情報の入手先	62
(3) 区の施策の満足度	65
(4) 区の施策の重要度	67
(5) 区の施策の満足度と重要度の相関	69
(6) 窓口の利用	70
(7) - 1 職員の対応	71
(7) - 2 職員の対応で良い印象を受けなかった理由	71
(8) 区の経営改革の手法	72
(9) 公共施設にかかる経費削減のための重点施策	77
(10) 公共施設にかかる経費を削減するために減らすべき施設	78
【5 区民とともに】	79
(1) 区政参画等の状況	79
(2) 区政参画等の内容	81
(3) 区政参画等しない理由	82
(4) 区政参画等のための重点施策	84
(5) 町会・自治会への加入	87
(6) - 1 差別や偏見	90
(6) - 2 差別や偏見の内容	90
(7) 国際化推進のための重点施策	91
(8) 在日外国人への印象	92
(9) 日本人への印象	92
(10) 日本人と外国人の共存	93
【6 「子ども」・かがやき戦略】	94
(1) 子育て支援のための重点施策	94
(2) 学校教育のための重点施策	99

【7 「元気」・いきいき戦略】	103
(1) 健康づくりのための重点施策	103
(2) 女性が活躍する社会のための重点施策	106
(3) かかりつけ医	109
(4) 高齢者のための重点施策	111
(5) 障害者のための重点施策	114
(6) 産業活性化のための重点施策	117
(7) 地域文化振興のための重点施策	123
(8) 生涯学習のための重点施策	125
(9) 運動習慣	128
(10) 観光振興のための重点施策	130
【8 「花*みどり」・やすらぎ戦略】	133
(1) 環境への配慮	133
(2) 快適な都市環境のための重点施策	140
【9 「安全・安心」・快適戦略】	145
(1) 日常的な不安感	145
(2) 不安を感じる内容	148
(3) 安心なまちづくりのための重点施策	152
(4) 安全なまちづくりのための重点施策	158
(5) 災害への備え	165
(6) 災害に向け備えているもの	167
【10 北区の影響・将来像】	170
(1) 区のイメージ	170
(2) 区の将来像	174
(3) 地域の将来像	178
(4) 区のイメージアップ施策	184
(5) 北区のブランドメッセージ	186
【11 自由回答】	188

IV 調査票	201
---------------	-----

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

「北区基本計画 2015」改定に向けての基礎資料を得るため、北区民の意識・意向等を的確に把握するとともに、今後の区政運営のための行政課題の抽出及び区の行政需要等の把握を目的として実施した。

2 調査の内容と方法

調査項目は「基本的項目」と「分野別項目（重点戦略）」の2つの項目に分けて設計している。

「基本的項目」: 区の施策全般に関連する基本的な意識の把握を目的とする項目

「分野別項目」: 重点戦略に関する課題の把握を目的とする項目

基本属性	フェイスシート	性別	F1	
		年齢	F2	
		職業	F3	
		通勤先・通学先	F3-1	
		家族構成	F4	
		子ども・高齢者との居住有無	F4-1	
		居住形態	F5	
居住地区	F6			
		SNSの利用状況	F7	
基本的項目	定住意思	居住年数	問1	
		前住地	問2	
		前住地(北区以外の区)	問2-1	
		定住意思	問3	
	生活圏・行動圏	転居希望理由	問3-1	
		転居希望地	問3-2	
		区への愛着度	問4	
	生活環境評価	施設利用の有無	問5	
		生活圏・行動圏	問5-1	
		日用品や食料品の買物圏	問6	
	区政への関心・評価	生活環境評価	問7	
		自宅周辺の住みやすさ	問8	
		住宅の満足度	問9	
		住宅の不満理由	問9-1	
		区政への関心度	問10	
		区政情報の入手先	問11	
		区の施策の満足度	問12	
		区の施策の重要度	問13	
		区の施策の満足度と重要度の相関	問12、13	
		窓口の利用	問14	
	北区の印象・将来像	職員の対応	問14-1	
		職員の対応で良い印象を受けなかった理由	問14-2	
		区の経営改革への期待	問15	
		公共施設にかかる経費削減のための重点施策	問16	
		公共施設にかかる経費を削減するために減らすべき施設	問17	
	分野別項目重点戦略	区民とともに	区のイメージ	問43
			区の将来像	問44
地域の将来像			問45	
区のイメージアップ施策			問46	
北区のブランドメッセージ			問47	
「子ども」・かがやき戦略			区政参画等の状況	問18
			区政参画等しない理由	問18-2
			区政参画等の状況のための重点施策	問19
			区政参画等の内容	問18-1
			町会・自治会の加入	問20
		差別・偏見の有無	問21	
		差別・偏見の内容	問21-1	
		国際化推進のための重点施策	問22	
		国籍	問23	
		在日外国人への印象	問23-1	
日本人への印象		問23-2		
「元気」・いきいき戦略		日本人と外国人の共存	問24	
		子育て支援のための重点施策	問25	
		学校教育のための重点施策	問26	
		健康づくりのための重点施策	問27	
		女性が活躍する社会のための重点施策	問28	
		かかりつけ医	問29	
		高齢者のための重点施策	問30	
		障害者のための重点施策	問31	
		産業活性化のための重点施策	問32	
		地域文化振興のための重点施策	問33	
「花＊みどり」・やすらぎ戦略		生涯学習のための重点施策	問34	
	運動習慣	問35		
	観光振興のための重点施策	問36		
	環境への配慮	問37		
	快適な都市環境のための重点施策	問38		
「安全・安心」・快適戦略	日常的な不安感	問39		
	不安を感じる内容	問39-1		
	安心なまちづくりのための重点施策	問40		
	安全なまちづくりのための重点施策	問41		
	災害への備え	問42		
		災害に向け備えているもの	問42-1	

3 調査の実施要領

調査地域：北区全域

調査対象：平成 30 年 1 月 1 日現在の北区住民基本台帳に記載されている満 18 歳～80 歳の男女標本数 2,000 人

標本抽出法：住民基本台帳からの層化二段無作為抽出調査方法調査票を郵送にて配布後、郵送回収及びインターネットによる回答

調査期間：平成 30 年 5 月 28 日～6 月 22 日

4 前回の調査の実施概要

調査地域：北区全域

調査対象：平成 28 年 5 月 20 日現在の北区住民基本台帳に記載されている満 20 歳～80 歳の男女標本数 2,000 人

標本抽出法：住民基本台帳からの層化二段無作為抽出調査方法調査票を郵送にて配布後、郵送回収

調査期間：平成 28 年 6 月 1 日～6 月 30 日

5 回収状況

有効回収数 763 人（うちインターネットによる回答 89 人）

回収率 38.2%

有効回収率 38.7%

※（ ）内は、回収数のうちインターネットによる回答数

地区	標本数 A	宛先不明 B	有効発送数 C=(A-B)	回収無効票 D	有効回収数 E	回収率 F=E/A	有効回収率 G=E/C
浮間	133 人	4 人	129 人	0 票	41 人 (4 人)	30.8%	31.8%
赤羽西	347 人	2 人	345 人	0 票	130 人 (13 人)	37.5%	37.7%
赤羽東	312 人	5 人	307 人	0 票	120 人 (18 人)	38.5%	39.1%
王子西	189 人	3 人	186 人	0 票	78 人 (12 人)	41.3%	41.9%
王子東	462 人	9 人	453 人	0 票	176 人 (12 人)	38.1%	38.9%
滝野川西	431 人	4 人	427 人	0 票	142 人 (18 人)	32.9%	33.3%
滝野川東	126 人	0 人	126 人	0 票	56 人 (12 人)	44.4%	44.4%
地区不明	—	—	—	2 票	20 人 (0 人)	—	—
合計	2,000 人	27 人	1,973 人	2 票	763 人 (89 人)	38.2%	38.7%

6 調査結果の集計と分析について

(1) 標本誤差について

今回のように全体(母集団)から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査に比べて調査結果に差が生じることがある。抽出による結果の誤差は、以下の計算式によって算出される。(信頼度 95%)

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N = 母集団数 (満 18~80 歳北区民)、n = 回答者数、P = 回答比率(0 ≤ P ≤ 1)

標本数と回答の比率ごとに誤差を整理したものが以下の表となっている。例えば、ある設問の回答者数(n)が763人であり、その設問中の選択肢の回答比率(P)が30%であった場合、その回答比率の誤差は±3.3%となり、26.7%~33.3%の範囲にあると考えられる。

回答比率(P) 回答者数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,000 人	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
800 人	±2.1%	±2.8%	±3.2%	±3.5%	±3.5%
763 人	±2.2%	±2.9%	±3.3%	±3.5%	±3.6%
700 人	±2.3%	±3.0%	±3.5%	±3.7%	±3.8%
500 人	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%

(2) 集計上の数字の取扱いについて

比率(%)の集計は、小数点第2位を四捨五入して算出している。そのため単一回答(選択肢を一つだけ選ぶ設問)であっても見た目の数字を合算した場合に100%にならないことがある。

また、複数回答(いくつかの選択肢を選んでもよい設問)の場合も見た目の数字を合算した場合に100%にならないことがある。

なお、報告書におけるnは回答者数を示している。

n(回答者数)が50未満については回答の信憑性が低いため、グラフのみ掲載している。

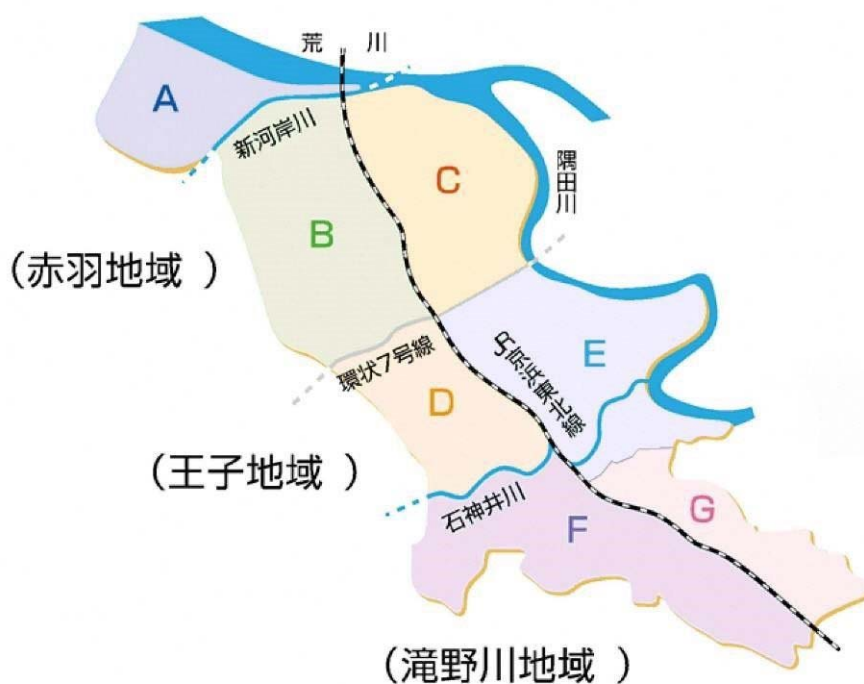
(3) 本報告書における分析の視点

回収したアンケート結果については、必要に応じて基本属性等の項目ごとに（年齢、性別、居住地区、家族構成など）クロス集計を行った。

また、前回調査（平成 28 年の北区民意識・意向調査）と比較可能な設問については、区民の意識変化を分析するために結果を時系列で整理している。

なお、居住地区については区内を以下の 7 地区に区分して分析している。

地区名	該当する町丁目
1 浮間 (A)	浮間 1～5 丁目
2 赤羽西 (B)	赤羽北 1～3 丁目、桐ヶ丘 1・2 丁目、赤羽西 1～6 丁目、赤羽台 1～4 丁目、西が丘 1～3 丁目、上十条 5 丁目、十条仲原 3・4 丁目、中十条 4 丁目
3 赤羽東 (C)	赤羽 1～3 丁目、岩淵町、赤羽南 1・2 丁目、志茂 1～5 丁目、神谷 2・3 丁目、東十条 5・6 丁目
4 王子西 (D)	十条仲原 1・2 丁目、上十条 1～4 丁目、中十条 1～3 丁目、十条台 1・2 丁目、王子本町 1～3 丁目、岸町 1・2 丁目、滝野川 4 丁目
5 王子東 (E)	神谷 1 丁目、東十条 1～4 丁目、王子 1～6 丁目、豊島 1～8 丁目、堀船 1～4 丁目
6 滝野川西 (F)	滝野川 1～3 丁目、滝野川 5～7 丁目、西ヶ原 1～4 丁目、中里 1～3 丁目、上中里 1 丁目、田端 1～6 丁目
7 滝野川東 (G)	栄町、上中里 2・3 丁目、昭和町 1～3 丁目、東田端 1・2 丁目、田端新町 1～3 丁目

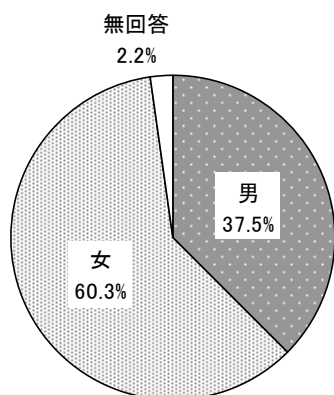


Ⅱ 調査結果の概要

II 調査結果の概要

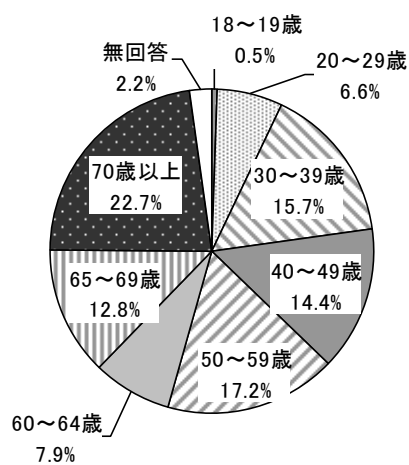
1 回答者の基本属性

(1) 性別



N = 763

(2) 年齢



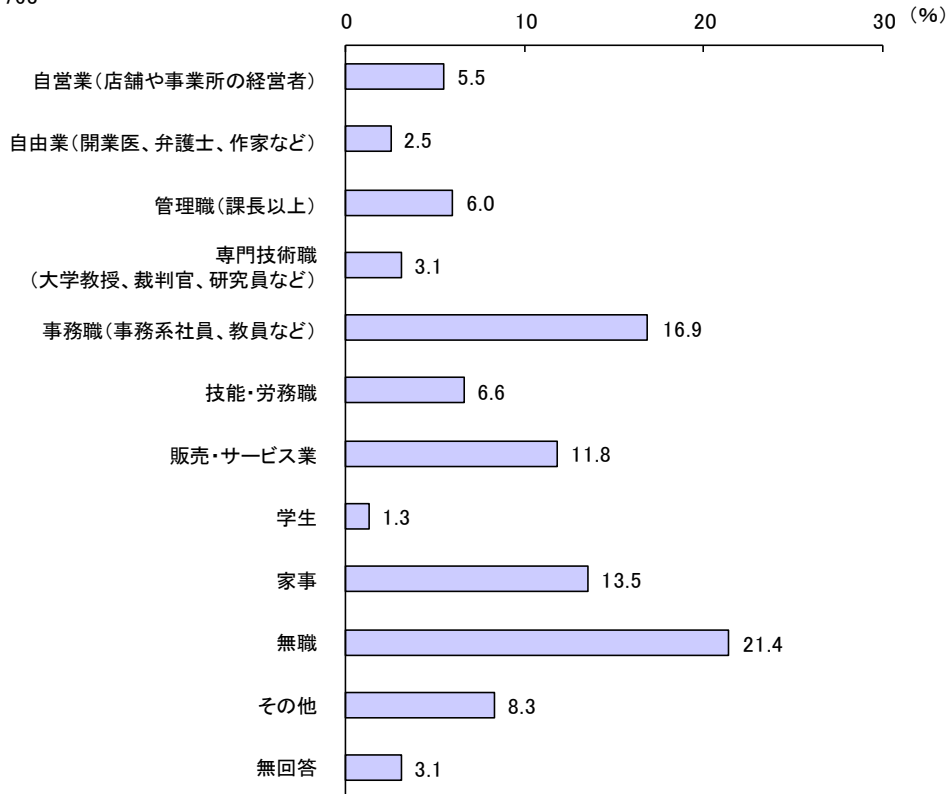
N = 763

上段：件数（件）、下段：割合（%）

区分	有効回答数 (件)	18	20	30	40	50	60	65	70	無回答
		～ 19 歳	～ 29 歳	～ 39 歳	～ 49 歳	～ 59 歳	～ 64 歳	～ 69 歳	歳 以上	
全 体	763	4	50	120	110	131	60	98	173	17
	100	0.5	6.6	15.7	14.4	17.2	7.9	12.8	22.7	2.2
男	286	1	21	38	45	57	24	37	63	—
	100	0.3	7.3	13.3	15.7	19.9	8.4	12.9	22.0	—
女	460	3	29	82	65	74	36	61	109	1
	100	0.7	6.3	17.8	14.1	16.1	7.8	13.3	23.7	0.2
無回答	17	—	—	—	—	—	—	—	1	16
	100	—	—	—	—	—	—	—	5.9	94.1

(3) 職業

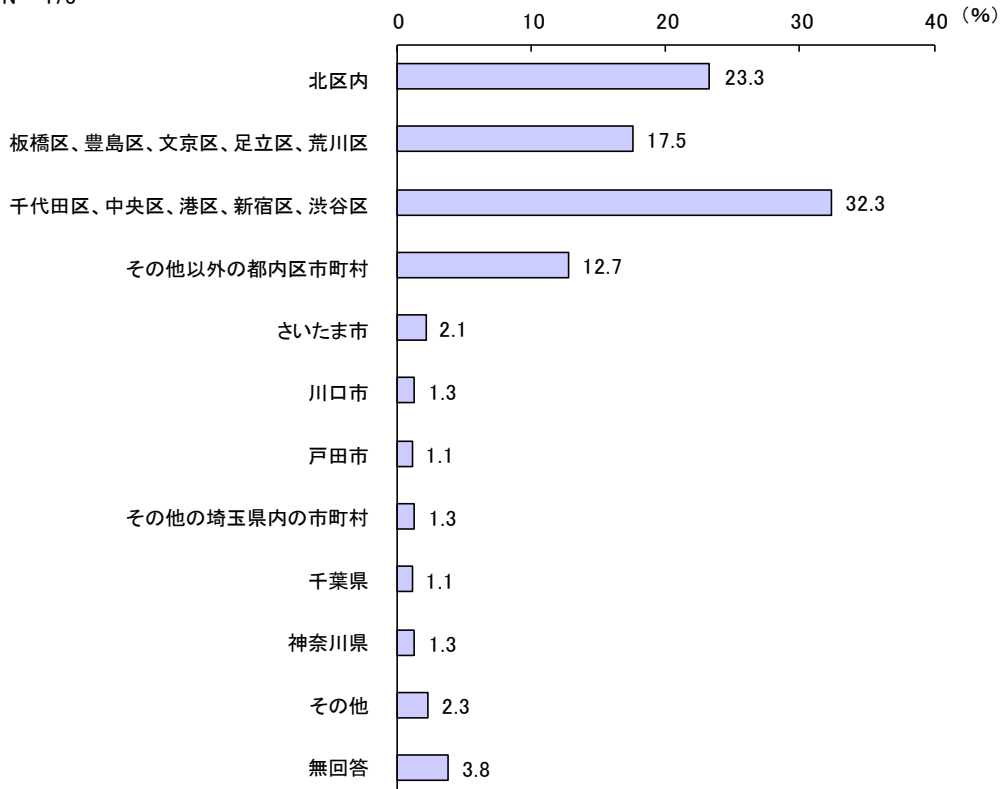
N = 763



(4) 通勤先・通学先

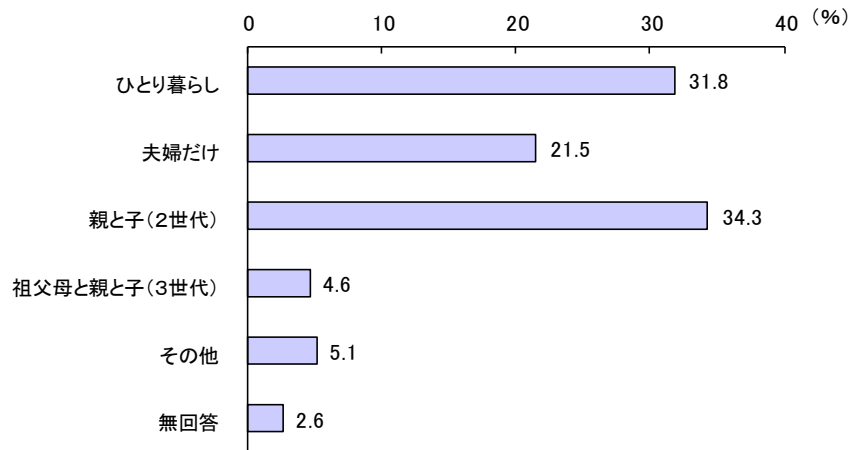
※職業において、「家事」、「無職」、「無回答」以外の回答者

N = 473



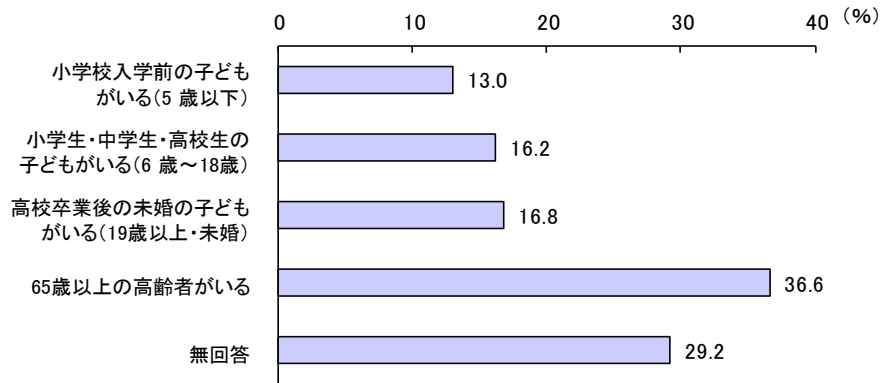
(5) 家族構成

N = 763



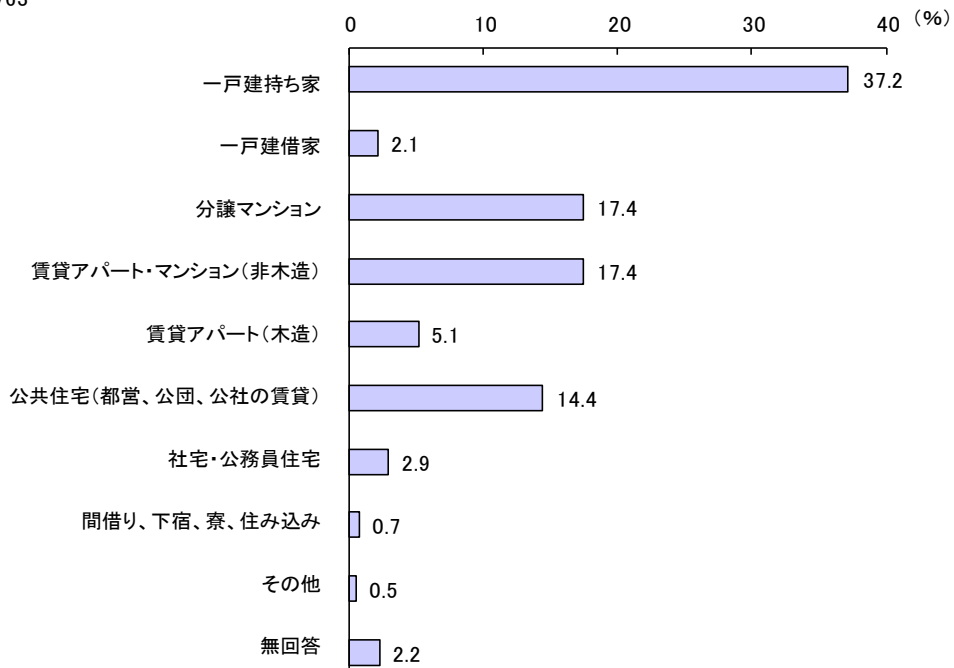
(6) 子ども・高齢者との居住の有無

N = 500



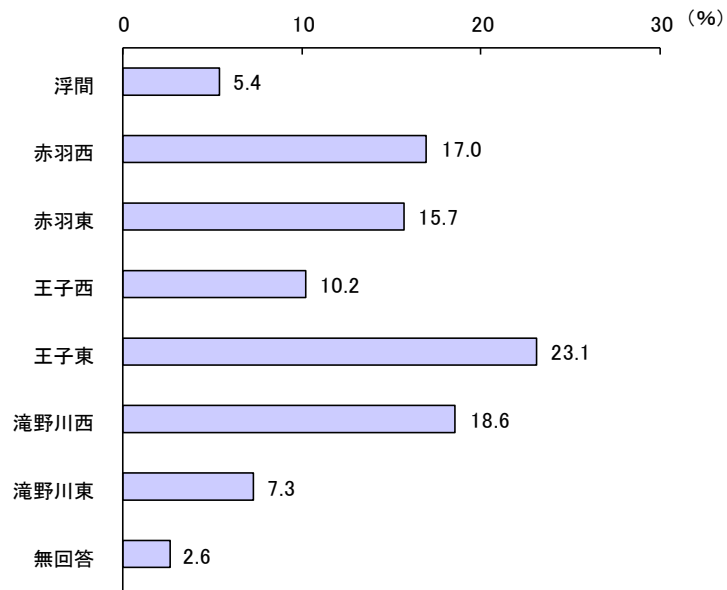
(7) 居住形態

N = 763



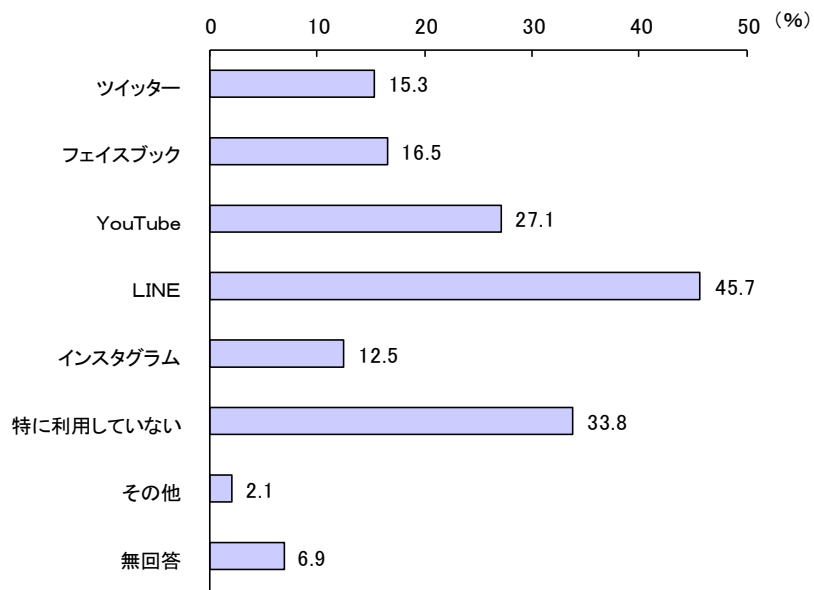
(8) 居住地区

N = 763

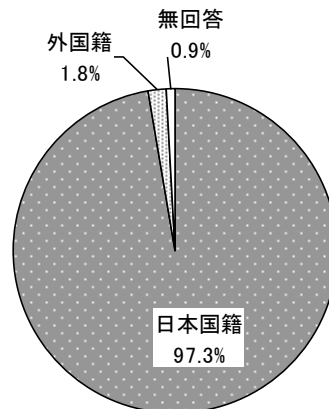


(9) SNSの利用状況

N = 763



(10) 国籍



N = 763

2 調査結果のポイント

【1 定住意思】

- ◆北区に住み続けたいという『定住意向』の人が8割超
- ◆北区に長く居住している人ほど、北区への愛着度が高く、定住意向も高い
- ◆20～40歳代で『転居意向』の人は3割程度。「現在の住宅に不満」、「持ち家を持ちたい」が主な転居希望理由

<区への愛着度>

◇愛着派が8割超

「愛着を感じる」(38.7%)、「どちらかというとな愛着を感じる」(43.8%)を合わせた『愛着派』が8割を超えている。

<居住年数>

◇短期：中期：長期がほぼ1：1：1の割合

「短期（平成18年以降居住）」(32.5%)、「中期（昭和51年～平成17年から居住）」(32.7%)、「長期（昭和50年以前から居住）」(33.6%)と、約3割ずつの同程度となっている。

◇長期居住者ほど区への愛着度が高い傾向

『愛着派』は居住期間が長くなるほど割合が高くなっており、長期居住者(90.7%)で約9割と高くなっている。

<定住意思>

◇『定住意向』が8割超

「ずっと住み続けたい」(43.4%)、「当分は住み続けたい」(37.6%)をあわせた『定住意向』の人が8割を超えている。

◇区への愛着度が高いほど『定住意向』も高い

「愛着を感じる」、「どちらかというとな愛着を感じる」をあわせた『愛着派』の8割以上が「ずっと住み続けたい」もしくは「当分は住み続けたい」という『定住意向』を持っている。

◇『転居意向』は20～40歳代で3割程度

「いずれは転居したい」、「すぐにでも転居したい」をあわせた『転居意向』の人は、18～29歳(29.7%)、30～39歳(26.7%)、40～49歳(27.3%)で約3割と、60～69歳(10.1%)、70歳以上(10.4%)と比べて高い。

<転居希望理由、転居希望地>

◇20～40歳代の主な転居希望理由は「現在の住宅に不満がある」、「自分の持ち家を持ちたい」

『転居意向』の人のうち、転居希望理由を「現在の住宅に不満がある」とした人が最も多く、18～29歳(31.3%)、30～39歳(31.3%)、40～49歳(36.7%)となっている。次いで「自分の持ち家を持ちたい」が多く、18～29歳(25.0%)、30～39歳(25.0%)、40～49歳(23.3%)。

【2 生活圏・行動圏】

- ◆「図書館」、「北とぴあ・会館」、「公園、児童遊園、遊び場」を利用する人が多い
- ◆徒歩・自転車で買い物をする人が多い

<よく利用する区の施設>

- ◇「図書館」、「北とぴあ・会館」、「公園、児童遊園、遊び場」、「区民事務所」、「集会施設」が多い
「図書館」(60.7%)が最も高く、「北とぴあ・会館(赤羽会館・滝野川会館)」(59.1%)、「公園、児童遊園、遊び場」(49.4%)、「区民事務所」(35.9%)、「集会施設(区民センター、ふれあい館)」(23.5%)と続いている。
- ◇64歳以下では「図書館」、65歳以上は「北とぴあ・会館」が最も利用されている
64歳以下で「図書館」、65歳以上で「北とぴあ・会館(赤羽会館・滝野川会館)」が最も高くなっている。

<日用品や食料品の買物圏>

- ◇「徒歩・自転車」で買い物をする人が8割半ば
「徒歩か自転車で行ける近所で買い物をする」(86.0%)の人が8割半ばと突出している。
- ◇「徒歩か自転車」は特に赤羽東で多い。一方、王子西、滝野川西では比較的少ない
すべての地区で「徒歩か自転車で行ける近所で買い物をする」が最も高いが、赤羽東(98.3%)では特に高い一方、王子西(78.2%)、滝野川西(79.6%)は8割を下回っている。

【3 生活環境評価】

- ◆『定住意向』の人は、「通勤・通学の便利さ」など生活の利便性の満足度が高い
- ◆『転居意向』の人は、「近所づきあいや地域の連帯感」などの満足度が低い

<生活環境評価>

◇満足度が高いのは生活の利便性。低いのは「まちなかの外国語表記の案内板等」「近代的なまちなみや建物など近代的雰囲気」

満足度が高いのは「通勤・通学の便利さ」、「日常の買い物の便利さ」、「診療所や病院などの医療機関の便利さ」、「ごみの収集・処理」、満足度が低いのは「まちなかの外国語表記の案内板等」、「近代的なまちなみや建物など近代的雰囲気」、「建物のこみぐあい」、「火災・震災時の安全性」となっている。

◇『定住意向』の人は生活の利便性に満足し、『転居意向』の人は「近所づきあいや地域の連帯感」、「風紀・防犯」の満足度が低い

『定住意向』の人では「通勤・通学の便利さ」、「日常の買い物の便利さ」、「診療所や病院などの医療機関への便利さ」など生活の利便性に関して満足度が高くなっている。『転居意向』の人では、「近所づきあいや地域の連帯感」、「風紀・防犯」の満足度が低い。

<住みやすさ>

◇『住みやすい』が8割半ば

「住みやすい」（41.7%）と「やや住みやすい」（44.3%）を合わせた『住みやすい』が8割半ばを占めている。

◇『住みやすい』と感じるほど「定住意思」が強い

定住意思が強くなるほど『住みやすい』の割合が高くなっており、“ずっと住み続けたい”（93.0%）で9割超と高くなっている。

◇住宅の満足度が高いほど『住みやすい』と感じている

住宅の満足度が高くなるほど『住みやすい』の割合が高くなっており、“満足”（98.5%）でほぼ10割と高くなっている。

【4 区政への関心・評価】

＜区政への関心度、区政情報の入手先＞

- ◆高齢者のいる世帯では区政への関心度が高い。情報の入手先は「北区ニュース」が多い
- ◆若い人やひとり暮らしで関心度が低く、「区政情報は特に入手していない」人が多い

◇区政に『関心』がある人が約6割で前回より増加

「大いに関心がある」(13.4%)と「やや関心がある」(44.8%)を合わせた『関心』が約6割と、前回調査より増加している。

◇年齢が高くなるほど『関心』のある人が多い

『関心』はおおむね年齢が高くなるほど割合が高くなっている。『無関心』は18～29歳(66.7%)で約7割と高くなっている。

◇家族構成別では“祖父母と親と子(3世代)”で『関心』が7割超

家族構成別では『関心』は“祖父母と親と子(3世代)”(71.4%)で7割超。『無関心』は“ひとり暮らし”(37.4%)が最も高く、3割半ばとなっている。

◇区政情報を「北区ニュース」で入手する人が8割近く

情報の入手先は「北区ニュース」(77.3%)が8割近くと突出して高くなっている。

◇区政への関心度に関係なく「北区ニュース」が最も多い

区政への関心度に関係なく「北区ニュース」が最も高い。なお、区政に関心がない層では「区政情報は特に入手していない」が上位5位に入っている。

＜施策の満足度、重要度＞

◇満足度が最も高いのは「健康づくり(保健・医療体制)の充実」。重要度が最も高いのは「防災・防犯」

満足度は「健康づくり(保健・医療体制)の充実」が最も高く、「子育て支援の充実」、「公園や遊び場の整備」、「ごみ減量・リサイクルの推進」、「高齢者・障害者の自立支援の推進」と続いている。

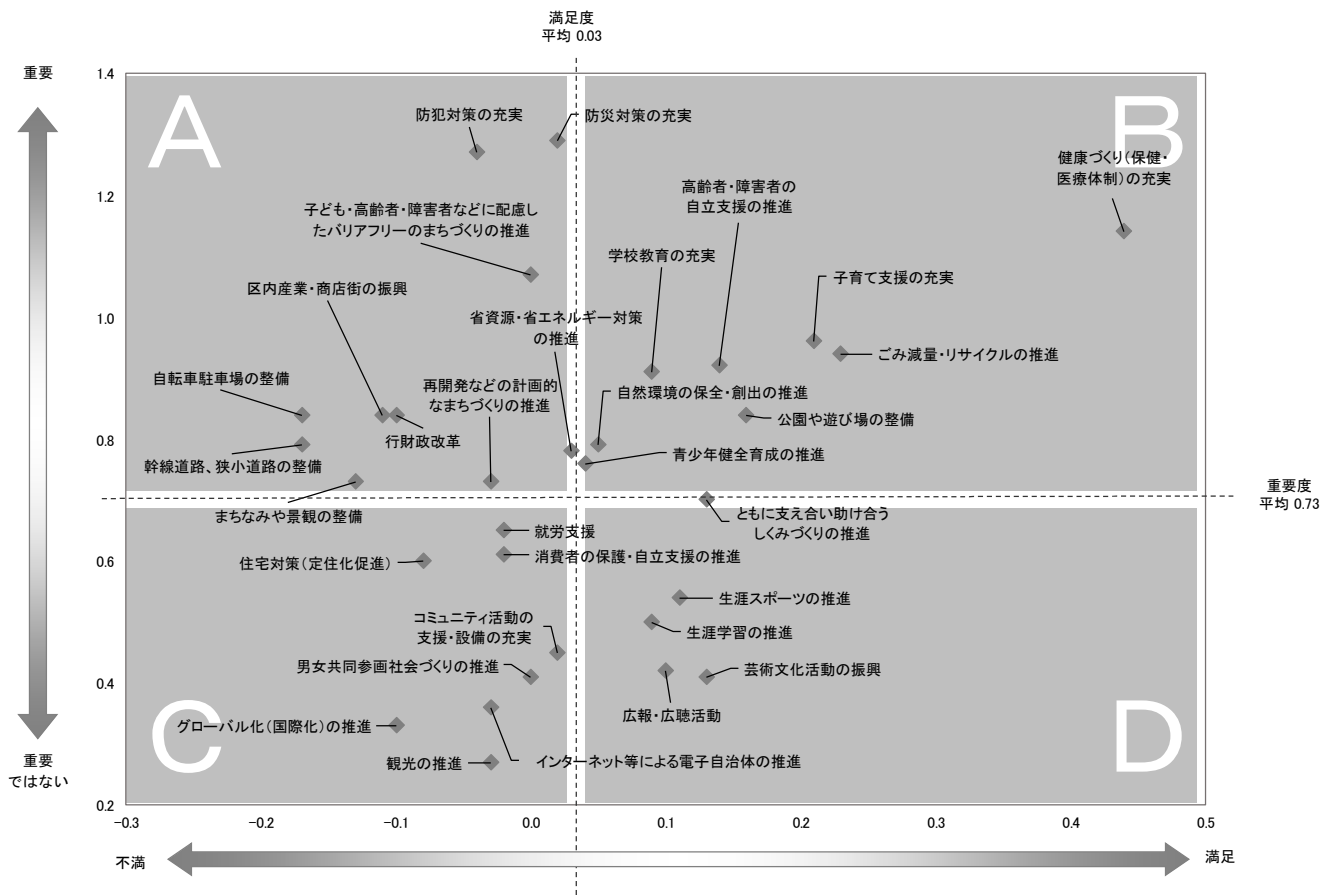
重要度は「防災対策の充実」が最も高く、「防犯対策の充実」、「健康づくり(保健・医療体制)の充実」、「子ども・高齢者・障害者などに配慮したバリアフリーのまちづくりの推進」、「子育て支援の充実」と続いている。

<区の施策の満足度と重要度の相関>

- ◆区が力を入れており、かつ満足度がともに高いのは「健康づくり(保健・医療体制)の充実」「子育て支援の充実」
- ◆重要度が高く、満足度が低いのは「防災対策の充実」、「防犯対策の充実」である

◇重要度は高いが満足度は低いのは「防災対策の充実」と「防犯対策の充実」

重要度・満足度ともに高いのは「健康づくり(保健・医療体制)の充実」となっている。また、重要度は高いが満足度は低いため今後区の課題となるのは「防災対策の充実」と「防犯対策の充実」となっている。



A: 重要度は高いが、満足度は低い

B: 重要度・満足度がともに高い

C: 重要度・満足度がともに低い

D: 満足度は高いが、重要度は低い

<区職員の対応>

◆利便性の高い窓口の整備、区民にとって気持ちのよい接遇が望まれている

◇職員対応を「よかった」と感じた人が6割半ば

区役所に「出かけたことがある」、「電話をかけたことがある」人のうち、職員の対応を「よかった」(64.0%)と感じた人が6割半ばとなっている。

◇よくない印象の理由は「態度が横柄、機械的」、「長い時間待たされた」

対応が悪かったと感じた理由は「職員の態度が横柄、機械的だった」(69.2%)が7割近くと最も高く、「職員の事務処理が遅く、長い時間待たされた」(46.2%)が続いている。

<区の経営手法>

◇区が取り入れるべき経営改革は「便利で分かりやすい窓口の整備」「効果の薄れた事業等の廃止、縮小」「未使用の区施設の転用や売却」が上位3位

「窓口の開庁時間の延長や、便利で分かりやすい窓口の整備を図る」(35.1%)が3割半ばで最も高く、「効果の薄れた事業、補助金を廃止、縮小する」(34.9%)、「未使用の区施設に対し、他用途への転用や売却等の有効活用を図る」(31.1%)が上位3位となっている。

<公共施設の運営管理>

◆公共施設の運営費・建設費を、民間の活用や区民ニーズに応じた施設の用途変更、集約化・複合化により削減すべきとの意見が多い

◇経費削減のため減らすべき公共施設は「あまり利用されていない施設」が8割近く

「あまり利用されていない施設」(79.8%)が8割近くと突出して高くなっている。

◇公共施設にかかる経費削減には「民間の活力を活用して運営経費削減を図る」が4割半ば

「公共施設の建て替えや改修工事、施設の管理運営面で、民間のノウハウや資金を活用することで、区が税金で負担する施設にかかる経費を削減する」(45.5%)が4割半ばと最も高く、「公共施設に対する区民の新たなニーズに対して、新しい施設を建てず、今ある施設の用途を変更して対応することで、施設の建設経費を削減する」(44.0%)、「公共施設の集約化・複合化を行うことで、施設数を減らし、施設にかかる経費を削減する」(37.4%)と続いている。

【5 区民とともに】

<区政参画>

◆区政参画・地域活動に参加したことがある人は 65 歳以上の女性で多く、活動内容は「町会・自治会活動」が突出して多くなっている

◆区政参画・地域活動に参加したことがない人は 39 歳以下で多い。参加しない理由は「忙しく時間がない」、「きっかけがない」

◇区政参画・地域活動に参加したことがある人は1割半ば

区政参画や地域活動に参加したことが「ある」(14.8%)人は1割半ばとなっている。

◇参加したことが「ある」割合は男性より女性で高い

区政参画または地域活動に参加したことが「ある」人は女性の65~69歳(39.3%)で4割近く、女性の70歳以上(24.8%)で2割半ばと高くなっている。参加したことが「ない」人は18~29歳(96.3%)、30~39歳(95.0%)で9割半ばと高くなっている。

◇町会・自治会に加入している人は6割近く

町会・自治会の加入にしている人(58.8%)が6割近くとなっている。

◇年齢とともに町会・自治会への加入率が高くなっている

町会・自治会への加入率は、69歳以下では男女とも年齢が上がるにつれ高くなっている。

◇区政参加の内容は「町会・自治会活動」が約7割

参加した活動の内容を聞いたところ、「町会・自治会活動」(69.9%)が7割近くで突出して高く、「防災に関する活動」(25.7%)、「ボランティア活動」(23.9%)と続いている。

◇区政参加しない理由は「忙しく時間がない」、「きっかけがない」をあわせて6割半ば

「家事や仕事が忙しく時間がない」(34.7%)、「参加・活動するきっかけがない」(30.6%)があわせて6割半ばを占めている。また「興味がない」(15.7%)1割半ばとなっている。

◇区政参画を促す施策としては「情報公開など開かれた区政の推進」が3割超

区政参画を促すために区が力を入れるべき施策としては「情報公開など開かれた区政の推進」(31.7%)が3割超と最も高く、「多様な手段を活用した区政の情報発信」(20.4%)、「区民と一緒に計画を策定し事業を実施する」(20.2%)と続いている。

◇区政に興味がない人では「特にない」が4割半ば

区政に興味がない人では、区政参画を促すために区が力を入れるべき施策が「特にない」(46.5%)とする人が4割半ばと高い。

<差別や偏見>

◇差別や偏見があると感じる人は2割超

「はい（国籍や性別、年齢、障害による差別や偏見がある）」（22.9%）が2割を超えている。

◇区民の1割半ばが「国籍に関する差別がある」と感じている

差別の内容は「国籍に関して」（65.1%）が6割半ばと最も高く、「障害の有無に関して」（43.4%）、
「性別に関して」（33.7%）、「年齢に関して」（32.0%）と続いている。

<国際化推進のために>

◆日本人と外国人が、お互いの文化を学ぶ機会、交流する機会を充実させるとの意見が多い

◇日本人が持つ在日外国人への印象は『好意的』が5割、在日外国人が持つ日本人への印象は『好意的』が9割超

「好意的に思っている」（8.9%）と「どちらかといえば好意的に思っている」（41.5%）をあ
わせた『好意的』（50.4%）が5割超である一方、「どちらかといえば好意的に思っていない」
（29.1%）と「好意的に思っていない」（7.8%）をあわせた『非好意的』（36.9%）が3割半ば
となっている。

◇日本人と外国人の共存に必要なのは「お互いの文化の理解促進」、「コミュニケーションの充実」

「お互いの文化に対する理解促進」（45.2%）が4割半ばと最も高く、「日本人と外国人のコミ
ュニケーションの充実」（33.8%）が続いている。

◇国際化推進のためには、日本人と外国人、お互いにお互いの文化を学ぶ機会、交流する機会を 充実させることが必要

「外国人区民が日本語や日本文化を学ぶ機会の充実」（36.2%）が3割半ばで最も高く、「異文
化理解に関する教育の推進」（32.1%）、「国際交流ができる場や機会の拡大」と続いている。

【6 「子ども」・かがやき戦略】

◆児童虐待やいじめ問題(不登校対策、道徳・人権教育)といった近年大きな問題となった部分が注目されている

<子育て支援のための重点施策>

◇「待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備」が最も多いが、前回調査より減少

「待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備」(31.1%)が3割超と最も高く、「子どもたち向けの自然にふれあえる場の提供」(22.3%)、「様々な集団での経験や高齢者などの異世代との交流の場の提供」(21.0%)と続いている。

もっとも「待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備」は前回調査より大きく減少している。また、「児童虐待防止の取り組みの充実」が増加している。

<学校教育のための重点施策>

◇人権教育が増加している

「道徳教育の推進」(41.2%)が4割超と最も高く、「児童生徒一人ひとりの個性に応じた教育」(26.1%)、「学力向上への取り組み」(24.8%)と続いている。

前回調査と比較すると、「不登校児童・生徒などへの教育支援体制の充実」、「人権教育の推進」がわずかに増加している。

【7 「元気」・いきいき戦略】

<健康づくりのための重点施策>

◇「運動できる施設の開放や整備」が4割超

「運動できる施設の開放や整備」(43.4%)が4割超と最も高く、「散歩道や公園の整備」(34.9%)、「利用しやすい健康相談窓口の設置」(15.1%)と続いている。

◇全年齢で「運動できる施設の開放や整備」、「散歩道や公園の整備」が上位2位

すべての年齢で「運動できる施設の開放や整備」、「散歩道や公園の整備」が第1位、2位を占めている。50歳以上では「利用しやすい健康相談窓口の設置」の割合が2割近くと高くなっている。

<女性が活躍する社会のための重点施策>

◇「女性の就労の場や機会の拡大」が4割半ば

「女性の就労の場や機会の拡大」(46.9%)が4割半ばと最も高く、「子育て支援施策の充実」(40.1%)、「女性の就労における相談体制の充実」(24.6%)と続いている。

◇男女で1位と2位が入れ替わっている

男女とも「子育て支援施策の充実」、「女性の就労の場や機会の拡大」が1位、2位を占めているが、その順位は男女で入れ替わっており、男性では「子育て支援施策の充実」が1位、女性では「女性の就労の場や機会の拡大」が1位となっている。

<高齢者のための重点施策>

◇「高齢者の就労の場や機会の拡大」が3割超

「高齢者の就労の場や機会の拡大」(32.8%)が3割超と最も高く、「介護が必要になったときの在宅療養支援の充実」(21.5%)、「高齢者の保健・医療サービスの充実」(19.9%)と続いている。

◇64歳以下では「就労の場や機会の拡大」、65歳以上は「在宅療養支援の充実」が最も高い

年齢別でみると、64歳以下では「高齢者の就労の場や機会の拡大」が最も高く、65歳以上では「介護が必要になったときの在宅療養支援の充実」が最も高くなっている。

<障害者のための重点施策>

◇「障害者の就労の場及び機会の拡大」が5割超

「障害者の就労の場及び機会の拡大」(51.0%)が5割超と突出して高く、「バリアフリーなどの生活環境の整備」(29.4%)、「障害及び障害者に対する理解の促進」(23.7%)と続いている。

＜産業活性化のための重点施策＞

◇【商店街の振興】

「空き店舗活用への支援」が3割近くで、特に30～64歳で支持が高い

商店街の振興については「空き店舗活用への支援」(27.7%)が最も高く「消費者に安全・安心な商品が販売されるための支援」(21.8%)、「楽しく買い物ができる商店街活動への支援」(19.7%)と続いている。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれ「消費者に安全・安心な商品が販売されるための支援」の割合が高くなっている。また、30～64歳で「空き店舗活用への支援」が高くなっている。

◇【中小企業の振興】

「企業の優れた技術や技能を伸ばし、技術力を継承するための支援」が3割超で、前回調査より増加している

中小企業の振興については「企業の優れた技術や技能を伸ばし、技術力を継承するための支援」(33.9%)が最も高く、「福利厚生など、中小企業に働く社員のための支援」(24.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「企業の優れた技術や技能を伸ばし、技術力を継承するための支援」などが増加している。

◇【区の産業全体】

「地域の資源を活用したビジネスや、住民が地域の課題を、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み（コミュニティビジネス）を促すための支援」が2割を超えている

区の産業全体については「地域の資源を活用したビジネスや、住民が地域の課題を、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み（コミュニティビジネス）を促すための支援」(21.0%)が最も高く、「自ら事業を行おうとする人（起業家）への支援」(20.7%)となっている。

＜地域文化振興のための重点施策＞

◇「様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供」が3割超

「様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供」(31.6%)が3割超と最も高く、「歴史的文化の保存・継承と活用」(30.5%)、「子どもたちを対象とした文化芸術事業の充実」(23.3%)と続いている。

＜生涯学習のための重点施策＞

- ◇「学習の場の充実(図書館や文化・スポーツ施設等)」「多様な学習意欲に応える講座等の充実」が3割以上。60～64歳では「多様な学習意欲に応える講座等の充実」が最も高い

「学習の場の充実(図書館や文化・スポーツ施設等)」(34.5%)が3割半ばと最も高く、「多様な学習意欲に応える講座等の充実」(30.7%)、「学習に関する情報の提供」(21.2%)と続いている。

60～64歳では「多様な学習意欲に応える講座等の充実」が最も高くなっている。

＜観光振興のための重点施策＞

- ◇「地域の自然、歴史的な建造物など景観やまちなみの保全」が5割近くで、30歳以上の年代で最も高い

「地域の自然、歴史的な建造物など景観やまちなみの保全」(49.0%)が5割近くと最も高く、「伝統芸能や史跡などの歴史的な有形・無形の文化財の保全」(37.2%)、「観光イベントの開催・支援」(27.9%)と続いている。

年齢別では、30歳以上で「地域の自然、歴史的な建造物など景観やまちなみの保全」が最も高くなっている。

8 「花*みどり」・やすらぎ戦略】

<環境への配慮>

◇日頃実践している活動は「自転車やバス、電車の利用」、今後取り組みたい活動は「自然エネルギーの利用」、重要度は「エコバック等を使い、過剰包装を避ける」が最も高い

日頃実践している活動は「必要な場合以外はマイカーを使わず、自転車やバス、電車などを利用する」(63.3%)が6割超と最も高く、「買い物にはエコバック等を使い、過剰包装を避ける」(62.5%)、「照明にLEDを使用している」(54.0%)と続いている。

今後取り組みたい活動は「太陽光などの自然エネルギーを利用する」(42.3%)が4割超と最も高く、「雨水を利用する」(39.1%)、「環境について学ぶ」(37.9%)と続いている。

日頃取り組んでいる活動の割合と今後取り組みたい活動の割合の合計を『重要度』と捉えると、「買い物にはエコバック等を使い、過剰包装を避ける」で重要度が最も高く、次いで、「照明にLEDを使用している」、「必要な場合以外はマイカーを使わず、自転車やバス、電車などを利用する」となっている。

<快適な都市環境のための重点施策>

◇「リサイクルの推進」が最も高いほか、「河川・水辺などの親水空間の整備」、「喫煙マナー向上の取り組み」が増加している

「古紙・びん・缶・ペットボトルなどのリサイクルの推進」(25.0%)、「屋外の公共の場所における喫煙者マナー向上のための取り組み」(23.7%)、「不用品の情報交換など再使用のための取り組み」(21.8%)と続いている。ただし、他の項目の割合と大きな差異はない。また、前回調査より「河川・水辺などの親水空間の整備」、「喫煙マナー向上の取り組み」が増加している。

【9 「安全・安心」・快適戦略】

＜日常的な不安感＞＜安心・安全なまちづくりのための重点施策＞

◇不安を『感じる』が3割半ば

日常的に不安を「感じる」人（9.2%）と「やや感じる」人（26.0%）を合わせた、『不安を感じる』人（35.2%）は3割半ばとなっている。

◇不安の内容は「自然災害」、「犯罪」が多い

不安の内容は「地震や水害などの自然災害」（49.3%）が約5割と突出して高く、「振り込め詐欺や侵入盗などの犯罪」（29.9%）、「子どもの安全」（28.7%）、「騒音など近隣とのトラブル」（22.8%）と続いている。

◇安心なまちづくりには「防犯灯、防犯カメラなどの設置」、「防災対策」が必要

安心なまちづくりのために効果的な取組みは「防犯灯、防犯カメラなどの設置」（46.7%）が4割半ばと突出して高く、「地震や水害などの自然災害に対する防災対策」（25.7%）、「防犯パトロールや安全マップづくりなど地域と連携した活動」（25.6%）と続いている。

◇自然災害に対しては「備蓄物資の確保」、「避難場所・避難所の確保」が必要

自然災害に対して安全なまちにするため効果的な取組みは「食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保」（47.1%）が5割近くと最も高く、「防災公園の整備など避難場所・避難所の確保」（30.3%）、「学校や区民センターなど避難所となる区立施設の安全対策」（25.4%）と続いている。

＜災害への備え＞

◇災害の発生に対する備えをしている人が6割超

家庭で災害への備えをしている人（62.8%）が6割を超えており、備えをしていない人（34.5%）は3割半ばとなっている。

◇備えをしている人のうち「食料・飲料水の備蓄」をしている人が8割近く。「通信手段の確保」が1割半ばと低い

災害への備えの内容は「食料・飲料水の備蓄」（77.2%）が8割近くと突出して高くなっている。次いで「避難用品の準備」（48.0%）、「避難所等の確認」（45.1%）、「家具等の耐震対策」（38.0%）、「常備薬の確保」（32.4%）、「通信手段の確保」（14.6%）と続いている。

◇年齢が上がるにつれ「常備薬の確保」が多くなっている

全年齢で「食料・飲料水の備蓄」が最も高くなっている。また、年齢が上がるにつれ「常備薬の確保」の割合が高くなっている。

【10 北区の印象・将来像】

<区のイメージ>

◆北区の「便利で住みやすいまち」というイメージが愛着度の増加に寄与している

◇「便利で住みやすいまち」が5割半ば

「便利で住みやすいまち」(55.3%)が5割半ばと突出して高く、「緑豊かなまち」(14.0%)、「ごみごみしているまち」(11.5%)の順で続いている。

◇愛着度が高いほど「便利で住みやすいまち」、低いほど「ごみごみしているまち」の割合が高い
愛着度が高くなるにつれ「便利で住みやすいまち」の割合が高くなっている。また、愛着度が低くなるにつれ「ごみごみしているまち」の割合が高くなっている。

<区の将来像>

◆愛着を感じる人は「健やかに安心して暮らせるまち」を理想とする

◆愛着を感じない人は「生活利便性の高いまち」を理想とする

◇「健やかに安心して暮らせるまち」が5割超

北区の理想の将来像は「健やかに安心して暮らせるまち」(52.7%)が5割超と最も高く、「安全で災害に強いまち」(35.8%)、「生活利便性の高いまち」(35.5%)と続いている。

◇愛着を感じない人は「生活利便性の高いまち」を理想とする

愛着度が高くなるにつれ「健やかに安心して暮らせるまち」の割合が高くなっている。また、「愛着を感じない”人は「生活利便性の高いまち」(57.6%)の割合が高くなっている。

<地域の将来像>

◇「公園や緑などの多い自然と親しめるまち」が4割半ば

「公園や緑などの多い自然と親しめるまち」(46.5%)が4割半ばと最も高く、「閑静で環境の良い住宅地」(44.3%)、「よい品物が安く購入できる商店があるまち」(32.5%)と続いている。

◇『非愛着派』で「閑静で環境の良い住宅地」の割合が高い

区への愛着度別でみると、『愛着派』に比べ『非愛着派』で「閑静で環境の良い住宅地」の割合が高くなっている。

<区のイメージアップ施策>

◆様々な情報メディアの活用が求められている

◇「多様なメディア媒体による報道」が4割超

「多様なメディア媒体（新聞・雑誌・テレビ・インターネット・フェイスブック・ツイッター）による北区に関する報道」（41.3%）が4割超と最も高く、「北区の魅力を伝える情報誌やマップの作成」（40.1%）、「北区ロケーション案内（映画、テレビなど）」（29.5%）と続いている。

◇『知っている』が4割半ば

北区のブランドメッセージ「住めば、北区東京。」について、「見たり聞いたりしたことがあって意味も知っている」（16.1%）、「見たり聞いたりしたことはあるが意味は知らない」（28.6%）をあわせた『知っている』（44.7%）が4割半ばとなっている。

**住めば
北区東京。**

Ⅲ 調査結果

Ⅲ 調査結果

1 定住意思

(1) 居住年数

◇『短期』居住者が3割半ば

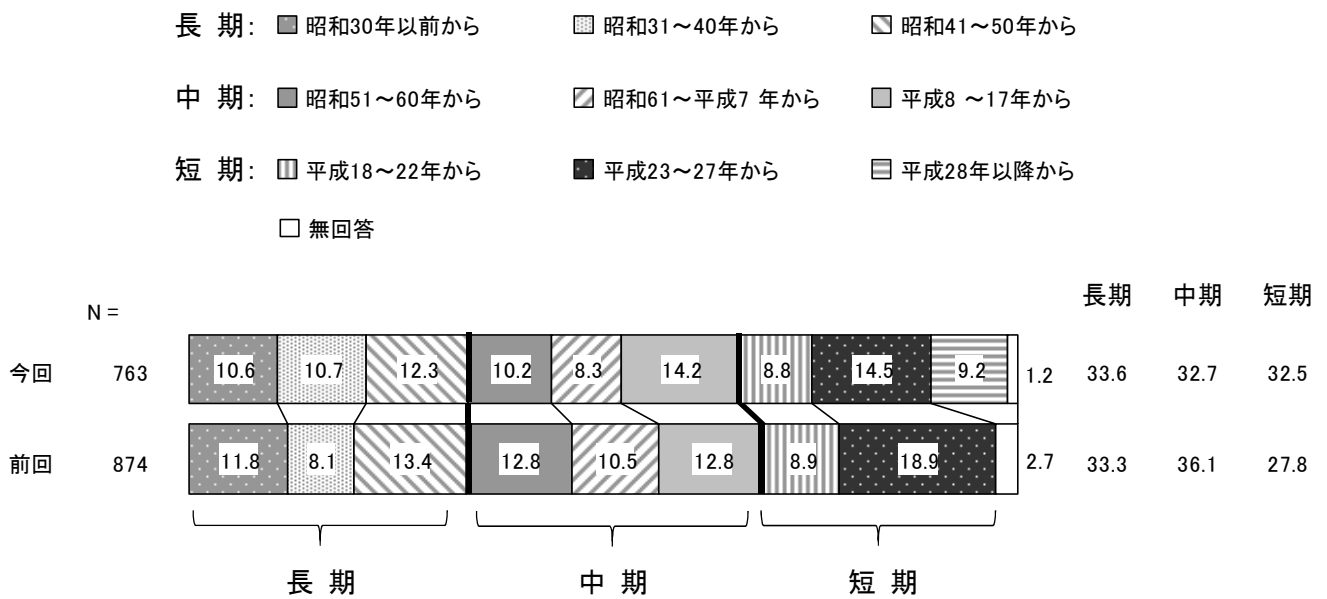
問1 あなたは、いつ頃から北区に住んでいますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

居住年数をみると、「平成23～27年から」(14.5%)が最も高くなっている。次いで、「平成8～17年から」(14.2%)、「昭和41～50年から」(12.3%)が続いている。

また、居住歴を『長期』『中期』『短期』に区分すると、昭和50年以前から居住している『長期』(33.6%)、昭和51年～平成17年から居住している『中期』(32.7%)、平成18年以降から居住している『短期』(32.5%)が約3割と同程度となっている。

前回調査と比較すると、『短期』居住者が増加している。(図表1-1-1)

図表1-1-1 居住年数



通勤・通学先を居住期間で見ると、居住期間が短くなるにつれ区外を通勤・通学先に行っている人が多くなっている。また、居住期間が長くなるにつれ「北区内」「板橋区、豊島区、文京区、足立区、荒川区」の割合が高くなっている。(図表 1-1-2)

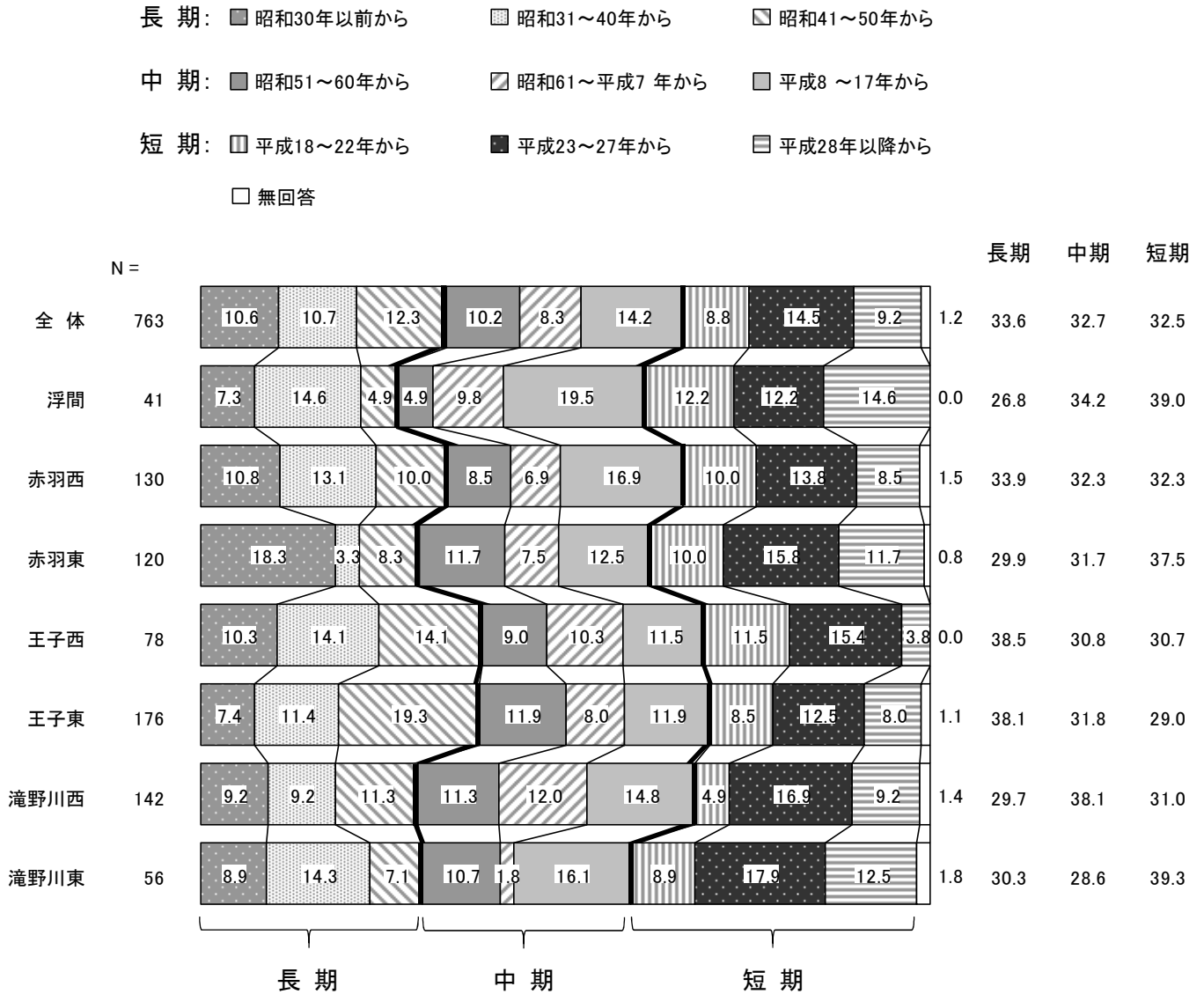
図表 1-1-2 通勤・通学先—居住期間別



※長期居住者は昭和 50 年以前から居住している人、中期居住者は昭和 51 年～平成 17 年から居住している人、短期居住者は平成 18 年以降から居住している人のことです。

居住地区別でみると、『長期』居住者は王子西（38.5%）、王子東（38.1%）で、『中期』居住者は滝野川西で、『短期』居住者は、浮間、赤羽東、滝野川東でそれぞれ4割近くと高くなっている。（図表1-1-3）

図表1-1-3 居住年数-居住地区別



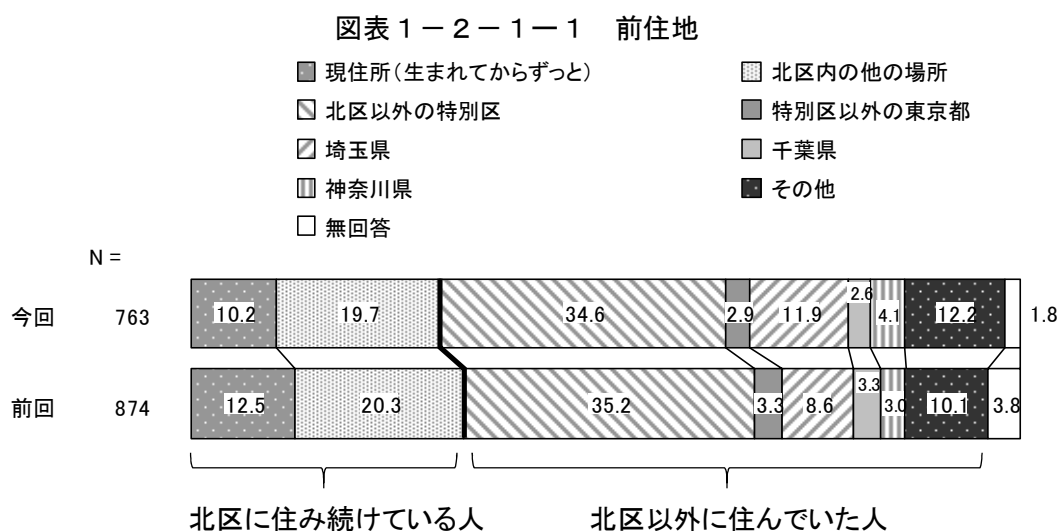
(2) - 1 前住地

◇「北区に住み続けている人」が3割

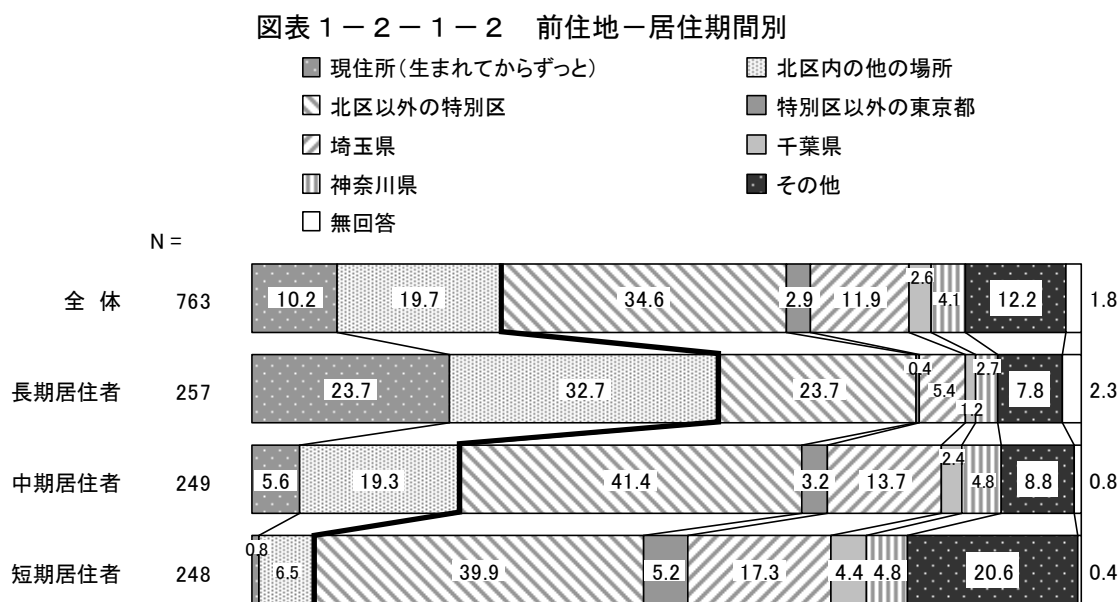
問2 あなたは、現在のところに住む前は、どちらに住んでいましたか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

前住地をみると、「北区以外の特別区」(34.6%)が3割半ばと最も高くなっている。次いで、「北区内の他の場所」(19.7%)、「埼玉県」(11.9%)と続いている。また、「現住所(生まれてからずっと)」と「北区内の他の場所」をあわせた『北区に住み続けている人』(29.9%)は約3割となっている。

前回調査と比較すると、「埼玉県」が増加している。(図表1-2-1-1)



居住期間別でみると、『北区に住み続けている人』は長期居住者(56.4%)で5割半ばと高くなっている。(図表1-2-1-2)



※長期居住者は昭和50年以前から居住している人、中期居住者は昭和51年～平成17年から居住している人、短期居住者は平成18年以降から居住している人のことです。

(2) - 2 前住地 (北区以外の特別区)

◇「北区と隣接する区 (板橋・荒川・豊島・足立・文京)」で5割を占める

[問2で「北区以外の特別区」を選んだ方にうかがいます]

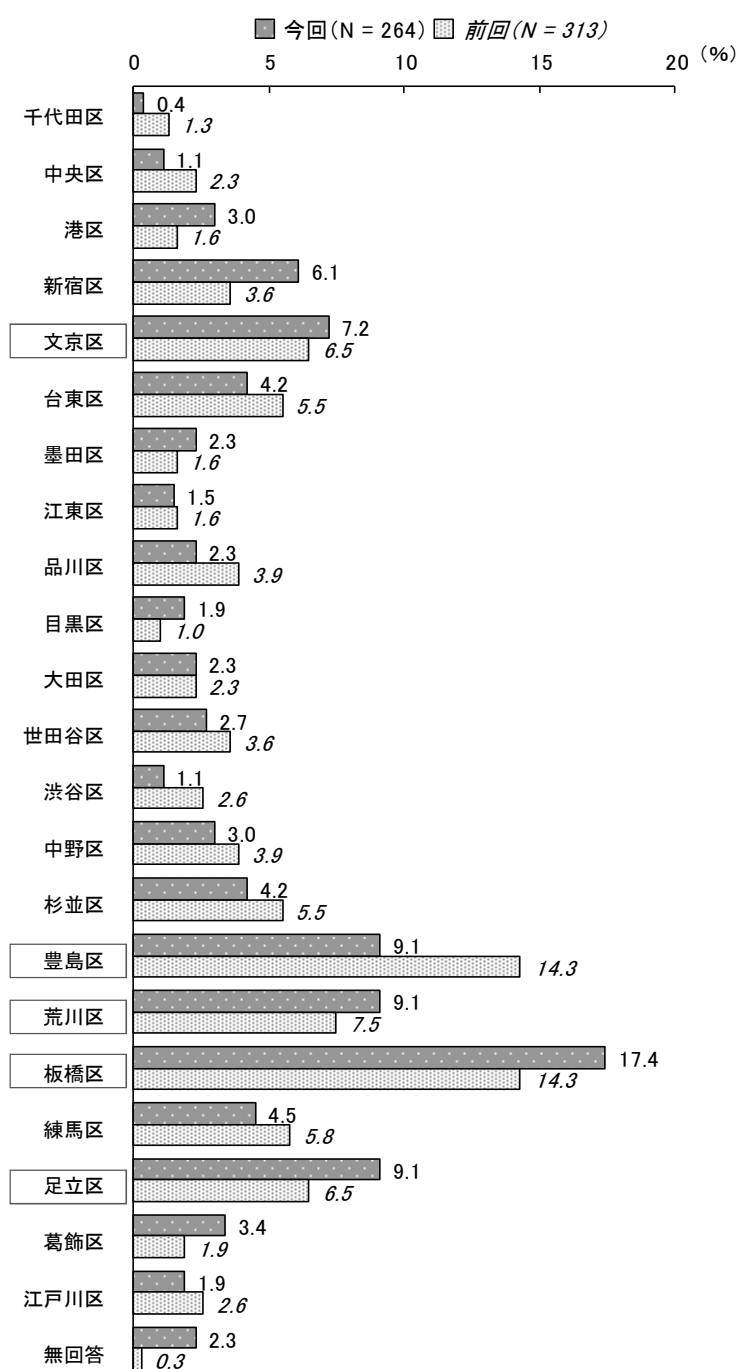
問2-1 何区ですか。

問2で、「北区以外の特別区」と答えた方 (264 人) に、前住地の特別区名を聞いたところ、隣接する「板橋区」(17.4%)、「荒川区」(9.1%)、「豊島区」(9.1%)、「足立区」(9.1%)、「文京区」(7.2%) が上位5位になっているとともに、全体の約5割を占めている。なかでも「板橋区」(17.4%) は2割近くと最も高くなっている。

前回調査と比較すると、「新宿区」「板橋区」「足立区」からの転入割合が高くなっている。

(図表1-2-2-1)

図表1-2-2-1 前住地 (北区以外の特別区)



(3) 定住意思

◇『定住意向』が8割を超えている

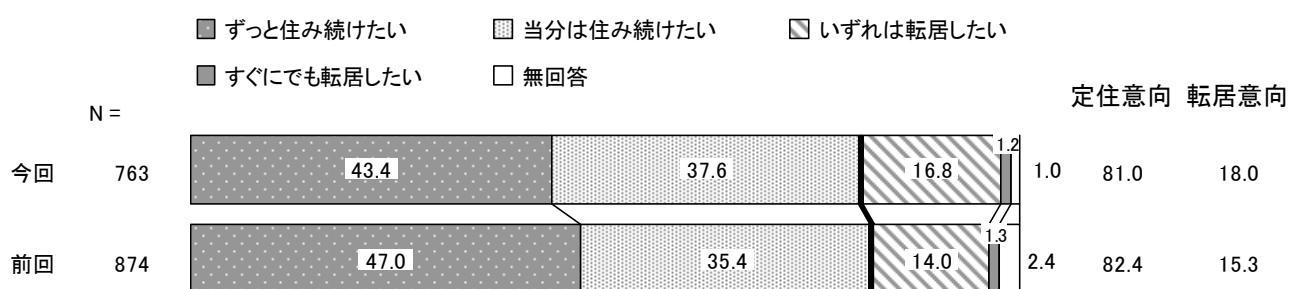
問3 あなたは、現在のところにこれからも住み続けたいと思いますか。
次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

定住意思をみると、「ずっと住み続けたい」(43.4%)が最も高くなっており、「当分は住み続けたい」(37.6%)と合わせた『定住意向』(81.0%)が8割を超えている。

一方、「いずれは転居したい」(16.8%)と「すぐにでも転居したい」(1.2%)を合わせた『転居意向』(18.0%)は2割近くとなっている。

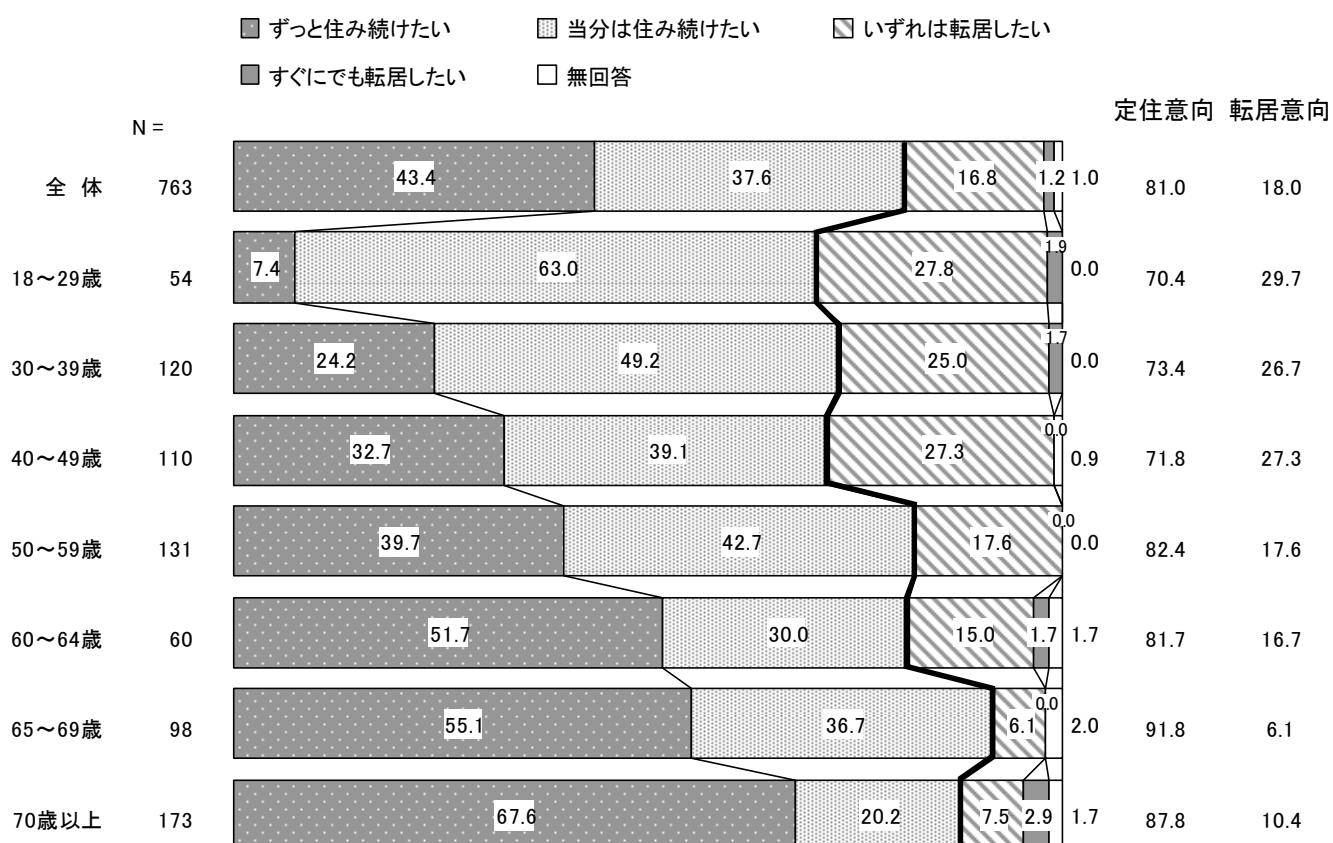
前回調査と比較すると、『転居意向』がわずかに増加している。(図表1-3-1)

図表1-3-1 定住意思



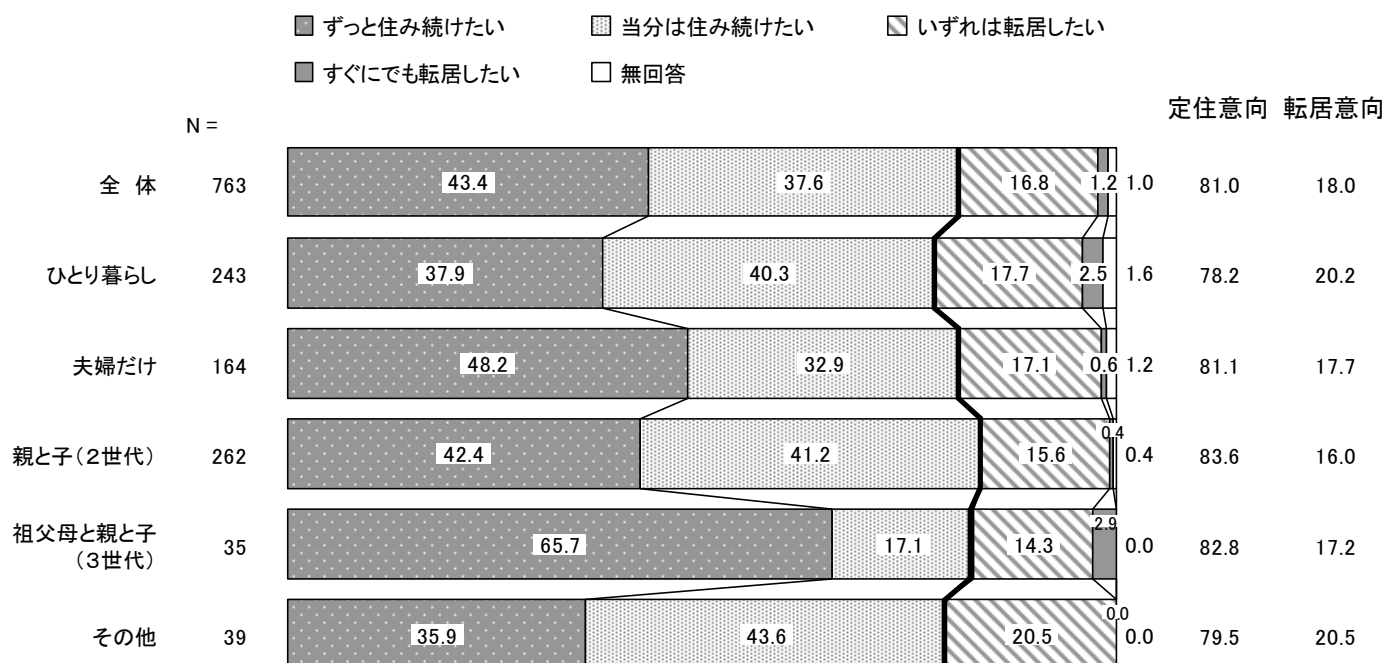
年齢別でみると、『定住意向』はおおむね年齢が高くなるほど割合が高くなっており、65～69歳(91.8%)と70歳以上(87.8%)で約9割を占めている。一方、『転居意向』は18～29歳(29.7%)、30～39歳(26.7%)、40～49歳(27.3%)で3割近くと高くなっている。(図表1-3-2)

図表1-3-2 定住意思一年齢別



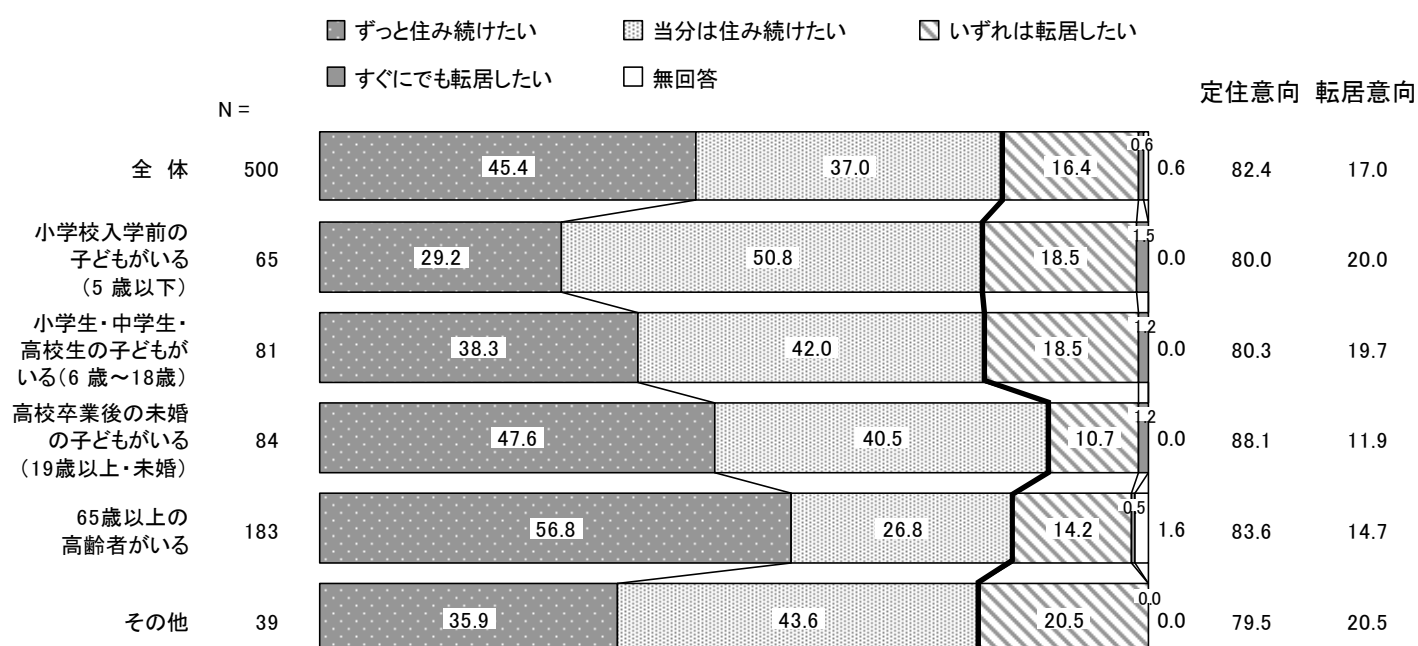
家族構成別でみると、いずれの家族構成においても『定住意向』は約8割となっている。
 (図表1-3-3)

図表1-3-3 定住意思—家族構成別



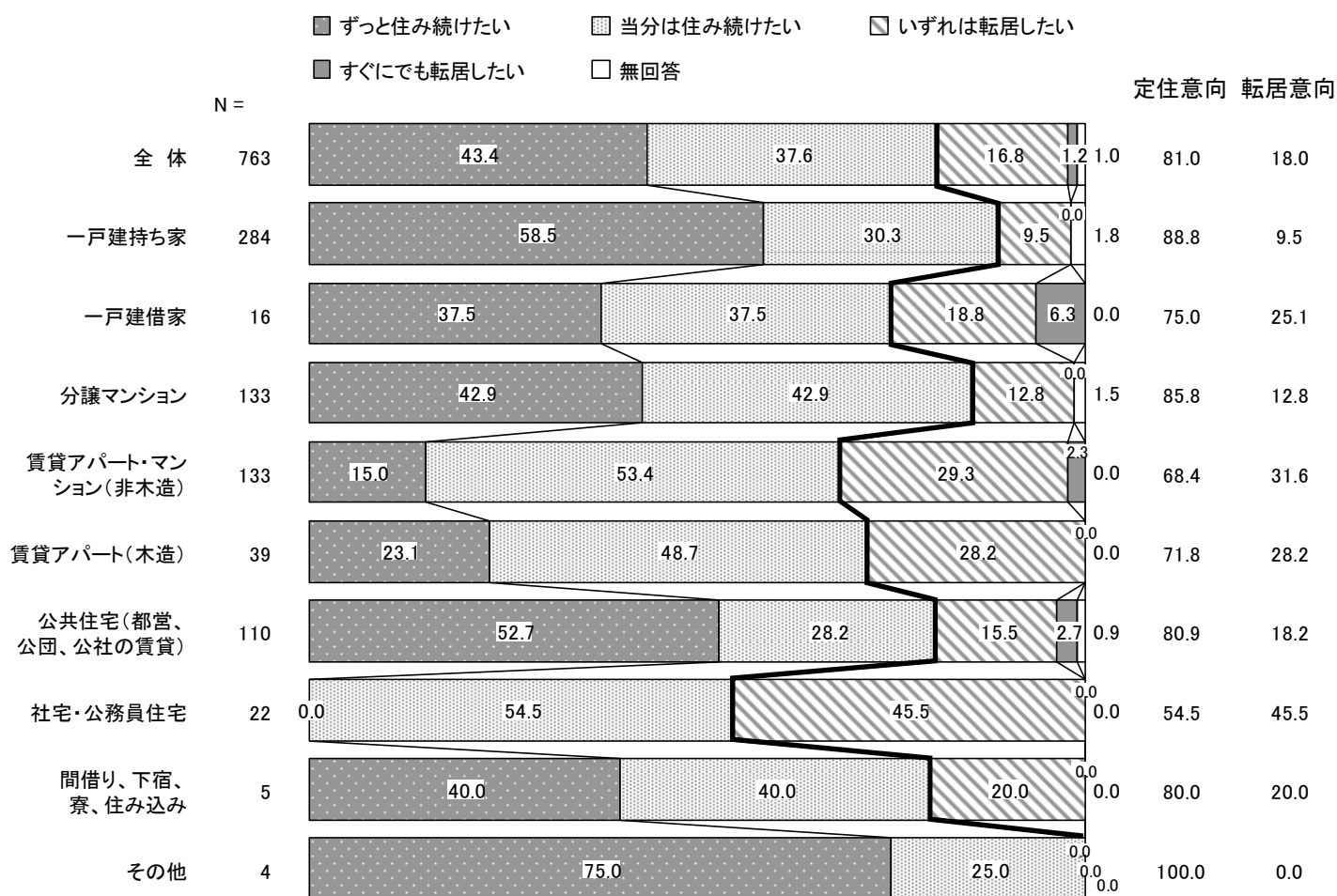
子ども・高齢者との居住の有無別でみると、『定住意向』は“高校卒業後の未婚の子どもがいる(19歳以上・未婚)”(88.1%)で9割近くと高くなっている。一方、『転居意向』は“小学校入学前の子どもがいる(5歳以下)”(20.0%)で2割となっている。(図表1-3-4)

図表1-3-4 定住意思—子ども・高齢者との居住の有無別



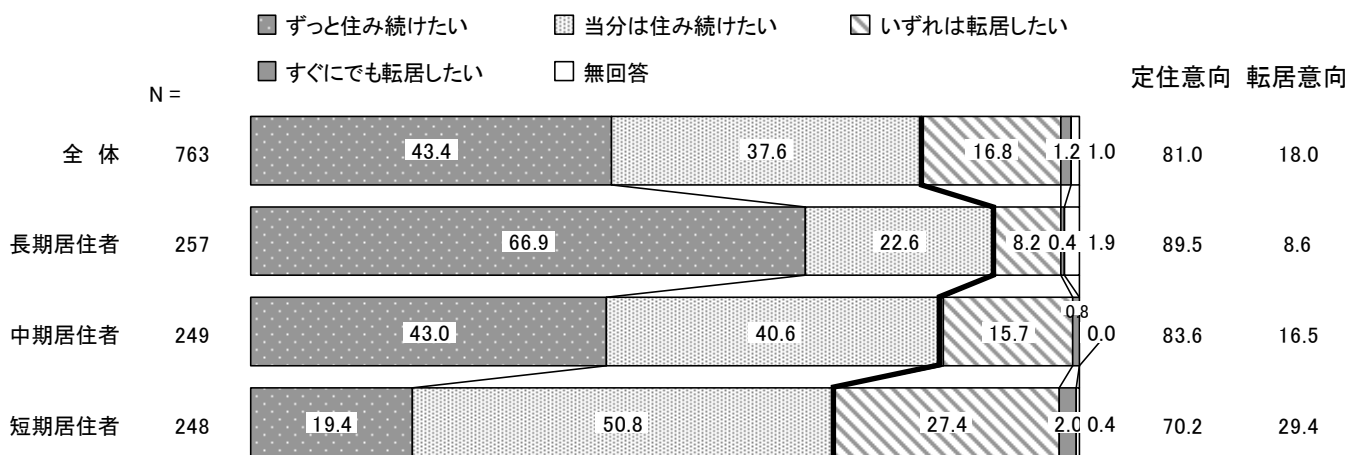
居住形態別でみると、『定住意向』は一戸建持ち家（88.8%）で9割近くと高くなっている。一方、『転居意向』は社宅・公務員住宅（45.5%）で4割半ばとなっている。（図表1-3-5）

図表1-3-5 定住意思－居住形態別



居住年数別でみると、『定住意向』はおおむね居住年数が長くなるほど割合が高くなっており、長期居住者（89.5%）で約9割となっている。一方、『転居意向』は短期居住者（29.4%）が約3割で高い。（図表1-3-6）

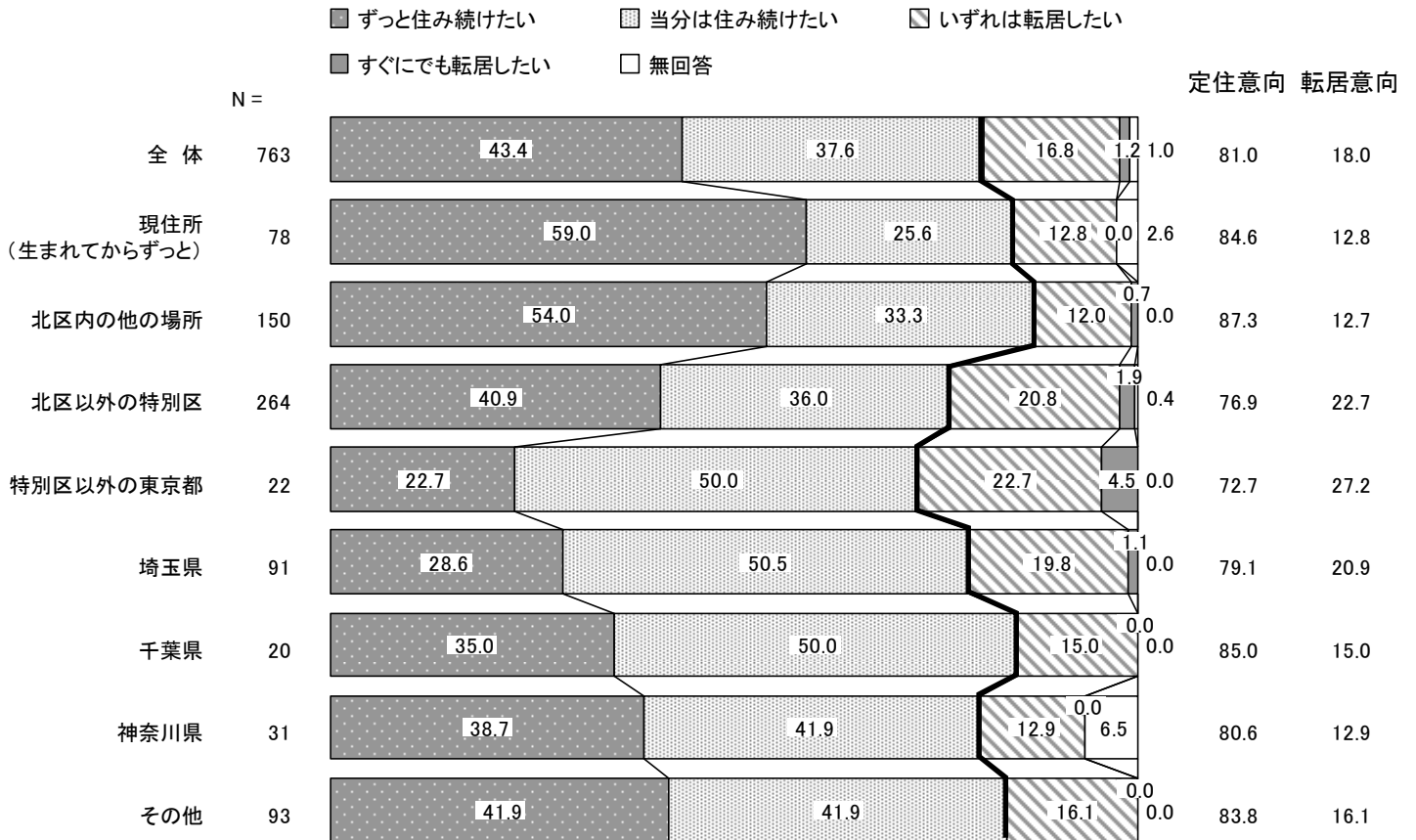
図表1-3-6 定住意思－居住年数別



※長期居住者は昭和50年以前から居住している人、中期居住者は昭和51年～平成17年から居住している人、短期居住者は平成18年以降から居住している人のことです。

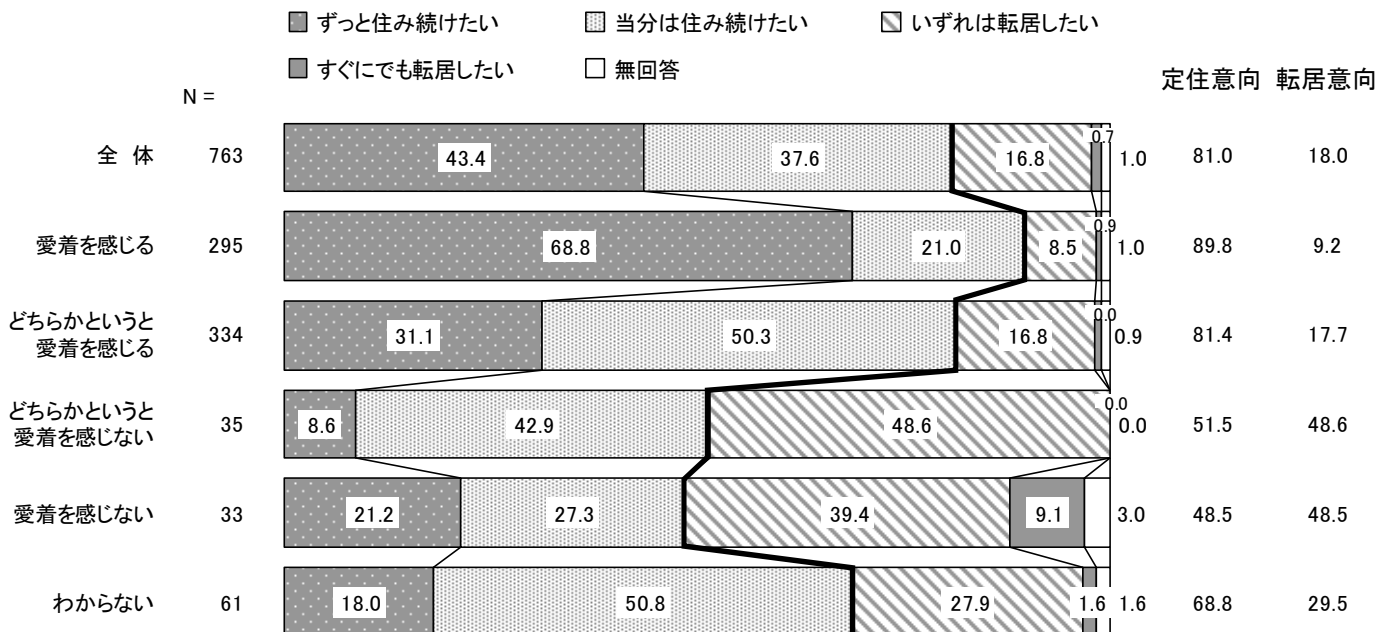
定住意思を前住地別でみると、『定住意向』は北区内の他の場所（87.3%）で9割近くと高くなっている。また、『転居意向』は特別区以外の東京都（27.2%）で2割半ばと高くなっている。（図表1-3-7）

図表1-3-7 定住意思—前住地別



愛着度別では、『定住意向』は愛着を感じている人ほど割合が高くなっており、愛着を感じる（89.8%）で約9割となっている。（図表1-3-8）

図表1-3-8 定住意思—愛着度別



(4) 転居希望理由

◇「現在の住宅に不満があるから」が前回調査から大きく減少している

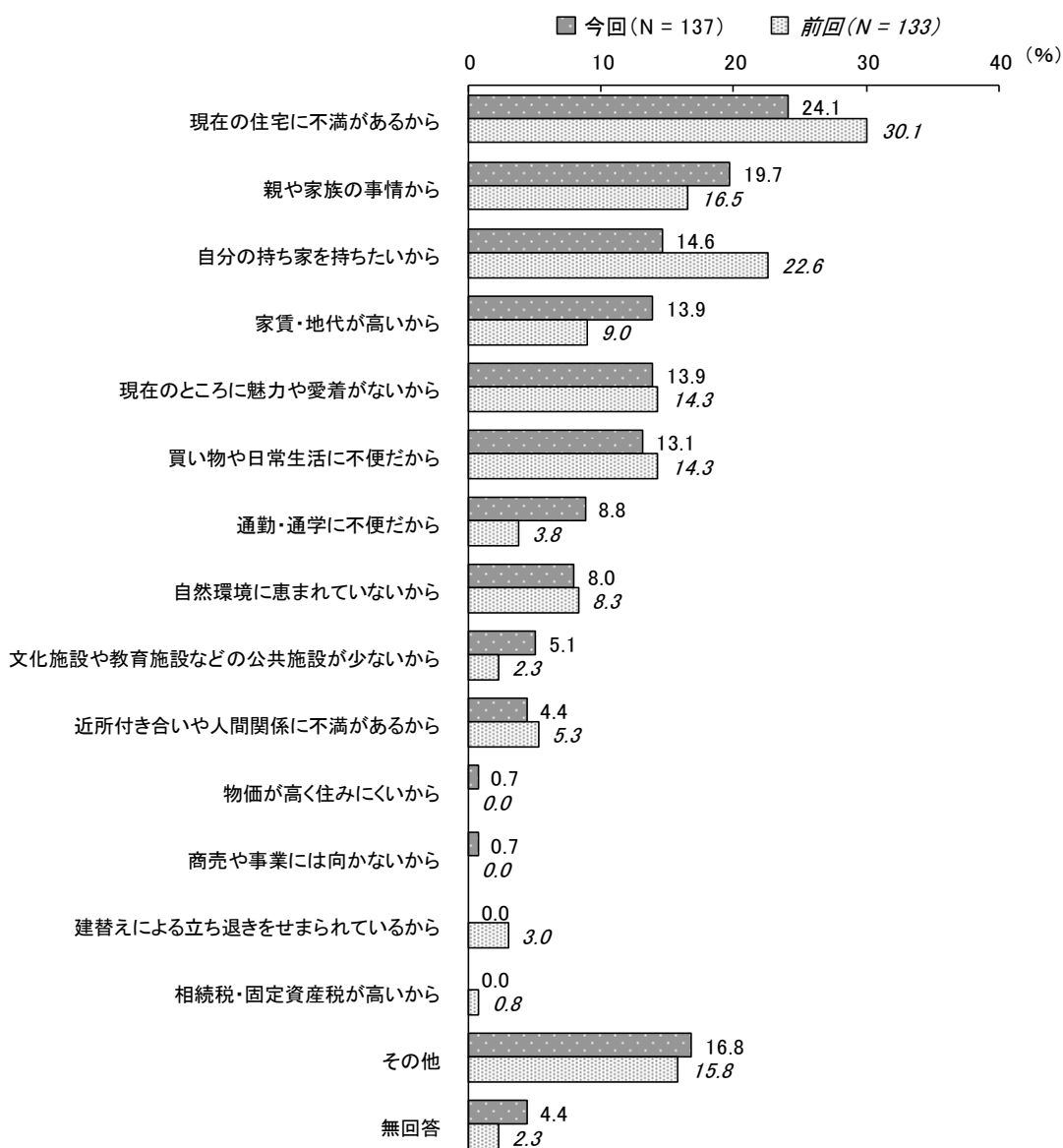
[問3で「いずれは転居したい」、「すぐにでも転居したい」を選んだ方にうかがいます]

問3-1 その主な理由は何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

問3で、「いずれは転居したい」、「すぐにでも転居したい」と答えた方(137人)に、その理由を聞いたところ、「現在の住宅に不満があるから」(24.1%)が2割半ばと最も高くなっている。次いで、「親や家族の事情から」(19.7%)、「自分の持ち家を持ちたいから」(14.6%)の順で続いている。

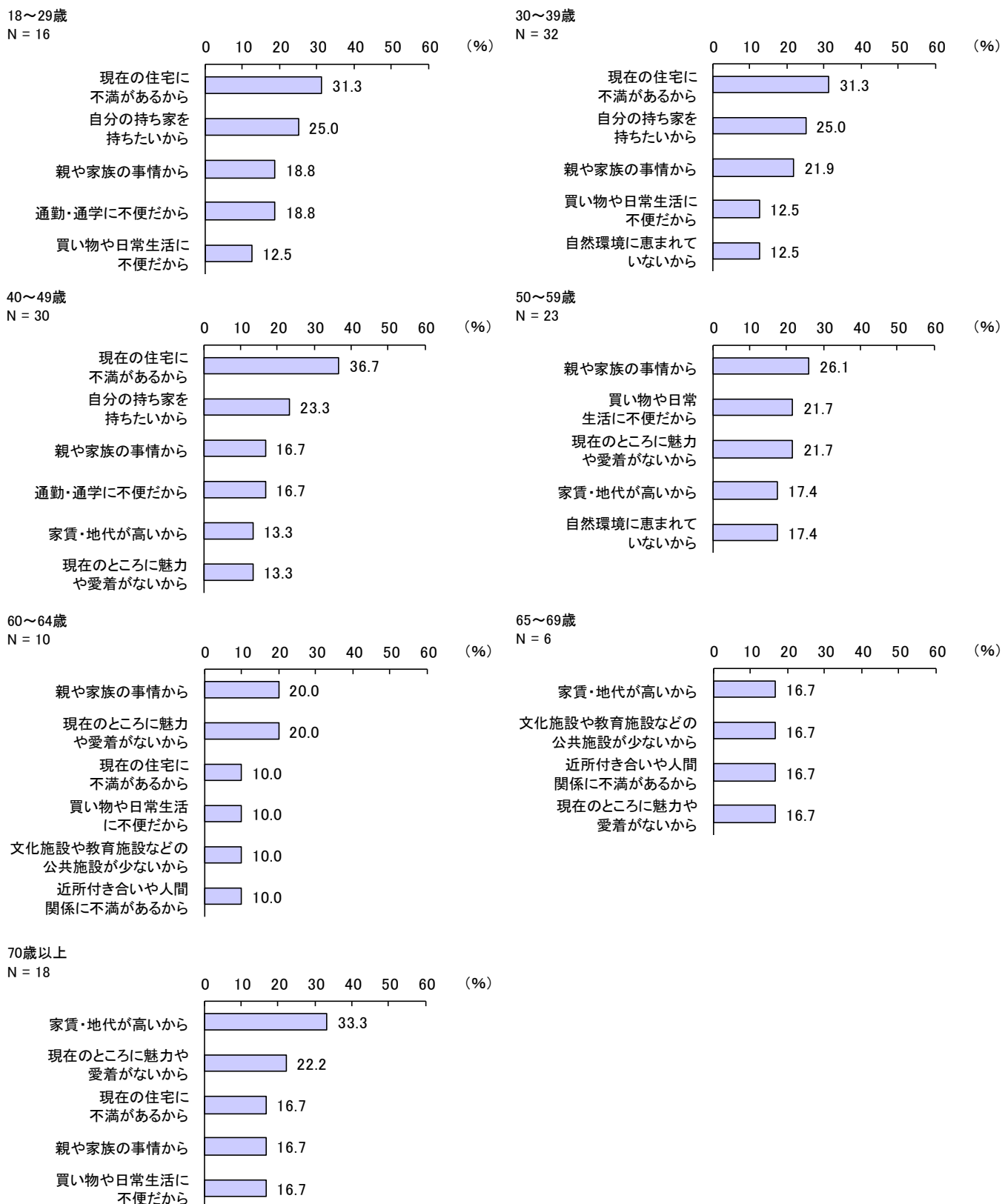
前回調査と比較すると、「現在の住宅に不満があるから」が大きく減少している。また、「家賃・地代が高いから」「通勤・通学に不便だから」が増加し、「自分の持ち家を持ちたいから」などが減少している。(図表1-4-1)

図表1-4-1 転居希望理由



年齢別でみると、18歳から49歳の年齢層で「現在の住宅に不満があるから」が高くなっている。(図表1-4-2)

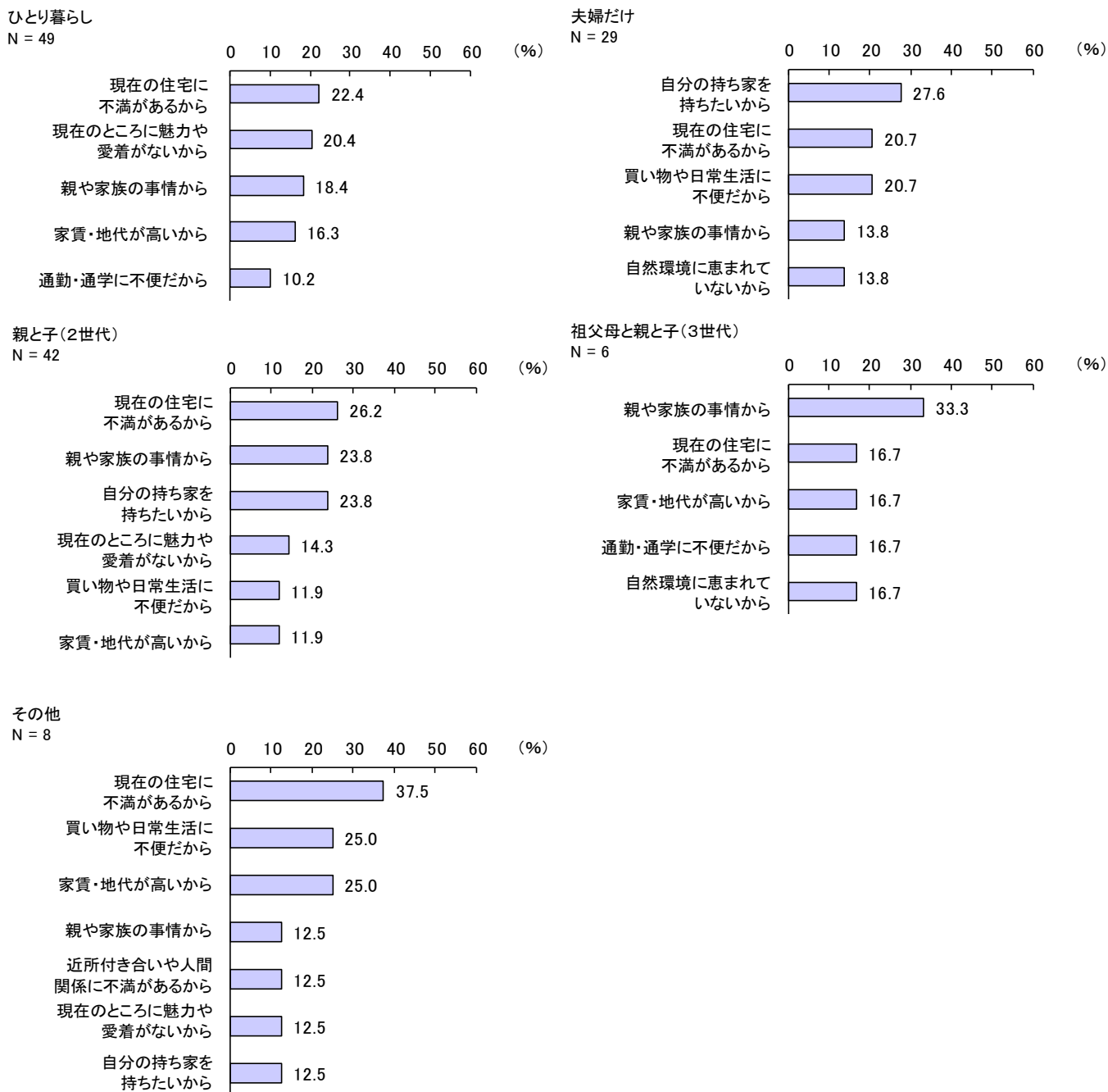
図表1-4-2 転居希望理由一年齢別(上位5項目)



家族構成別でみると、“ひとり暮らし”、“親と子（2世代）”で、「現在の住宅に不満があるから」が高くなっている。また、“夫婦だけ”では、「自分の持ち家を持ちたいから」が高くなっている。

（図表1-4-3）

図表1-4-3 転居希望理由—家族構成別（上位5項目）



(5) 転居希望地

◇「北区内」が1割半ば

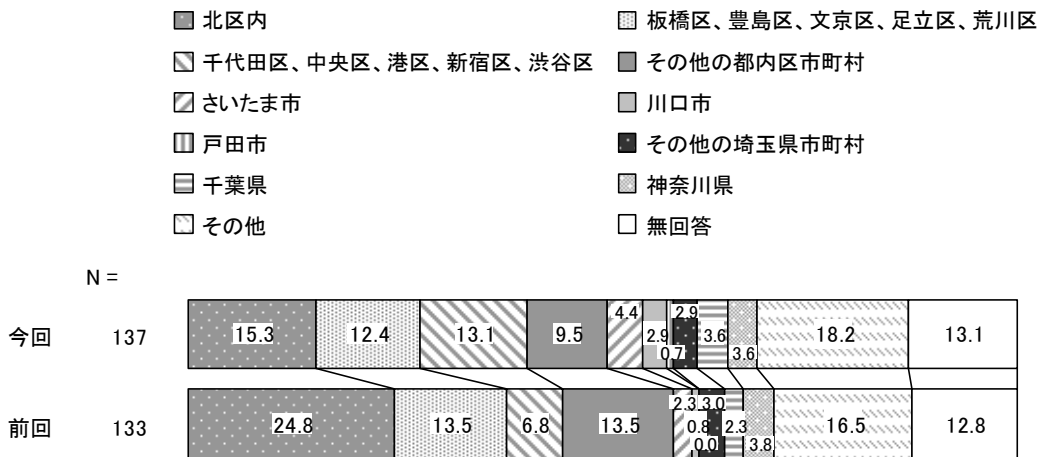
[問3で「いずれは転居したい」、「すぐにでも転居したい」を選んだ方にうかがいます]

問3-2 できたらどこへ転居したいと思いますか。
次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

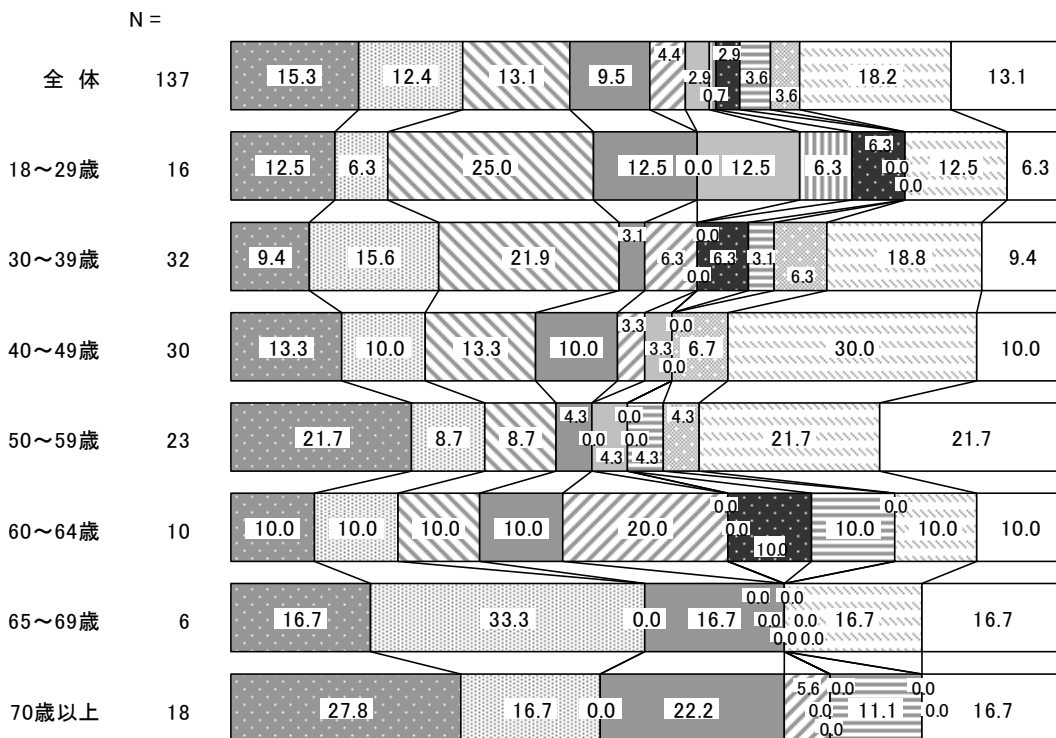
問3で、「いずれは転居したい」、「すぐにでも転居したい」と答えた方(137人)に転居希望地を聞いたところ、「北区内」(15.3%)が1割半ばで最も高くなっている。次いで、「千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区」(13.1%)と「板橋区、豊島区、文京区、足立区、荒川区」(12.4%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区」、「さいたま市」「川口市」が増加し、「北区内」、「その他の都内区市町村」などが減少している。(図表1-5-1)

図表1-5-1 転居希望地



図表1-5-2 転居希望地一年齢別



(6) 区への愛着度

◇『愛着派』が8割を超え、前回調査より増加している

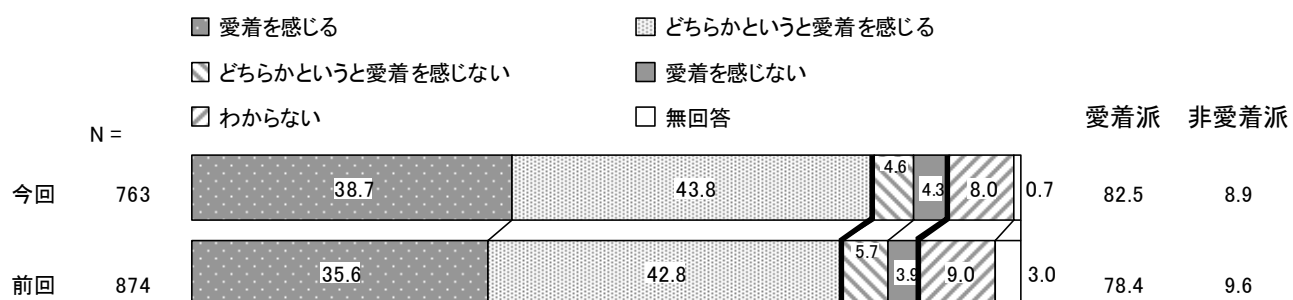
問4 あなたは、北区に愛着を感じますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

区への愛着度をみると、「どちらかというとな愛着を感じる」(43.8%)が最も高くなっており、「愛着を感じる」(38.7%)と合わせた『愛着派』(82.5%)が8割を超えている。

一方、「どちらかというとな愛着を感じない」(4.6%)と「愛着を感じない」(4.3%)を合わせた『非愛着派』(8.9%)は1割未満となっている。

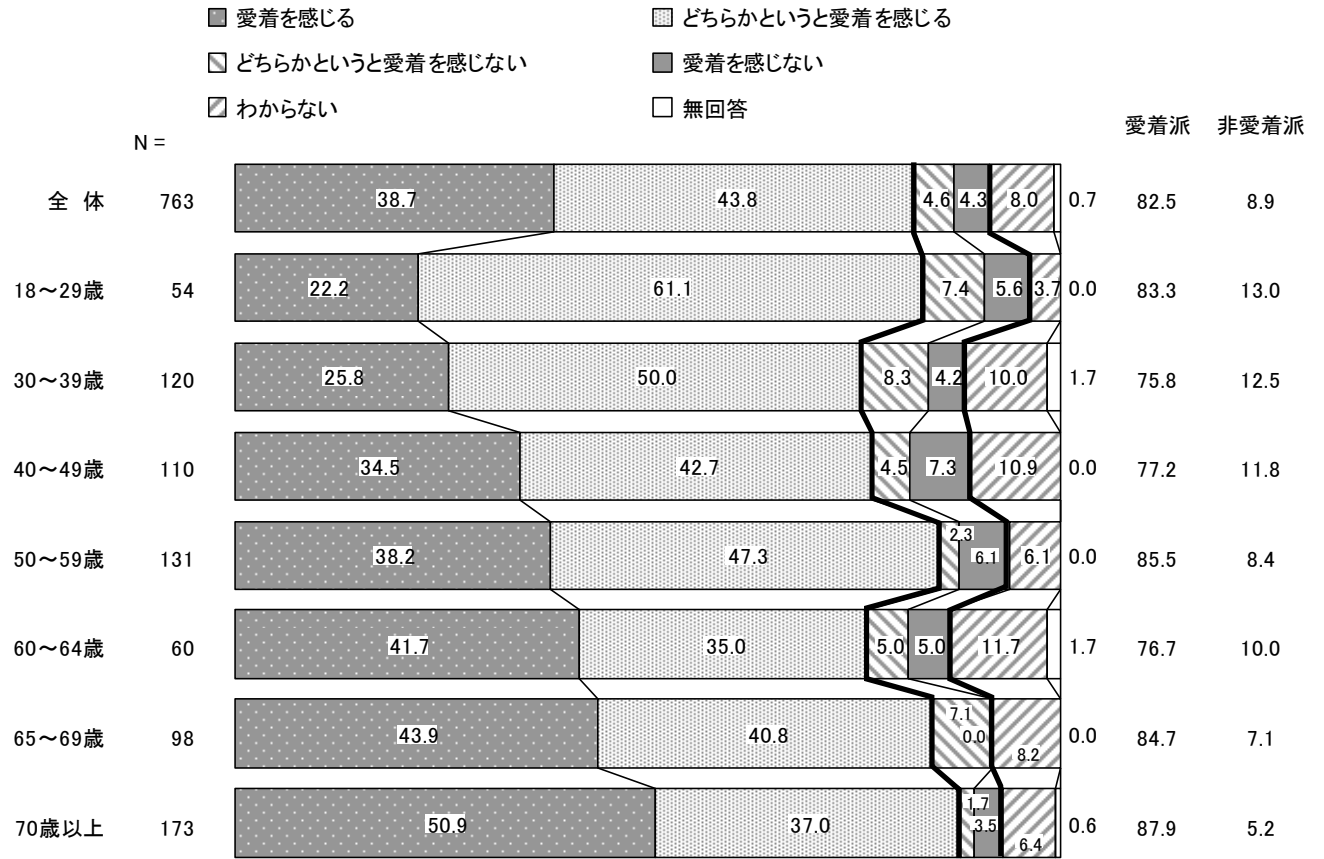
前回調査と比較すると、『愛着派』が増加している。(図表1-6-1)

図表1-6-1 区への愛着度



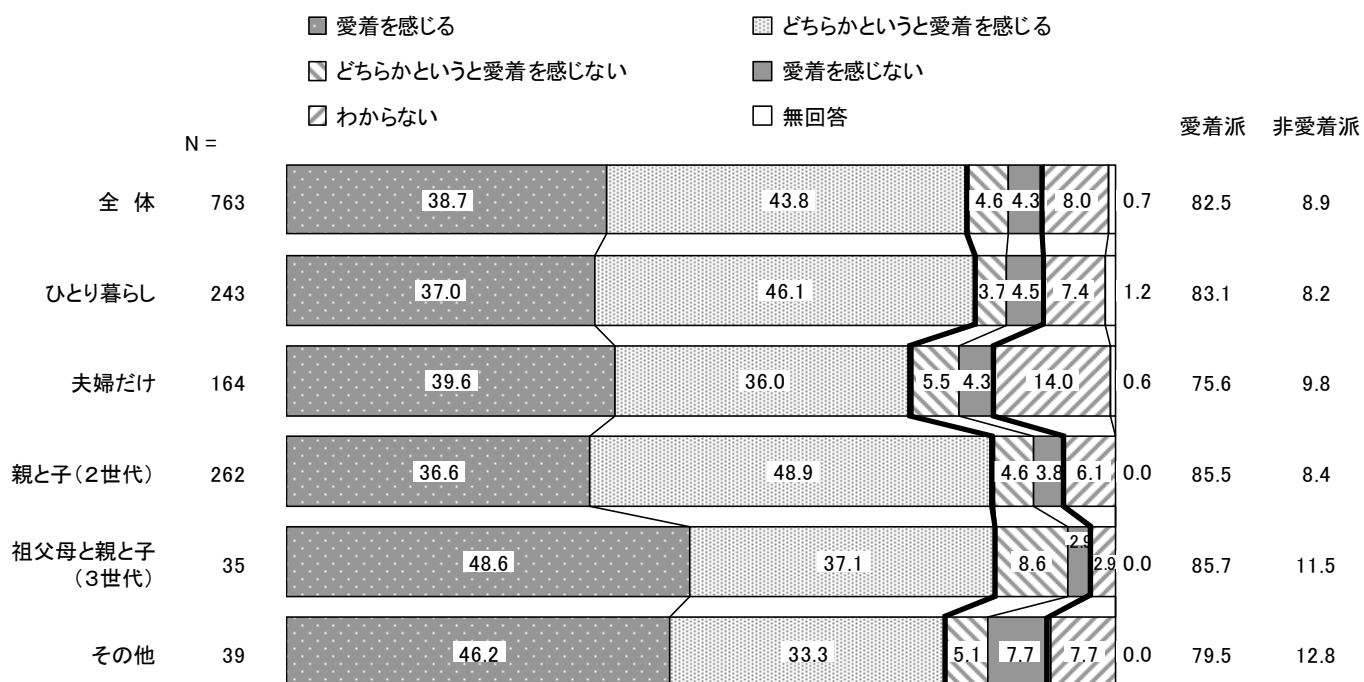
年齢別でみると、『愛着派』は18～29歳（83.3%）、50～59歳（85.5%）、65～69歳（84.7%）、70歳以上（87.9%）で8割を超え高くなっている。（図表1-6-2）

図表1-6-2 区への愛着度一年齢別



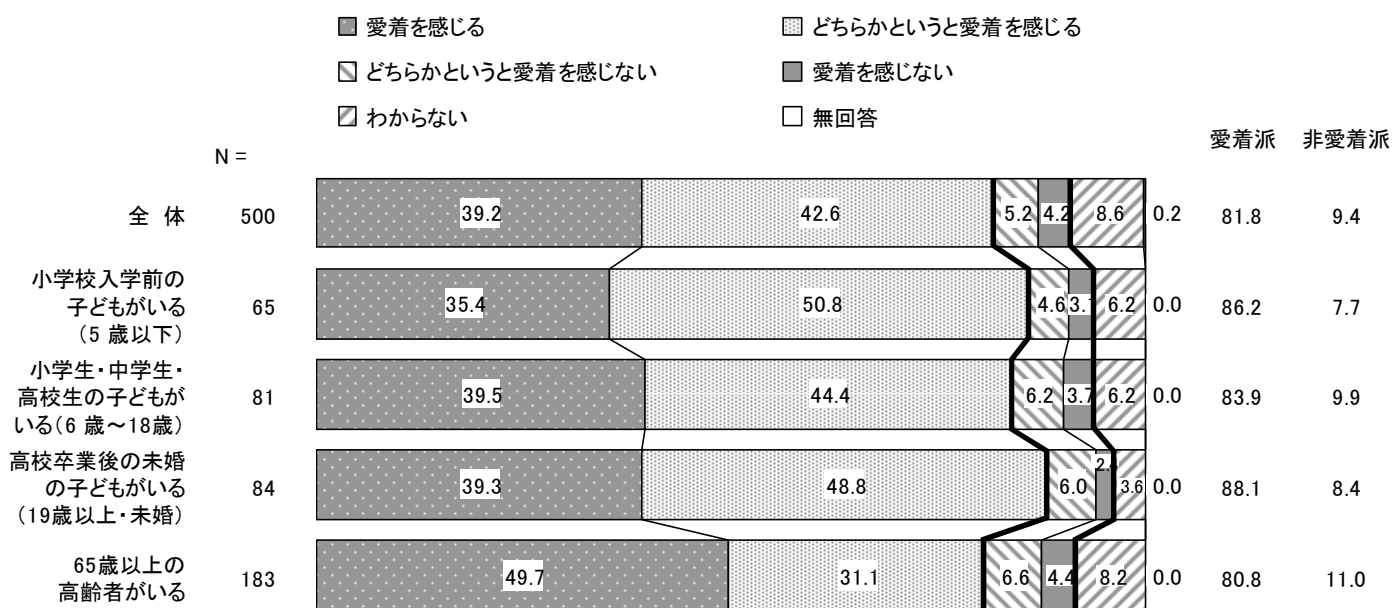
家族構成別でみると、『愛着派』は親と子(2世代)(85.5%)、祖父母と親と子(3世代)(85.7%)で8割半ばと高くなっている。(図表1-6-3)

図表1-6-3 区への愛着度—家族構成別



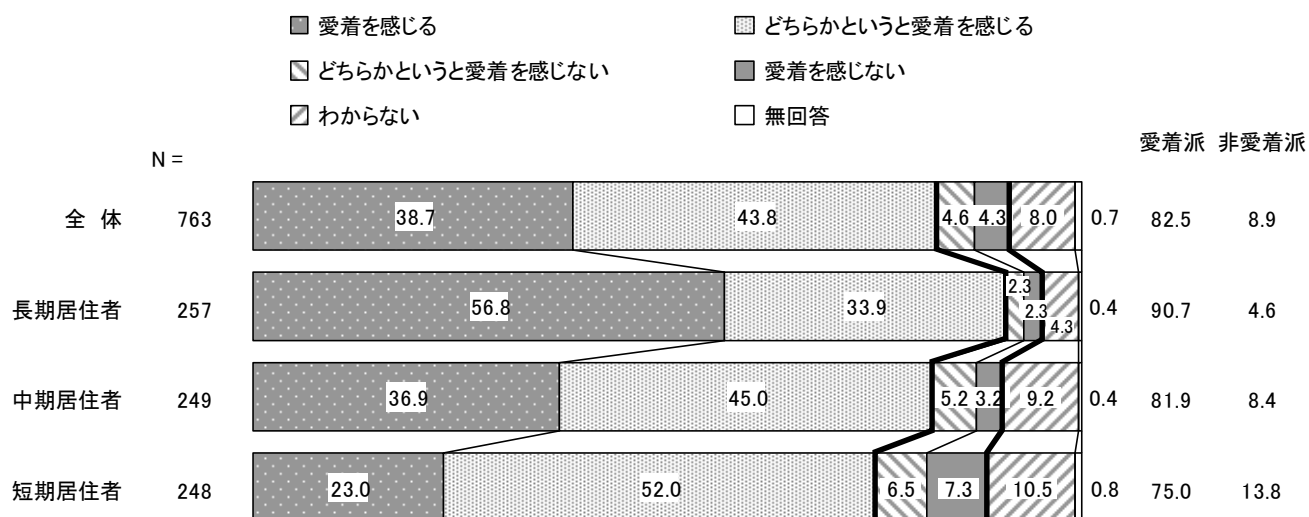
子ども・高齢者の同居別でみると、『愛着派』は高校卒業後の未婚の子どもがいる(19歳以上・未婚)(88.1%)で9割近くと高くなっている。(図表1-6-4)

図表1-6-4 区への愛着度—子ども・高齢者の同居別



居住年数別でみると、『愛着派』は居住期間が長くなるほど割合が高くなっており、長期居住者（90.7%）で約9割と高くなっている。（図表1-6-5）

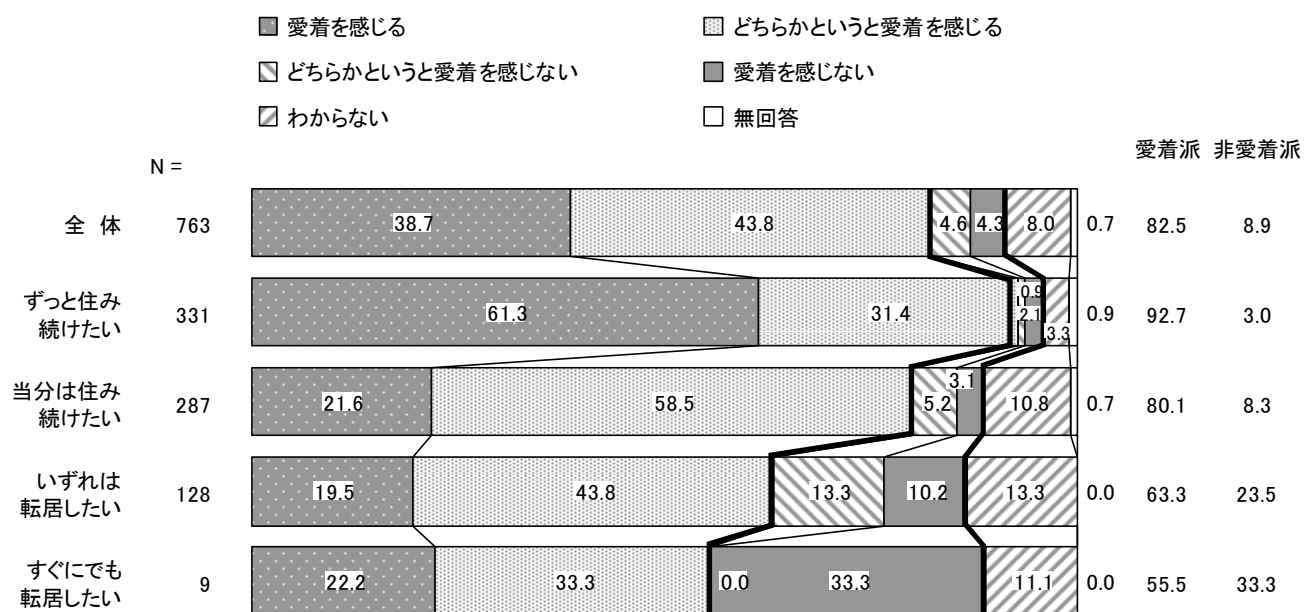
図表1-6-5 区への愛着度－居住年数別



※長期居住者は昭和50年以前から居住している人、中期居住者は昭和51年～平成17年から居住している人、短期居住者は平成18年以降から居住している人のことです。

定住意思別でみると、『愛着派』は定住意思が強いほど割合が高くなっており、“ずっと住み続けたい”（92.7%）で9割を超えている。（図表1-6-6）

図表1-6-6 区への愛着度－定住意思別



2 生活圏・行動圏

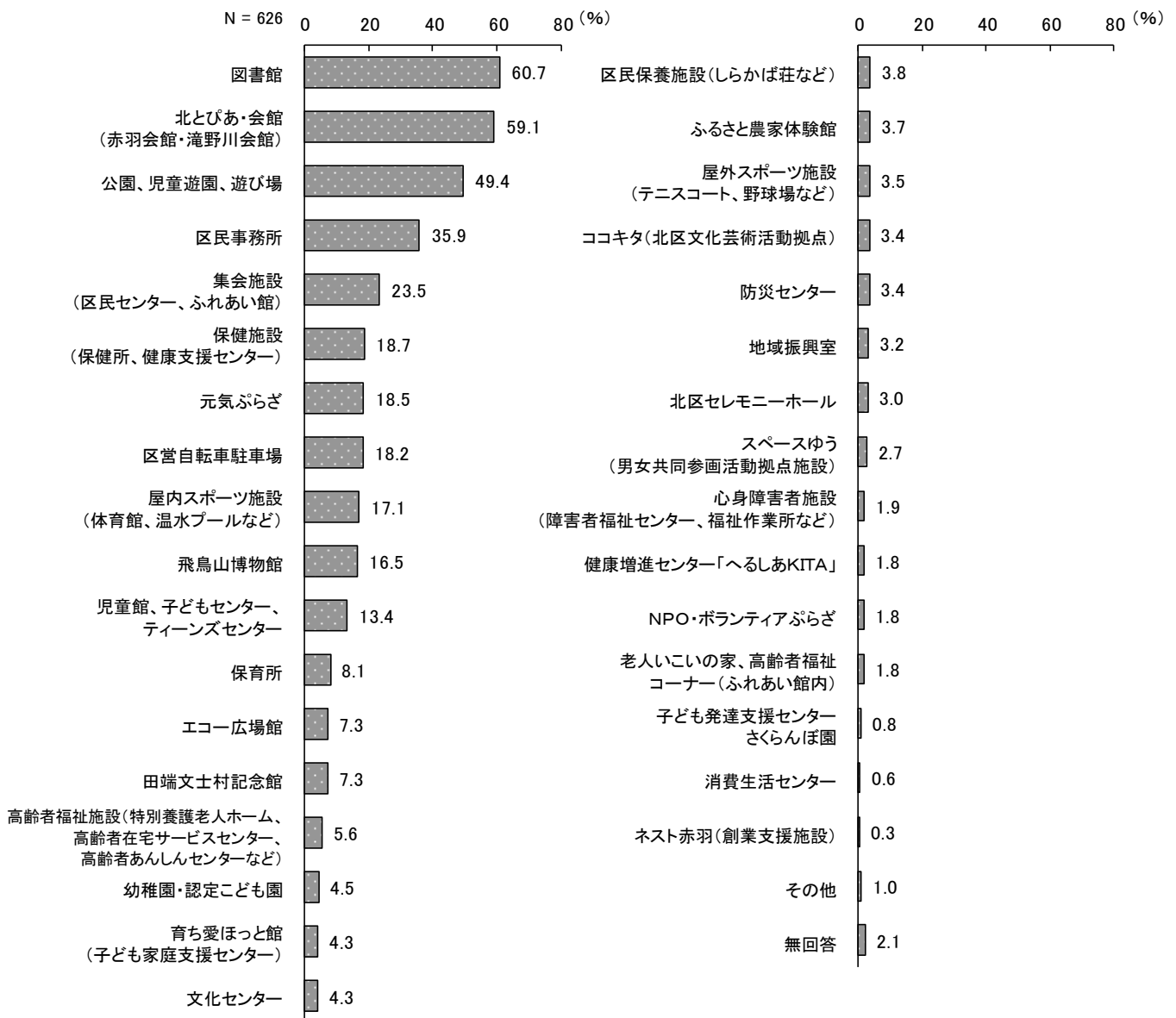
(1) 生活圏・行動圏

◇「図書館」が6割を超えている

問5-1 次にあげる区の施設のうち、あなたがこの1年間で利用したことがあるものを次の中から、すべて選んで○をつけてください。

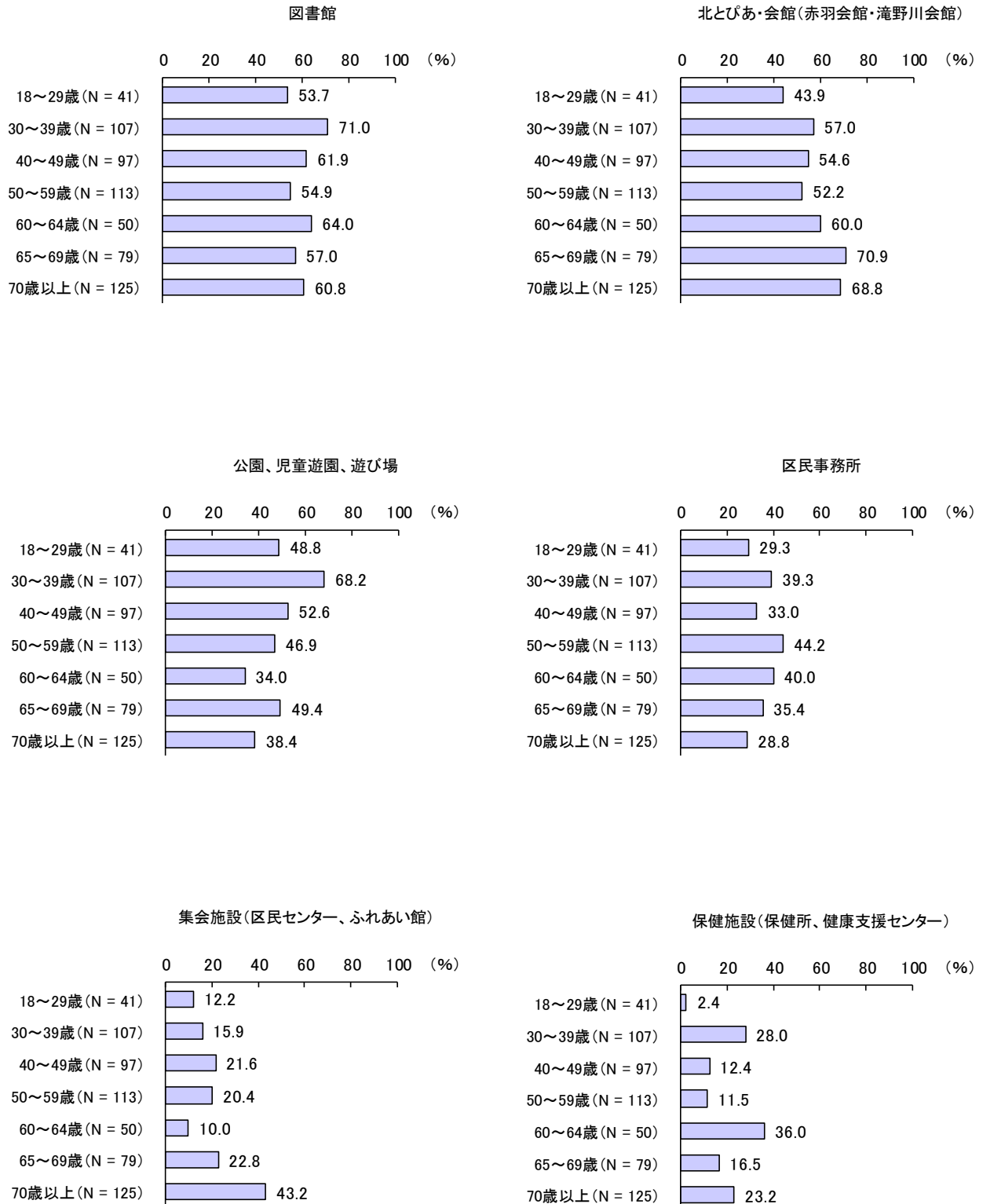
この1年間で利用したことがある区の施設をみると、「図書館」(60.7%)が6割を超え、最も高くなっている。次いで、「北とびあ・会館(赤羽会館・滝野川会館)」(59.1%)、「公園、児童遊園、遊び場」(49.4%)、「区民事務所」(35.9%)、「集会施設(区民センター、ふれあい館)」(23.5%)の順で続いている。(図表2-1-1)

図表2-1-1 生活圏・行動圏

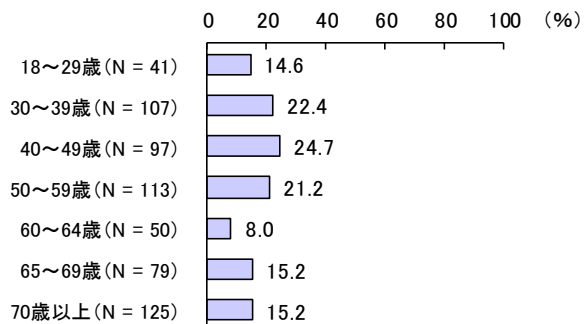


年齢別で見ると、30～39歳で「図書館」「公園、児童遊園、遊び場」「児童館、子どもセンター、ティーンズセンター」「保育所」が、65歳以上では「北とぴあ・会館（赤羽会館・滝野川会館）」が高くなっている。また、70歳以上では「集会施設（区民センター、ふれあい館）」が高くなっている。（図表2-1-2）

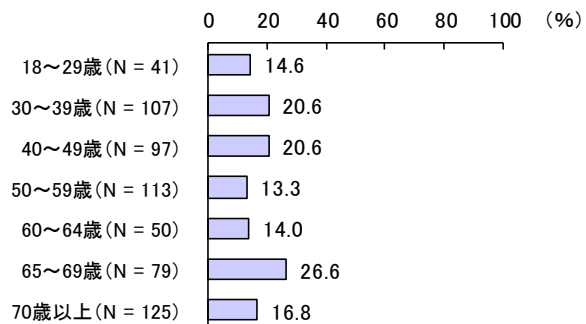
図表2-1-2 生活圏・行動圏一年齢別



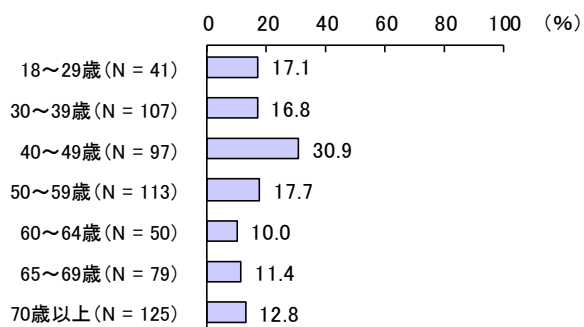
元気ぶらざ



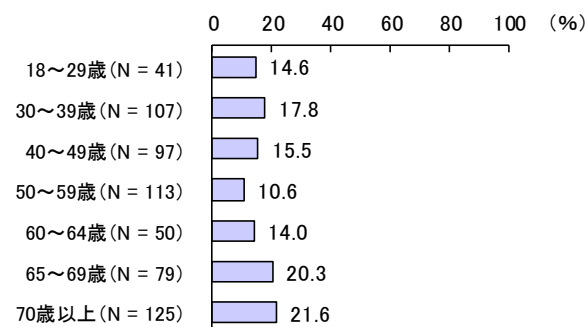
区営自転車駐車場



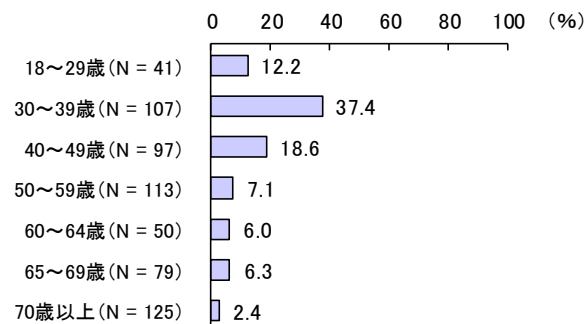
屋内スポーツ施設
(体育館、温水プールなど)



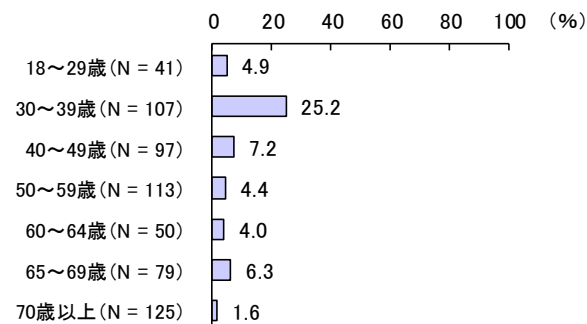
飛鳥山博物館



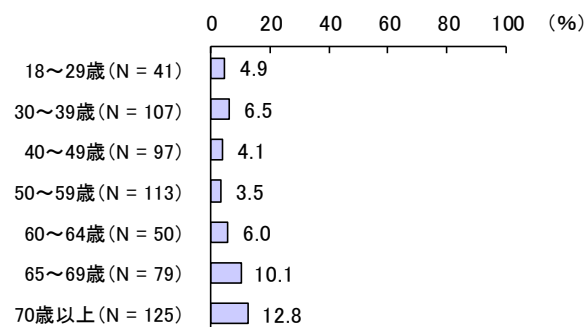
児童館、子どもセンター、
ティーンズセンター



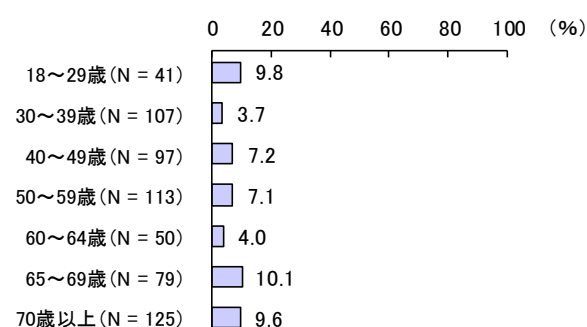
保育所



エコー広場館



田端文士村記念館



(2) 日用品や食料品の買物圏

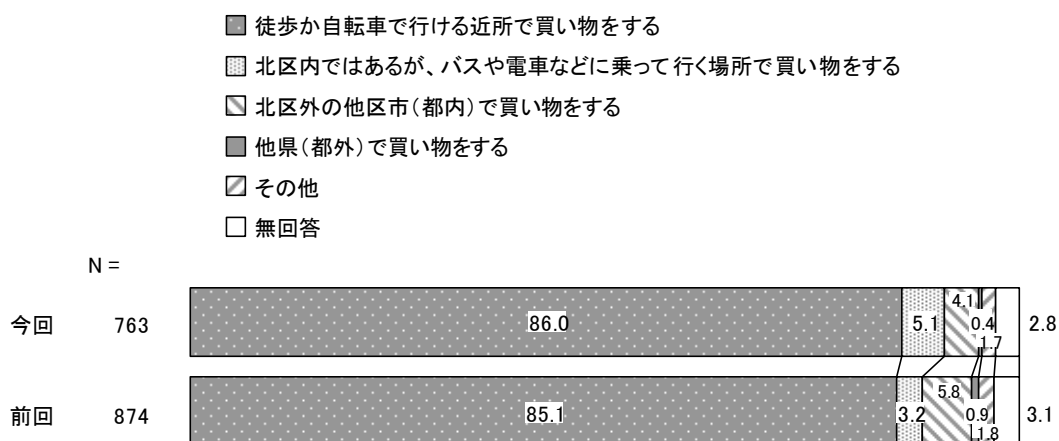
◇「徒歩か自転車で行ける近所で買い物をする」が8割半ば

問6 あなたは、普段どのような場所で日用品や食料品を買いますか。
もっとも多くあてはまるものに、次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

日用品や食料品を買う場所をみると、「徒歩か自転車で行ける近所で買い物をする」(86.0%)が8割半ばと突出して高くなっている。

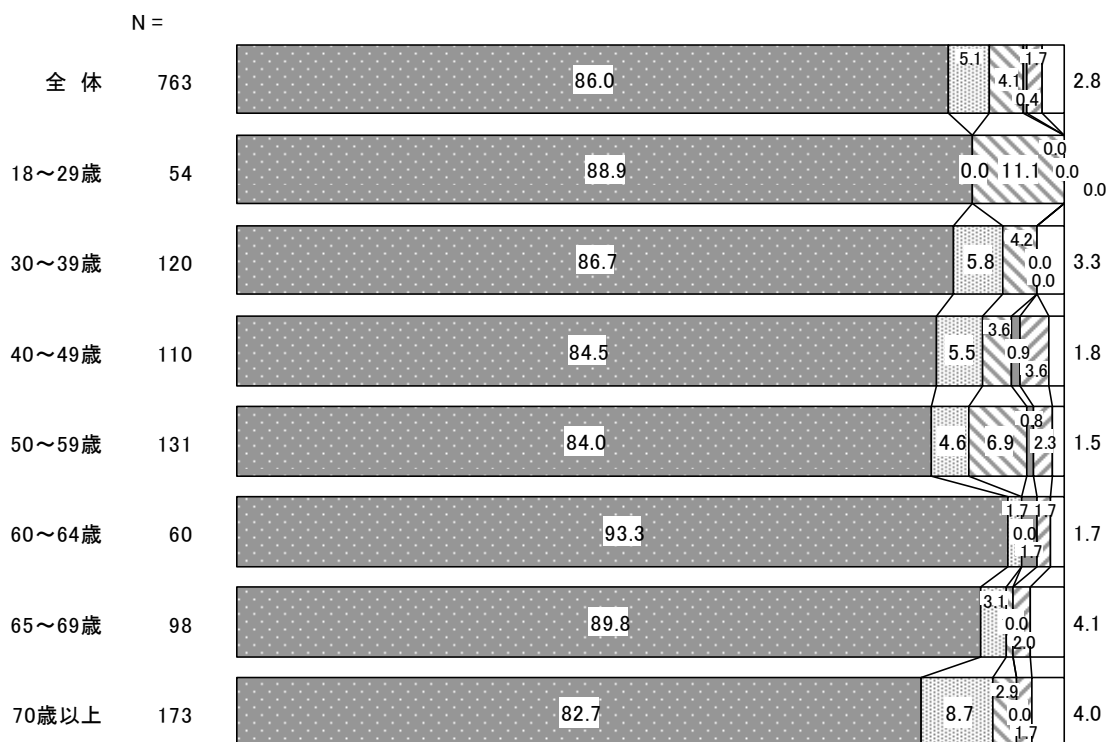
前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。(図表2-2-1)

図表2-2-1 日用品や食料品の買物圏



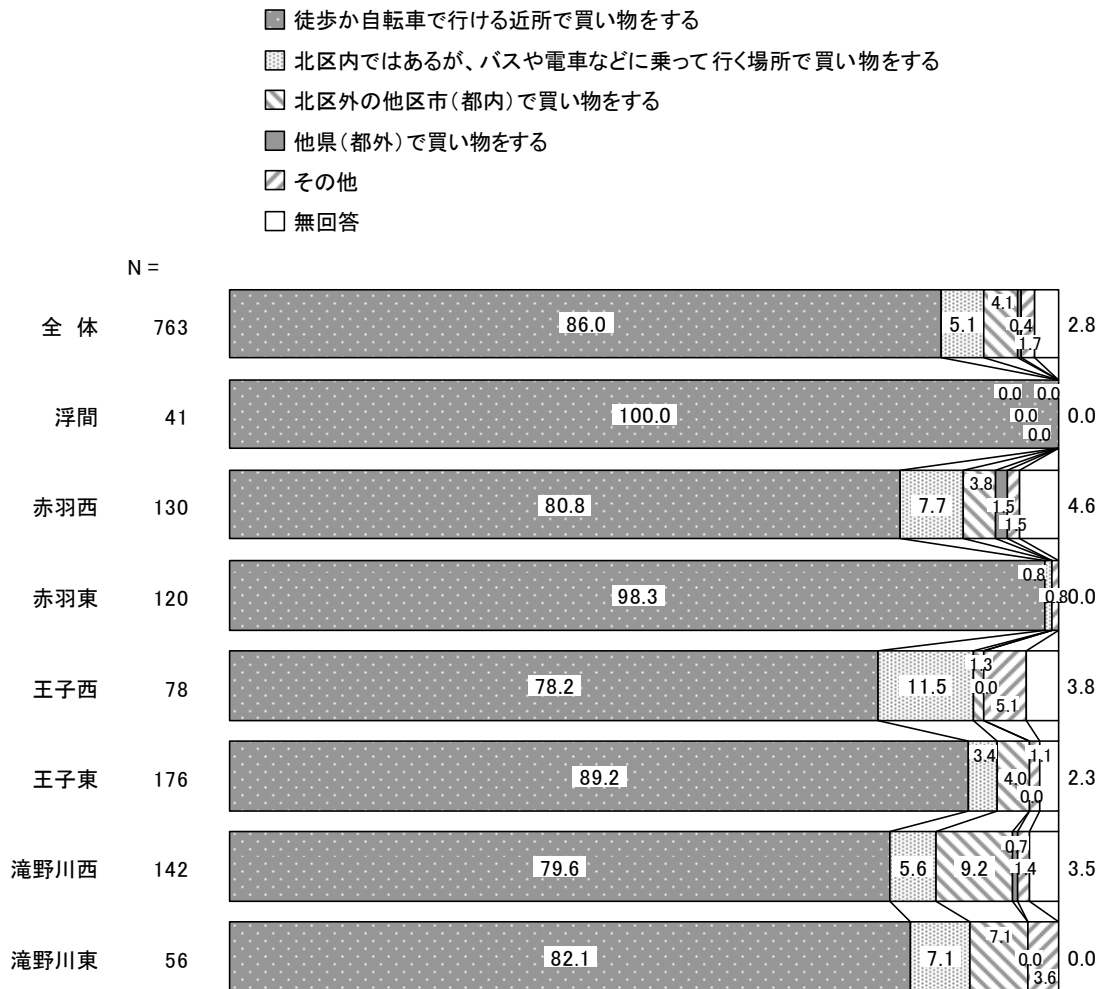
年齢別でみると、「徒歩か自転車で行ける近所で買い物をする」がすべての年齢で最も高くなっている。とくに60~64歳(93.3%)で9割を超え高くなっている。(図表2-2-2)

図表2-2-2 日用品や食料品の買物圏一年齢別



居住地区別でみると、「徒歩か自転車でいける近所で買い物をする」がすべての地区で最も高くなっている。(図表2-2-3)

図表2-2-3 日用品や食料品の買物圏—居住地区別



3 生活環境評価

(1) 生活環境評価

◇満足度が最も高いのは「通勤・通学の便利さ」

満足度が最も低いのは「まちなかの外国語表記の案内板等」

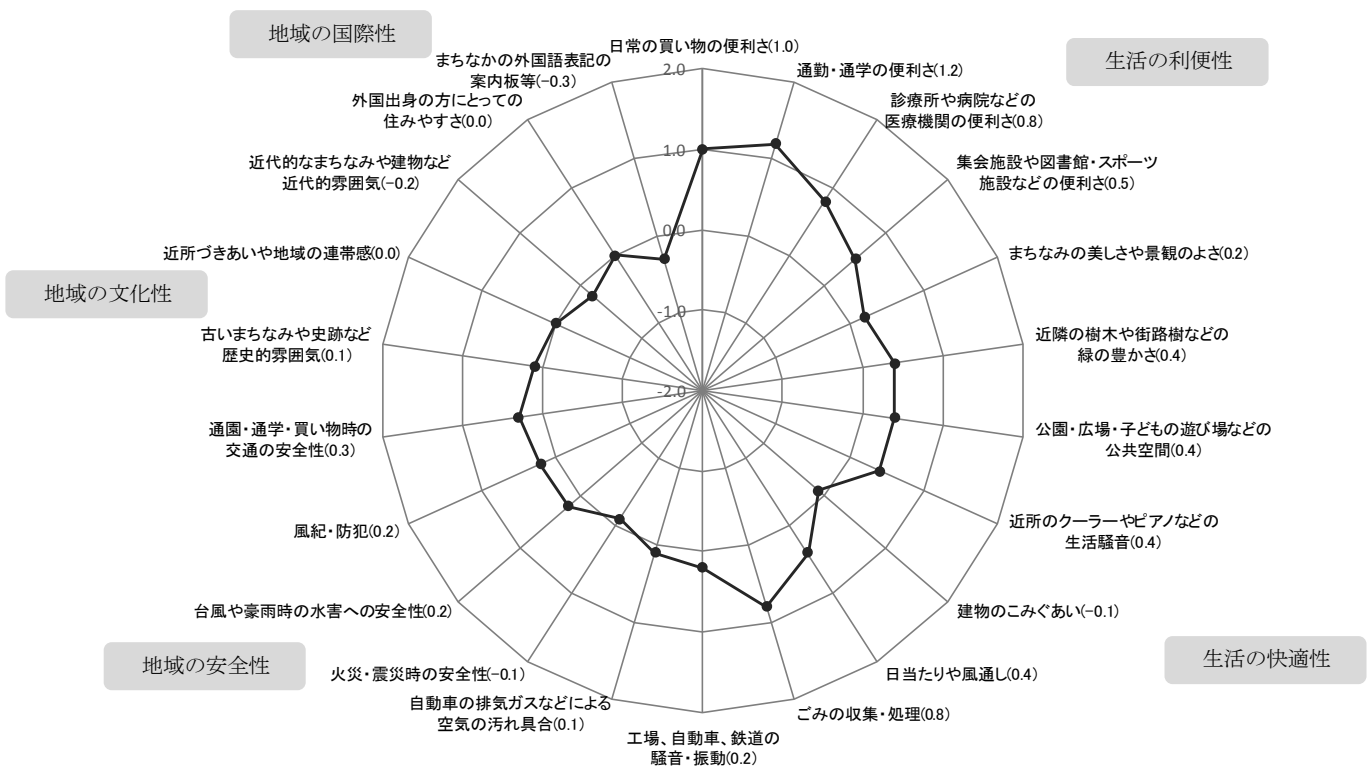
問7 あなたの自宅周辺の生活環境について、どのように感じていますか。例に従い、次の中からあてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

注) 平均評価点 = {「よい」と答えた人数×2点 + 「ややよい」と答えた人数×1点 + 「普通」と答えた人数×0点 + 「ややわるい」と答えた人数×-1点 + 「わるい」と答えた人数×-2点} ÷ 無回答を除く全回答者数
 平均評価点は、2.0に近いほど満足度が高く、-2.0に近いほど満足度が低いこととなる

自宅周辺の生活環境の満足度について、項目ごとに平均評価点を算出したところ、満足度が高いのは「通勤・通学の便利さ」(1.2)、「日常の買い物の便利さ」(1.0)、「診療所や病院などの医療機関の便利さ」(0.8)、「ごみの収集・処理」(0.8)となっている。一方、満足度が低いのは「まちなかの外国語表記の案内板等」(-0.3)、「近代的なまちなみや建物など近代的雰囲気」(-0.2)となっている。

前回調査の線形とほぼ変化はみられない。(図表3-1-1)

図表3-1-1 生活環境評価



居住地区別でみると、満足度が最も高いのは、浮間、赤羽東では「日常の買い物の便利さ」、赤羽西、王子西、王子東、滝野川西、滝野川東では「通勤・通学の便利さ」となっている。満足度が低いのは、王子西での「建物のこみぐあい」、滝野川東での「工場、自動車、鉄道の騒音・振動」となっている。(図表3-1-2)

図表3-1-2 生活環境評価—居住地区別

地域		浮間	赤羽西	赤羽東	王子西	王子東	滝野川西	滝野川東
生活の 利便性	1 日常の買い物の便利さ	1.3	0.9	1.3	1.2	1.1	0.7	0.7
	2 通勤・通学の便利さ	1.1	1.1	1.3	1.3	1.1	1.3	1.4
	3 診療所や病院などの医療機関への便利さ	0.6	0.8	1.0	0.9	0.8	0.8	0.5
	4 集会施設や図書館・スポーツ施設などへの便利さ	0.2	0.5	0.8	0.7	0.5	0.4	0.3
生活の 快適性	5 まちなみの美しさや景観のよさ	0.3	0.3	0.0	0.1	0.1	0.2	0.0
	6 近隣の樹木や街路樹などの緑の豊かさ	0.3	0.3	0.0	0.1	0.1	0.2	0.0
	7 公園・広場・子どもの遊び場などの公共空間	0.7	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	0.2
	8 近所のクーラーやピアノなどの生活騒音	0.3	0.5	0.4	0.1	0.4	0.3	0.4
	9 建物のこみぐあい	0.2	0.0	-0.2	-0.4	-0.1	-0.2	-0.1
	10 日当たりや風通し	0.6	0.4	0.4	0.1	0.4	0.4	0.4
	11 ごみの収集・処理	0.9	0.8	0.7	0.6	0.9	0.9	1.0
	12 工場、自動車、鉄道の騒音・振動	0.1	0.3	0.2	0.0	0.3	0.4	-0.3
	13 自動車の排気ガスなどによる空気の汚れ具合	0.1	0.2	0.0	0.1	0.1	0.3	0.0
地域の 安全性	14 火災・震災時の安全性	-0.3	0.1	-0.1	-0.2	-0.1	0.0	0.0
	15 台風や豪雨時の水害への安全性	-0.4	0.4	-0.2	0.5	-0.1	0.5	0.0
	16 風紀・防犯	0.2	0.2	-0.1	0.2	0.2	0.3	0.2
地域の 文化性	17 通園・通学・買い物時の交通の安全性	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3	0.4	0.2
	18 古いまちなみや史跡など歴史的雰囲気	-0.4	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4	0.2
	19 近所づきあいや地域の連帯感	-0.1	-0.2	-0.1	0.3	-0.1	0.1	0.2
	20 近代的なまちなみや建物など近代的雰囲気	-0.3	-0.2	-0.2	-0.3	-0.2	-0.2	-0.1
国際性 地域の	21 外国出身の方にとっての住みやすさ	-0.2	-0.2	0.1	0.0	0.0	-0.1	0.1
	22 まちなかの外国語表記の案内板等	-0.6	-0.4	-0.3	-0.3	-0.3	-0.4	-0.2

定住意思別でみると、生活の利便性の全項目、生活の快適性の「まちなみの美しさや景観のよさ」、「近隣の樹木や街路樹などの緑の豊かさ」、地域の文化性の「近所づきあいや地域の連帯感」で、『転居意向』の人より『定住意向』の人で満足度が高くなっている。(図表3-1-3)

図表3-1-3 生活環境評価—定住意思別

地域		ずっと住み 続けたい	当分は住み 続けたい	いずれは 転居したい	すぐにでも 転居したい	
生活の 利便性	1	日常の買い物の便利さ	1.2	1.0	0.6	0.8
	2	通勤・通学の便利さ	1.4	1.2	0.9	0.7
	3	診療所や病院などの医療機関への便利さ	1.1	0.8	0.3	0.3
	4	集会施設や図書館・スポーツ施設などへの便利さ	0.7	0.5	0.0	0.1
生活の 快適性	5	まちなみの美しさや景観のよさ	0.3	0.1	-0.1	-0.1
	6	近隣の樹木や街路樹などの緑の豊かさ	0.5	0.3	0.1	0.0
	7	公園・広場・子どもの遊び場などの公共空間	0.4	0.4	0.2	-0.2
	8	近所のクーラーやピアノなどの生活騒音	0.5	0.3	0.2	-0.2
	9	建物のこみぐあい	0.0	-0.2	-0.2	-0.1
	10	日当たりや風通し	0.5	0.3	0.3	0.6
	11	ごみの収集・処理	0.9	0.8	0.7	0.7
	12	工場、自動車、鉄道の騒音・振動	0.4	0.1	0.0	0.4
	13	自動車の排気ガスなどによる空気の汚れ具合	0.3	0.1	-0.1	0.3
地域の 安全性	14	火災・震災時の安全性	0.0	-0.1	-0.1	0.1
	15	台風や豪雨時の水害への安全性	0.3	0.1	0.0	0.1
	16	風紀・防犯	0.3	0.1	0.0	-0.4
地域の 文化性	17	通園・通学・買い物時の交通の安全性	0.4	0.2	0.1	0.6
	18	古いまちなみや史跡など歴史的雰囲気	0.2	0.1	-0.1	-0.1
	19	近所づきあいや地域の連帯感	0.2	-0.1	-0.3	-0.6
	20	近代的なまちなみや建物など近代的雰囲気	-0.1	-0.2	-0.4	0.1
国際性 地域の	21	外国出身の方にとっての住みやすさ	0.0	-0.1	-0.1	0.0
	22	まちなかの外国語表記の案内板等	-0.3	-0.3	-0.4	-0.1

(2) 自宅周辺の住みやすさ

◇『住みやすい』が8割半ば

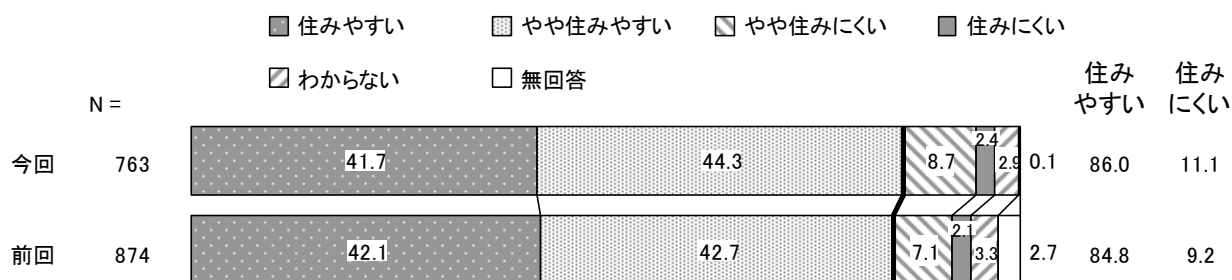
問8 あなたの自宅周辺は、全体的に見て住みやすいところだと思いますか。
次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

自宅周辺の住みやすさをみると、「やや住みやすい」(44.3%)が最も高くなっており、「住みやすい」(41.7%)と合わせた『住みやすい』(86.0%)が8割半ばを占めている。

一方、「やや住みにくい」(8.7%)と「住みにくい」(2.4%)を合わせた『住みにくい』(11.1%)は1割を超えている。

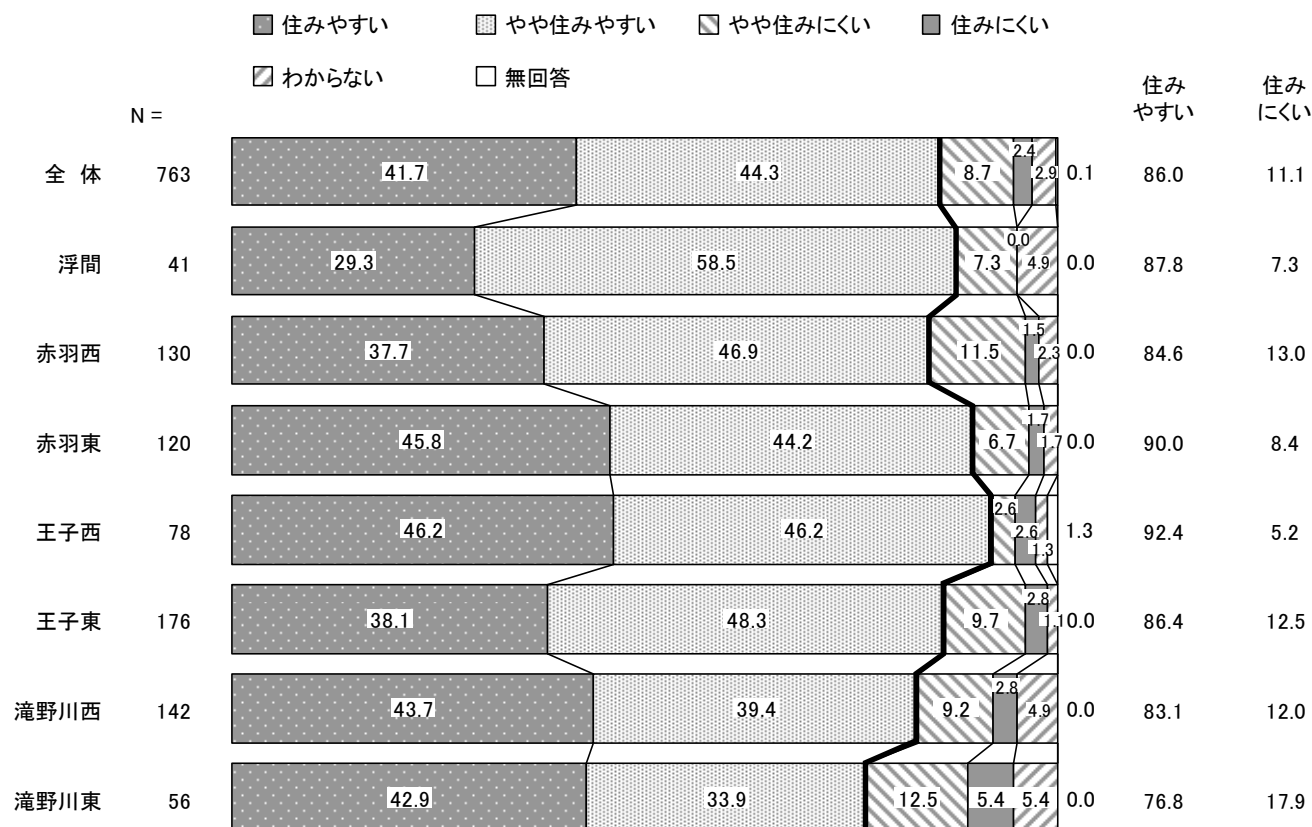
前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。(図表3-2-1)

図表3-2-1 自宅周辺の住みやすさ



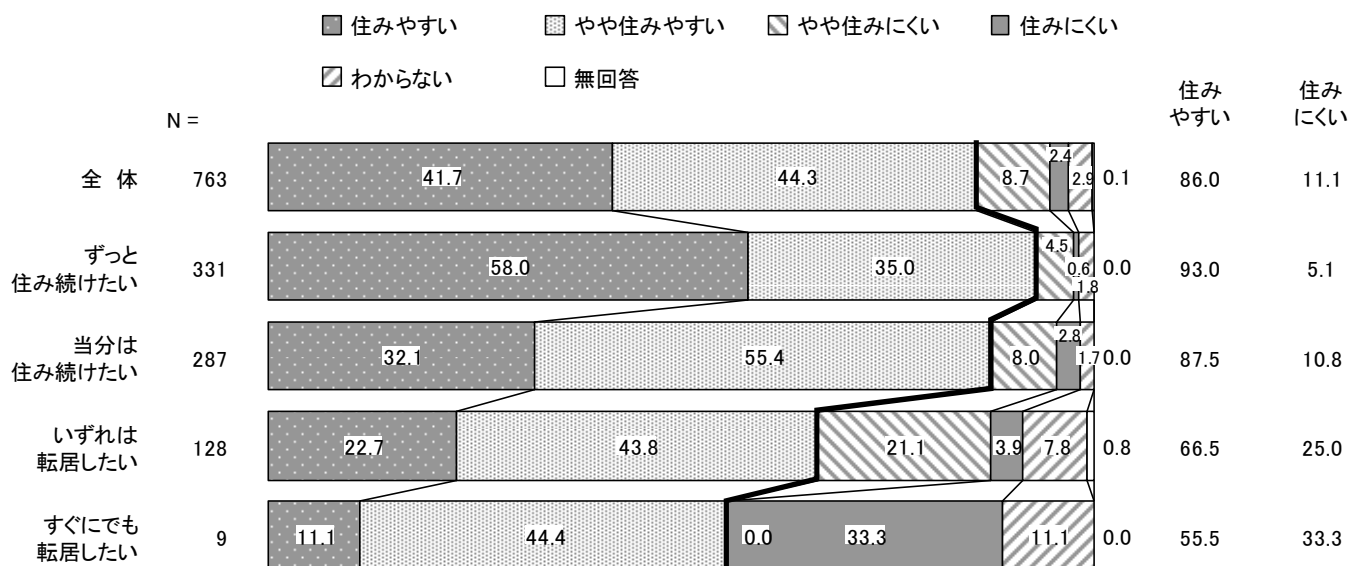
居住地区別でみると、『住みやすい』は赤羽東(90.0%)、王子西(92.4%)で9割以上と高くなっている。(図表3-2-2)

図表3-2-2 自宅周辺の住みやすさ-居住地区別



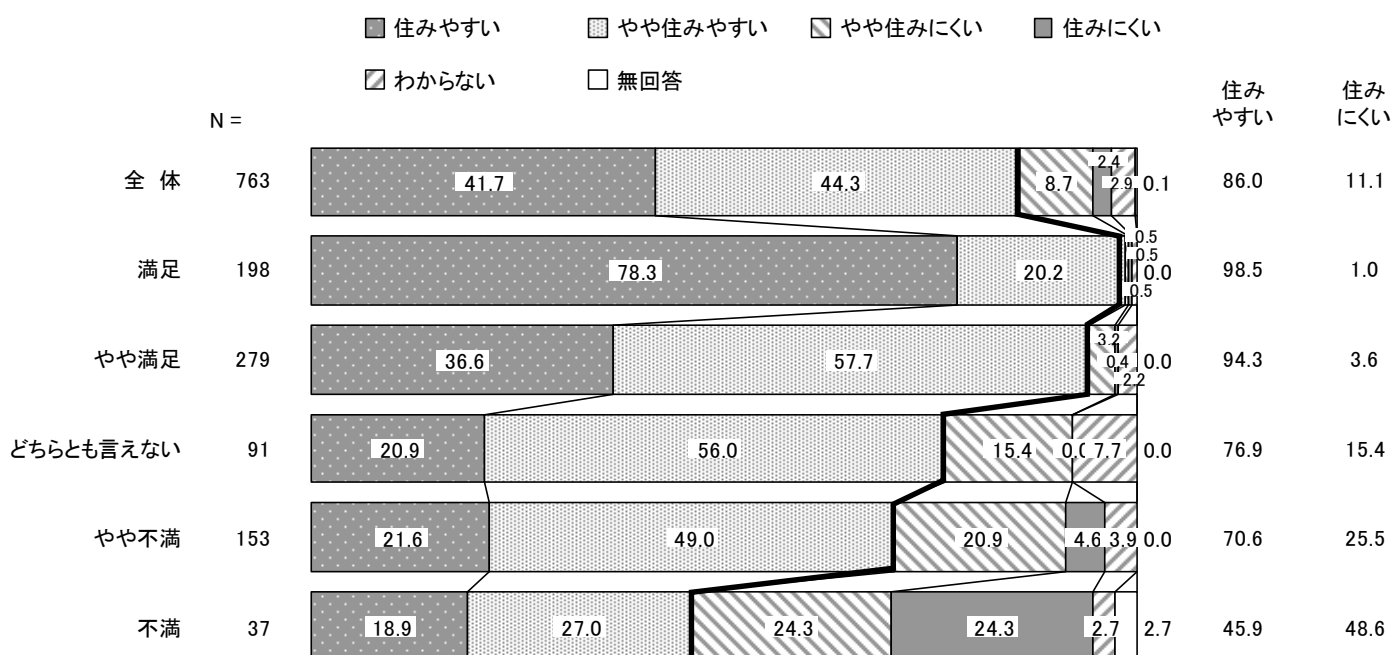
定住意思別でみると、『住みやすい』は定住意思が強くなるほど割合が高くなっており、“ずっと住み続けたい”（93.0%）で9割を超えて高くなっている。（図表3-2-3）

図表3-2-3 自宅周辺の住みやすさ—定住意思別



住宅の満足度別でみると、『住みやすい』は住宅の満足度が高くなるほど割合が高くなっており、“満足”（98.5%）ではほぼ10割と高くなっている。（図表3-2-4）

図表3-2-4 自宅周辺の住みやすさ—住宅の満足度別



(3) - 1 住宅の満足度

◇『満足派』が6割を超えている

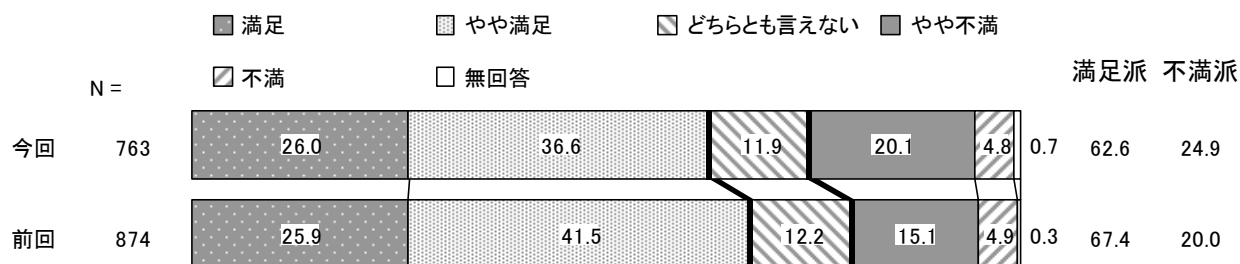
問9 あなたは今住んでいる住宅に満足していますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

住宅の満足度をみると、「やや満足」(36.6%)が最も高くなっており、「満足」(26.0%)と合わせた『満足派』(62.6%)が6割を超えている。

一方、「やや不満」(20.1%)と「不満」(4.8%)を合わせた『不満派』(24.9%)は2割半ばになっている。

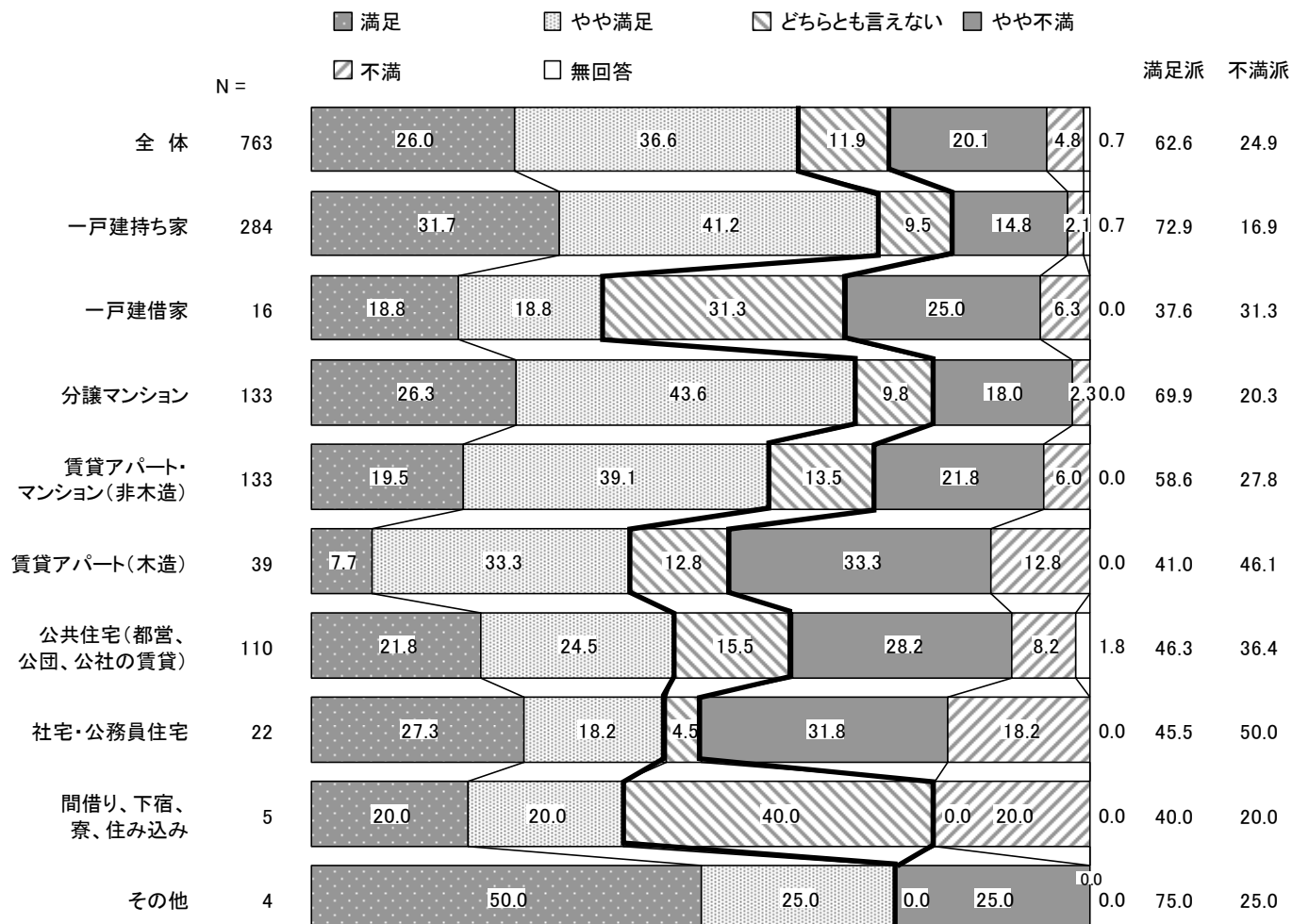
前回調査と比較すると、『満足派』が減少し、『不満派』が増加している。(図表3-3-1-1)

図表3-3-1-1 住宅の満足度



住居形態別でみると、『満足派』は一戸建持ち家(72.9%)、分譲マンション(69.9%)で約7割と高くなっている。(図表3-3-1-2)

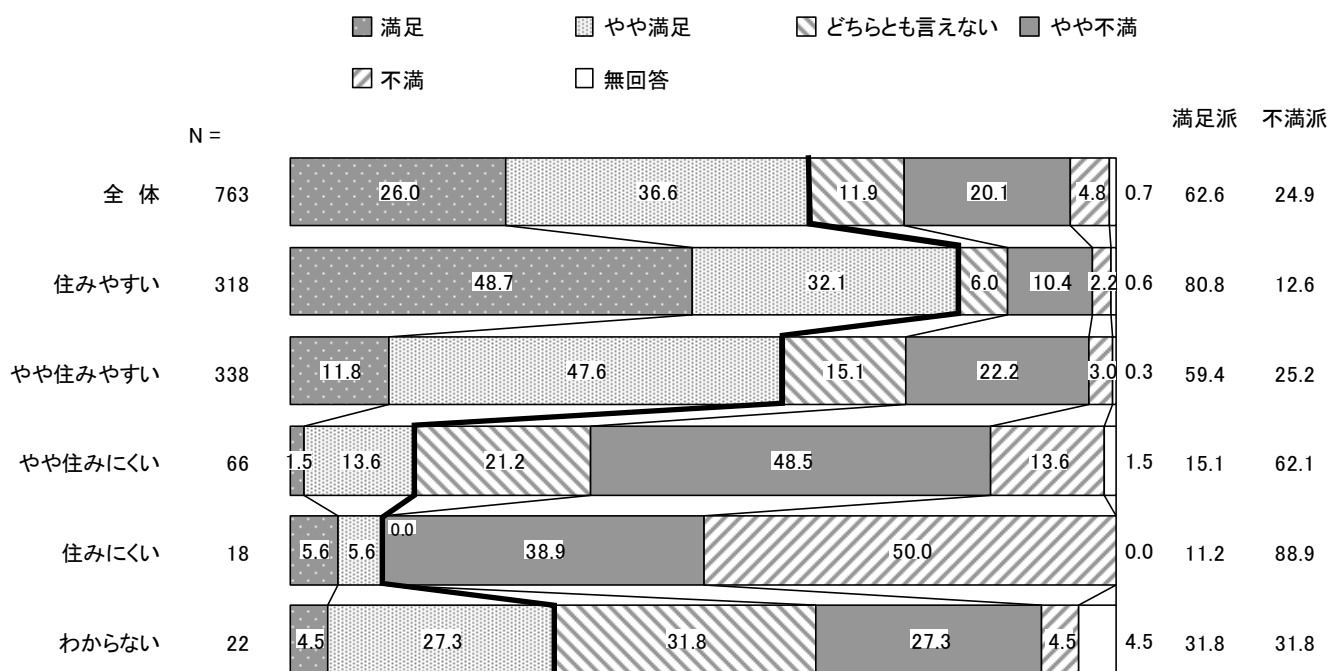
図表3-3-1-2 住宅の満足度—住居形態別



自宅周辺の住みやすさ別でみると、『満足派』は自宅周辺を住みやすいと感じる人ほど割合が高くなっており、“住みやすい”（80.8%）で8割を超えて高くなっている。

（図表 3-3-1-3）

図表 3-3-1-3 住宅の満足度—自宅周辺の住みやすさ別



（3）－ 2 住宅の不满理由

◇「建物が古い」が2割を超えているものの、前回調査よりも減少している

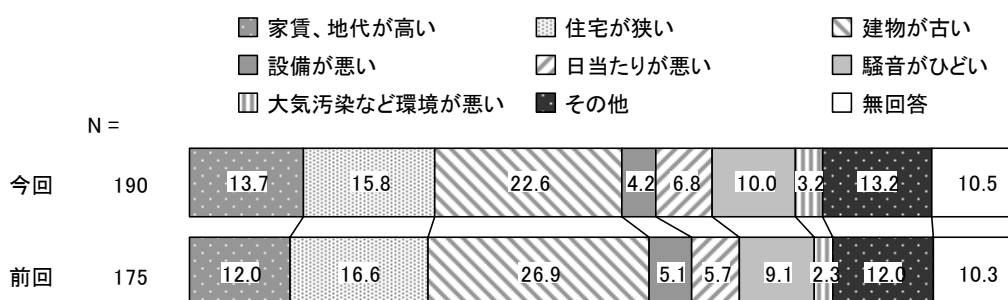
[問 9 で「やや不満」、「不満」とお答えの方にはうかがいます]

問 9-1 住宅に対する不満の理由は何ですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

問 9 で、「やや不満」、「不満」と答えた方（190 人）にその理由を聞いたところ、「建物が古い」（22.6%）が2割を超えて最も高くなっている。次いで、「住宅が狭い」（15.8%）、「家賃、地代が高い」（13.7%）、「騒音がひどい」（10.0%）の順で続いている。

前回調査との比較では、前回と同じく「建物が古い」が最も高くなっているものの、その割合は減少している。（図表 3-3-2-1）

図表 3-3-2-1 住宅の不满理由



4 区政への関心・評価

(1) 区政への関心度

◇『関心』が約6割

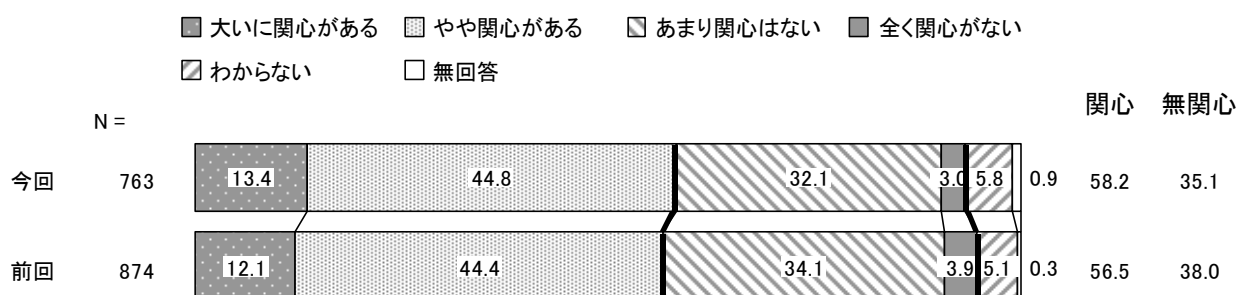
問10 あなたは北区政にどの程度関心がありますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

区政への関心度をみると、「やや関心がある」(44.8%)がも高くなっており、「大いに関心がある」(13.4%)と合わせた『関心』(58.2%)が約6割となっている。

一方、「あまり関心はない」(32.1%)と「全く関心がない」(3.0%)を合わせた『無関心』(35.1%)は3割半ばとなっている。

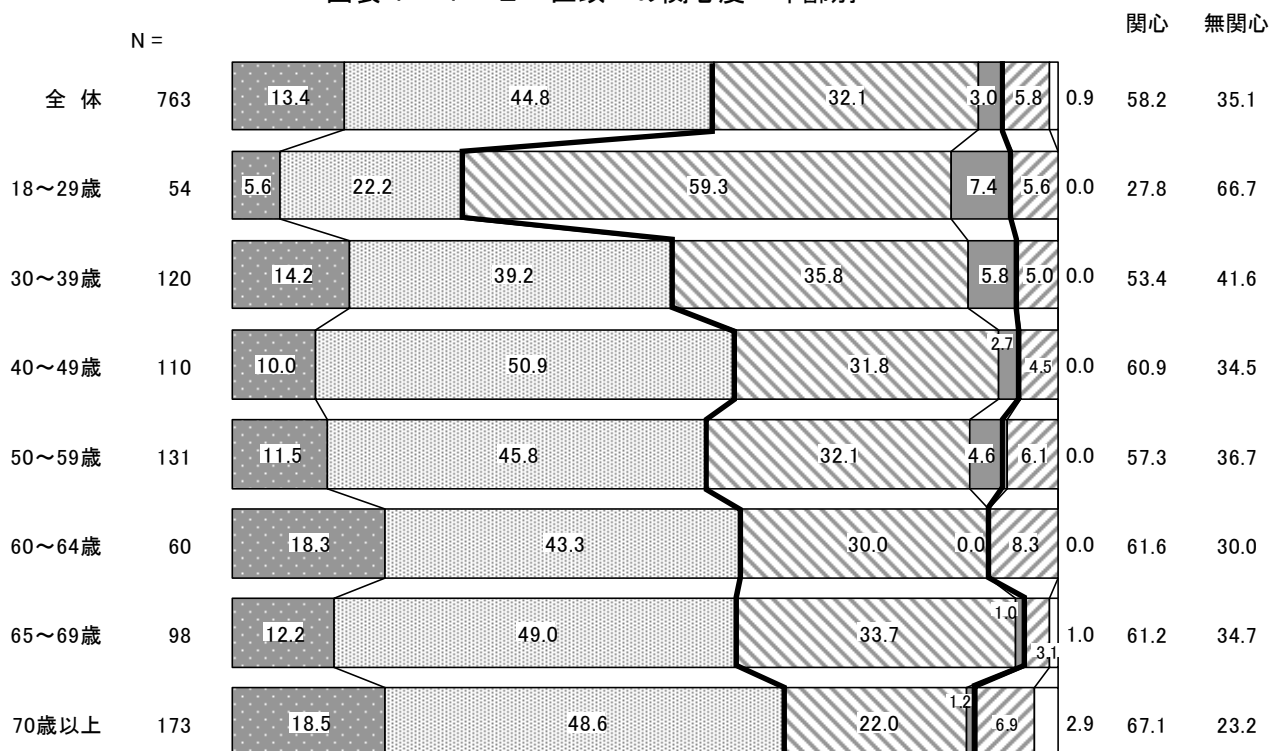
前回調査と比較すると、『無関心』が減少し、『関心』が増加した。(図表4-1-1)

図表4-1-1 区政への関心度



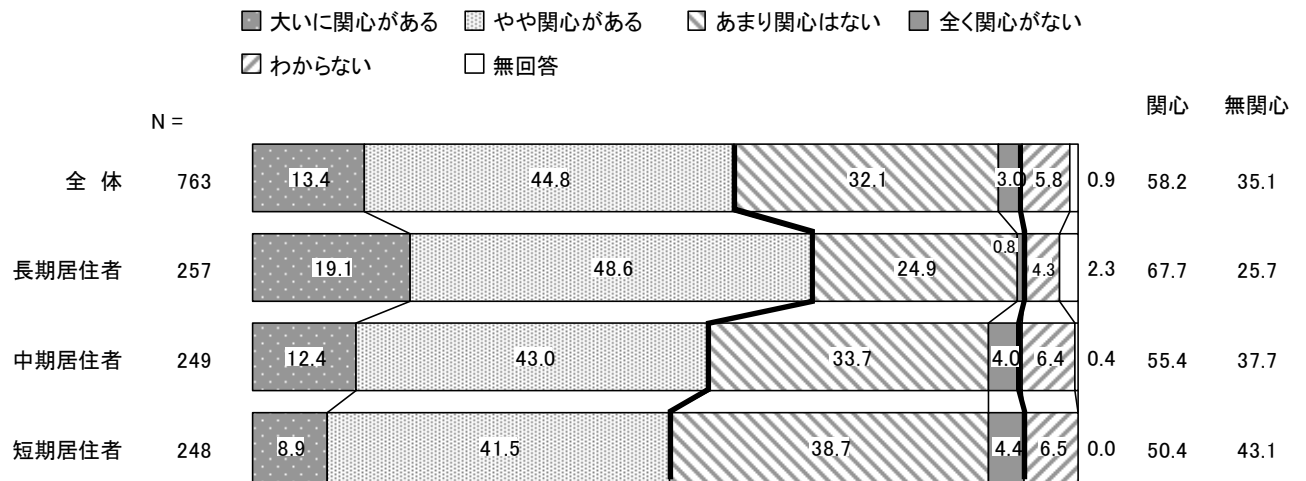
年齢別でみると、『関心』はおおむね年齢が高くなるほど割合が高くなっている。一方、『無関心』は18～29歳(66.7%)で約7割となっている。(図表4-1-2)

図表4-1-2 区政への関心度一年齢別



居住年数別でみると、『関心』は居住年数が長くなるほど割合が高い傾向を示しており、長期居住者（67.7%）では7割近くと高くなっている。（図表4-1-3）

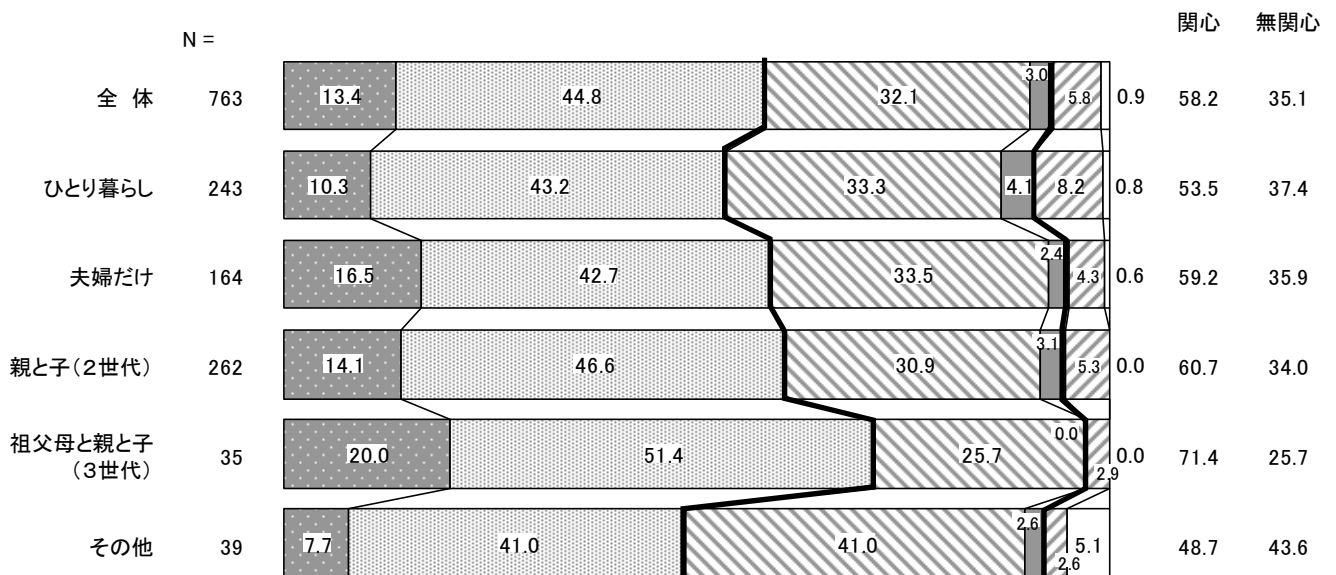
図表4-1-3 区政への関心度－居住年数別



※長期居住者は昭和50年以前から居住している人、中期居住者は昭和51年～平成17年から居住している人、短期居住者は平成18年以降から居住している人のことです。

家族構成別でみると、『関心』は祖父母と親と子（3世代）（71.4%）で7割を超えて高くなっている。また、『無関心』はひとり暮らし（37.4%）が最も高くなっている。（図表4-1-4）

図表4-1-4 区政への関心度－家族構成別



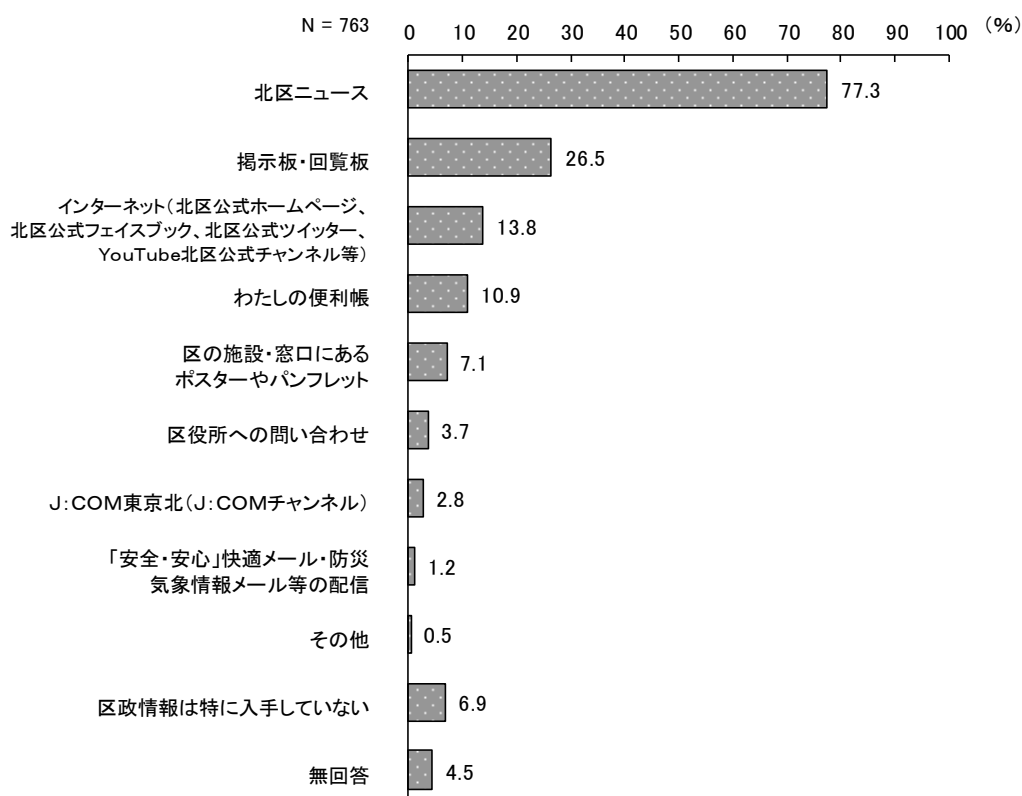
(2) 区政情報の入手先

◇「北区ニュース」が8割近く

問11 あなたは、北区政の情報を主に何から入手していますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

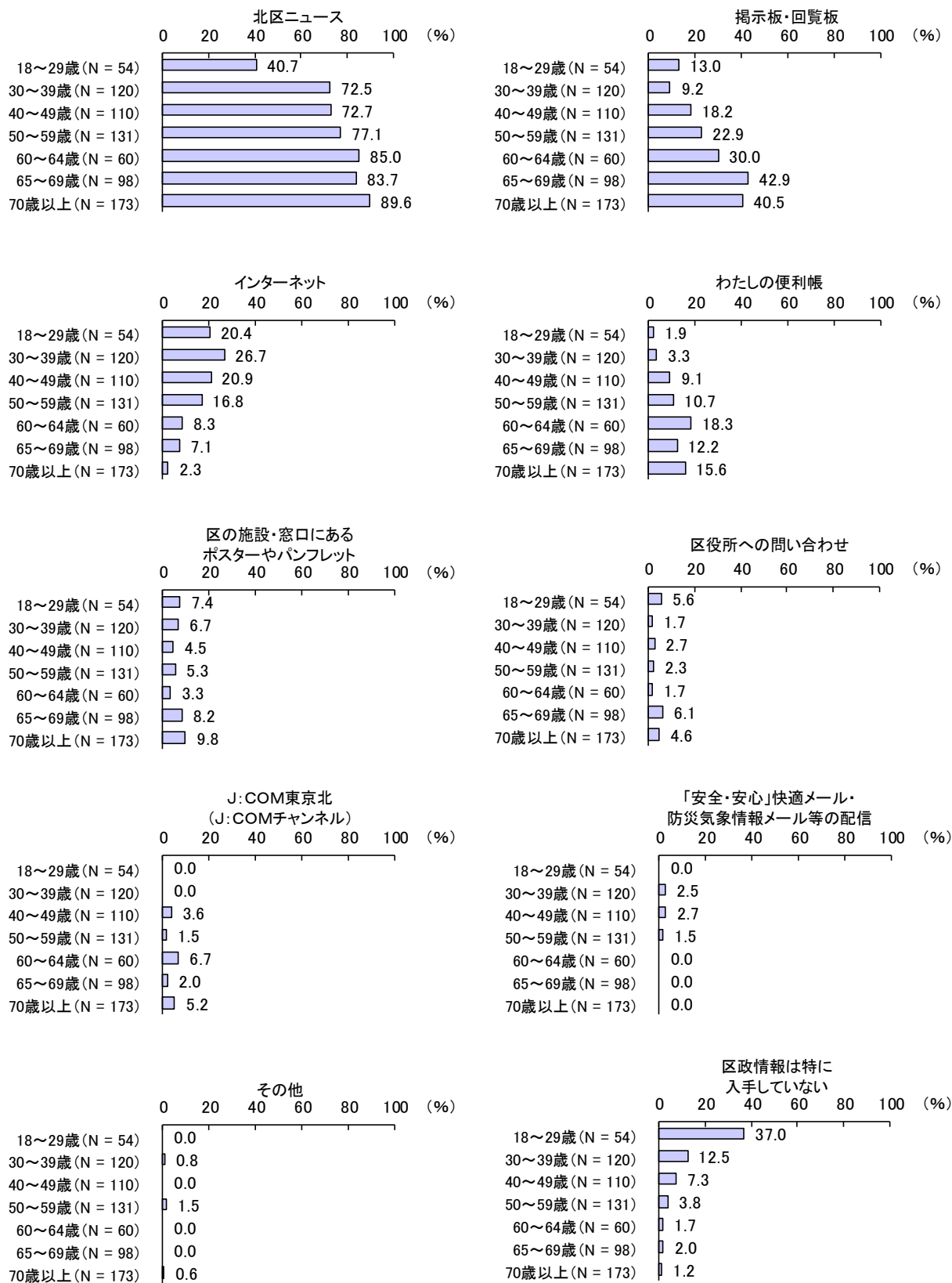
区政情報の入手先をみると、「北区ニュース」(77.3%)が8割近くと突出して高くなっている。次いで、「掲示板・回覧板」(26.5%)、「インターネット(北区公式ホームページ、北区公式フェイスブック、北区公式ツイッター、YouTube北区公式チャンネル等)」(13.8%)、「わたしの便利帳」(10.9%)の順で続いている。(図表4-2-1)

図表4-2-1 区政情報の入手先



年齢別でみると、「北区ニュース」で60歳以上が高くなっている。また、「区政情報は特に入手していない」で18～29歳が4割近くと高くなっている。(図表4-2-2)

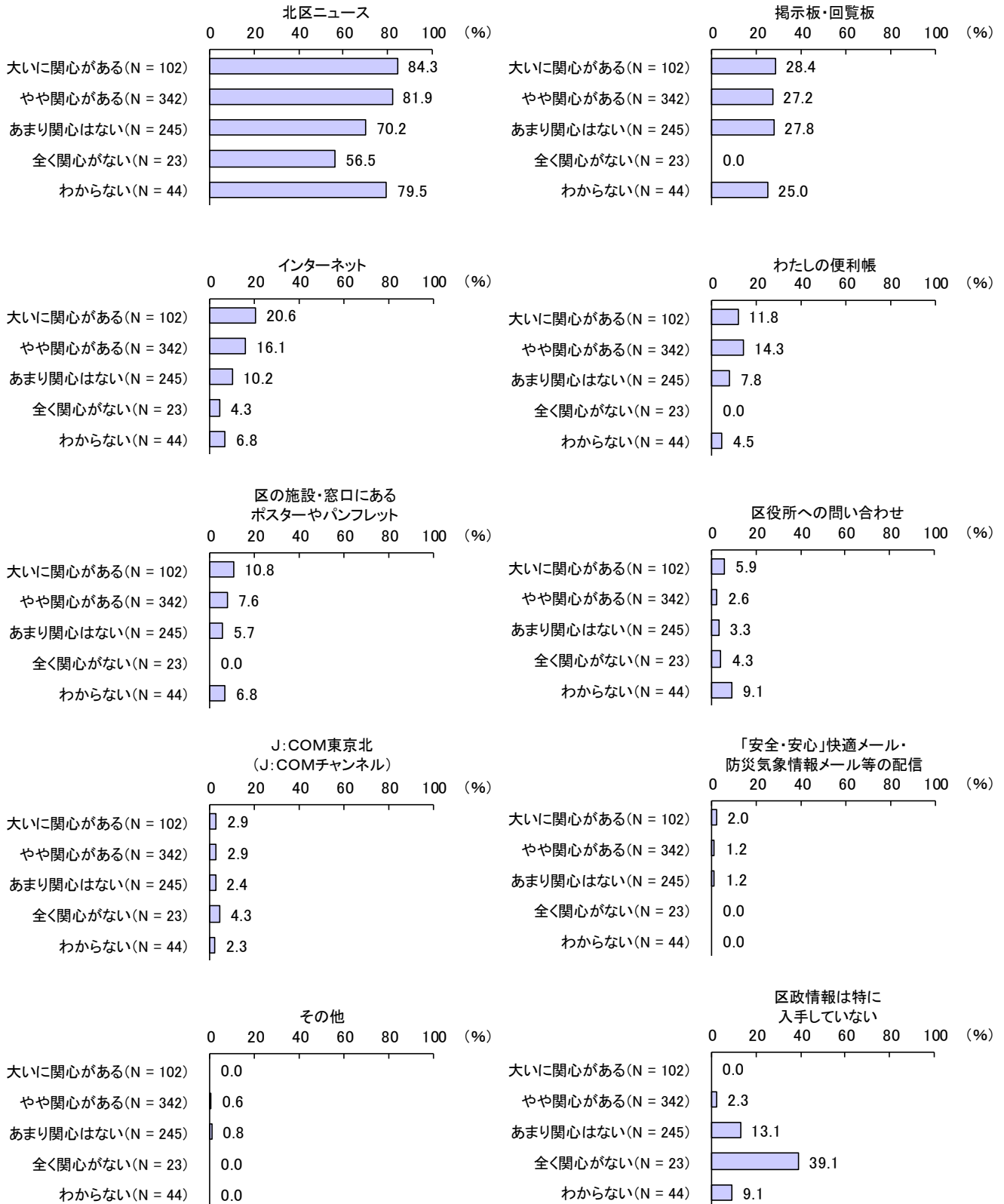
図表4-2-2 区政情報の入手先一年齢別



区政への関心度別でみると、「北区ニュース」で区政に関心がある層が高くなっている。また、「区政情報は特に入手していない」で区政に関心がない層が高くなっている。

(図表4-2-3)

図表4-2-3 区政情報の入手先—区政への関心度別



(3) 区の施策の満足度

◇満足度が最も高いのは「健康づくり（保健・医療体制）の充実」

問 1 2 区が取り組んでいるそれぞれの施策について、あなたはどれくらい満足していますか。例に従い、次の中からあてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

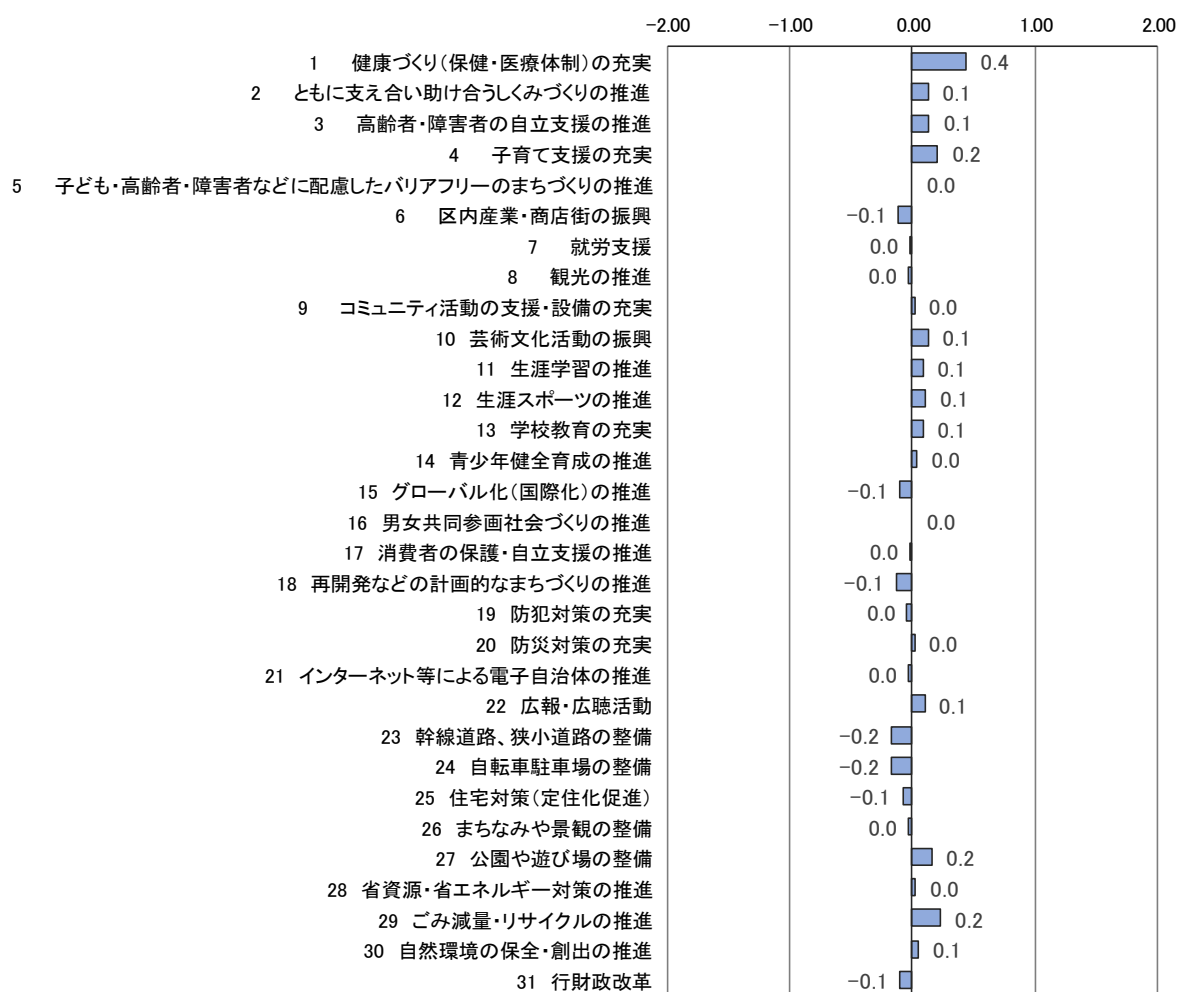
※平均評価点

= (「満足」と答えた人数×2点+「やや満足」と答えた人数×1点
+「どちらとも言えない」と答えた人数×0点+「やや不満」と答えた人数×-1点
+「不満」と答えた人数×-2点) ÷無回答を除く全回答者数

平均評価点は、2.0に近いほど満足度が高く、-2.0に近いほど満足度が低いことになる。

区の施策の満足度について、各施策に対する満足度の平均評価点でみると、「1 健康づくり（保健・医療体制）の充実」(0.4)が最も高くなっている。次いで、「4 子育て支援の充実」(0.2)、「27 公園や遊び場の整備」(0.2)、「29 ごみ減量・リサイクルの推進」(0.2)が続いている。一方、「23 幹線道路、狭小道路の整備」(-0.2)、「24 自転車駐車場の整備」(-0.2)は満足度が最も低くなっている。(図表4-3-1)

図表4-3-1 区の施策の満足度



年齢別でみると、18～29歳で「公園や遊び場の整備」、30歳以上で「健康づくり（保健・医療体制）の充実」の満足度が最も高くなっている。また、他の年齢に比べ、18～29歳で「子ども・高齢者・障害者などに配慮したバリアフリーのまちづくりの推進」、「公園や遊び場の整備」、「自然環境の保全・創出の推進」が、30～39歳で「子育て支援の充実」が、70歳以上で「健康づくり（保健・医療体制）の充実」、「防犯対策の充実」、「防災対策の充実」、「ごみ減量・リサイクルの推進」の満足度が高くなっている。（図表4-3-2）

図表4-3-2 区の施策の満足度一年齢別

年齢		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
1	健康づくり(保健・医療体制)の充実	0.3	0.4	0.5	0.3	0.3	0.5	0.7
2	ともに支え合い助け合うしくみづくりの推進 (ボランティア・市民活動団体による福祉サービスなど)	0.2	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2
3	高齢者・障害者の自立支援の推進	0.3	0.2	0.2	-0.1	0.1	0.1	0.2
4	子育て支援の充実	0.3	0.4	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2
5	子ども・高齢者・障害者などに配慮した バリアフリーのまちづくりの推進	0.3	0.1	-0.1	-0.2	-0.2	-0.1	0.1
6	区内産業・商店街の振興	0.0	0.1	-0.1	-0.4	-0.3	-0.1	-0.1
7	就労支援	0.1	0.1	-0.1	-0.1	-0.2	0.0	0.0
8	観光の推進	0.1	0.0	-0.1	-0.2	0.0	0.0	0.1
9	コミュニティ活動の支援・設備の充実	0.1	0.1	0.0	-0.1	0.0	0.0	0.1
10	芸術文化活動の振興	0.2	0.3	0.2	-0.1	0.1	0.1	0.2
11	生涯学習の推進	0.2	0.2	0.1	-0.1	0.1	0.1	0.2
12	生涯スポーツの推進	0.1	0.2	0.2	-0.1	0.1	0.1	0.2
13	学校教育の充実	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2
14	青少年健全育成の推進	0.1	0.1	0.0	-0.1	0.0	0.0	0.2
15	グローバル化(国際化)の推進	0.0	-0.1	-0.1	-0.3	-0.1	-0.1	0.0
16	男女共同参画社会づくりの推進	0.2	0.1	0.0	-0.2	-0.1	0.0	0.0
17	消費者の保護・自立支援の推進	0.1	0.0	0.0	-0.1	-0.1	-0.1	0.1
18	再開発などの計画的なまちづくりの推進	-0.1	-0.1	-0.2	-0.3	-0.3	-0.2	0.0
19	防犯対策の充実	0.0	0.0	-0.1	-0.3	-0.2	0.0	0.2
20	防災対策の充実	0.2	0.0	0.0	-0.2	-0.2	0.1	0.3
21	インターネット等による電子自治体の推進 (電子申請やマイナンバー制度の活用など)	0.2	0.1	0.0	-0.2	-0.1	0.0	0.0
22	広報・広聴活動	0.1	0.1	0.1	-0.1	0.0	0.2	0.3
23	幹線道路、狭小道路の整備	0.1	-0.3	-0.3	-0.2	-0.3	-0.2	0.0
24	自転車駐車場の整備	-0.1	-0.3	-0.3	-0.3	-0.2	-0.1	0.0
25	住宅対策(定住化促進)	0.0	0.0	-0.1	-0.3	-0.1	0.0	-0.1
26	まちなみや景観の整備	0.2	-0.1	-0.1	-0.2	-0.1	0.0	0.1
27	公園や遊び場の整備	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
28	省資源・省エネルギー対策の推進	0.0	0.1	0.0	-0.1	-0.1	0.0	0.2
29	ごみ減量・リサイクルの推進	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.5
30	自然環境の保全・創出の推進	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
31	行財政改革	0.0	-0.1	-0.2	-0.2	-0.1	-0.1	0.0

(4) 区の施策の重要度

◇重要度が高いのは「防災対策の充実」と「防犯対策の充実」

問13 区が取り組んでいるそれぞれの施策は、あなたにとってどれくらい重要であると思いますか。例に従い、次の中からあてはまるものにそれぞれ1つずつ〇をつけてください。

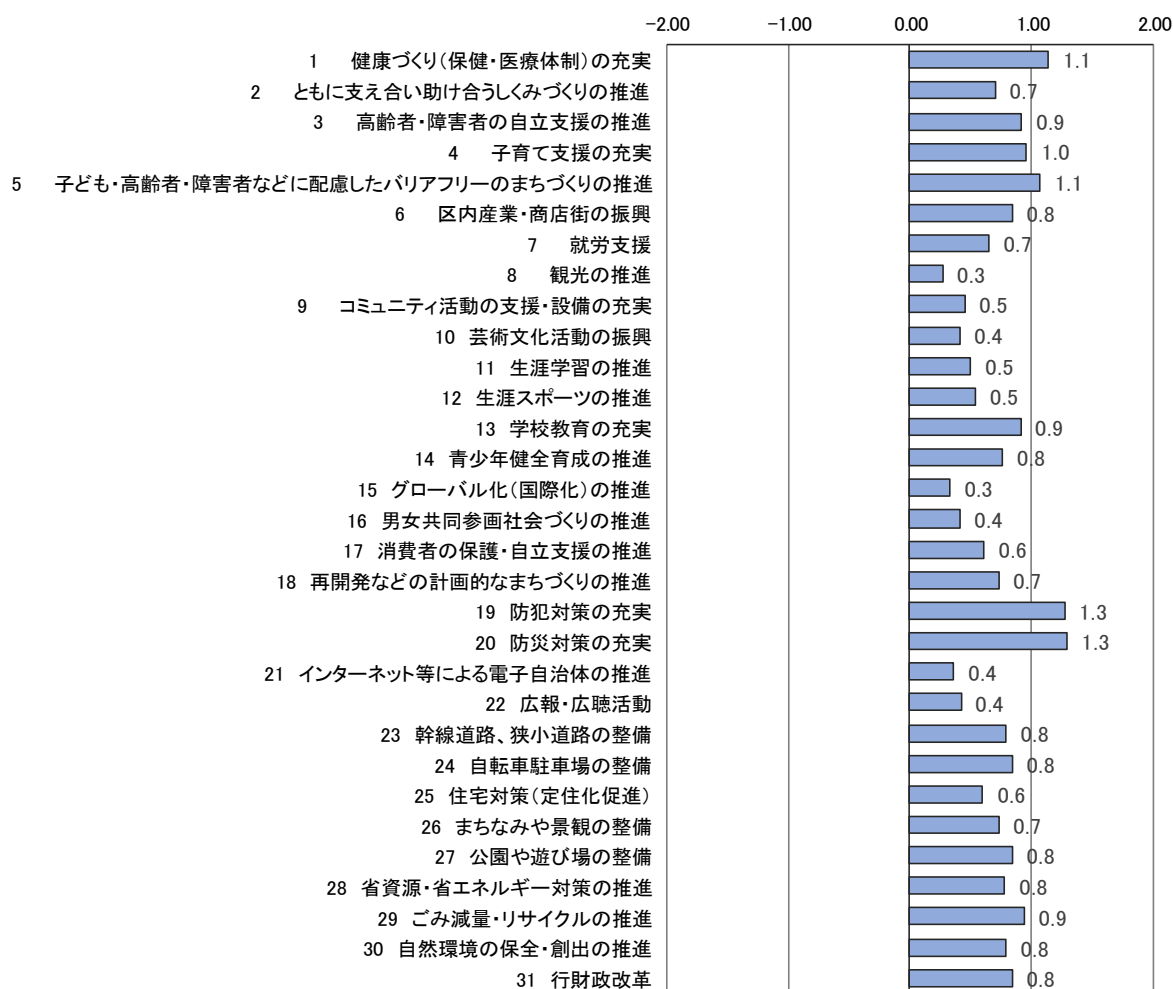
注) 平均評価点＝

(「重要」と答えた人数×2点+「やや重要」と答えた人数×1点
+「どちらとも言えない」と答えた人数×0点+「やや重要でない」と答えた人数×-1点
+「重要でない」と答えた人数×-2点)÷無回答を除く全回答者数

平均評価点は、2.0に近いほど重要度が高く、-2.0に近いほど重要度が低いこととなる

区の施策の重要度について、各施策に対する重要度の平均評価点でみると、「19 防犯対策の充実」(1.3)、「20 防災対策の充実」(1.3)が最も高くなっている。次いで、「1 健康づくり(保健・医療体制)の充実」(1.1)、「5 子ども・高齢者・障害者などに配慮したバリアフリーのまちづくりの推進」(1.1)の順で続いている。また、「8 観光の推進」(0.3)、「15 グローバル化(国際化)の推進」(0.3)で重要度が最も低くなっている。(図表4-4-1)

図表4-4-1 区の施策の重要度



年齢別でみると、すべての年齢で「防犯対策の充実」と「防災対策の充実」の重要度が高くなっている。また、他の年齢に比べ、18～29歳では「生涯スポーツの推進」、30～39歳では「子育て支援の充実」、「公園や遊び場の整備」の重要度が高くなっており、年齢が下がるにつれ「インターネット等による電子自治体の推進（電子申請やマイナンバー制度の活用など）」の重要度が高くなっている。（図表4-4-2）

図表4-4-2 区の施策の重要度－年齢別

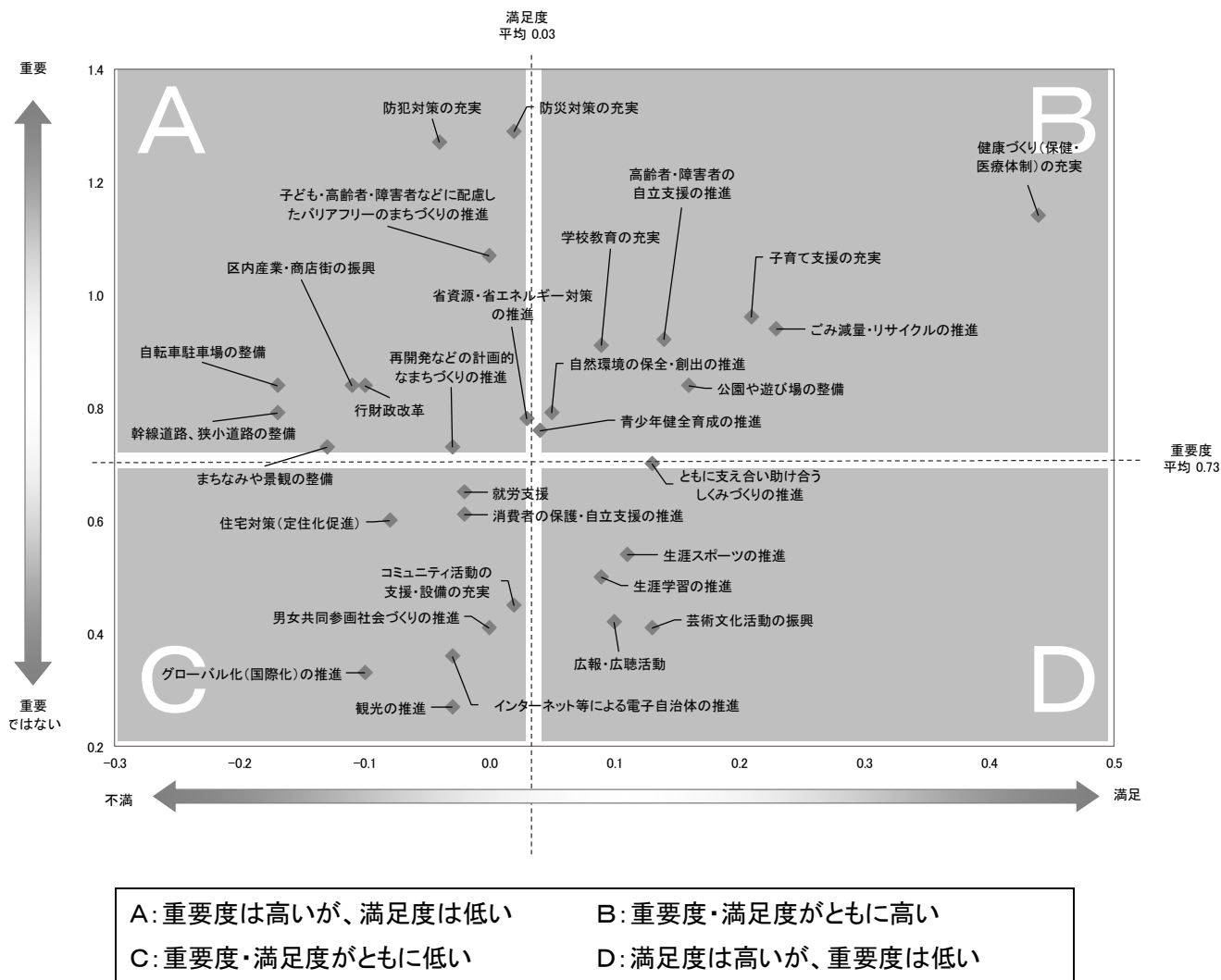
年齢		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
1	健康づくり(保健・医療体制)の充実	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2
2	ともに支え合い助け合うしくみづくりの推進 (ボランティア・市民活動団体による福祉サービスなど)	0.3	0.4	0.6	0.8	0.8	1.0	0.8
3	高齢者・障害者の自立支援の推進	0.7	0.6	0.9	1.0	1.1	1.2	1.0
4	子育て支援の充実	0.9	1.3	1.1	0.6	1.0	1.1	0.9
5	子ども・高齢者・障害者などに配慮した バリアフリーのまちづくりの推進	1.0	1.1	1.2	0.9	1.0	1.2	1.0
6	区内産業・商店街の振興	1.0	1.0	0.9	0.8	0.7	0.9	0.8
7	就労支援	0.6	0.5	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7
8	観光の推進	0.4	0.1	0.2	0.1	0.4	0.4	0.4
9	コミュニティ活動の支援・設備の充実	0.3	0.2	0.4	0.4	0.5	0.7	0.6
10	芸術文化活動の振興	0.5	0.3	0.3	0.4	0.6	0.5	0.5
11	生涯学習の推進	0.5	0.3	0.6	0.5	0.6	0.6	0.6
12	生涯スポーツの推進	0.8	0.5	0.6	0.4	0.5	0.6	0.6
13	学校教育の充実	1.0	1.1	1.1	0.6	0.9	0.9	0.9
14	青少年健全育成の推進	0.8	0.8	0.8	0.6	0.7	0.9	0.9
15	グローバル化(国際化)の推進	0.3	0.4	0.4	0.2	0.4	0.4	0.4
16	男女共同参画社会づくりの推進	0.4	0.3	0.4	0.3	0.4	0.5	0.5
17	消費者の保護・自立支援の推進	0.7	0.4	0.6	0.6	0.7	0.7	0.8
18	再開発などの計画的なまちづくりの推進	0.8	0.9	0.7	0.7	0.8	0.6	0.7
19	防犯対策の充実	1.4	1.3	1.5	1.2	1.2	1.3	1.2
20	防災対策の充実	1.4	1.4	1.5	1.2	1.3	1.3	1.2
21	インターネット等による電子自治体の推進 (電子申請やマイナンバー制度の活用など)	0.7	0.6	0.4	0.4	0.2	0.2	0.2
22	広報・広聴活動	0.3	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6	0.6
23	幹線道路、狭小道路の整備	0.9	0.9	0.8	0.8	0.9	0.8	0.7
24	自転車駐車場の整備	0.9	0.9	0.8	0.7	0.9	0.9	0.9
25	住宅対策(定住化促進)	0.6	0.6	0.6	0.4	0.7	0.6	0.7
26	まちなみや景観の整備	1.0	0.8	0.8	0.6	0.8	0.7	0.6
27	公園や遊び場の整備	1.0	1.1	0.9	0.6	0.9	0.8	0.8
28	省資源・省エネルギー対策の推進	0.8	0.8	0.9	0.6	0.8	0.8	0.8
29	ごみ減量・リサイクルの推進	1.0	0.8	1.0	0.8	1.0	1.0	1.1
30	自然環境の保全・創出の推進	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9	0.8
31	行財政改革	0.9	0.7	0.8	0.8	0.8	1.0	0.9

(5) 区の施策の満足度と重要度の相関

◇重要度は高いが満足度は低いのは「防災対策の充実」と「防犯対策の充実」

区の施策の満足度と重要度の相関関係をみると、重要度・満足度ともに高いのは「健康づくり(保健・医療体制)の充実」となっている。また、重要度は高いが満足度は低いのは「防災対策の充実」と「防犯対策の充実」となっている。(図表4-5-1)

図表4-5-1 区の施策の満足度と重要度の相関



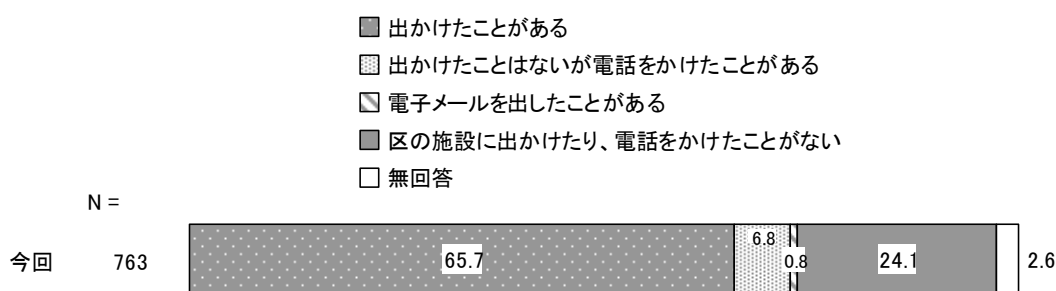
(6) 窓口の利用

◇区の施設に「出かけたことがある」が6割半ば

問14 あなたは、この1年間に区の施設に出かけたり、電話をかけたりしたことがありますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

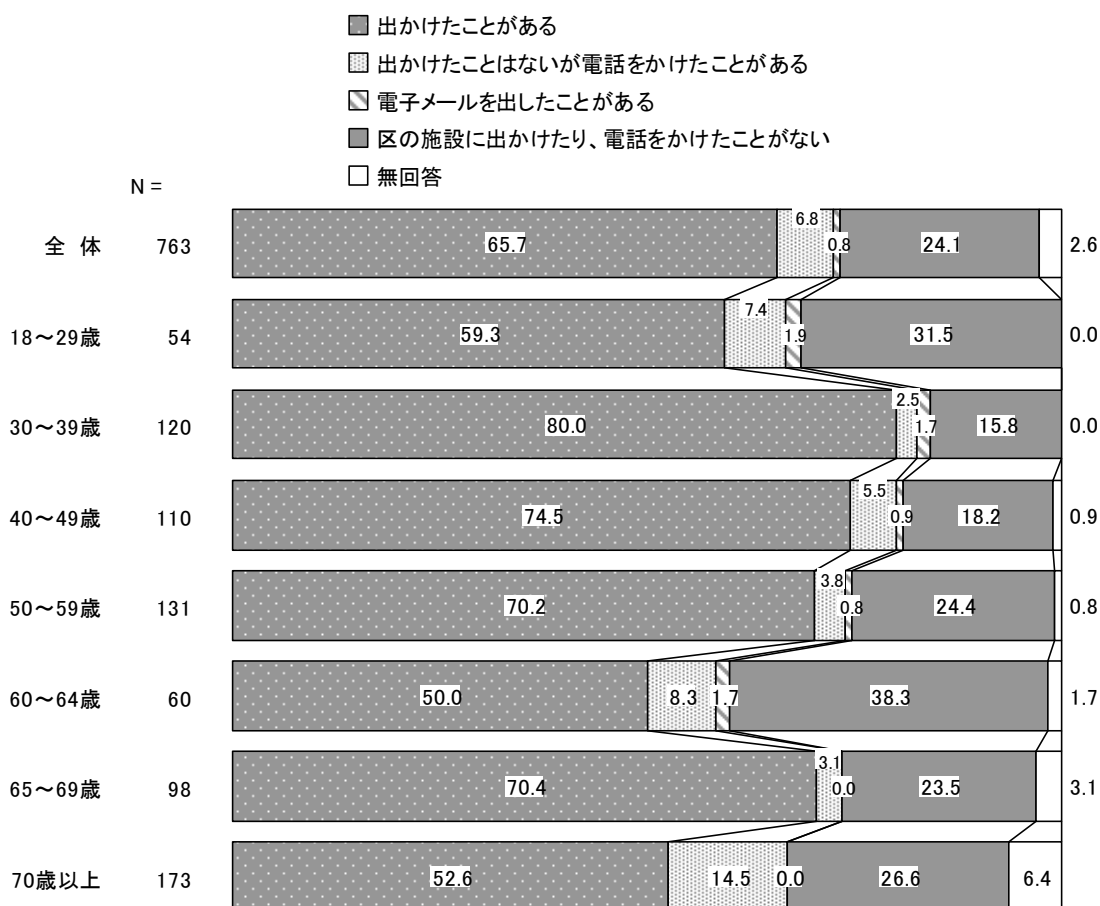
この1年間の区の窓口の利用状況をみると、「出かけたことがある」(65.7%)が6割半ばと最も高くなっており、次いで、「出かけたことはないが電話をかけたことがある」(6.8%)、「電子メールを出したことがある」(0.8%)と続いている。一方、「区の施設に出かけたり、電話をかけたことがない」(24.1%)は2割半ばとなっている。(図表4-6-1)

図表4-6-1 窓口の利用



年齢別でみると、「出かけたことがある」は30～39歳(80.0%)で8割と高くなっている。一方、「区の施設に出かけたり、電話をかけたことがない」は60～64歳(38.3%)で4割近くと高くなっている。(図表4-6-2)

図表4-6-2 窓口の利用一年齢別



(7) - 1 職員の対応

◇「よかった」が6割半ばで前回調査より微増、「悪かった」は1割未満

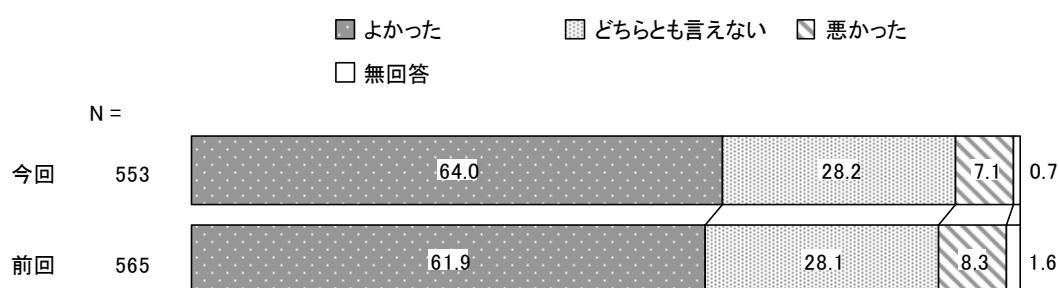
[問14で「出かけたことがある」、「出かけたことはないが電話をかけたことがある」とお答えの方のうちがいます]

問14-1 その時に対応した職員に対して、あなたはどのように感じましたか。

問14で、「出かけたことがある」、「電話をかけたことがある」と答えた方(553人)に、対応した職員に対して、どのように感じたかを聞いたところ、「よかった」(64.0%)が6割半ば、「どちらとも言えない」(28.2%)が3割近く、「悪かった」(7.1%)は1割未満となっている。

前回調査と比較すると、「よかった」がわずかに増加している。(図表4-7-1-1)

図表4-7-1-1 職員の対応



(7) - 2 職員の対応で良い印象を受けなかった理由

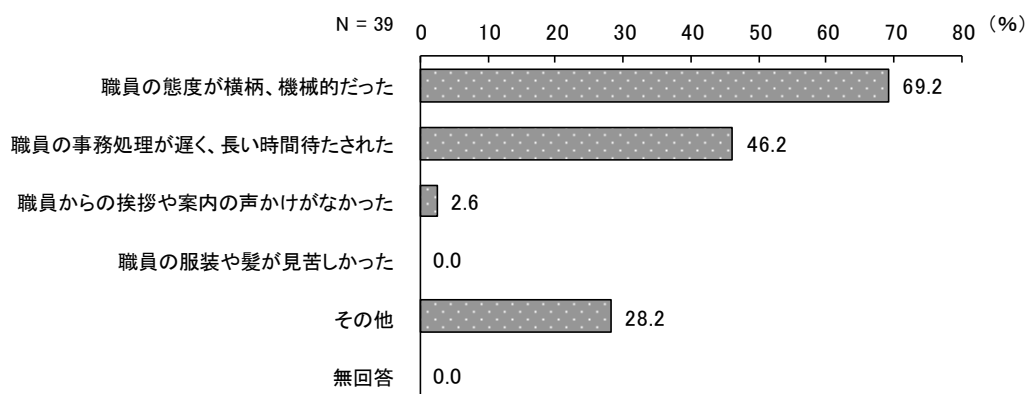
◇「職員の態度が横柄、機械的だった」が7割近く

[問14-1で「悪かった」とお答えの方のうちがいます]

問14-2 悪かった理由は、何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

問14-1で、「悪かった」と答えた方(39人)に、職員の対応が悪かったと感じた理由を聞いたところ、「職員の態度が横柄、機械的だった」(69.2%)が7割近くと高くなっている。次いで、「職員の事務処理が遅く、長い時間待たされた」(46.2%)が続いている。(図表4-7-2-1)

図表4-7-2-1 職員の対応で良い印象を受けなかった理由



(8) 区の経営改革の手法

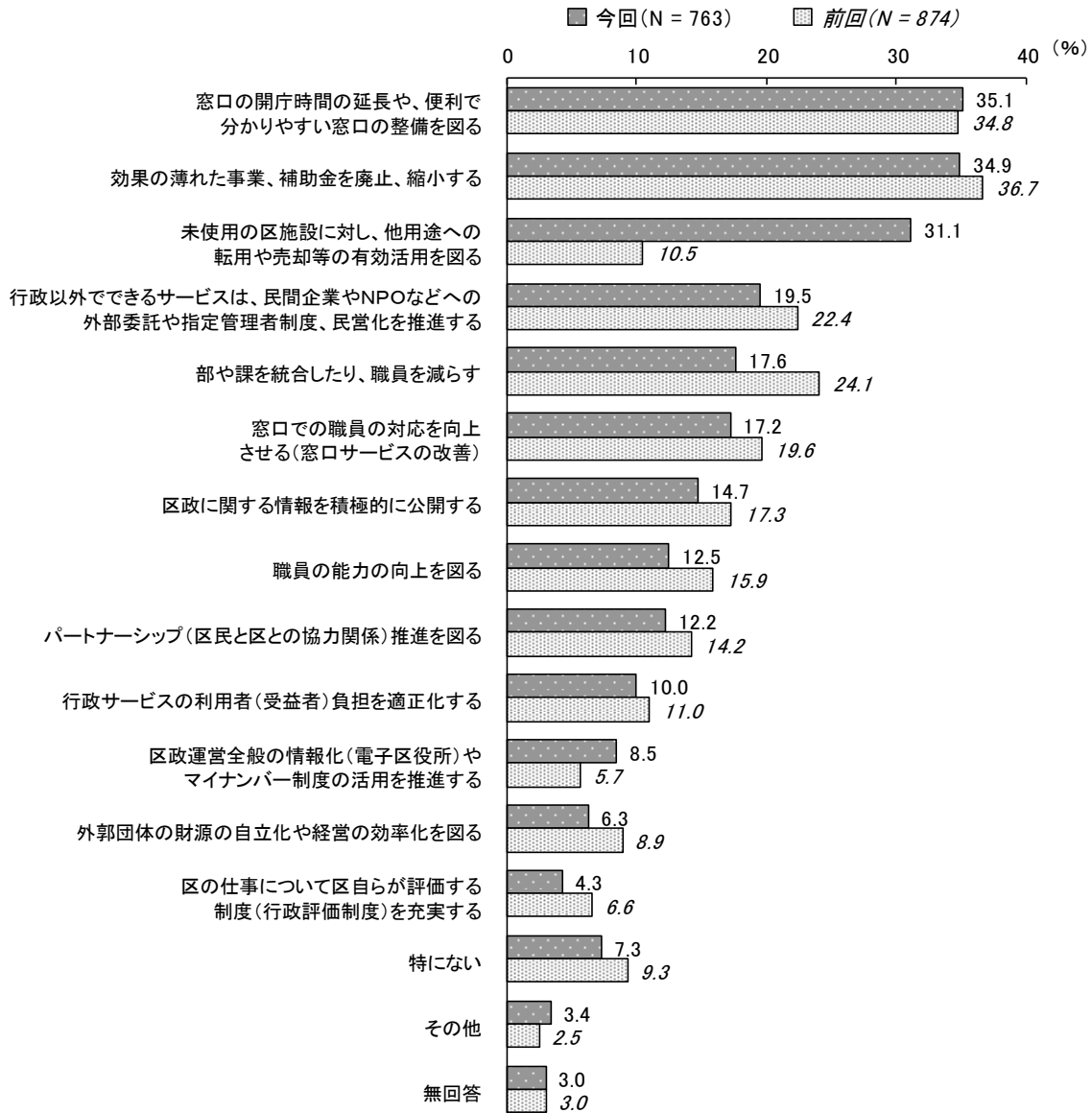
◇「窓口の開庁時間の延長や、便利で分かりやすい窓口の整備を図る」「効果の薄れた事業、補助金を廃止、縮小する」が3割半ば。また、「未使用の区施設に対し、他用途への転用や売却等の有効活用を図る」が前回調査から大きく増加

問15 北区では、これまで事業や組織の見直しなど経営改革に取り組んできました。今後、より効率的な行政を進めるために、区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

より効率的な行政を進めるために、区が力を入れるべきだと思うことは、「窓口の開庁時間の延長や、便利で分かりやすい窓口の整備を図る」(35.1%)が3割半ばで最も高くなっている。次いで、「効果の薄れた事業、補助金を廃止、縮小する」(34.9%)、「未使用の区施設に対し、他用途への転用や売却等の有効活用を図る」(31.1%)の順で続いている。

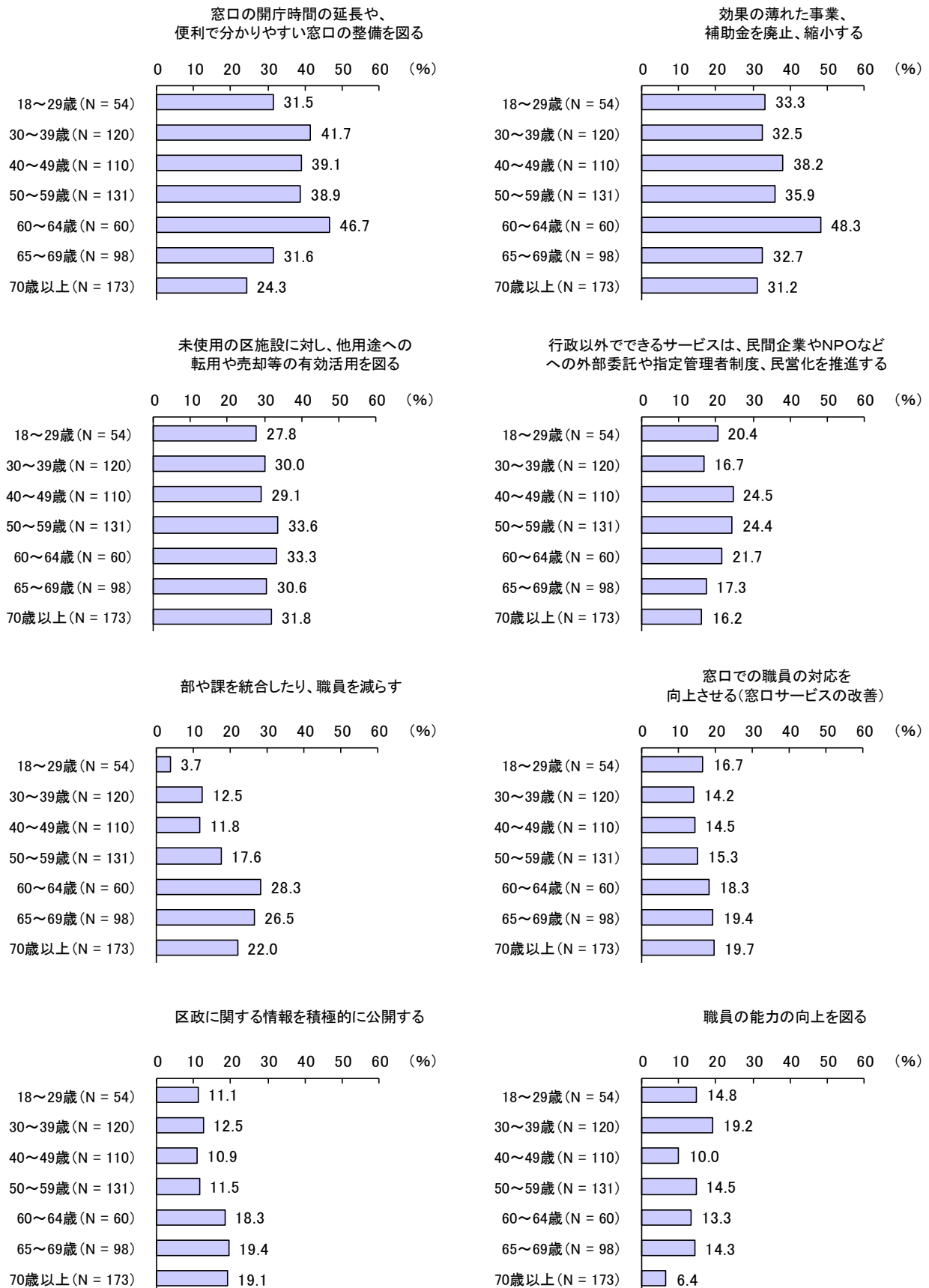
前回調査と比較すると、「未使用の区施設に対し、他用途への転用や売却等の有効活用を図る」が大きく増加し、「部や課を統合したり、職員を減らす」等が減少している。(図表4-8-1)

図表4-8-1 区の経営改革の手法

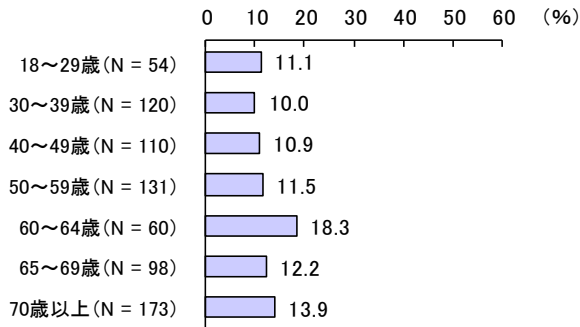


年齢別でみると、「窓口の開庁時間の延長や、便利で分かりやすい窓口の整備を図る」「効果の薄れた事業、補助金を廃止、縮小する」で60～64歳が高くなっている。(図表4-8-2)

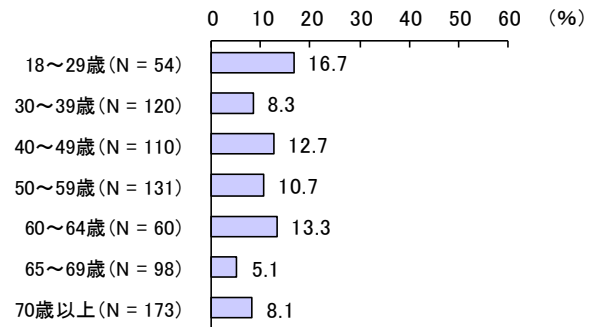
図表4-8-2 区の経営改革の手法—年齢別



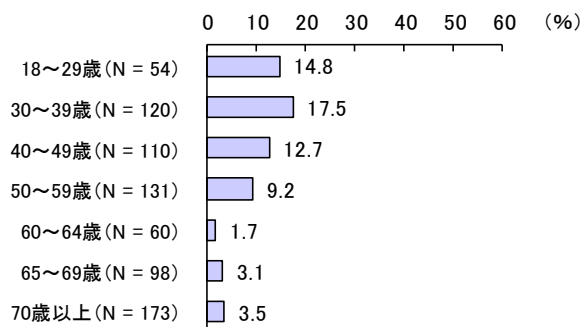
パートナーシップ
(区民と区との協力関係) 推進を図る



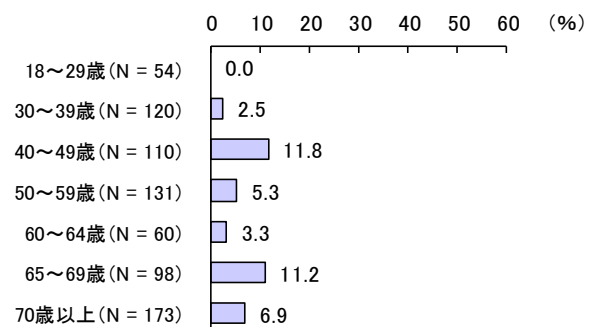
行政サービスの利用者
(受益者) 負担を適正化する



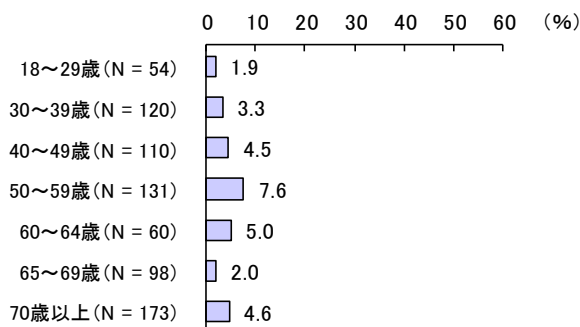
区運営全般の情報化(電子区役所)や
マイナンバー制度の活用を推進する



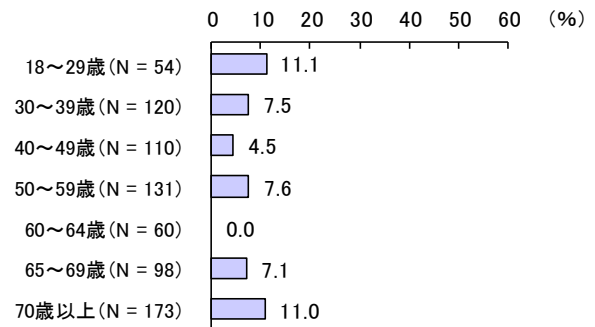
外郭団体の財源の自立化や
経営の効率化を図る



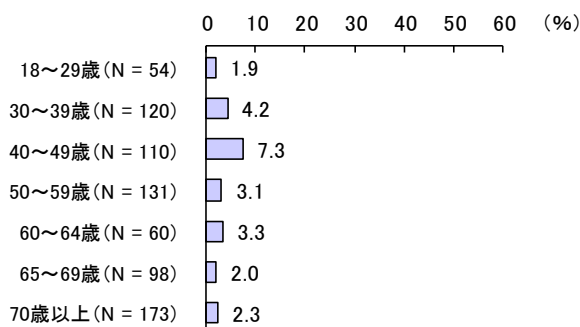
区の仕事について区自らが評価する
制度(行政評価制度)を充実する



特になし

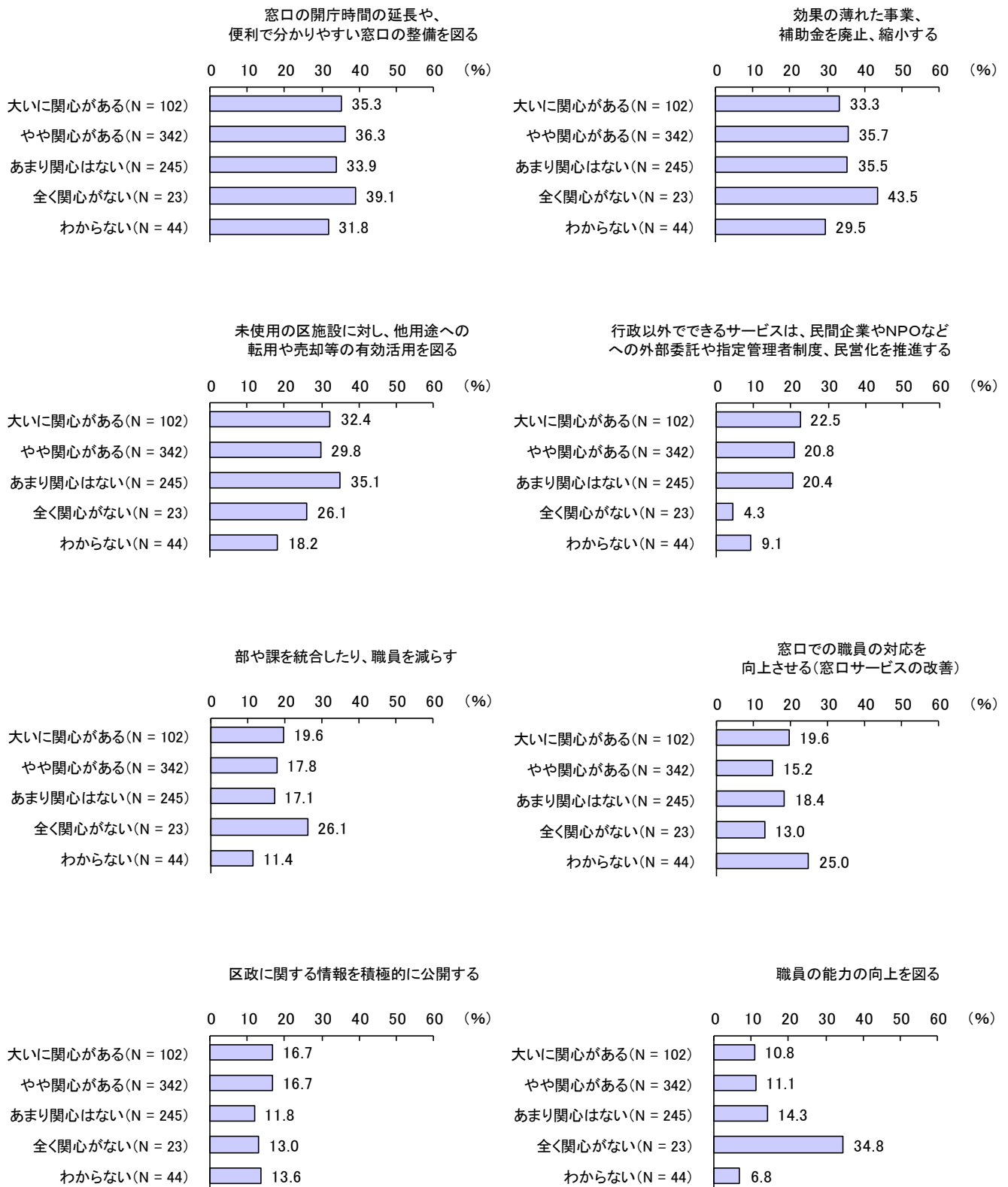


その他

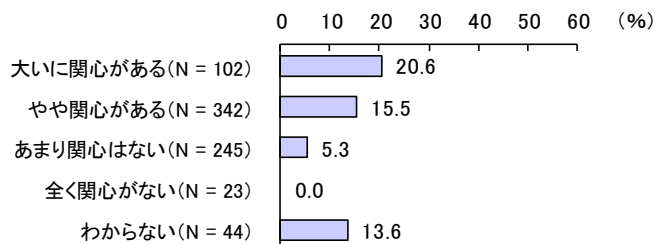


区政への関心度別でみると、「窓口の開庁時間の延長や、便利で分かりやすい窓口の整備を図る」「効果の薄れた事業、補助金を廃止、縮小する」「部や課を統合したり、職員を減らす」「職員の能力の向上を図る」で“全く関心がない”が高くなっている。(図表4-8-3)

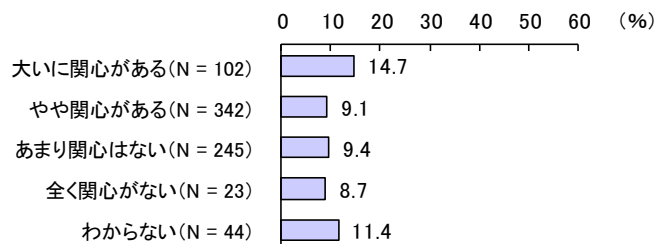
図表4-8-3 区の経営改革の手法－区政への関心度別



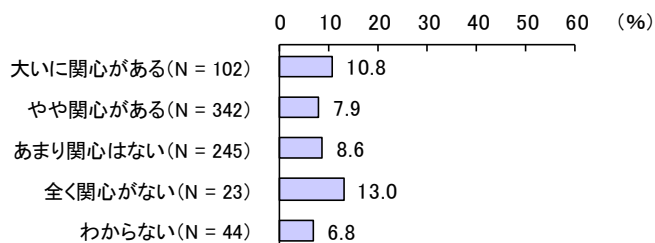
パートナーシップ
(区民と区との協力関係) 推進を図る



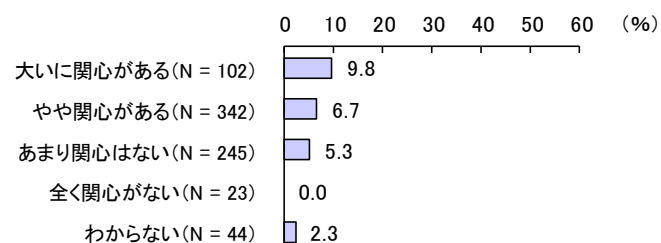
行政サービスの利用者
(受益者) 負担を適正化する



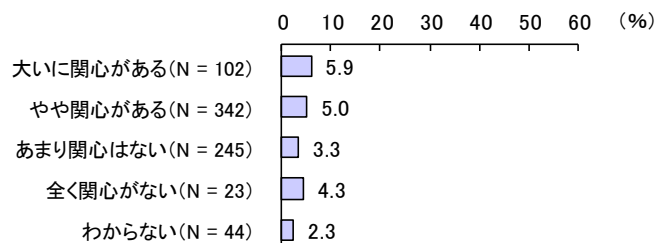
区政運営全般の情報化(電子区役所)や
マイナンバー制度の活用を推進する



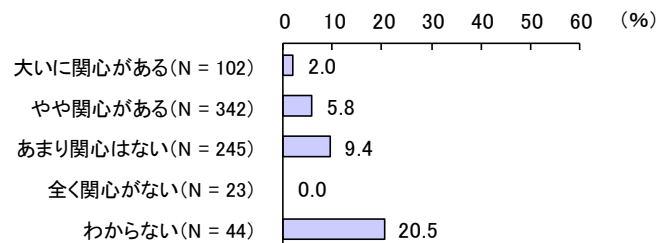
外郭団体の財源の自立化や
経営の効率化を図る



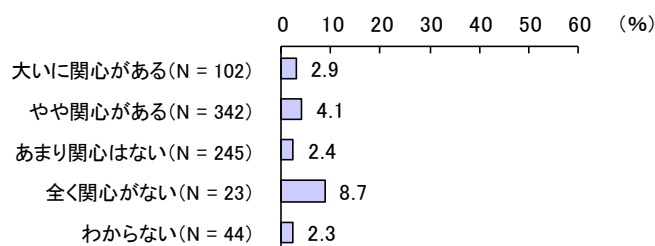
区の仕事について区自らが評価する
制度(行政評価制度)を充実する



特になし



その他



(9) 公共施設にかかる経費削減のための重点施策

◇「民間活力の活用による施設経費削減」「施設の用途変更」が4割半ば

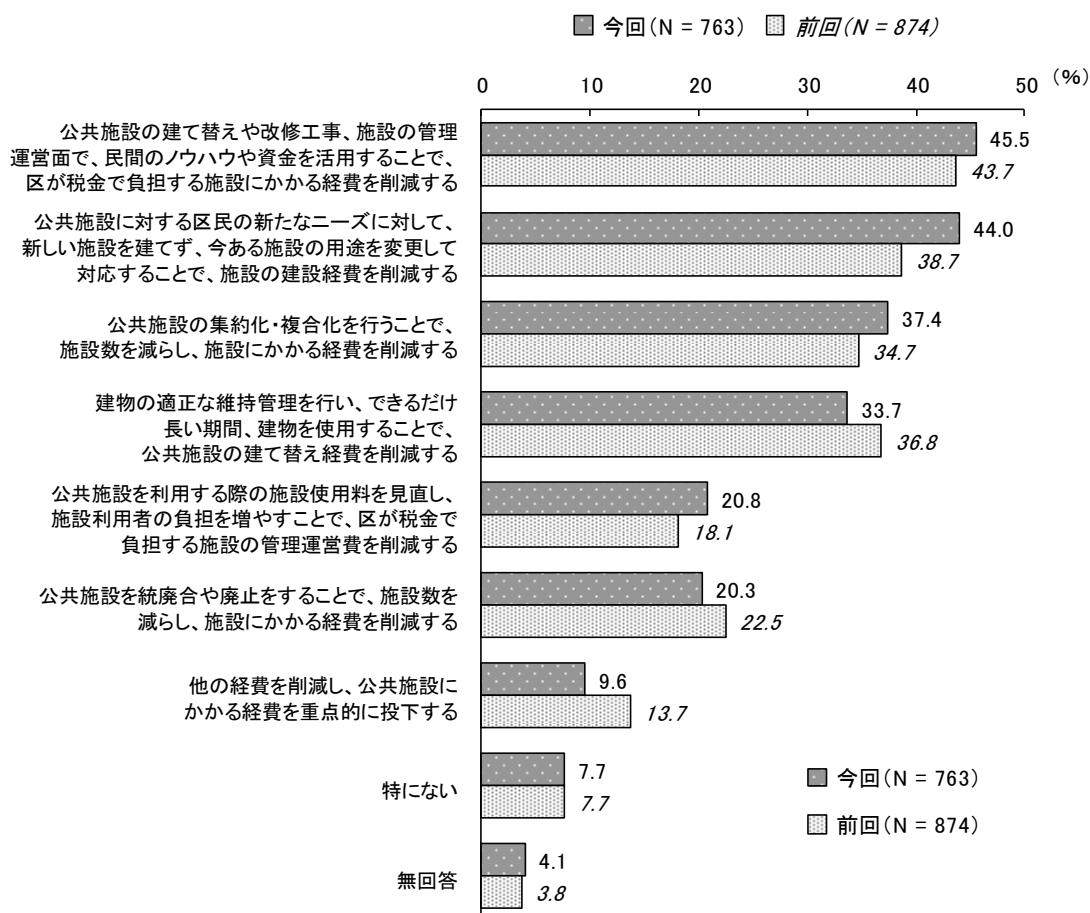
問16 北区では、公共施設の老朽化が進行しており、その改築・改修に伴う経費の増加が財政状況を圧迫する可能性があります。今後、公共施設にかかる経費の削減のために、区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

公共施設にかかる経費の削減のために、区が力を入れるべきだと思うことは、「公共施設の建て替えや改修工事、施設の管理運営面で、民間のノウハウや資金を活用することで、区が税金で負担する施設にかかる経費を削減する」(45.5%)が4割半ばと最も高くなっている。次いで、「公共施設に対する区民の新たなニーズに対して、新しい施設を建てず、今ある施設の用途を変更して対応することで、施設の建設経費を削減する」(44.0%)、「公共施設の集約化・複合化を行うことで、施設数を減らし、施設にかかる経費を削減する」(37.4%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「公共施設に対する区民の新たなニーズに対して、新しい施設を建てず、今ある施設の用途を変更して対応することで、施設の建設経費を削減する」が増加している。

(図表4-9-1)

図表4-9-1 公共施設にかかる経費削減のための重点施策



(10) 公共施設にかかる経費を削減するために減らすべき施設

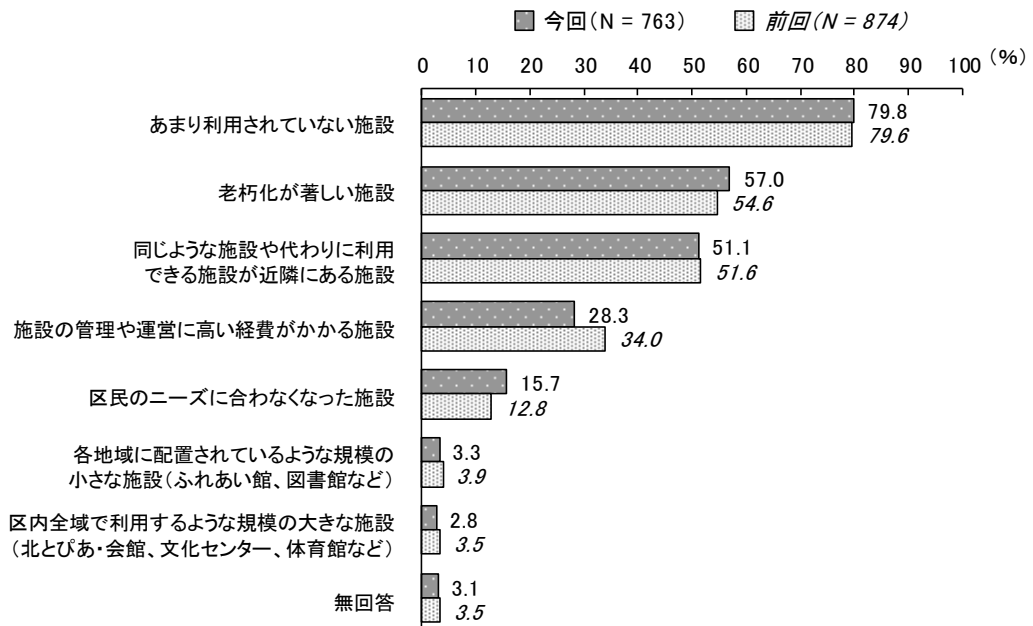
◇「あまり利用されていない施設」が8割近く

問17 公共施設にかかる経費を削減するために、施設の数減らしていかなければならなくなった場合、どのような状況の施設から削減していけば良いと考えますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

公共施設にかかる経費を削減するために減らすべき施設をみると、「あまり利用されていない施設」(79.8%)が8割近くと突出して高くなっている。次いで、「老朽化が著しい施設」(57.0%)、「同じような施設や代わりに利用できる施設が近隣にある施設」(51.1%)の順で続いている。前回調査と比較して、「施設の管理や運営に高い経費がかかる施設」が減少している。

(図表4-10-1)

図表4-10-1 公共施設にかかる経費を削減するために減らすべき施設



5 区民とともに

(1) 区政参画等の状況

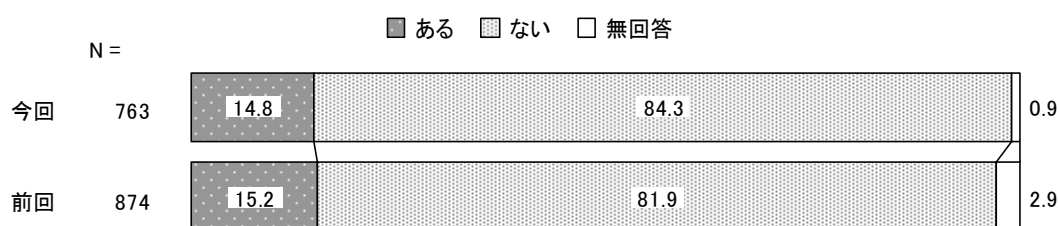
◇区政参画・地域活動に参加したことが「ある」は全体では1割半ばだが、65歳以上では2割超

問18 今までに、区政参画または地域活動にスタッフとして参加したことがありますか。

区政参画または地域活動にスタッフとして参加したことの有無をみると、「ある」(14.8%)が1割半ば、「ない」(84.3%)が8割半ばとなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。(図表5-1-1)

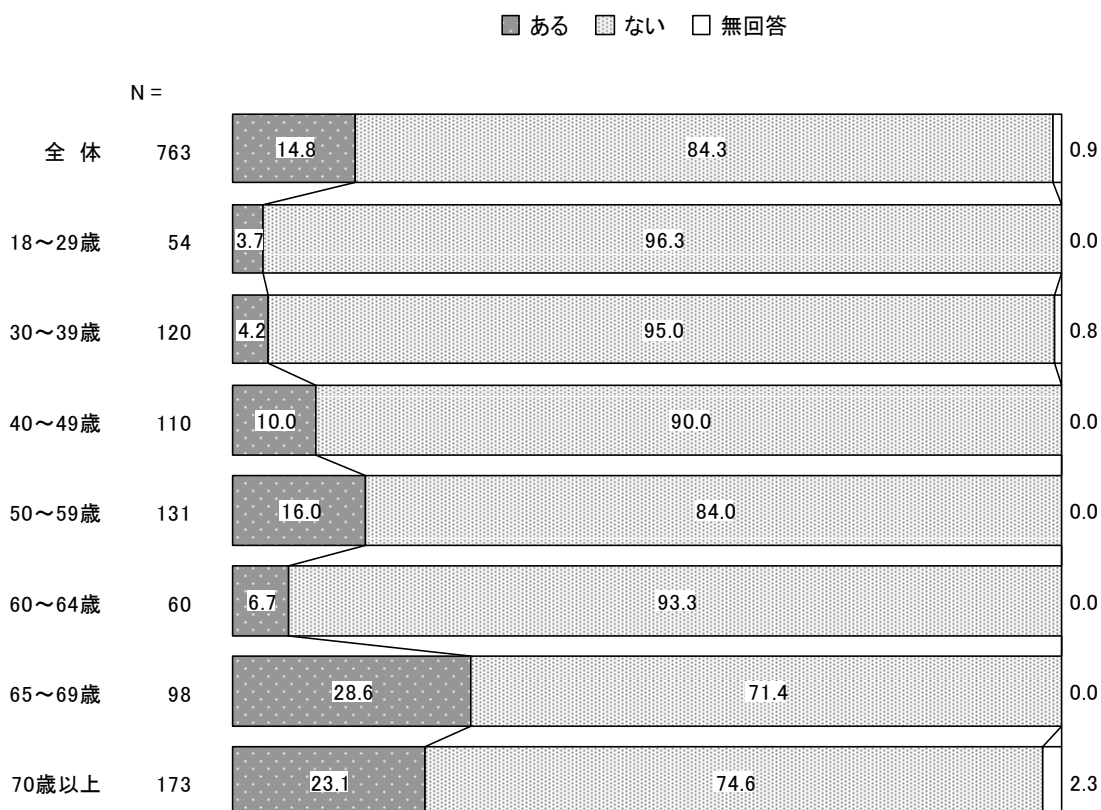
図表5-1-1 区政参画等の状況



年齢別でみると、区政参画または地域活動に参加したことが「ある」はおおむね年齢が高くなるほど割合が高くなっており、65～69歳(28.6%)で3割近く、70歳以上(23.1%)で2割を超え高くなっている一方、60～64歳(6.7%)で1割未満と低くなっている。また、参加したことが「ない」は18～29歳(96.3%)、30～39歳(95.0%)で9割半ばと高くなっている。

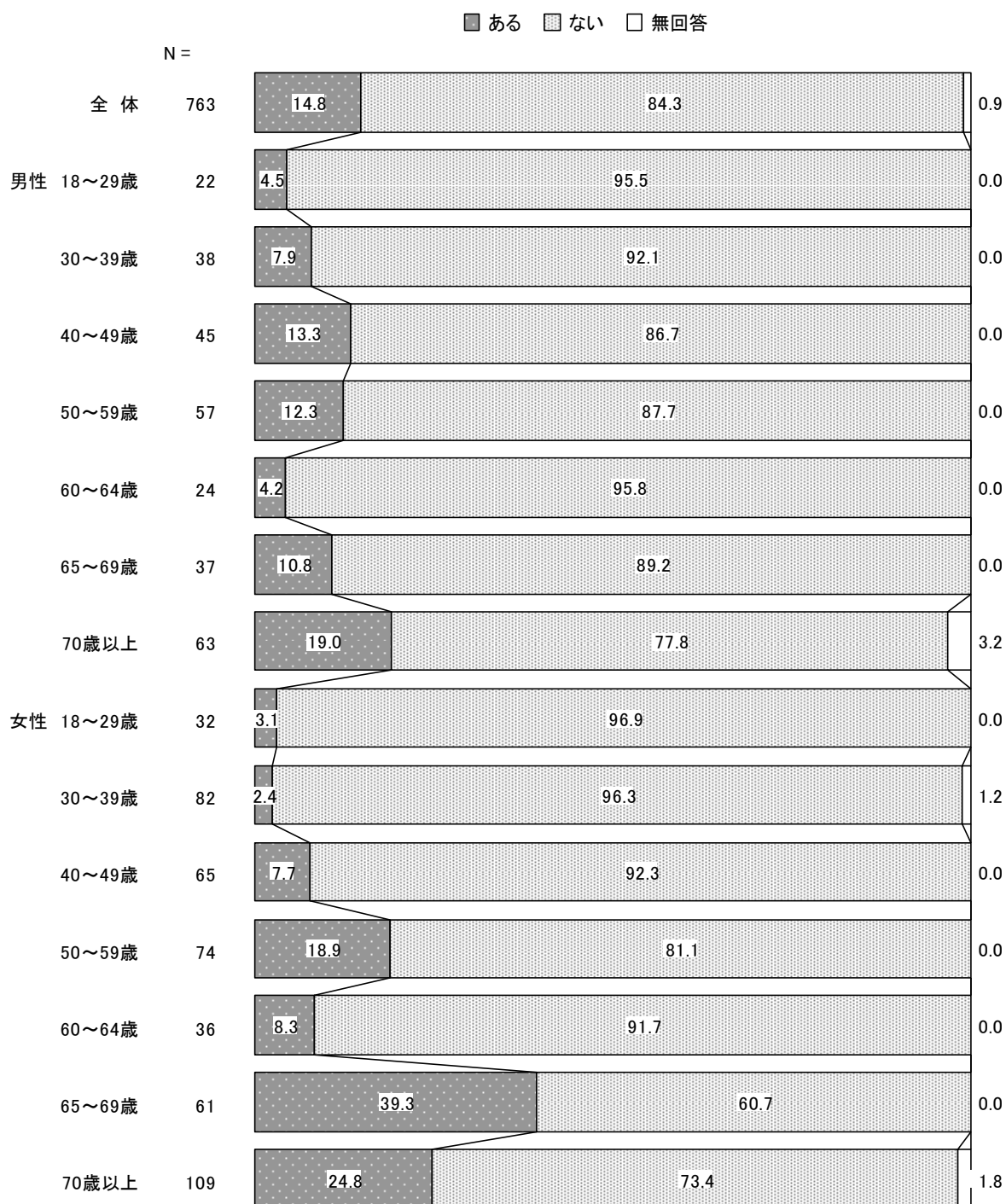
(図表5-1-2)

図表5-1-2 区政参画等の状況一年齢別



性別・年齢別で見ると、区政参画または地域活動に参加したことが「ある」は女性の 65～69 歳（39.3%）で4割近く、女性の 70 歳以上（24.8%）で2割半ばと高くなっている。一方、区政参画または地域活動に参加したことが「ない」は、男性の 18～29 歳（95.5%）が9割半ばと高くなっている。また、50 歳以上のすべての年代で、男性より女性で参加したことが「ある」割合が高くなっている。（図表 5－1－3）

図表 5－1－3 区政参画等の状況－性別・年齢別



(2) 区政参画等の内容

◇「町会・自治会活動」が約7割。前回調査に比べ「防災に関する活動」が増加している

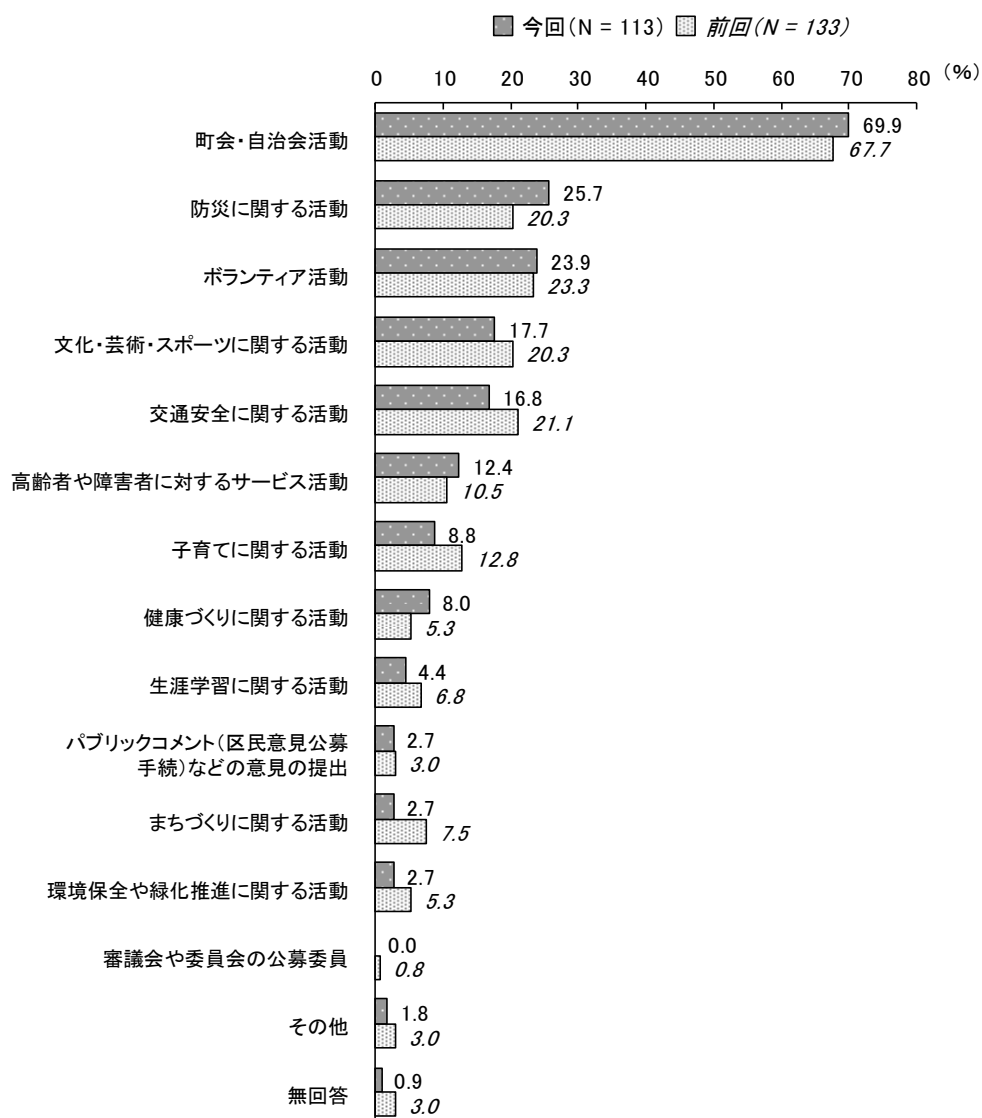
[問18で「ある」を選んだ方にうかがいます]

問18-1 どのような活動に参加しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

問18で、「ある」と答えた方(113人)に、参加した活動の内容を聞いたところ、「町会・自治会活動」(69.9%)が7割近くで突出して高くなっている。次いで、「防災に関する活動」(25.7%)、「ボランティア活動」(23.9%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「防災に関する活動」が増加し、「交通安全に関する活動」「まちづくりに関する活動」が減少している。(図表5-2-1)

図表5-2-1 区政参画等の内容



(3) 区政参画等しない理由

◇「家事や仕事が忙しく時間がない」が3割半ば

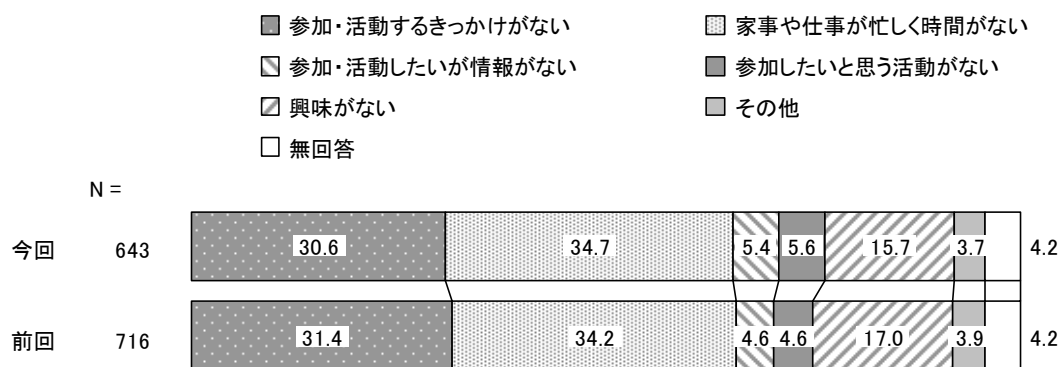
[問18で「ない」を選んだ方にかがいます]

問18-2 活動に参加しない理由は何ですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

問18で、「ない」と答えた方(643人)に、活動に参加しない理由を聞いたところ、「家事や仕事が忙しく時間がない」(34.7%)が3割半ばと最も高くなっている。次いで、「参加・活動するきっかけがない」(30.6%)、「興味がない」(15.7%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。(図表5-3-1)

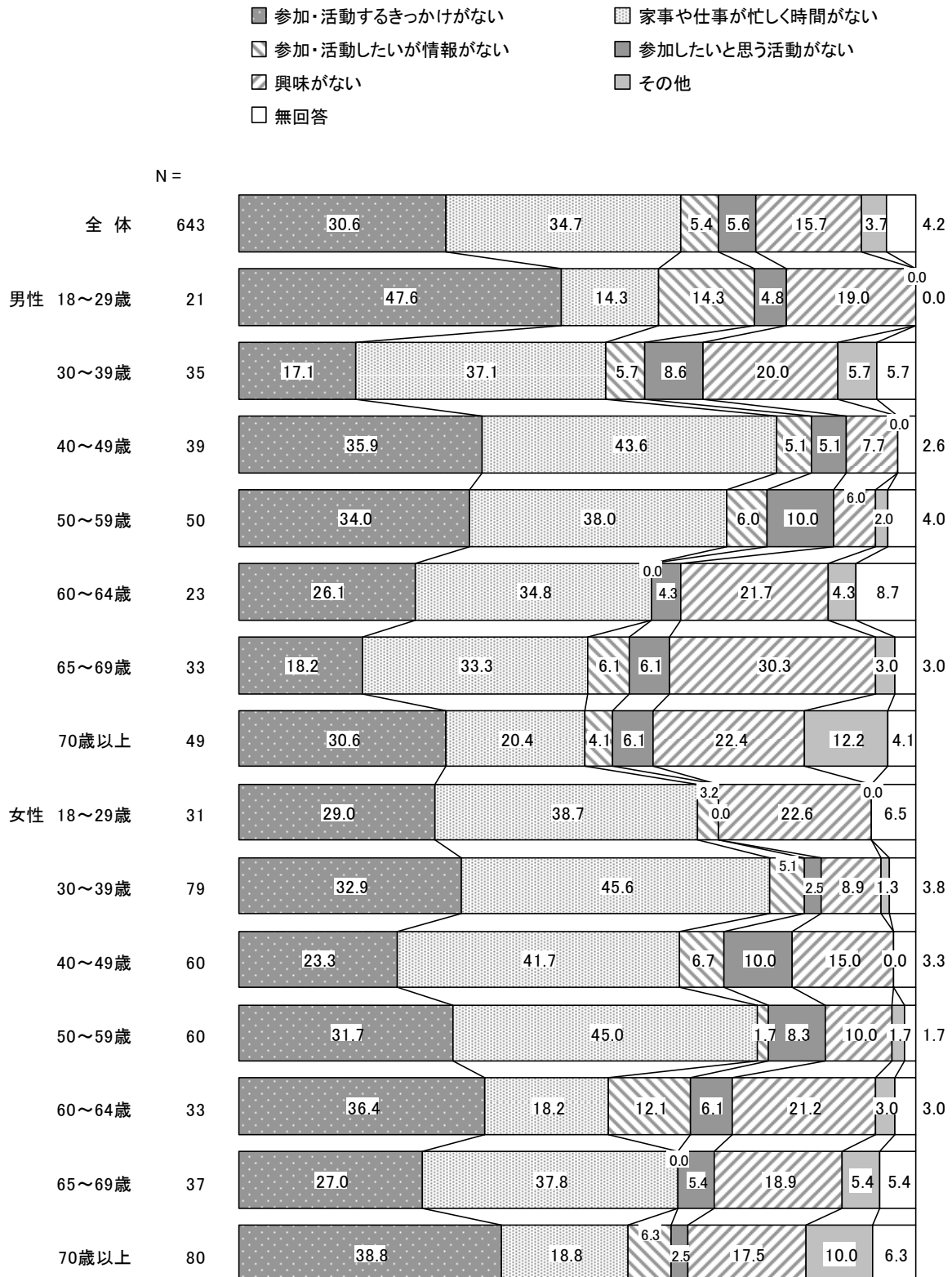
図表5-3-1 区政参画等しない理由



性別・年齢別でみると、女性の30～59歳で「家事や仕事が忙しく時間がない」が4割を超えて高くなっている。また、男性で年齢が上がるほど「参加・活動するきっかけがない」、「家事や仕事が忙しく時間がない」の割合が低く、「興味がない」の割合が高くなる傾向にある。

(図表5-3-2)

図表5-3-2 区政参画等しない理由—性別・年齢別



(4) 区政参画等のための重点施策

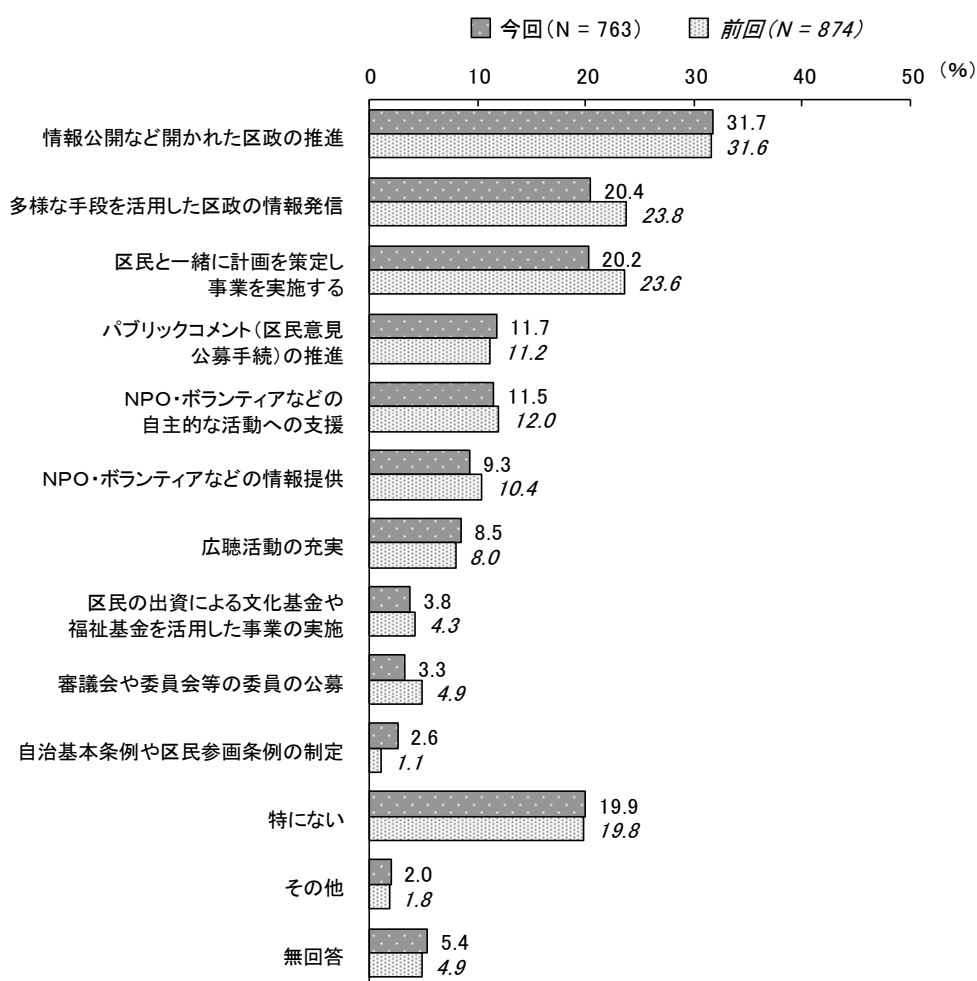
◇「情報公開など開かれた区政の推進」が3割を超えている

問19 今後、区民の区政への参画または地域活動への参加を促進するために、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

区民の区政への参画または地域活動への参加を促進するために、区が力をいれるべきだと思うことは、「情報公開など開かれた区政の推進」(31.7%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「多様な手段を活用した区政の情報発信」(20.4%)、「区民と一緒に計画を策定し事業を実施する」(20.2%)の順で続いている。また、「特にない」(19.9%)が約2割となっている。

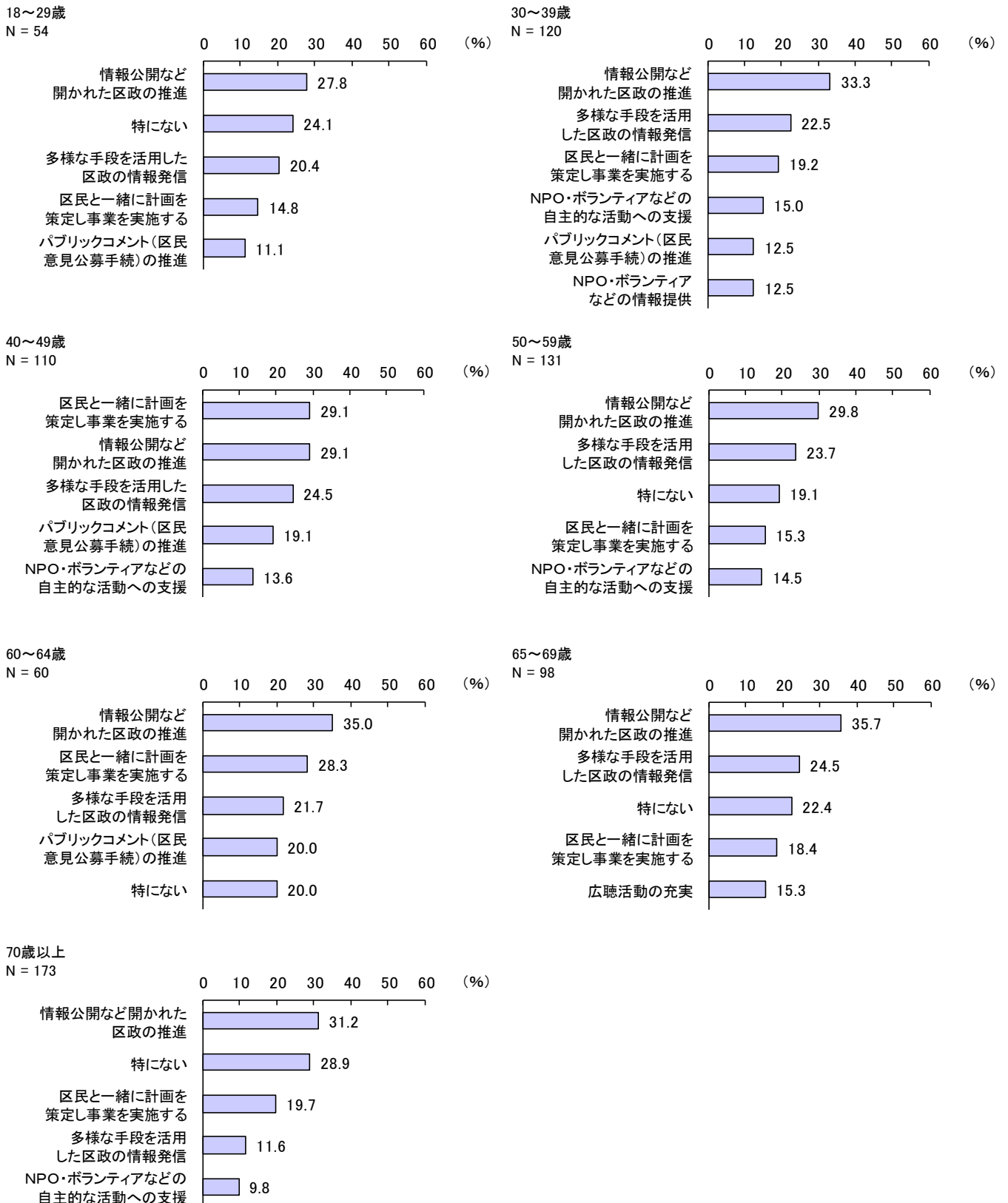
前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。(図表5-4-1)

図表5-4-1 区政参画等のための重点施策



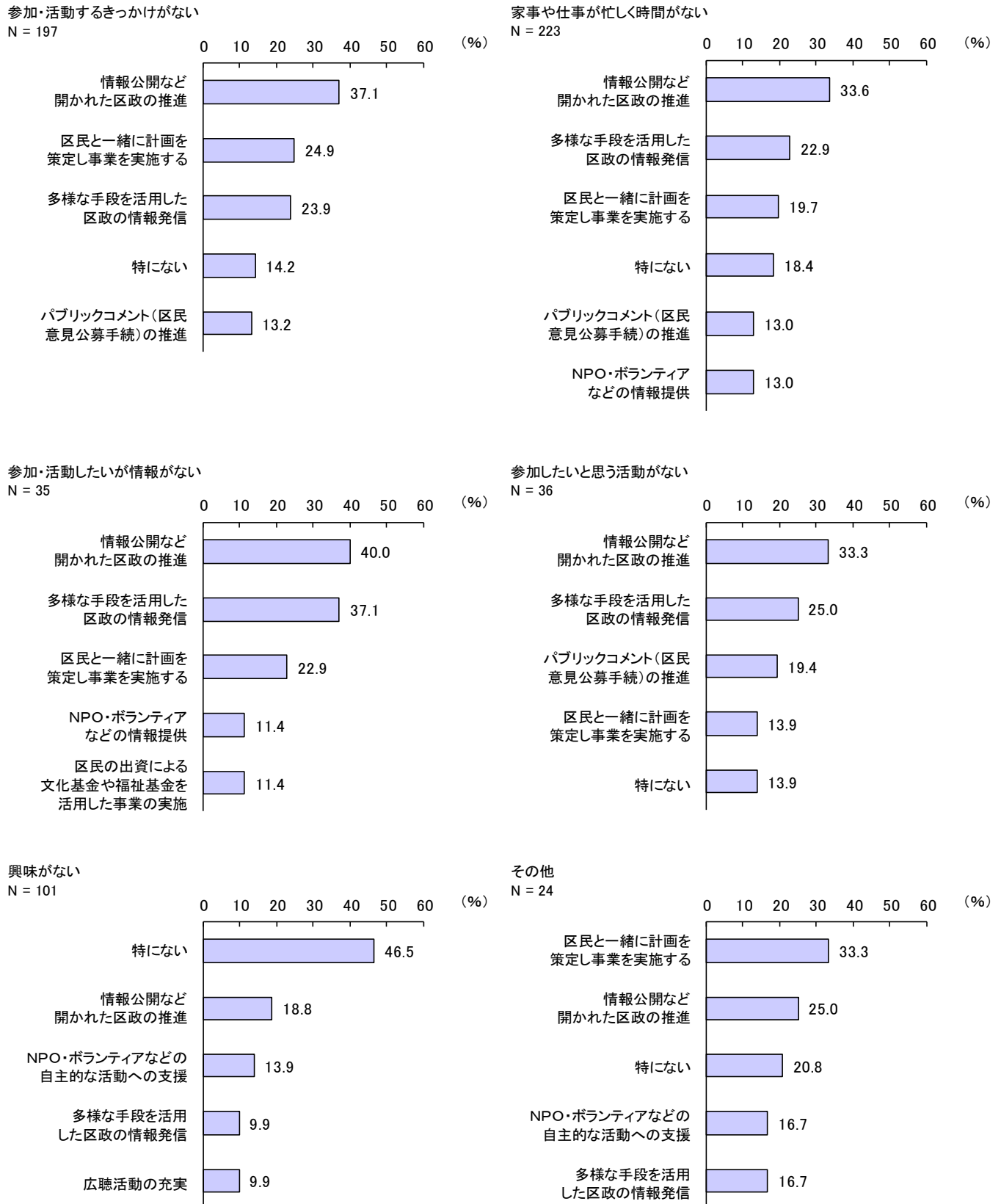
年齢別でみると、18歳以上のすべての年齢で「情報公開など開かれた区政の推進」が最も高く、40～49歳では「区民と一緒に計画を策定し事業を実施する」も同率で最も高くなっている。また、30歳以上で年齢が高くなるにつれ「特にない」の割合が高くなっている。（図表5-4-2）

図表5-4-2 区政参画等のための重点施策一年齢別（上位5項目+「特にない」）



区政に参加しない理由別でみると、興味がない層は「特にない」の割合が最も高く、それ以外の層は「情報公開など開かれた区政の推進」の割合が最も高い。(図表5-4-3)

図表5-4-3 区政参画等のための重点施策－区政に参加しない理由別（上位5項目+「特にない」）



(5) 町会・自治会への加入

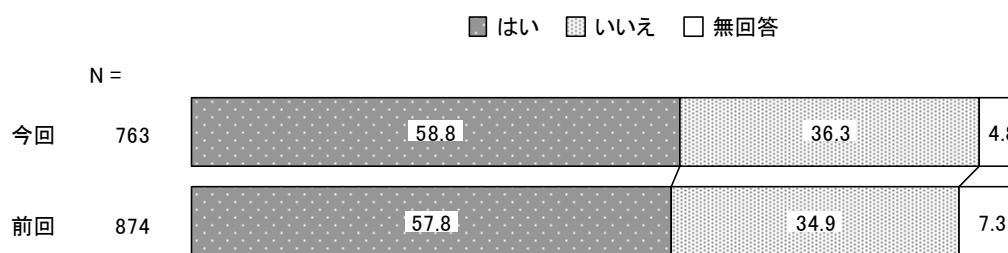
◇町会・自治会に加入している人は6割近く

問20 あなたは町会・自治会に加入していますか。

町会・自治会の加入の有無をみると、「はい」(58.8%)が6割近く、「いいえ」(36.3%)が3割半ばとなっている。

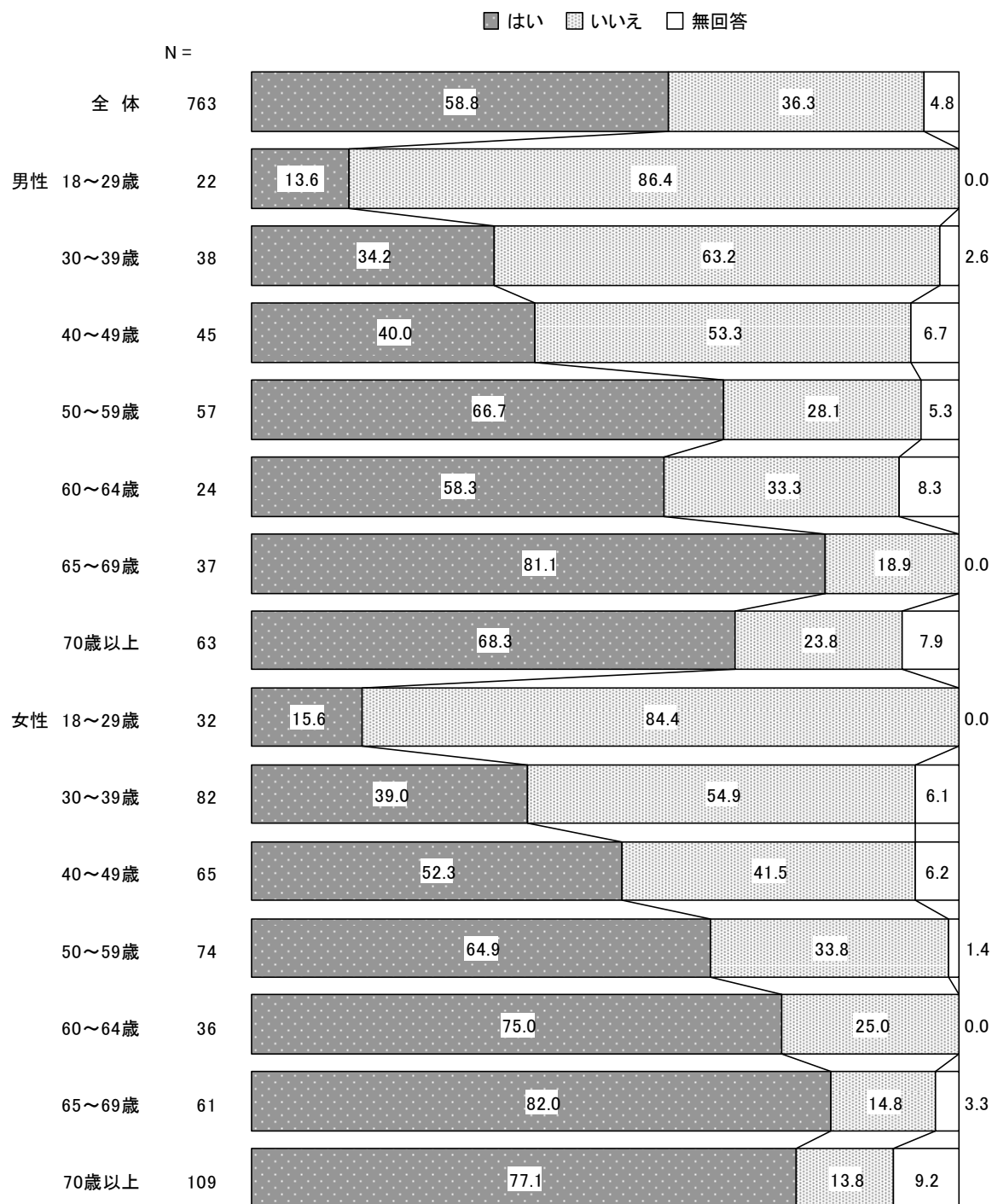
前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。(図表5-5-1)

図表5-5-1 町会・自治会への加入



性別・年齢別で見ると、「はい」は男女とも69歳以下で年齢が上がるにつれ高くなっているが、70歳以上では「はい」の割合が低下している。(図表5-5-2)

図表5-5-2 町会・自治会への加入—性別・年齢別

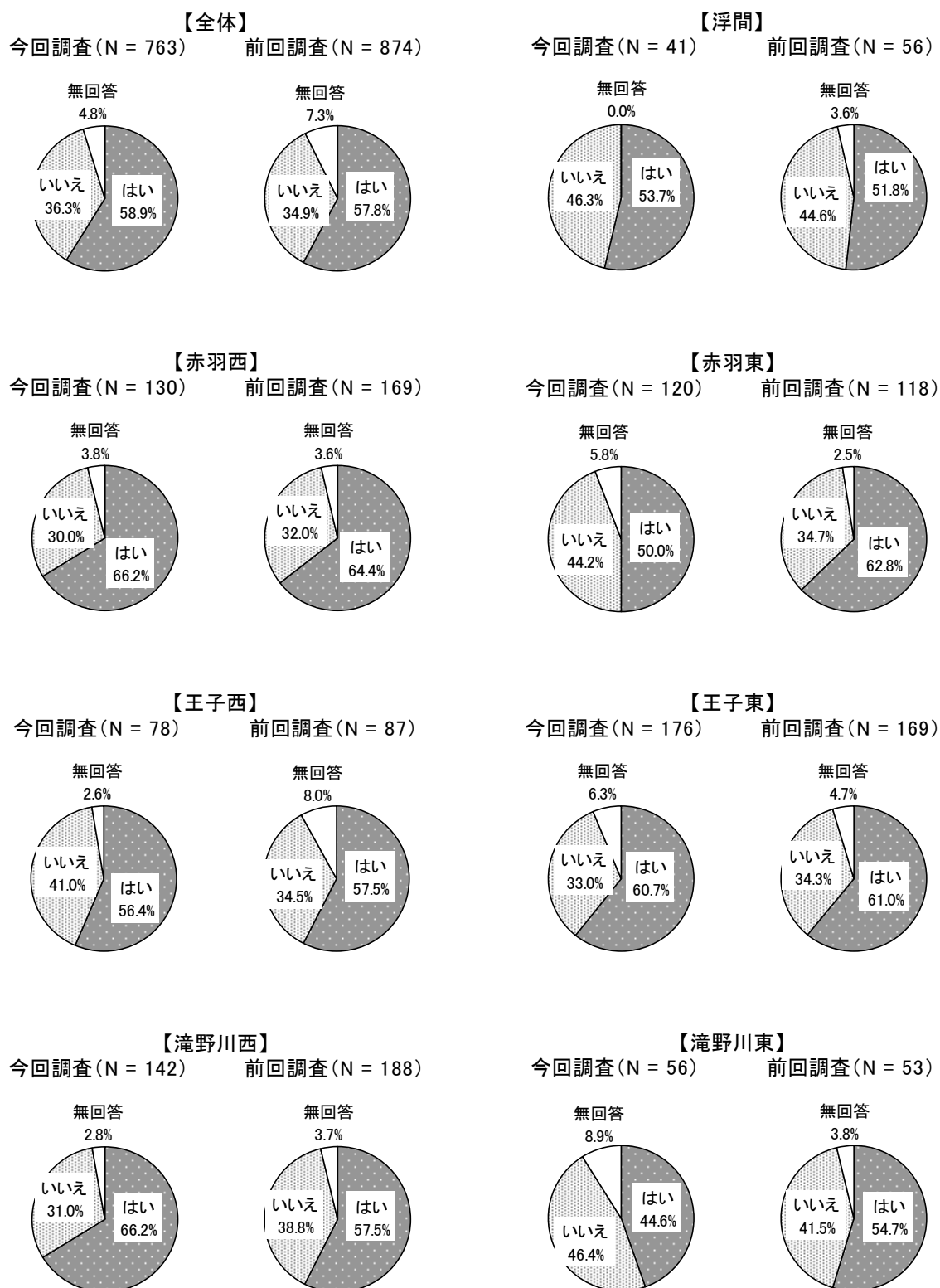


居住地区別でみると、「はい」は赤羽西（66.2%）、滝野川西（66.2%）で6割半ばと高くなっている。また、「いいえ」は滝野川東（46.4%）で4割半ばと高くなっている。

前回調査と比較すると、「はい」の割合が赤羽東、滝野川東で大きく減少している。

（図表5-5-3）

図表5-5-3 町会・自治会への加入—居住地区別



(6) - 1 差別や偏見

◇差別や偏見があると感じる人は2割を超えている

問21 国籍や性別、年齢、障害による差別や偏見が身近にあると感じますか。

国籍や性別、年齢、障害による差別や偏見の有無をみると、「はい」(22.9%)が2割を超え、「いいえ」(74.2%)が7割半ばとなっている。(図表5-6-1)

図表5-6-1 差別や偏見



(6) - 2 差別や偏見の内容

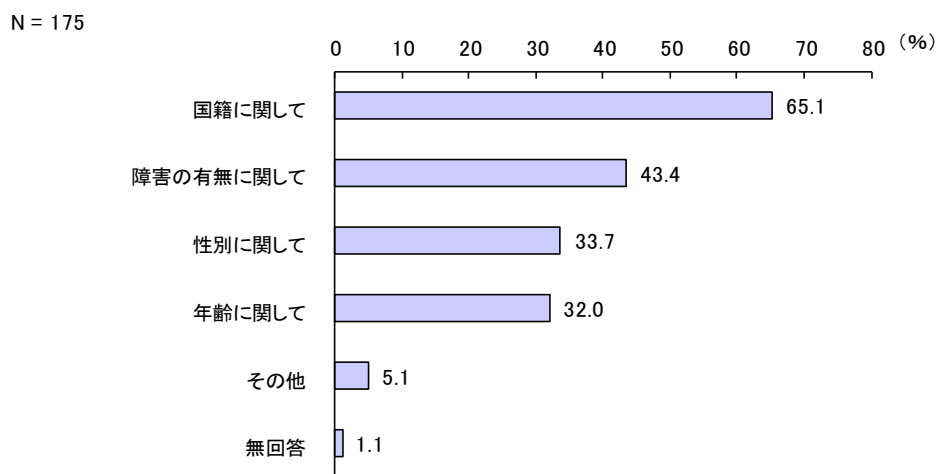
◇「国籍に関して」が6割半ば

[問21で「はい」を選んだ方にうかがいます]

問21-1 どのようなことに関して感じましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

問21で、「はい」と答えた方(175人)に、差別・偏見を感じた内容について聞いたところ、「国籍に関して」(65.1%)が6割半ばと最も高くなっている。次いで「障害の有無に関して」(43.4%)、「性別に関して」(33.7%)、「年齢に関して」(32.0%)の順で続いている。(図表5-6-2)

図表5-6-2 差別や偏見の内容



(7) 国際化推進のための重点施策

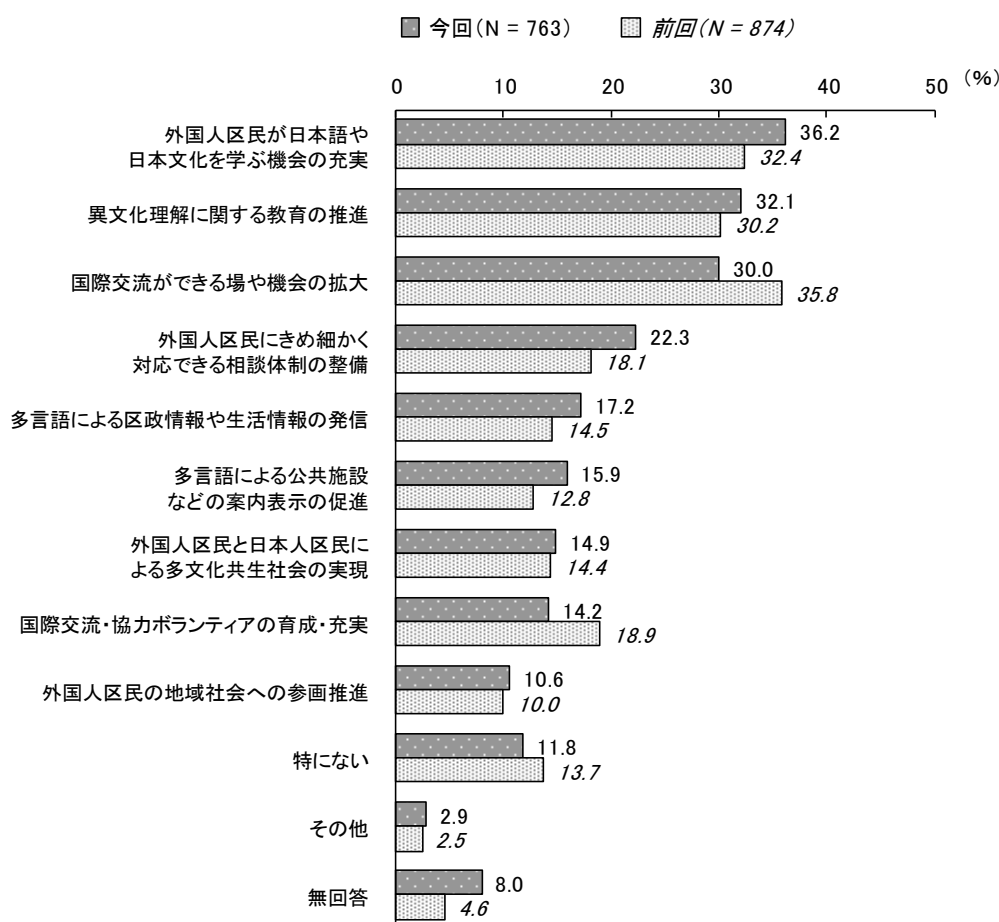
◇「外国人区民が日本語や日本文化を学ぶ機会の充実」が3割半ば

問22 今後、国際化を推進していくなかで、あなたが重視すべきだと思う取組みは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

今後、国際化を推進していくなかで、あなたが重視すべきだと思う取組みは、「外国人区民が日本語や日本文化を学ぶ機会の充実」(36.2%)が3割半ばで最も高くなっている。次いで、「異文化理解に関する教育の推進」(32.1%)、「国際交流ができる場や機会の拡大」(30.0%)、「外国人区民にきめ細かく対応できる相談体制の整備」(22.3%)、「多言語による区政情報や生活情報の発信」(17.2%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「国際交流ができる場や機会の拡大」「国際交流・協力ボランティアの育成・充実」が減少している。(図表5-7-1)

図表5-7-1 国際化推進のための重点施策



(8) 在日外国人への印象

◇日本人が持つ在日外国人への印象は『好意的』が5割

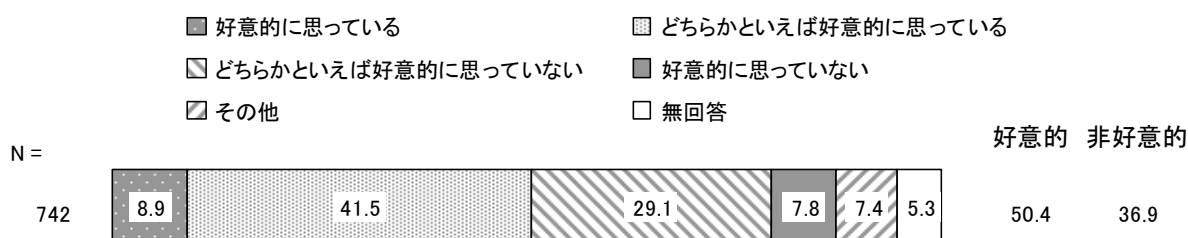
[問23で「日本国籍」を選んだ方にうかがいます]

問23-1 在住外国人が増加するなかで、地域に住む外国人を好意的に思っていますか。

問23で「日本国籍」と答えた方(742人)に、地域に住む在住外国人を好意的に思っているか聞いたところ、「どちらかといえば好意的に思っている」(41.5%)が4割を超えて最も高くなっており、「好意的に思っている」(8.9%)をあわせた『好意的』(50.4%)が5割を超えている。

一方、「どちらかといえば好意的に思っていない」(29.1%)と「好意的に思っていない」(7.8%)をあわせた『非好意的』(36.9%)は3割半ばとなっている。(図表5-8-1)

図表5-8-1 在日外国人への印象



(9) 日本人への印象

[問23で「外国籍」を選んだ方にうかがいます]

問23-2 日本で生活するなかで、地域に住む日本人を好意的に思っていますか。

回答者数が少ないので、参考値とする。

問23で「外国籍」と答えた方(14人)に、地域に住む日本人を好意的に思っているか聞いたところ、「好意的に思っている」(50.0%)が5割と最も高くなっており、「どちらかといえば好意的に思っている」(42.9%)をあわせた『好意的』(92.9%)が9割を超えている。

一方、「どちらかといえば好意的に思っていない」(7.1%)と「好意的に思っていない」(0.0%)をあわせた『非好意的』(7.1%)は1割未満となっている。

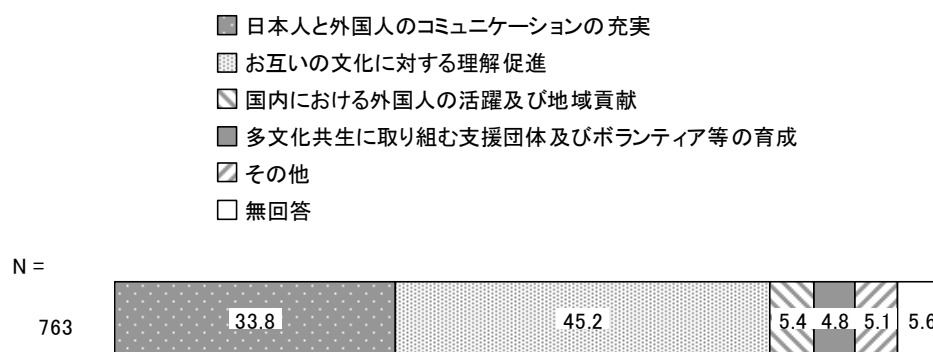
(10) 日本人と外国人の共存

◇「お互いの文化に対する理解促進」が4割半ば

問24 外国人と日本人がお互いを尊重しながら共存していくためには、何が重要だと思いますか。あてはまるものに1つだけ選んで○をつけてください。

外国人と日本人がお互いを尊重しながら共存していくために重要なことをみると、「お互いの文化に対する理解促進」(45.2%)が4割半ばと最も高くなっている。次いで「日本人と外国人のコミュニケーションの充実」(33.8%)と続いている。(図表5-10-1)

図表5-10-1 日本人と外国人の共存



6 「子ども」・かがやき戦略

(1) 子育て支援のための重点施策

◇「待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備」が3割を超えているものの、前回調査より大きく減少している。また、「児童虐待防止の取り組みの充実」が前回調査より増加している

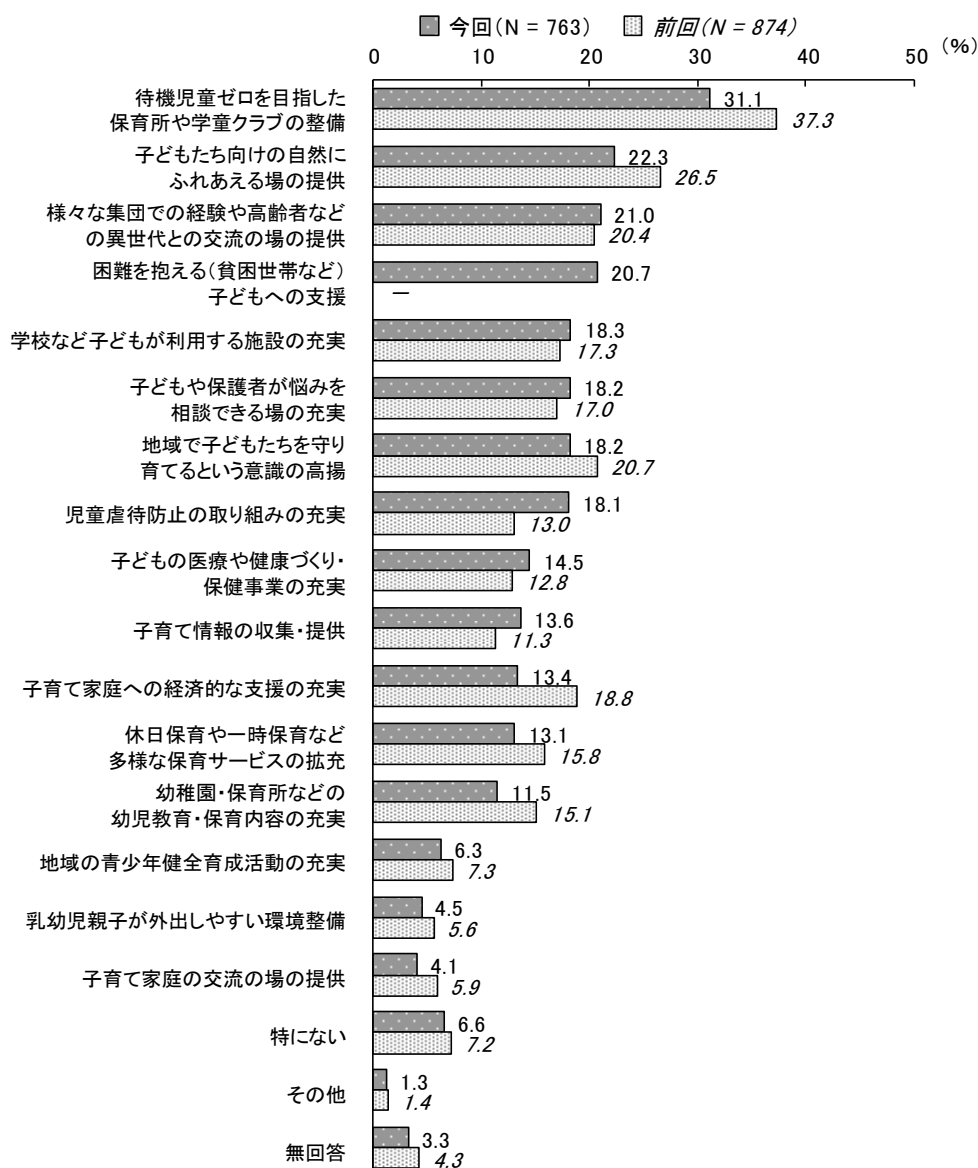
問25 今後、子どもの健やかな成長支援を推進するために区が力をいれるべき子育て支援策は何だと思えますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

子どもたちの健やかな成長支援を推進するための子育て支援について、区が力をいれるべきだと思うことは、「待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備」(31.1%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「子どもたち向けの自然にふれあえる場の提供」(22.3%)、「様々な集団での経験や高齢者などの異世代との交流の場の提供」(21.0%)、「困難を抱える(貧困世帯など)子どもへの支援」(20.7%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「児童虐待防止の取り組みの充実」が増加し、「待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備」が減少している。

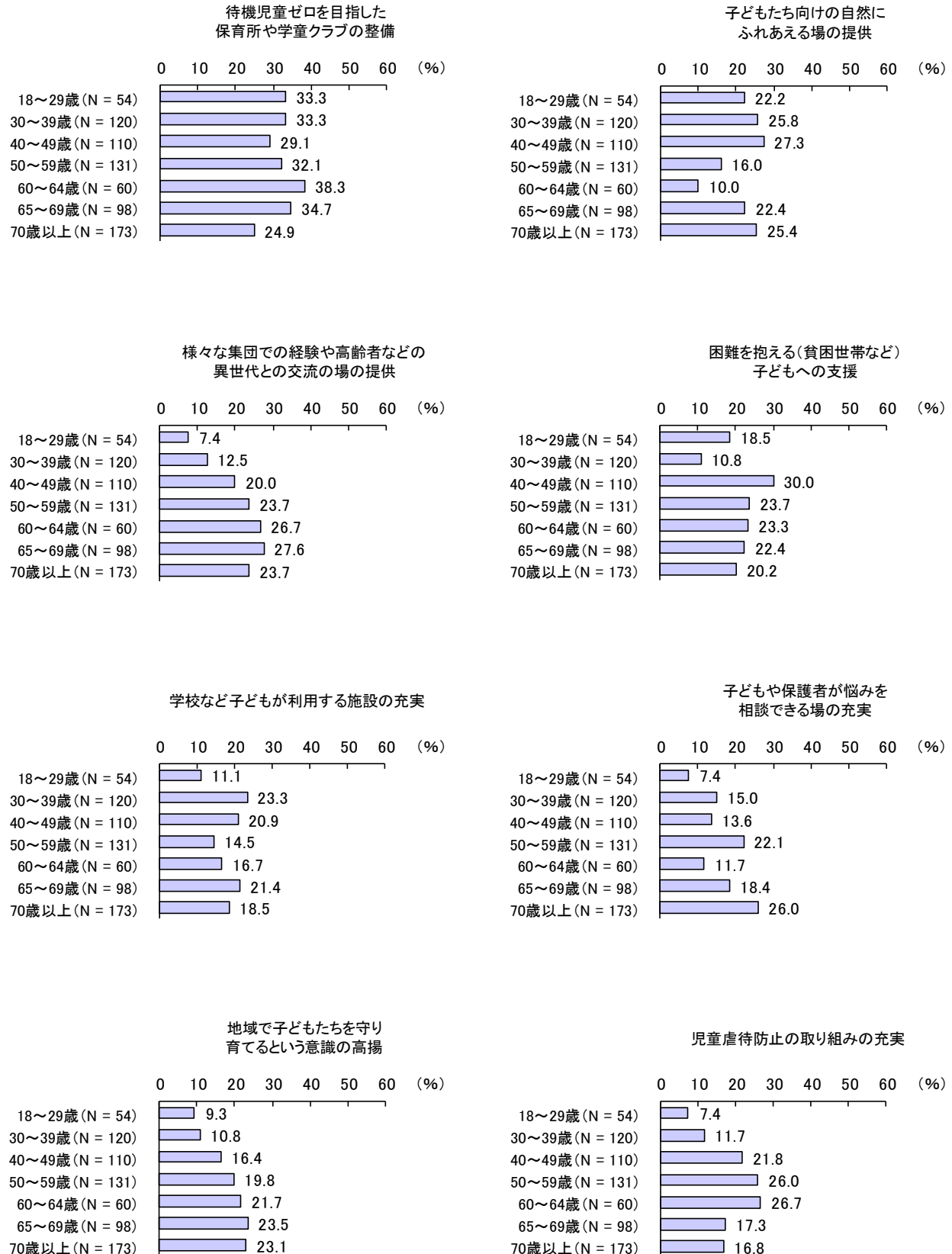
(図表6-1-1)

図表6-1-1 子育て支援のための重点施策

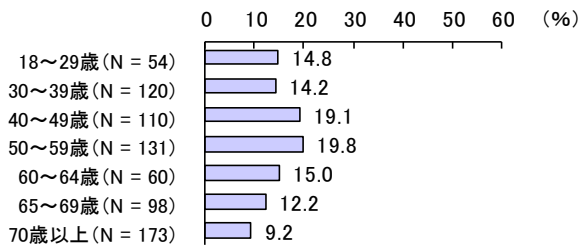


年齢別でみると、「様々な集団での経験や高齢者などの異世代との交流の場の提供」「子どもや保護者が悩みを相談できる場の充実」「地域で子どもたちを守り育てると意識の高揚」で年齢が高くなるにつれて割合が高くなる傾向を示している。(図表6-1-2)

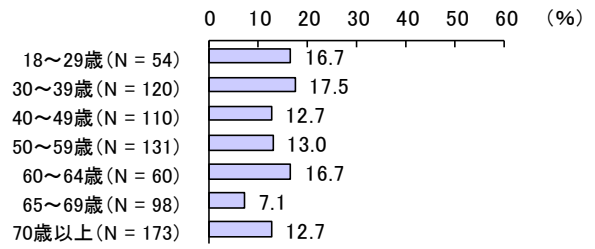
図表6-1-2 子育て支援のための重点施策一年齢別



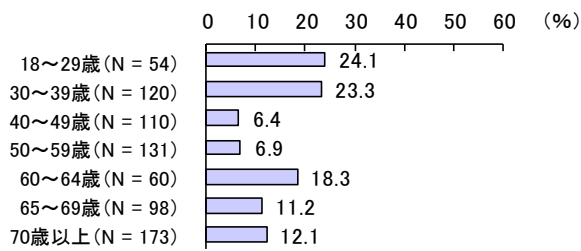
子どもの医療や健康づくり・
保健事業の充実



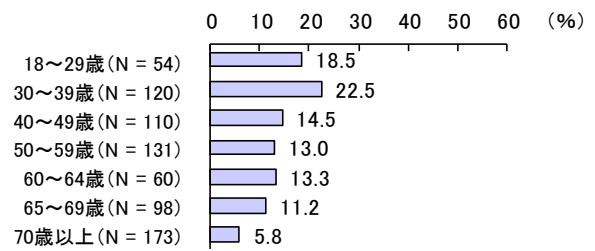
子育て情報の収集・提供



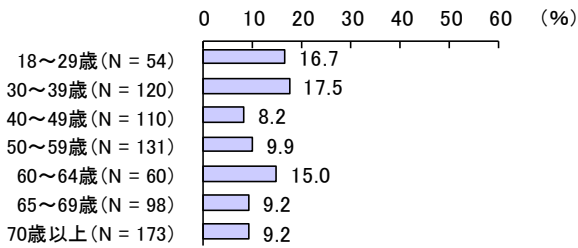
子育て家庭への経済的な支援の充実



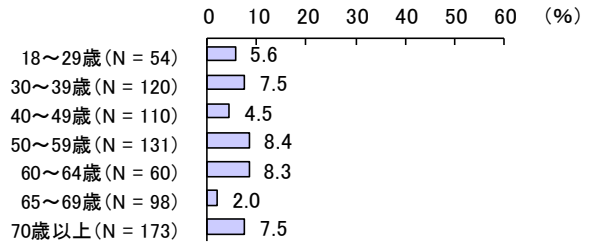
休日保育や一時保育など
多様な保育サービスの拡充



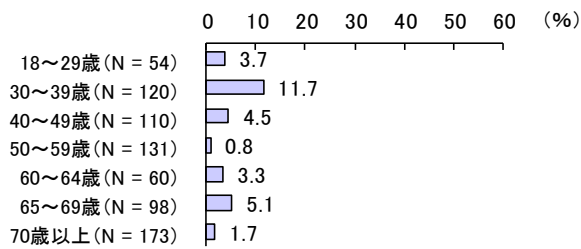
幼稚園・保育所などの
幼児教育・保育内容の充実



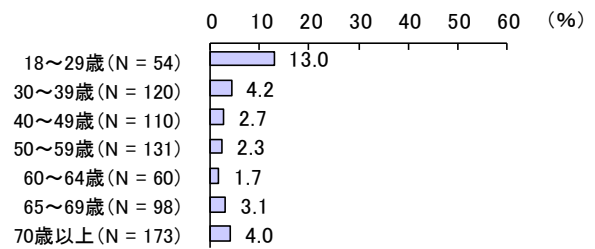
地域の青少年健全育成活動の充実



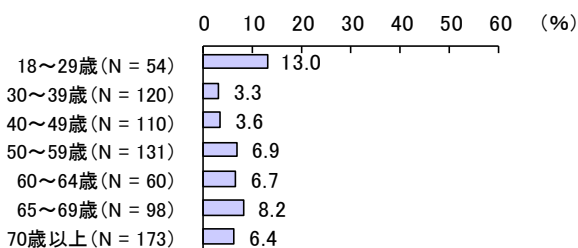
乳幼児親子が外出しやすい環境整備



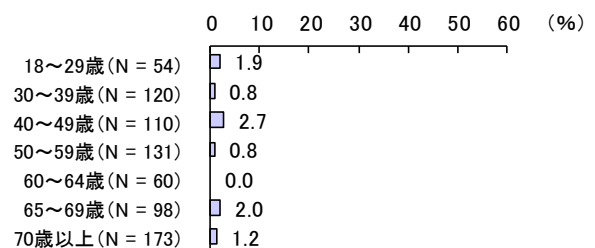
子育て家庭の交流の場の提供



特にない



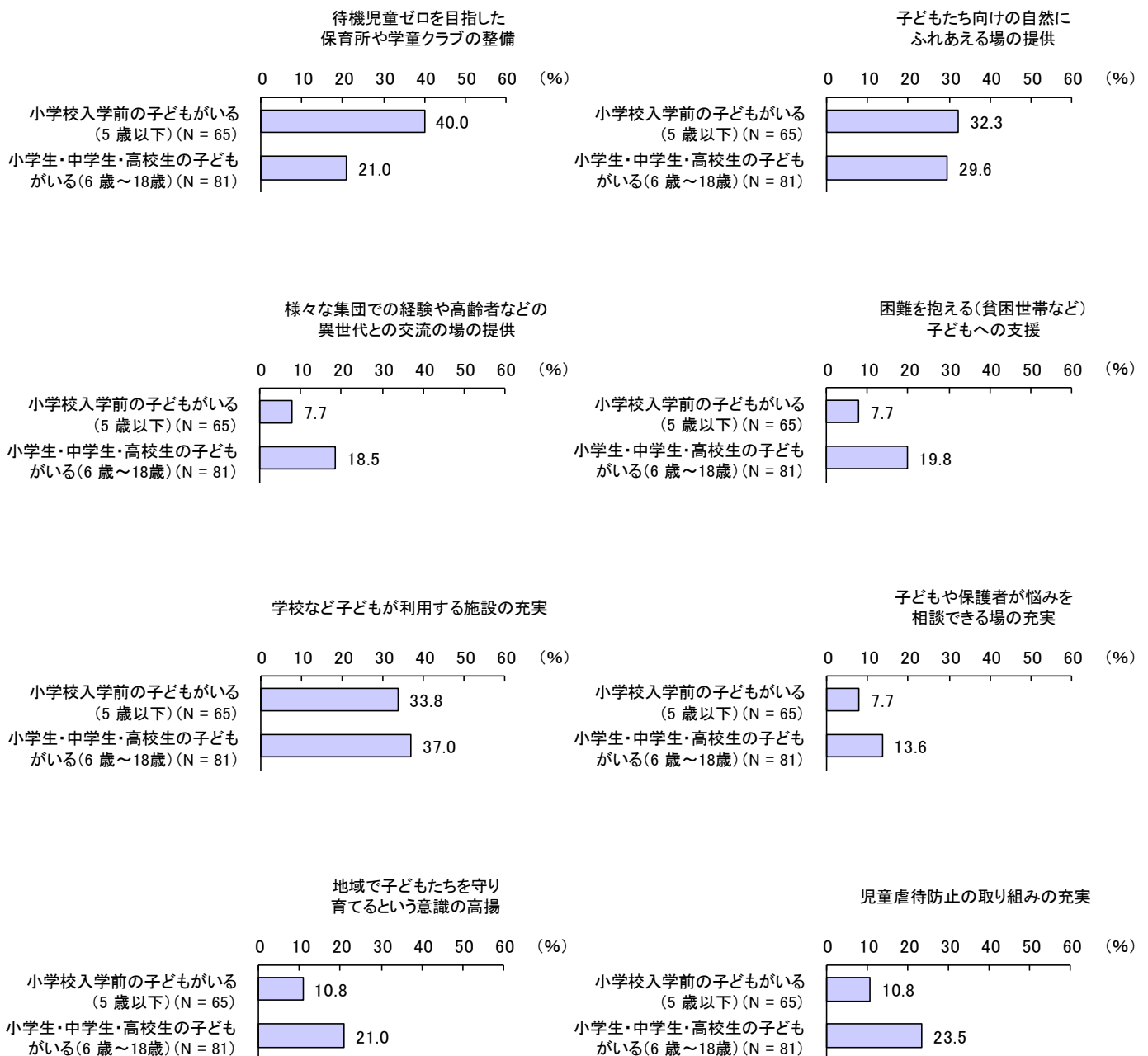
その他



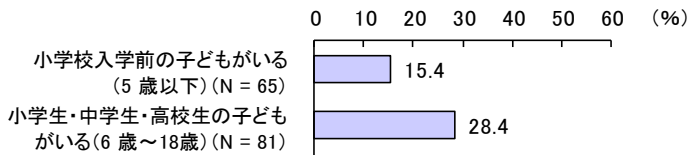
未成年者と同居別でみると、「待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備」「幼稚園・保育所などの幼児教育・保育内容の充実」「休日保育や一時保育など多様な保育サービスの拡充」「乳幼児親子が外出しやすい環境整備」「子育て家庭への経済的な支援の充実」で“小学校入学前の子どもがいる（5歳以下）”が高くなっている。一方、「様々な集団での経験や高齢者などの異世代との交流の場の提供」「困難を抱える（貧困世帯など）子どもへの支援」「子どもや保護者が悩みを相談できる場の充実」「地域で子どもたちを守り育てるという意識の高揚」「児童虐待防止の取り組みの充実」「子どもの医療や健康づくり・保健事業の充実」「地域の青少年健全育成活動の充実」で“小学生・中学生・高校生の子どものいる（6歳～18歳）”が高くなっている。

(図表6-1-3)

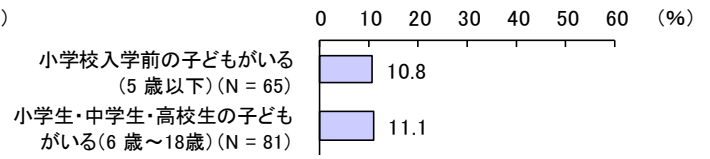
図表6-1-3 子育て支援のための重点施策—未成年者と同居別



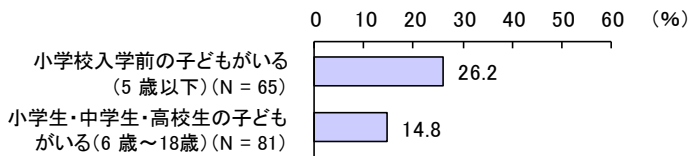
子どもの医療や健康づくり・保健事業の充実



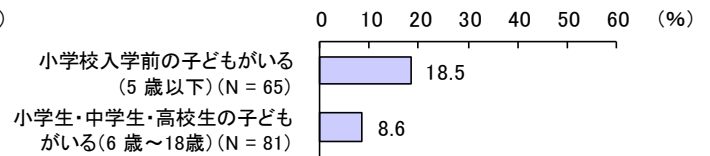
子育て情報の収集・提供



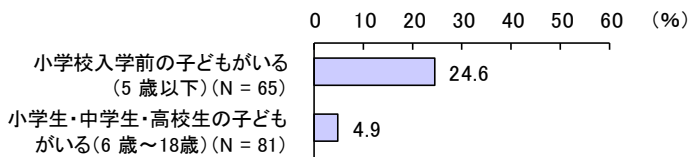
子育て家庭への経済的な支援の充実



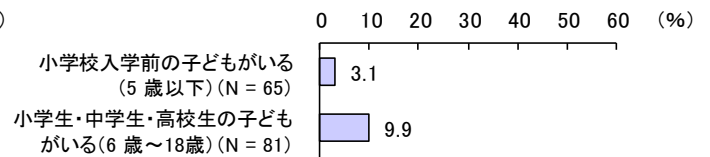
休日保育や一時保育など多様な保育サービスの拡充



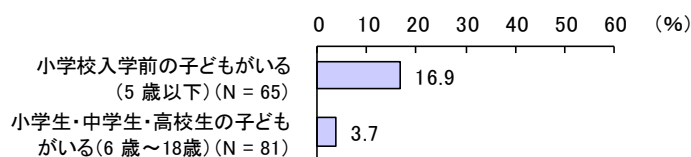
幼稚園・保育所などの幼児教育・保育内容の充実



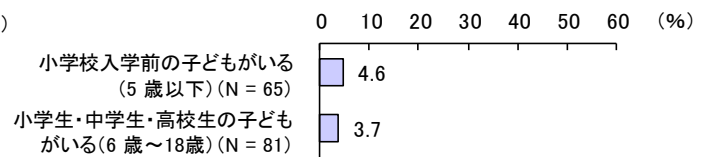
地域の青少年健全育成活動の充実



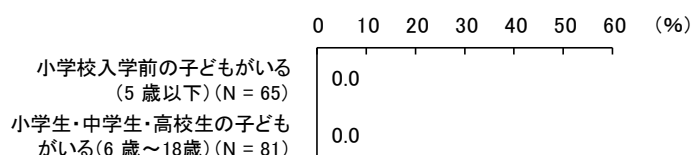
乳幼児親子が外出しやすい環境整備



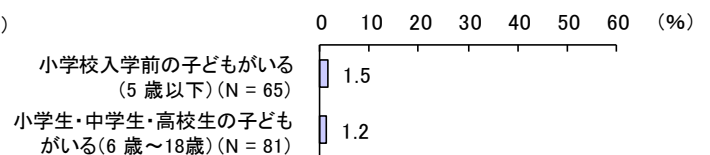
子育て家庭の交流の場の提供



特にない



その他



(2) 学校教育のための重点施策

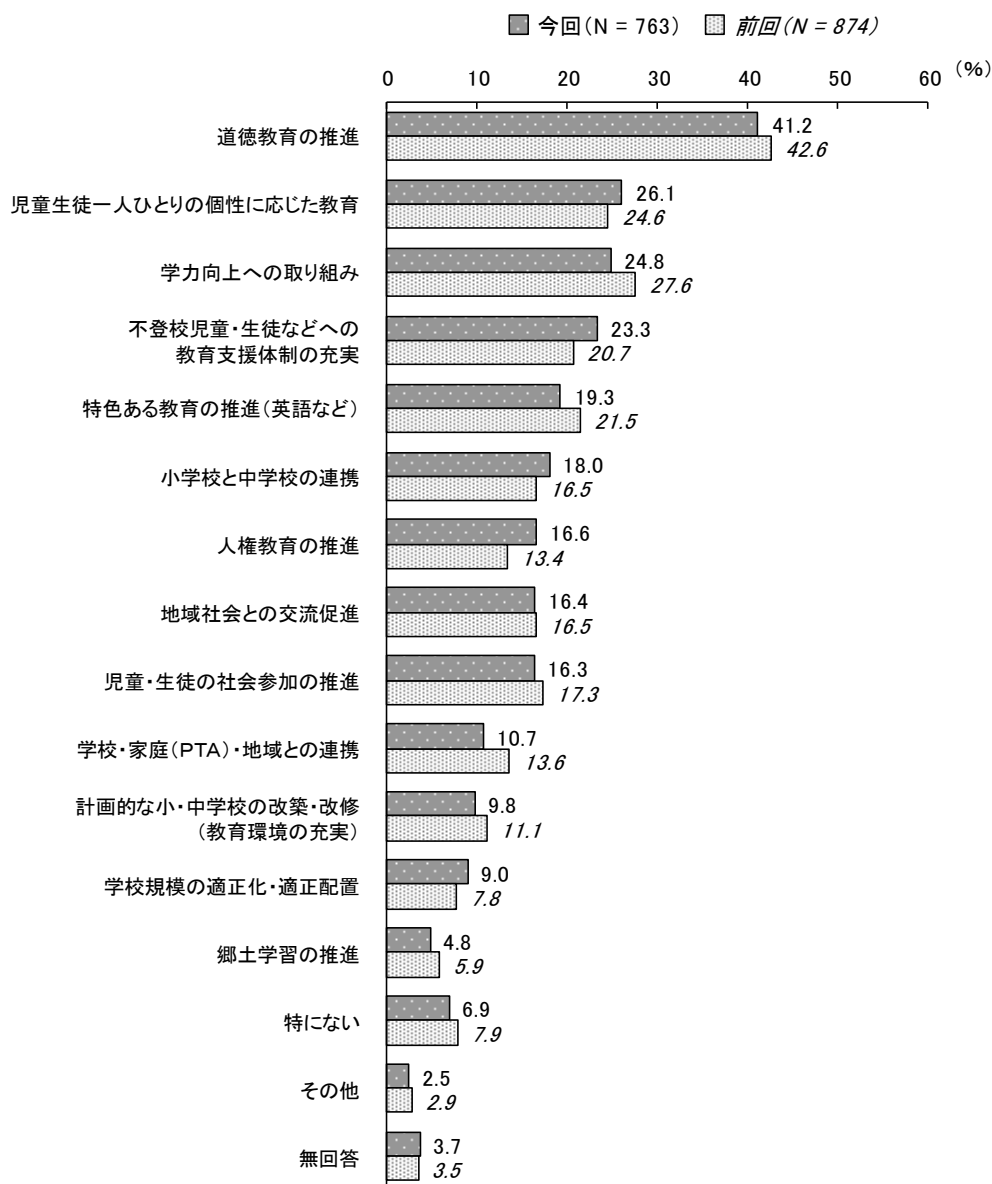
◇「道德教育の推進」が4割を超えている

問26 今後、子どもの健やかな成長支援を推進するための学校教育について、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

子どもの健やかな成長支援を推進するための学校教育について、区が力をいれるべきだと思うことは、「道德教育の推進」(41.2%)が4割を超えて最も高くなっている。次いで、「児童生徒一人ひとりの個性に応じた教育」(26.1%)、「学力向上への取り組み」(24.8%)、「不登校児童・生徒などへの教育支援体制の充実」(23.3%)、「特色ある教育の推進(英語など)」(19.3%)の順で続いている。

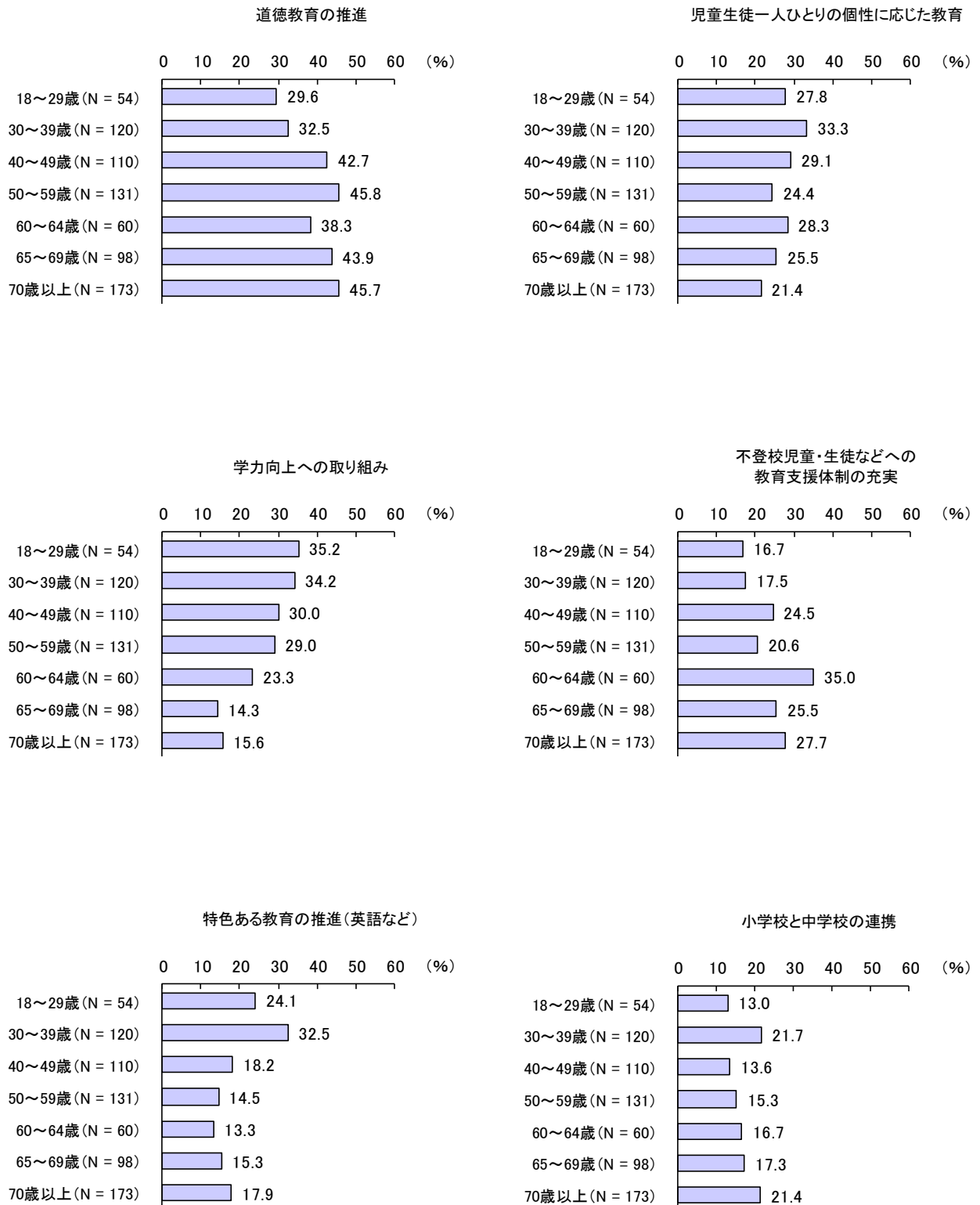
前回調査と比較すると、「不登校児童・生徒などへの教育支援体制の充実」、「人権教育の推進」がわずかに増加している。(図表6-2-1)

図表6-2-1 学校教育のための重点施策

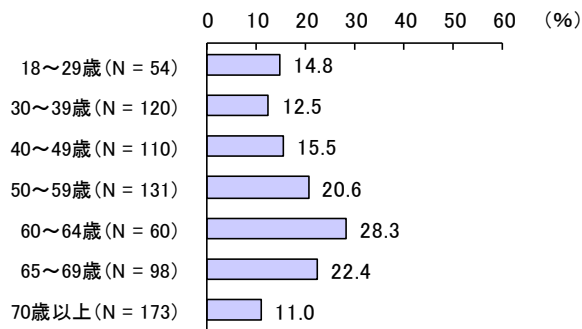


年齢別でみると、「学力向上への取り組み」でおおむね年齢が低くなるにつれ割合が高くなる傾向を示している。また、「道徳教育の推進」で40歳以上が高くなっている。また、「特色ある教育の推進（英語など）」で30～39歳が、「不登校児童・生徒などへの教育支援体制の充実」「人権教育の推進」で60～64歳が高くなっている。（図表6-2-2）

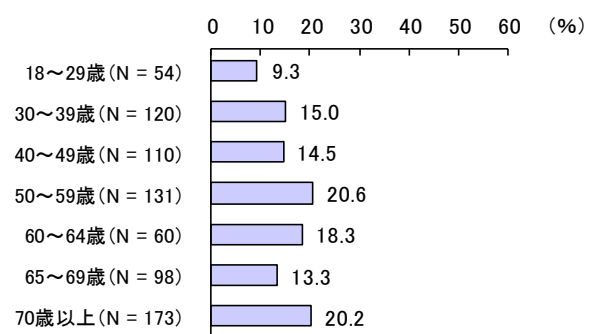
図表6-2-2 学校教育のための重点施策一年齢別



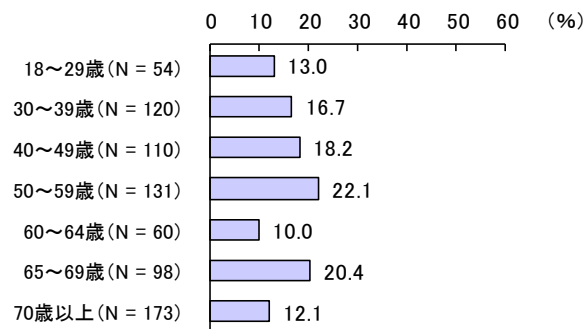
人権教育の推進



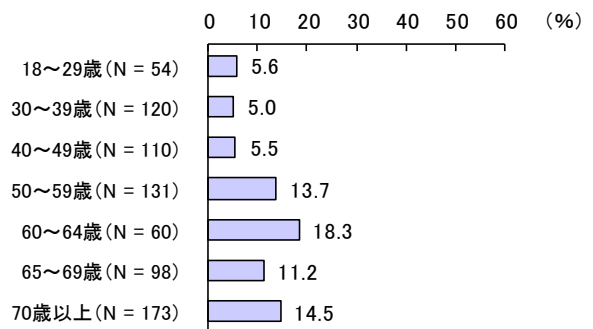
地域社会との交流促進



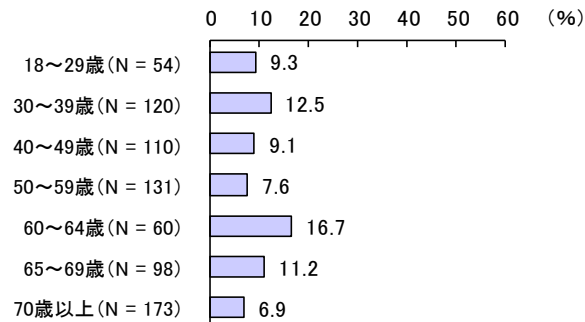
児童・生徒の社会参加の推進



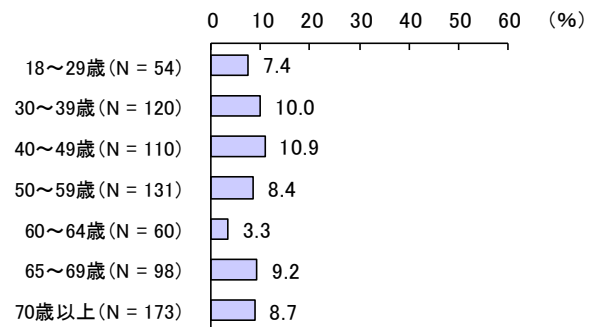
学校・家庭(PTA)・地域との連携



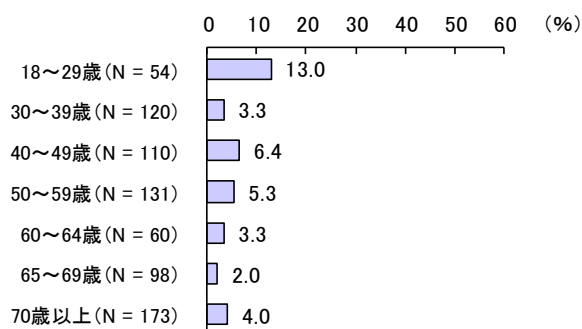
計画的な小・中学校の
改築・改修(教育環境の充実)



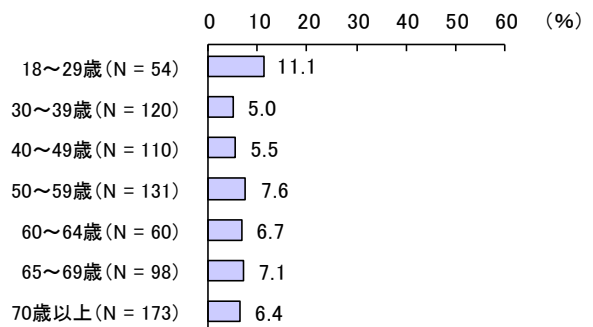
学校規模の適正化・適正配置



郷土学習の推進

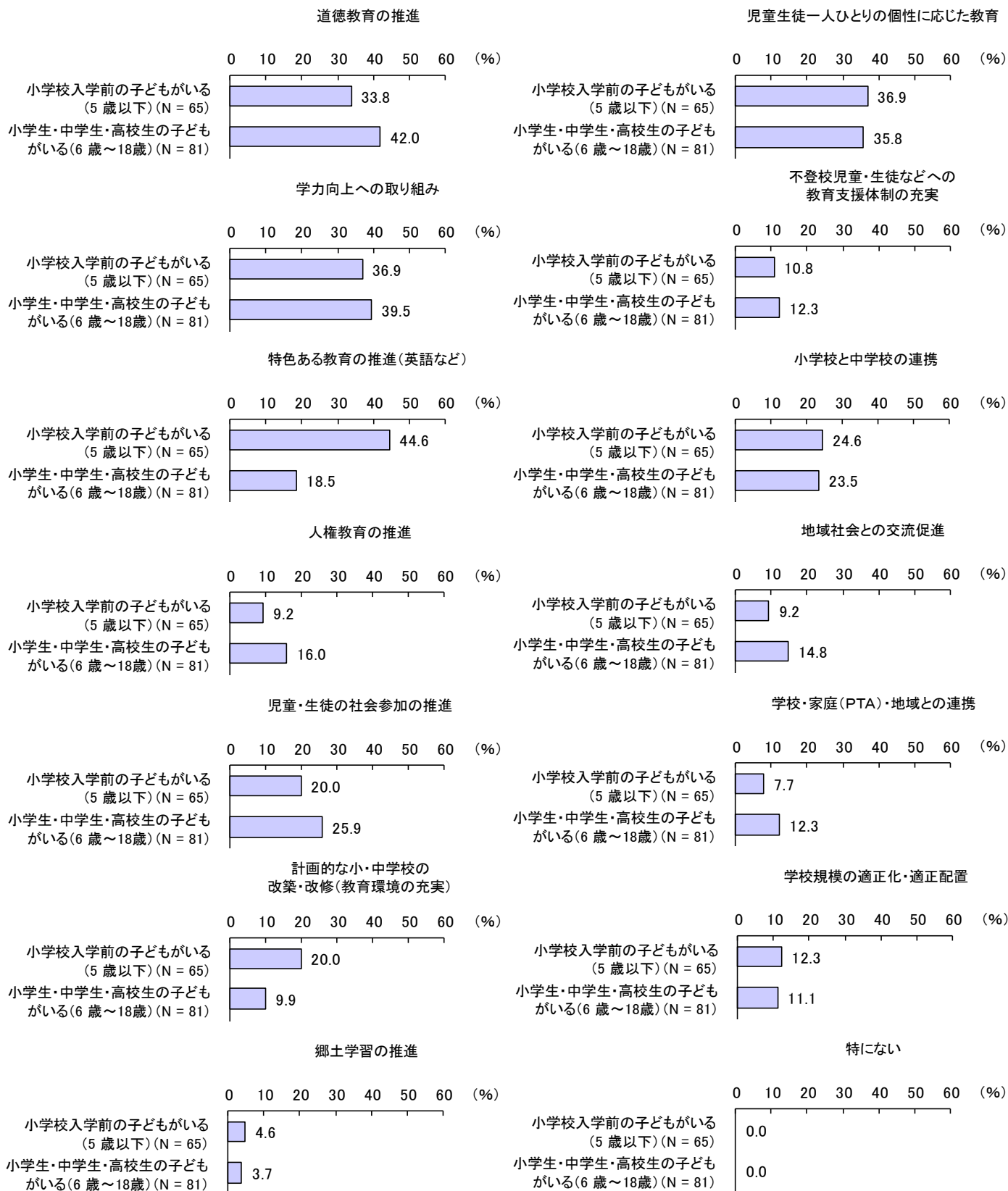


特にない



未成年者と同居別でみると、「特色ある教育の推進（英語など）」「計画的な小・中学校の改築・改修（教育環境の充実）」で“小学校入学前の子どもがいる（5歳以下）”が、「道徳教育の推進」「人権教育の推進」「地域社会との交流促進」「児童・生徒の社会参加の推進」で“小学生・中学生・高校生の子どもがいる（6歳～18歳）”が高くなっている。（図表6-2-3）

図表6-2-3 学校教育のための重点施策—未成年者と同居別



7 「元気」・いきいき戦略

(1) 健康づくりのための重点施策

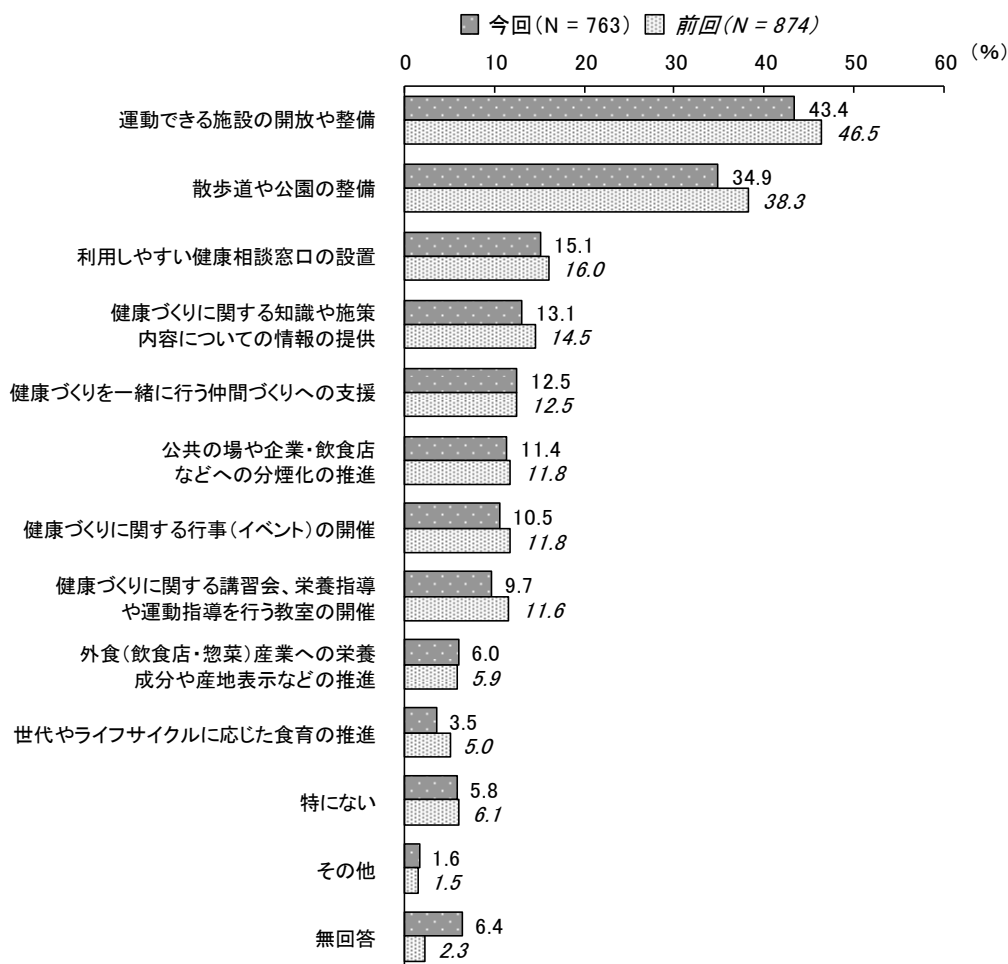
◇「運動できる施設の開放や整備」が4割を超えている

問27 今後、健康づくりを推進するため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

健康づくりを推進するため、区が力をいれるべきだと思うことは、「運動できる施設の開放や整備」(43.4%)が4割を超えて最も高くなっている。次いで、「散歩道や公園の整備」(34.9%)、「利用しやすい健康相談窓口の設置」(15.1%)、「健康づくりに関する知識や施策内容についての情報の提供」(13.1%)、「健康づくりを一緒に行う仲間づくりへの支援」(12.5%)の順で続いている。

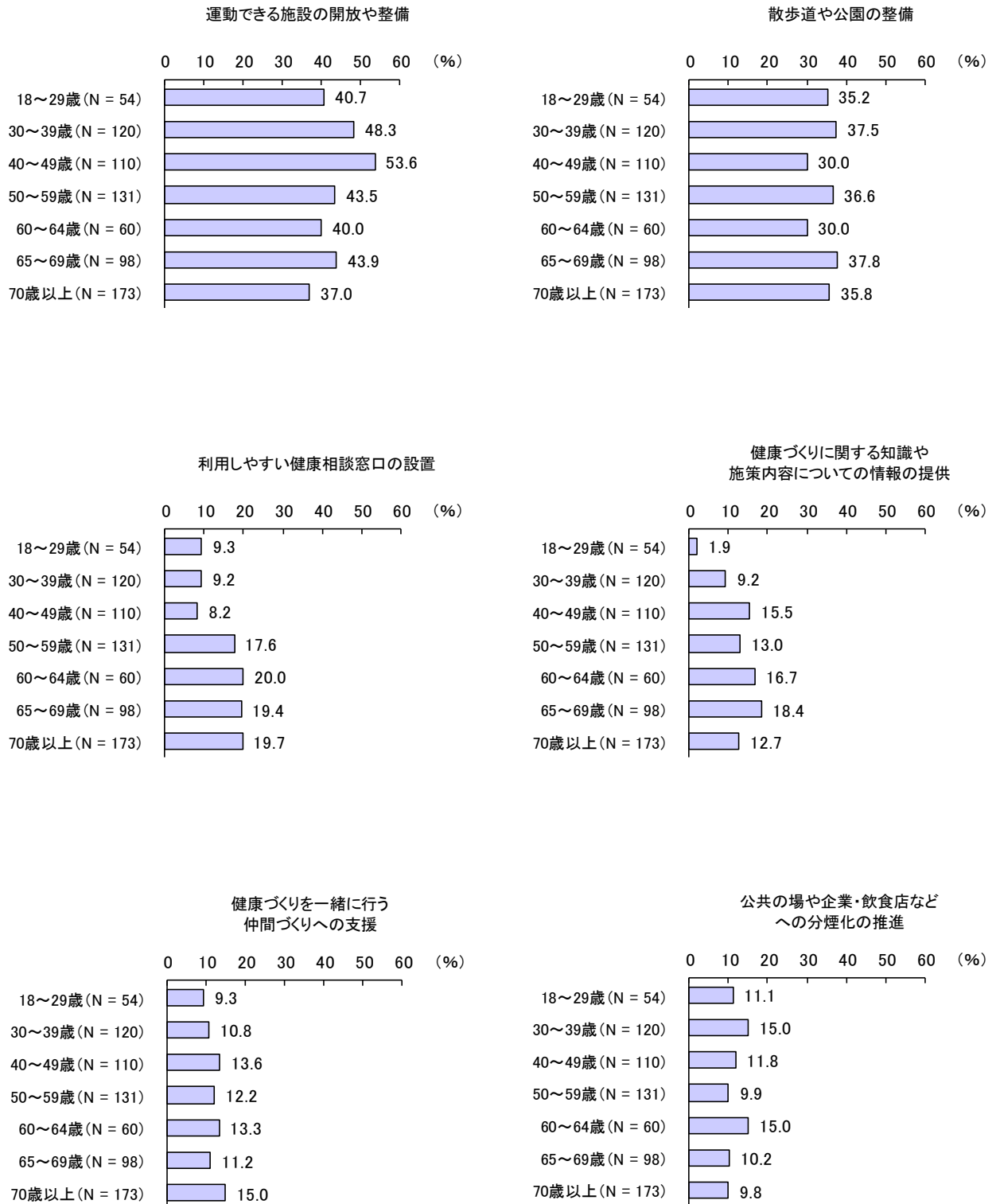
前回調査と比較すると、順位の変動はなく、大きな変化はみられない。(図表7-1-1)

図表7-1-1 健康づくりのための重点施策

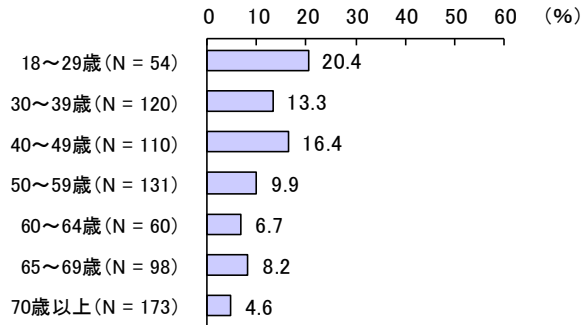


年齢別でみると、「運動できる施設の開放や整備」で40～49歳の割合が高くなっている。また、「健康づくりに関する行事（イベント）の開催」でおおむね年齢が低くなるにつれ割合が高くなる傾向を示している。（図表7-1-2）

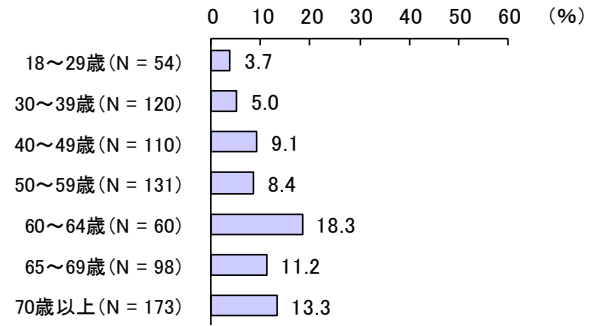
図表7-1-2 健康づくりのための重点施策一年齢別



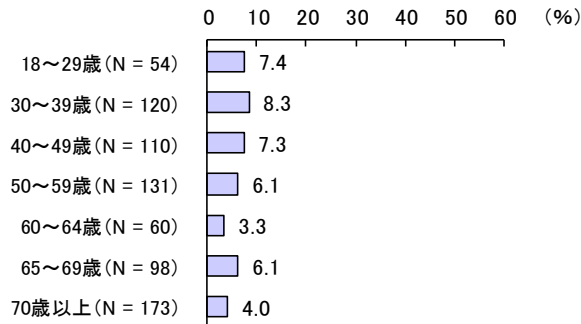
健康づくりに関する
行事(イベント)の開催



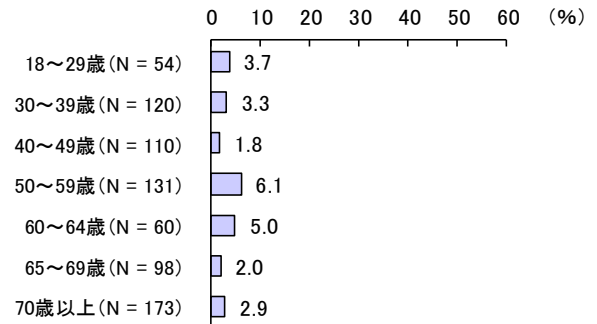
健康づくりに関する講習会、栄養指導や
運動指導を行う教室の開催



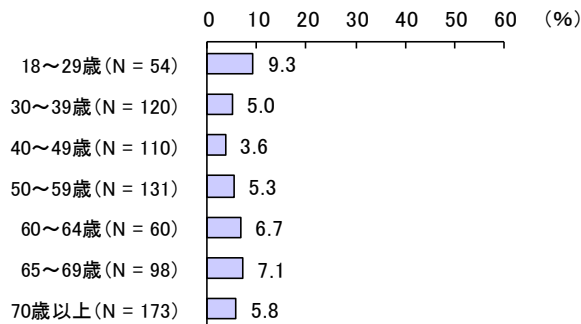
外食(飲食店・惣菜)産業への
栄養成分や産地表示などの推進



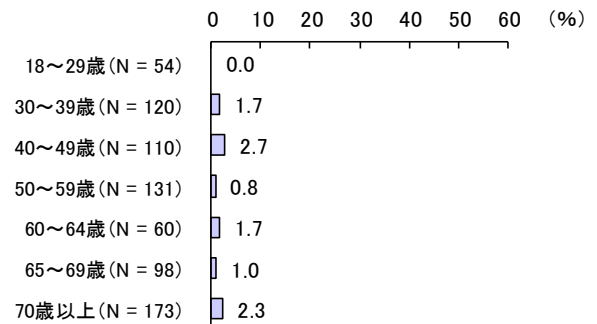
世代やライフサイクルに
応じた食育の推進



特になし



その他



(2) 女性が活躍する社会のための重点施策

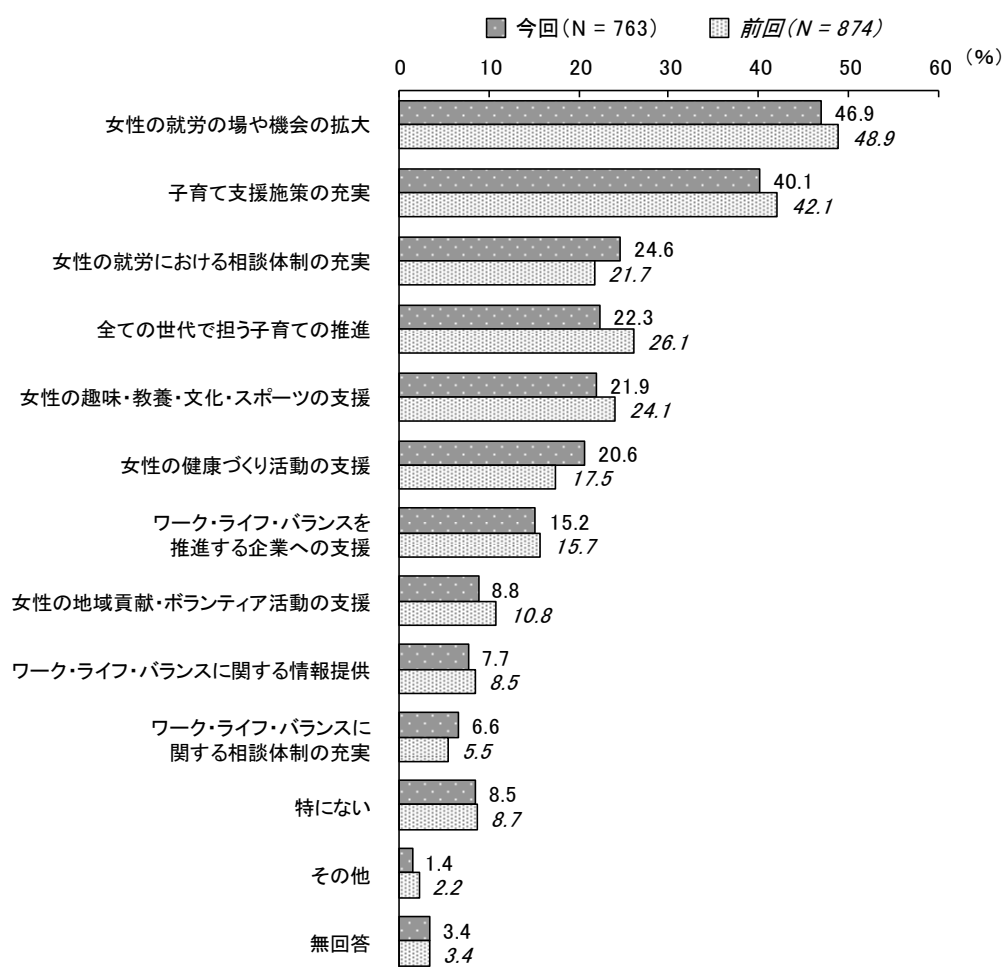
◇「女性の就労の場や機会の拡大」が4割半ば

問28 今後、女性がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取組みが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

今後、女性がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取組みが必要だと思うか聞いたところ、「女性の就労の場や機会の拡大」(46.9%)が4割半ばと最も高くなっている。次いで、「子育て支援施策の充実」(40.1%)、「女性の就労における相談体制の充実」(24.6%)、「すべての世代で担う子育ての推進」(22.3%)、「女性の趣味・教養・文化・スポーツの支援」(21.9%)の順で続いている。

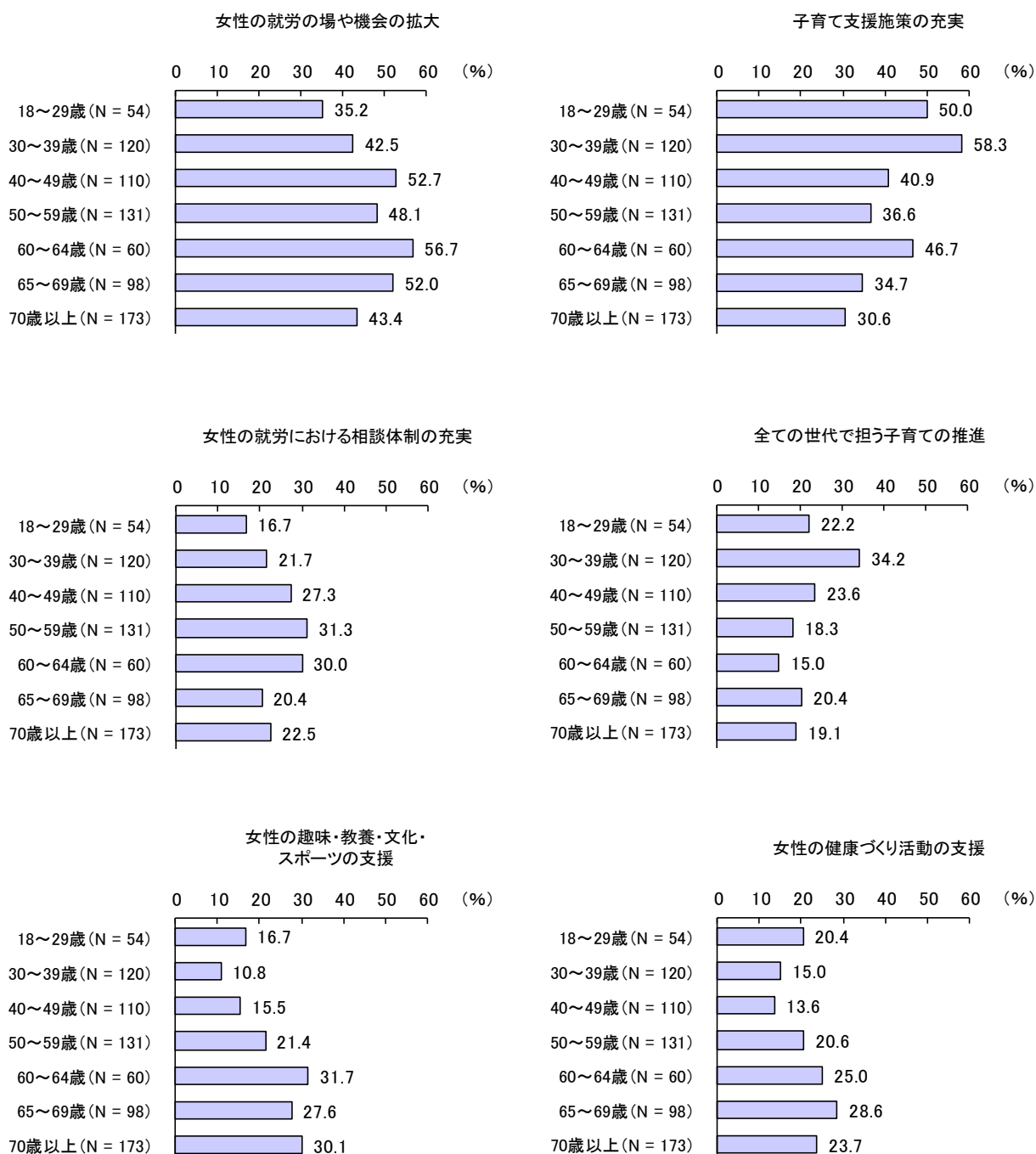
前回調査と比較すると、「女性の就労における相談体制の充実」が増加し、「すべての世代で担う子育ての推進」が減少している。(図表7-2-1)

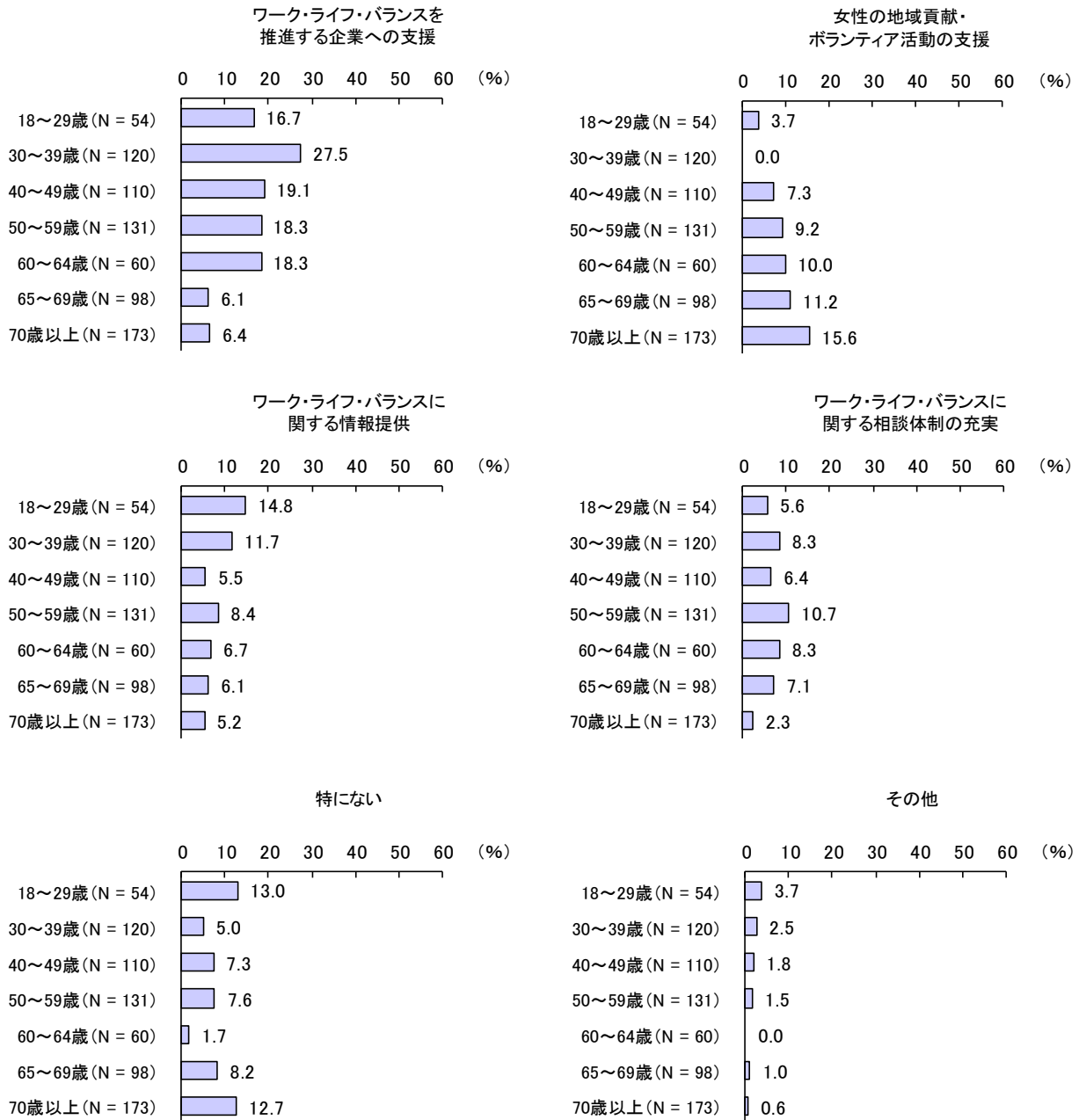
図表7-2-1 女性が活躍する社会のための重点施策



年齢別でみると、「女性の就労の場や機会の拡大」で60～64歳が高く、「子育て支援施策の充実」「すべての世代で担う子育ての推進」「ワーク・ライフ・バランスを推進する企業への支援」で30～39歳が高くなっている。(図表7-2-2)

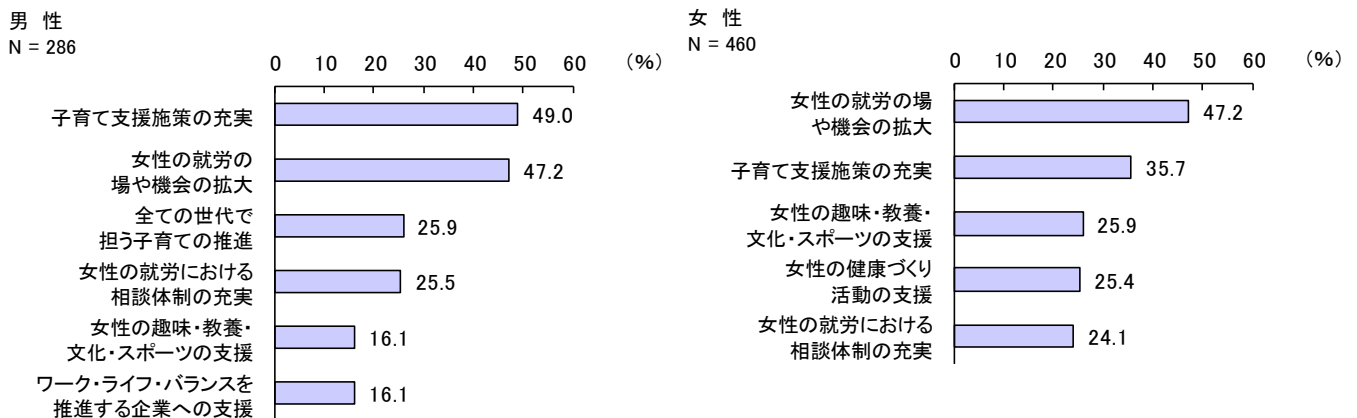
図表7-2-2 女性が活躍する社会のための重点施策一年齢別





性別でみると、男女とも「子育て支援施策の充実」、「女性の就労の場や機会の拡大」が1位、2位を占めているが、その順位は男女で逆になっている。(図表7-2-3)

図表7-2-3 女性が活躍する社会のための重点施策—性別(上位5項目)



(3) かかりつけ医

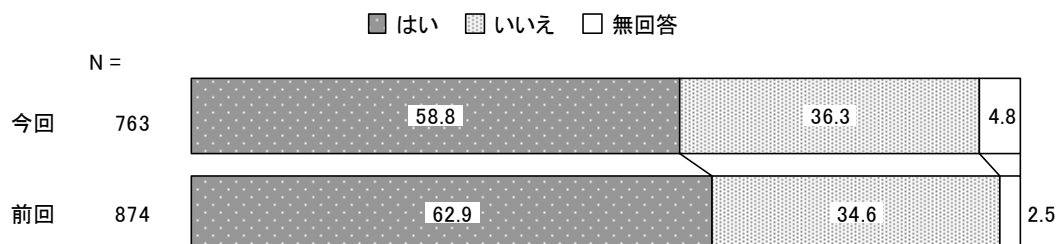
◇かかりつけ医がいる人が6割近く

問29 あなたにはかかりつけの医者はいますか。

かかりつけ医の有無を聞いたところ、「はい」(58.8%)が6割近く、「いいえ」(36.3%)が3割半ばとなっている。

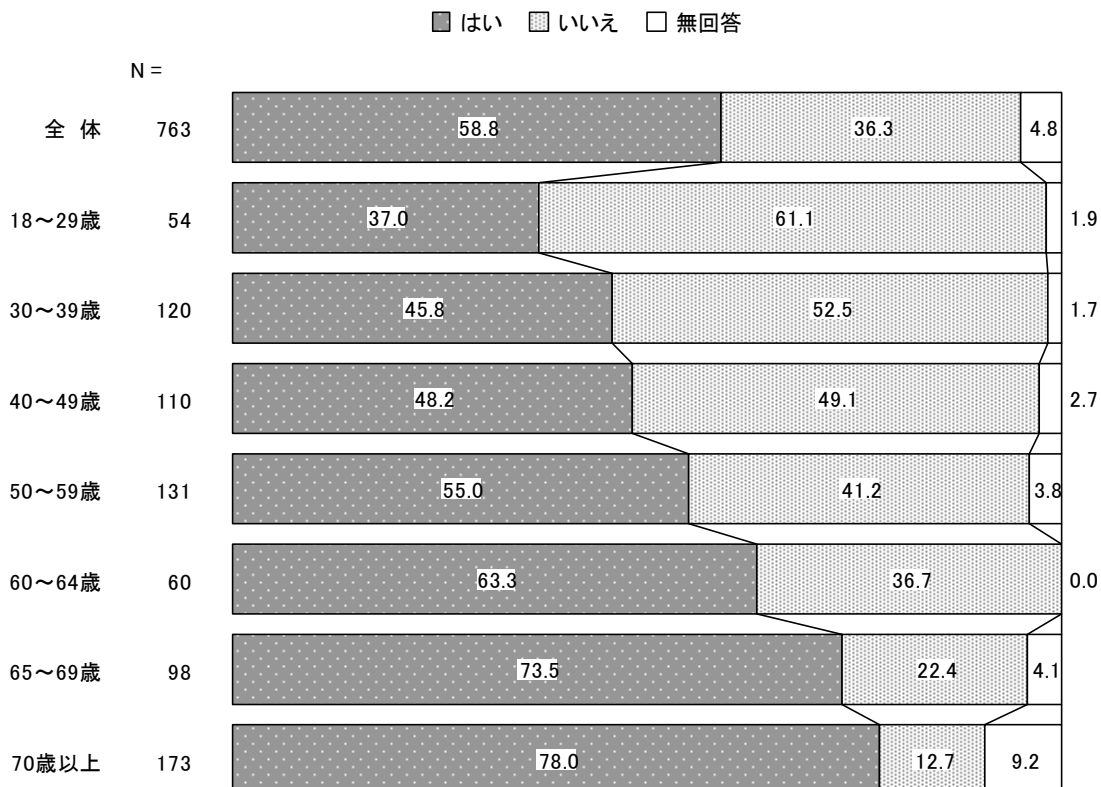
前回調査と比較すると、「はい」が減少している。(図表7-3-1)

図表7-3-1 かかりつけ医



年齢別で見ると、「はい」は年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向を示しており、70歳以上で約8割を占めている。(図表7-3-2)

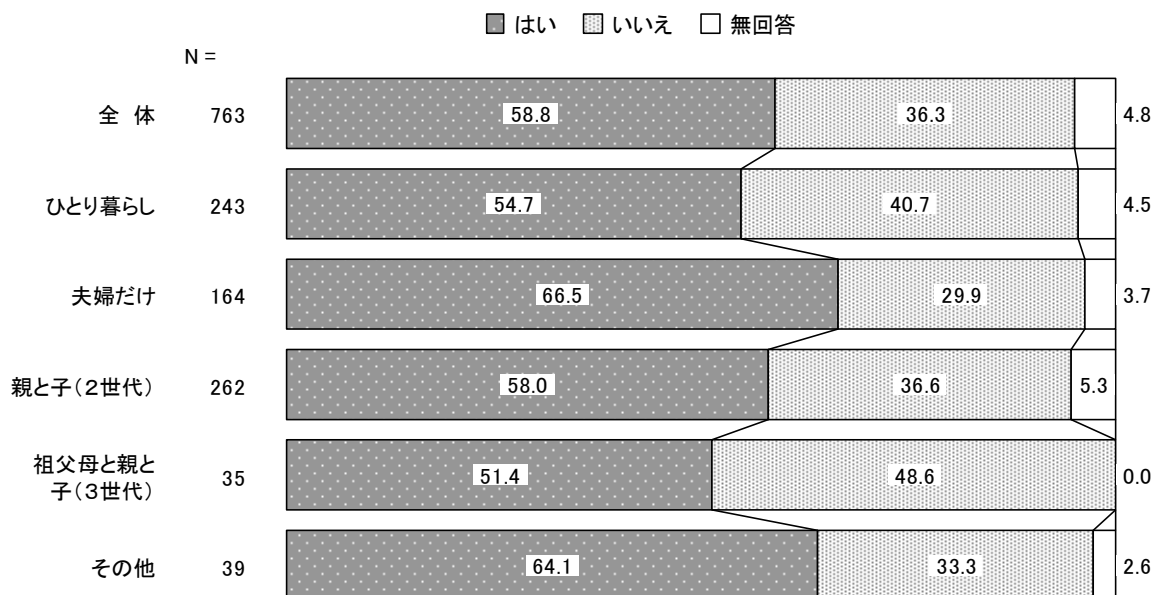
図表7-3-2 かかりつけ医一年齢別



家族構成別でみると、「はい」は“夫婦だけ”（66.5%）で6割半ばと高くなっている。また、「いいえ」は“祖父母と親と子（3世代）”（48.6%）で5割近くと高くなっている。

（図表7-3-3）

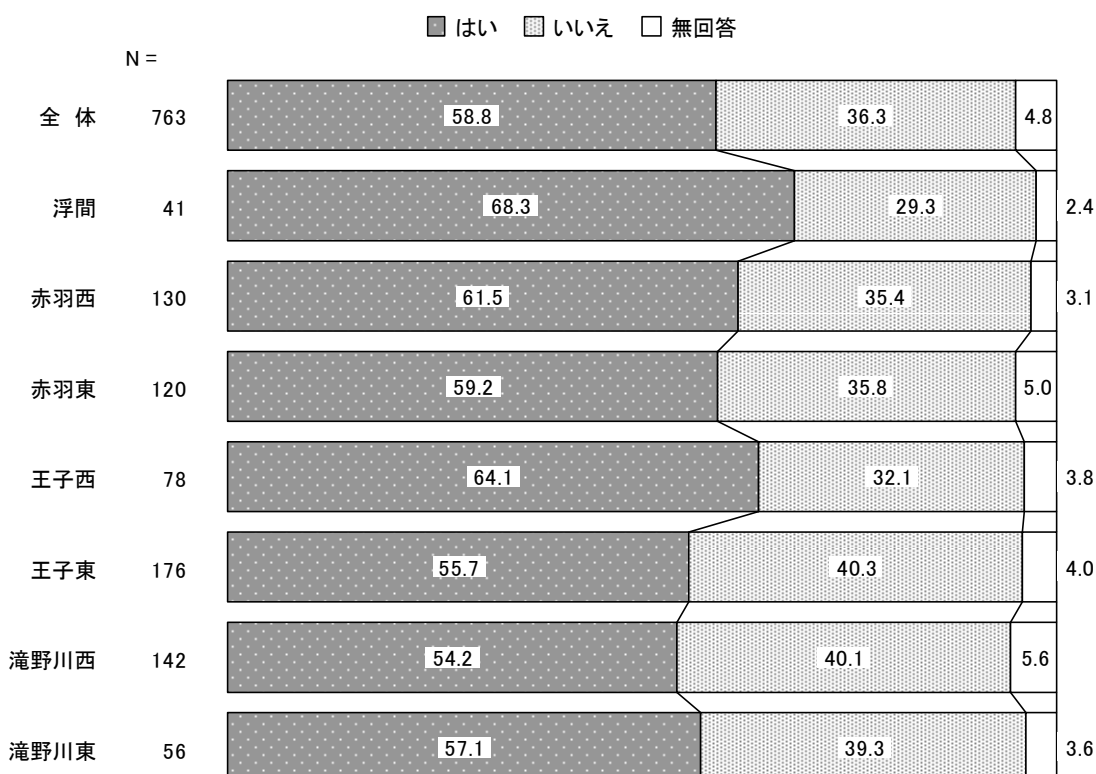
図表7-3-3 かかりつけ医—家族構成別



居住地区別でみると、「はい」は浮間（68.3%）で7割近くと高くなっている。また、「いいえ」は王子東（40.3%）、滝野川西（40.1%）、滝野川東（39.3%）で約4割と高くなっている。

（図表7-3-4）

図表7-3-4 かかりつけ医—居住地区別



(4) 高齢者のための重点施策

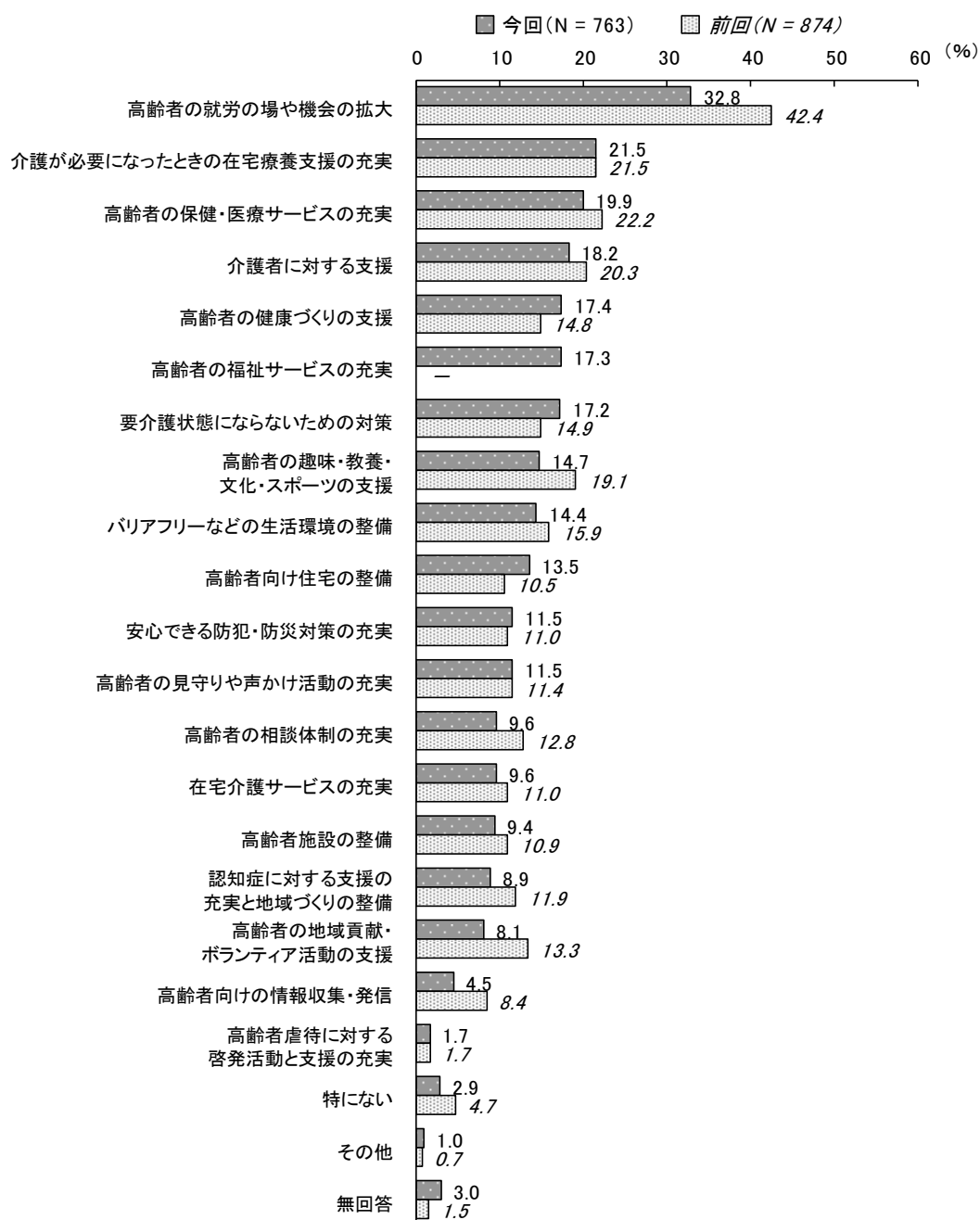
◇「高齢者の就労の場や機会の拡大」が3割を超えている

問30 今後、高齢者がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取組みが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

高齢者がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるために必要な取組みを聞いたところ、「高齢者の就労の場や機会の拡大」(32.8%)が3割を超えて最も高くなっている。2位以下をみると、「介護が必要になったときの在宅療養支援の充実」(21.5%)、「介護者に対する支援」(18.2%)といった介護に関するもの、「高齢者の保健・医療サービスの充実」(19.9%)、「高齢者の健康づくりの支援」(17.4%)といった健康に関するものが上位を占めている。

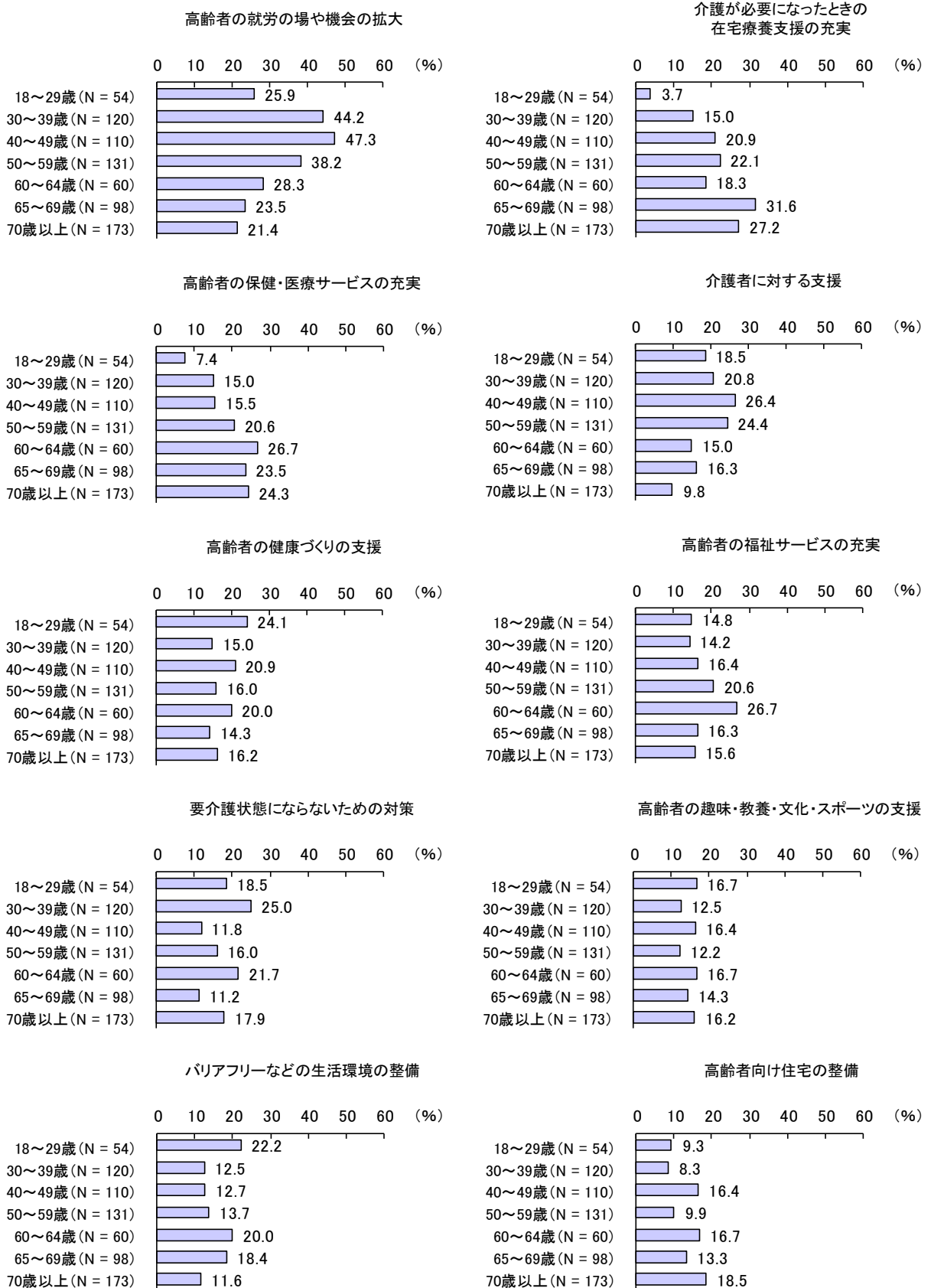
(図表7-4-1)

図表7-4-1 高齢者のための重点施策

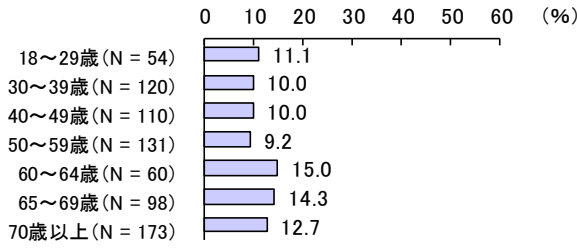


年齢別でみると、「高齢者の就労の場や機会の拡大」で30～49歳が高く、「介護が必要になったときの在宅療養支援の充実」で65～69歳が高くなっている。また、「高齢者の福祉サービスの充実」で60～64歳が高くなっている。(図表7-4-2)

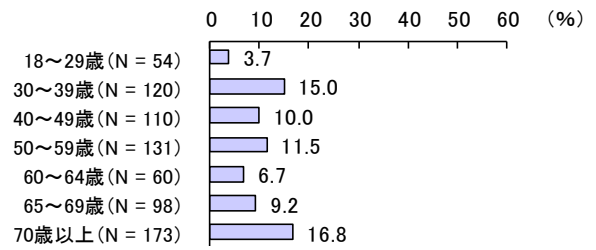
図表7-4-2 高齢者のための重点施策一年齢別



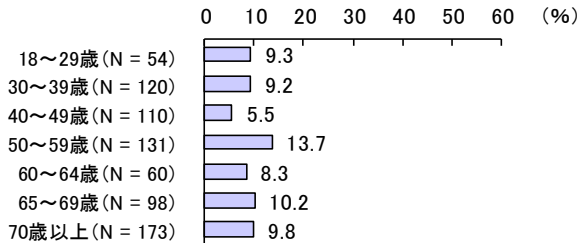
安心できる防犯・防災対策の充実



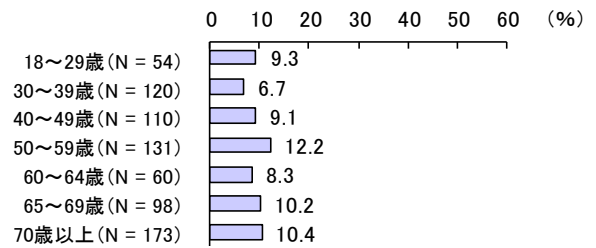
高齢者の見守りや声かけ活動の充実



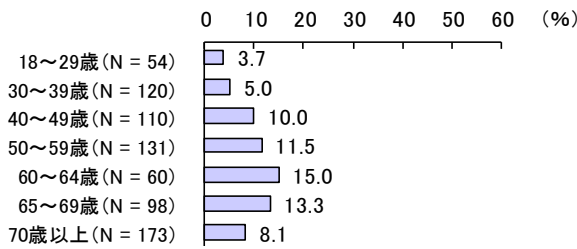
高齢者の相談体制の充実



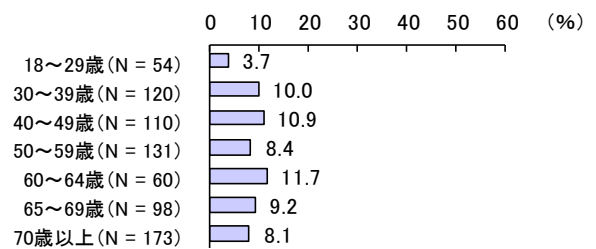
在宅介護サービスの充実



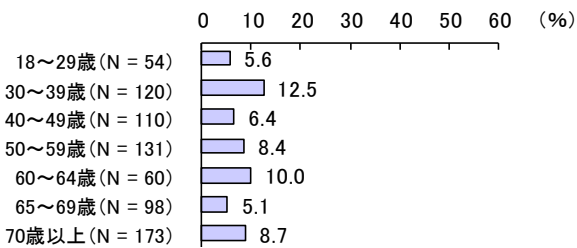
高齢者施設の整備



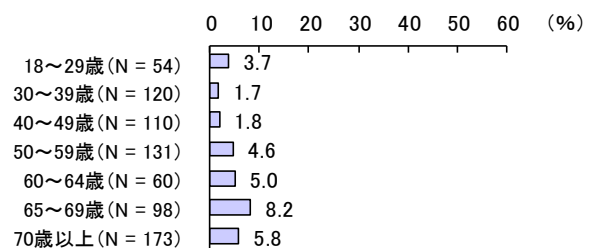
認知症に対する支援の充実と地域づくりの整備



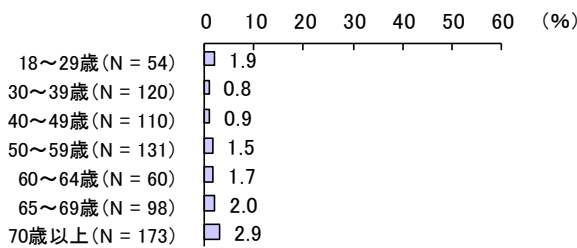
高齢者の地域貢献・ボランティア活動の支援



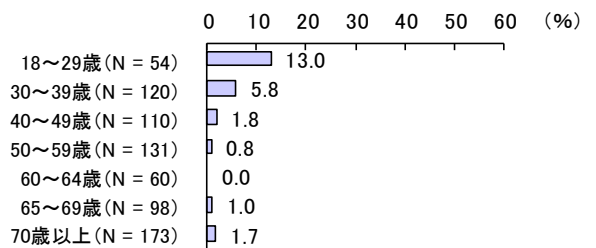
高齢者向けの情報収集・発信



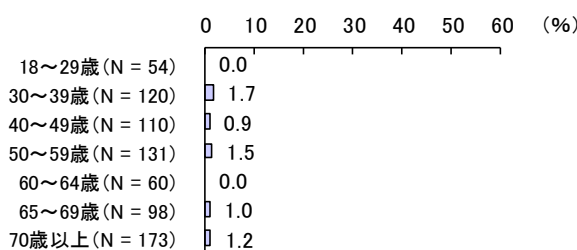
高齢者虐待に対する啓発活動と支援の充実



特になし



その他



(5) 障害者のための重点施策

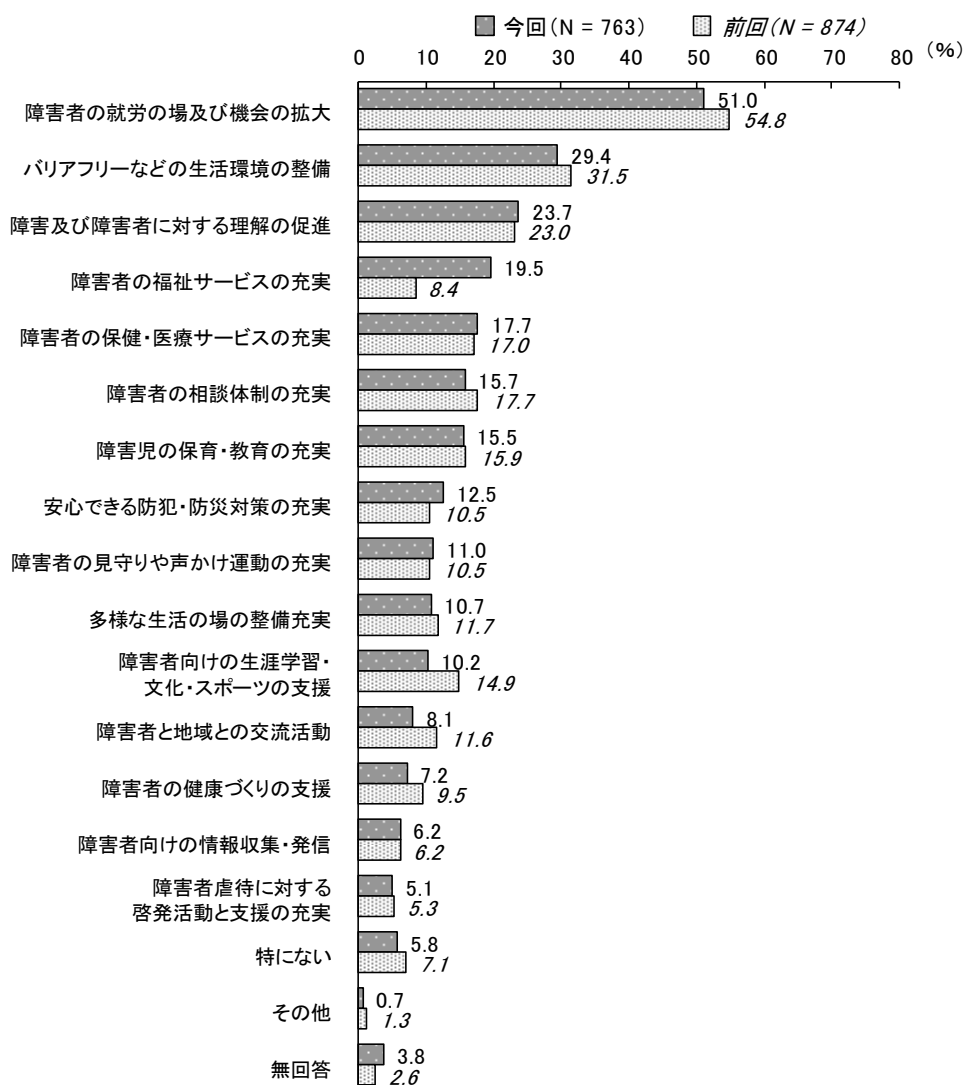
◇「障害者の就労の場及び機会の拡大」が5割を超えている

問3 1 今後、障害者がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取り組みが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

障害者がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取り組みが必要だと思うか聞いたところ、「障害者の就労の場及び機会の拡大」(51.0%)が5割を超えて、突出して高くなっている。次いで、「バリアフリーなどの生活環境の整備」(29.4%)、「障害及び障害者に対する理解の促進」(23.7%)、「障害者の福祉サービスの充実」(19.5%)の順で続いている。

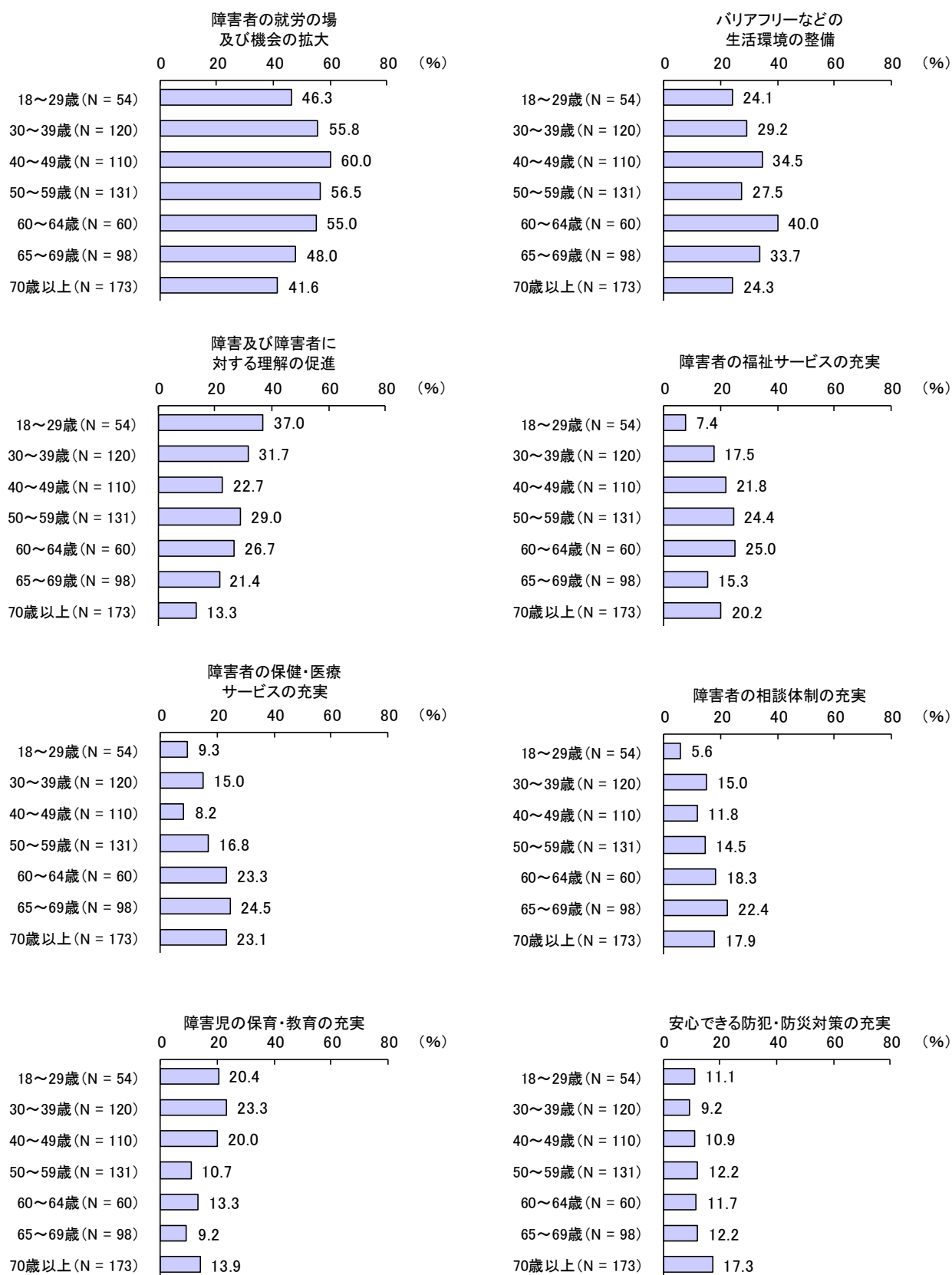
前回調査と比較すると、「障害者の福祉サービスの充実」が大きく増加し、「障害者向けの生涯学習・文化・スポーツの支援」などが減少している。(図表7-5-1)

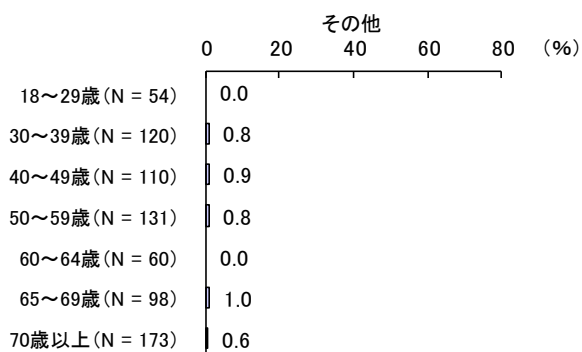
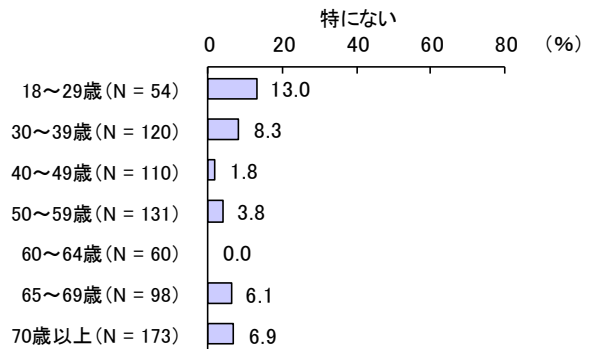
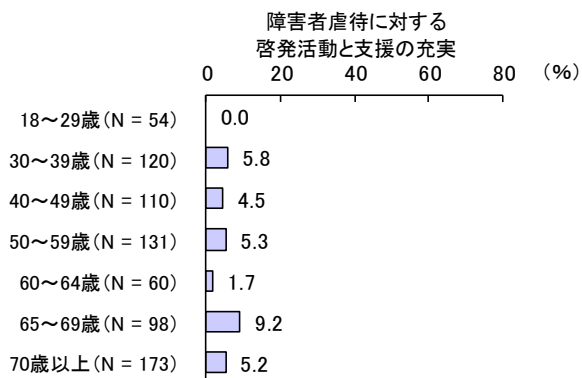
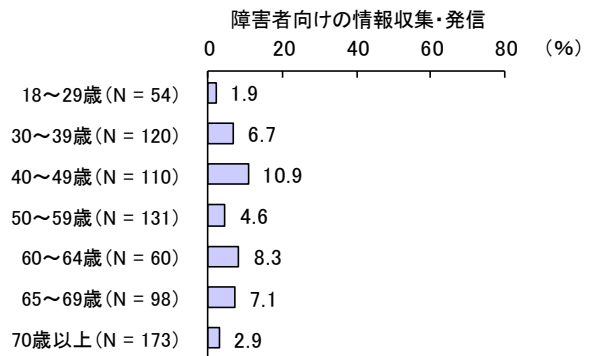
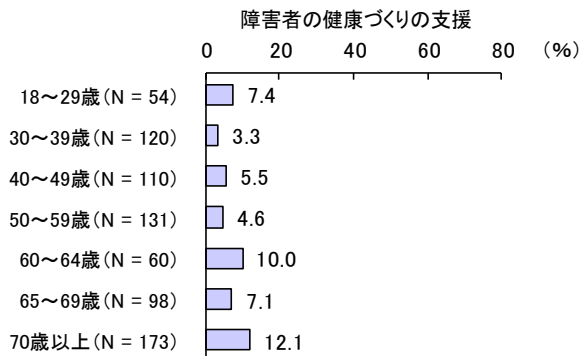
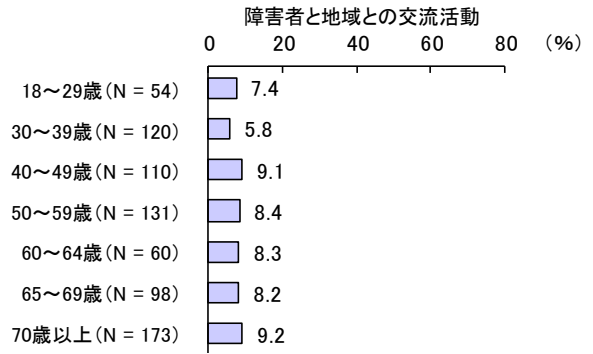
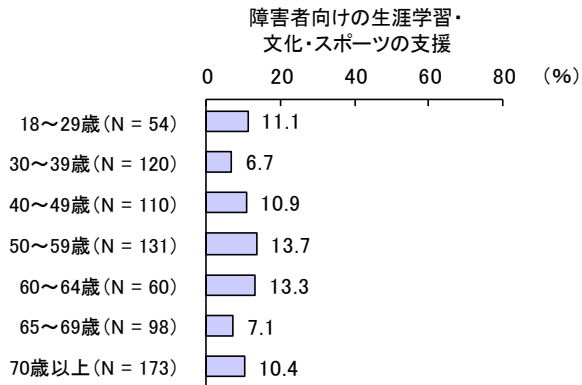
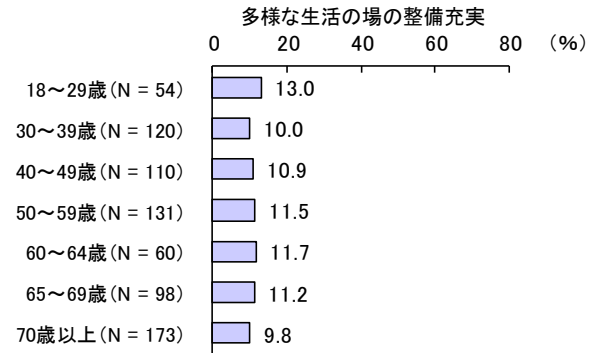
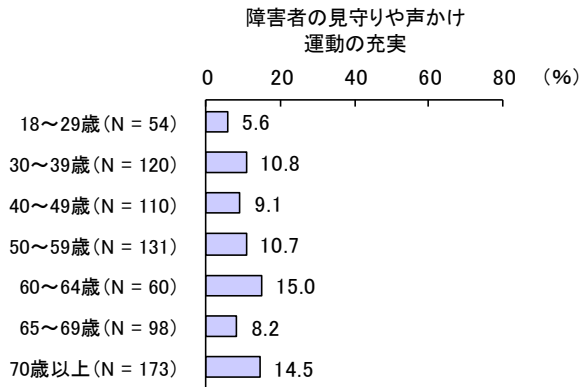
図表7-5-1 障害者のための重点施策



年齢別でみると、「障害者の就労の場及び機会の拡大」で40～49歳が高くなっている。また、「バリアフリーなどの生活環境の整備」で60～69歳が、「障害及び障害者に対する理解の促進」で18～29歳が高くなっている。(図表7-5-2)

図表7-5-2 障害者のための重点施策一年齢別





(6) 産業活性化のための重点施策

◇【商店街の振興】

「空き店舗活用への支援」が3割近くで、特に30～64歳で支持が高い

◇【中小企業の振興】

「企業の優れた技術や技能を伸ばし、技術力を継承するための支援」が3割を超えている

◇【区の産業全体】

「地域の資源を活用したビジネスや、住民が地域の課題を、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み（コミュニティビジネス）を促すための支援」が2割を超えている

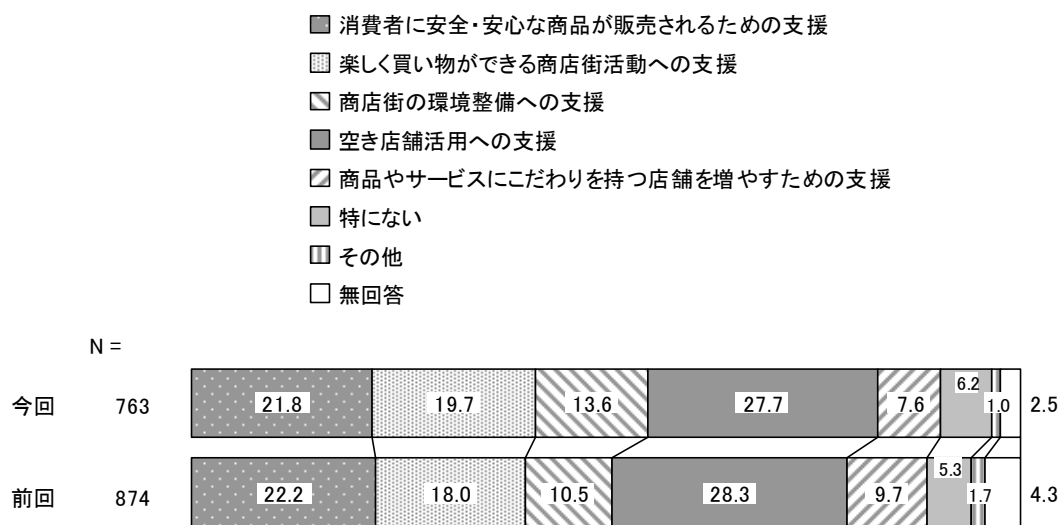
問32 今後、産業の活性化を推進するため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。各テーマから1つずつ選んで○をつけてください。

①商店街の振興

商店街の振興のため、区が力をいれるべきだと思うことを聞いたところ、「空き店舗活用への支援」(27.7%)、が最も高く、次いで、「消費者に安全・安心な商品が販売されるための支援」(21.8%)、「楽しく買い物ができる商店街活動への支援」(19.7%)の順で続いている。

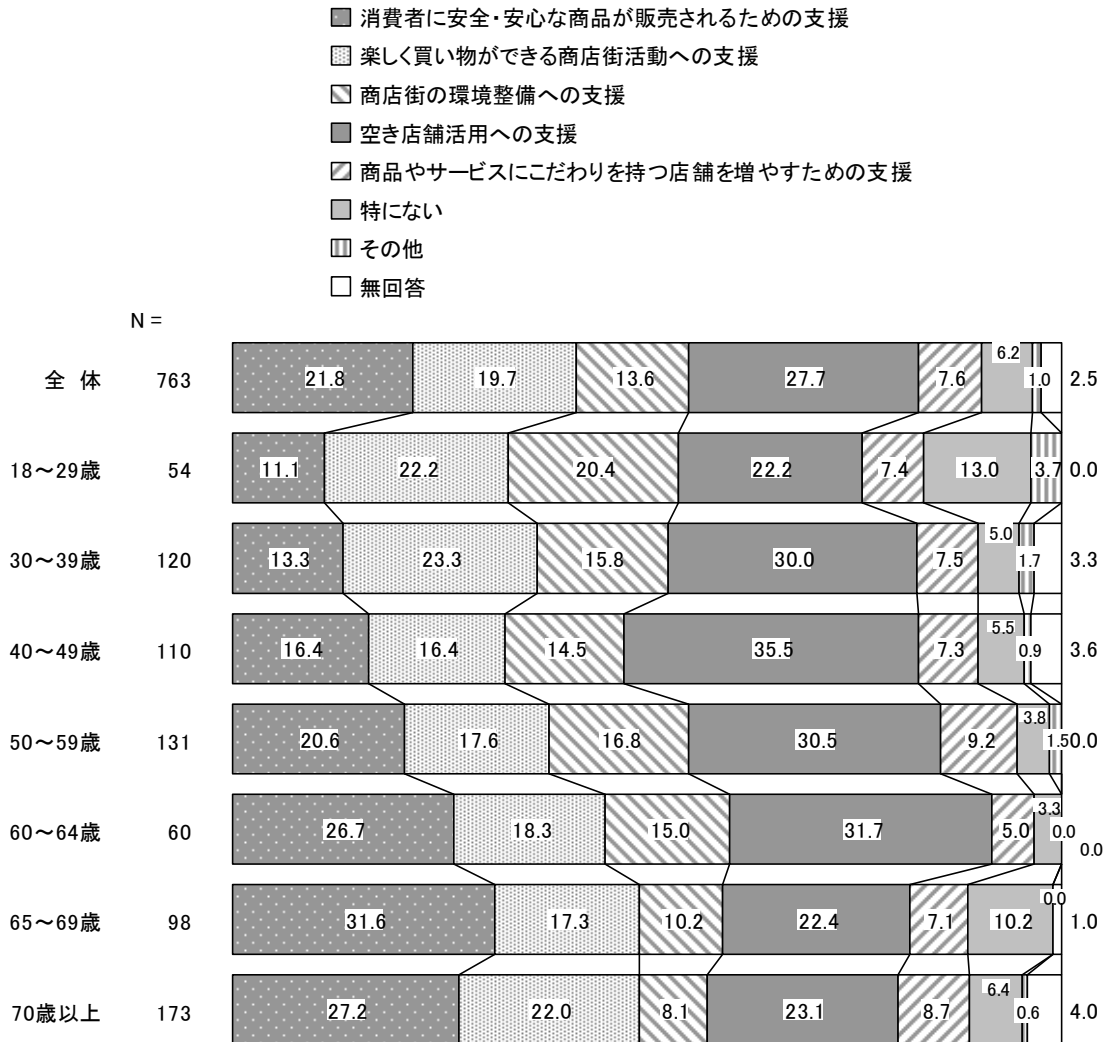
前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。(図表7-6-1)

図表7-6-1 産業活性化のための重点施策【商店街の振興】



商店街の振興のための重点施策を年齢別で見ると、おおむね年齢が上がるにつれ「消費者に安全・安心な商品が販売されるための支援」の割合が高くなっている。また、30～64歳で「空き店舗活用への支援」が高くなっている。(図表7-6-2)

図表7-6-2 産業活性化のための重点施策一年齢別 【商店街の振興】

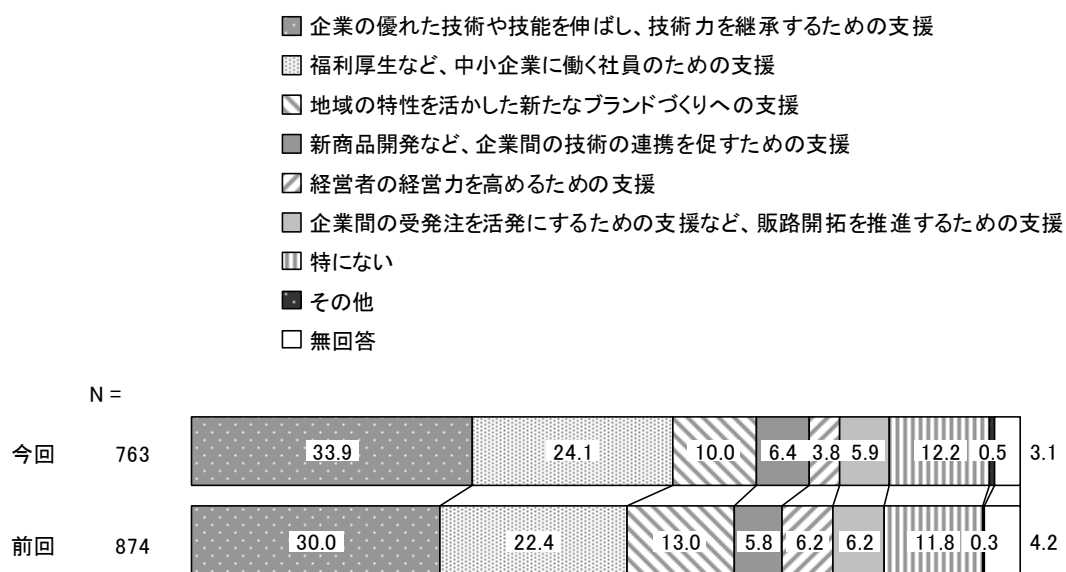


②中小企業の振興

中小企業の振興のため、区が力をいれるべきだと思うことを聞いたところ、「企業の優れた技術や技能を伸ばし、技術力を継承するための支援」(33.9%)が最も高く、次いで、「福利厚生など、中小企業に働く社員のための支援」(24.1%)となっている。また、「特にない」(12.2%)が約1割となっている。

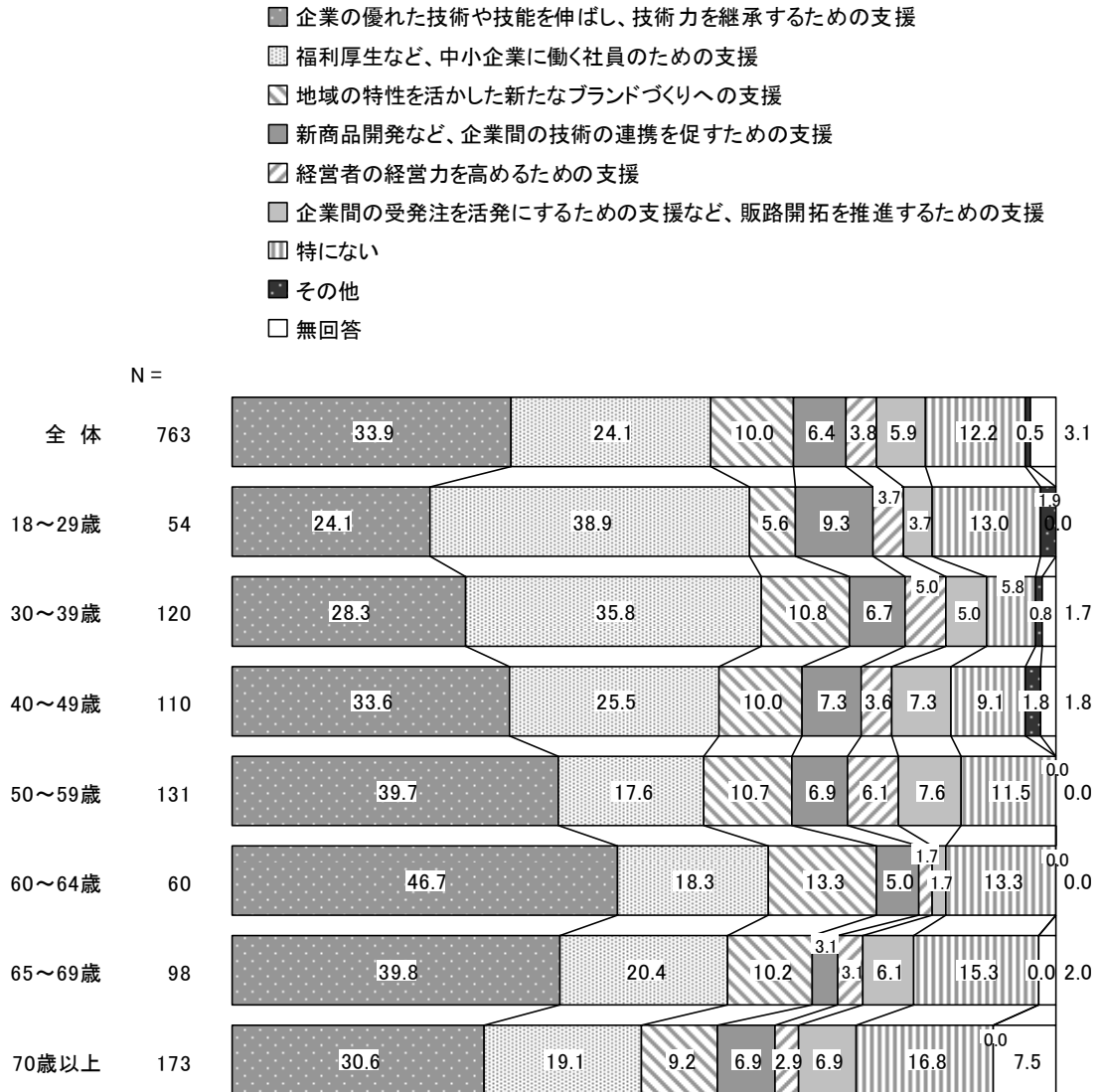
前回調査と比較すると、「企業の優れた技術や技能を伸ばし、技術力を継承するための支援」などが増加している。(図表7-6-3)

図表7-6-3 産業活性化のための重点施策【中小企業の振興】



中小企業の振興のための重点施策を年齢別で見ると、「福利厚生など、中小企業に働く社員のための支援」は18～39歳で高くなっている。(図表7-6-4)

図表7-6-4 産業活性化のための重点施策一年齢別 【中小企業の振興】

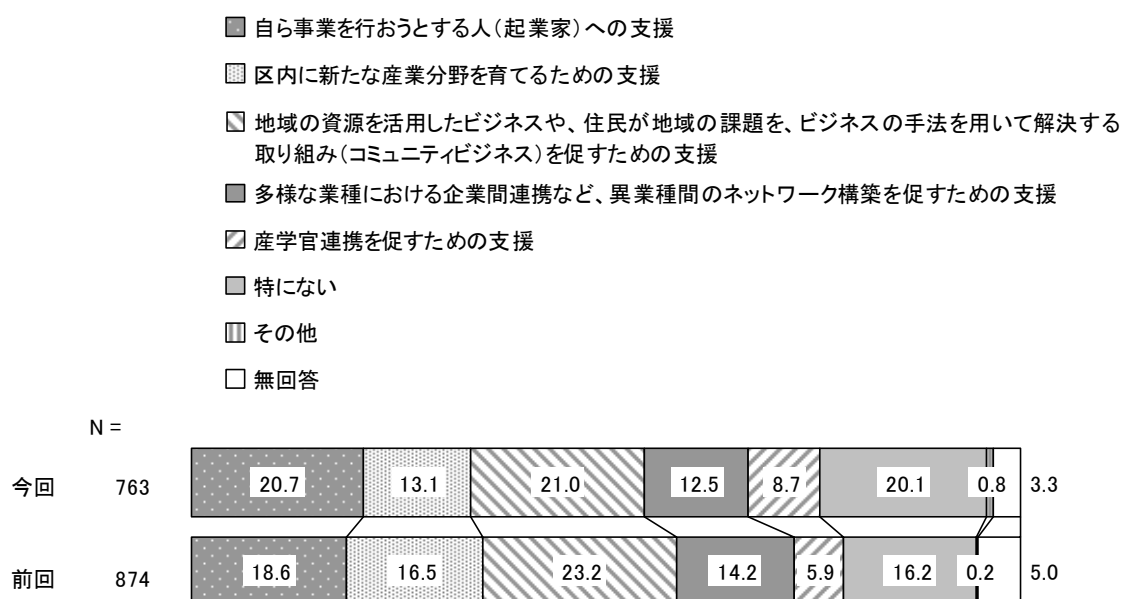


③区の産業全体

区の産業全体のため、区が力をいれるべきだと思うことを聞いたところ、「地域の資源を活用したビジネスや、住民が地域の課題を、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み（コミュニティビジネス）を促すための支援」（21.0%）、「自ら事業を行おうとする人（起業家）への支援」（20.7%）が2割を超えて高い。また、「特にない」（20.1%）が約2割となっている。

前回調査と比較すると、「自ら事業を行おうとする人（起業家）への支援」が増加している。（図表7-6-5）

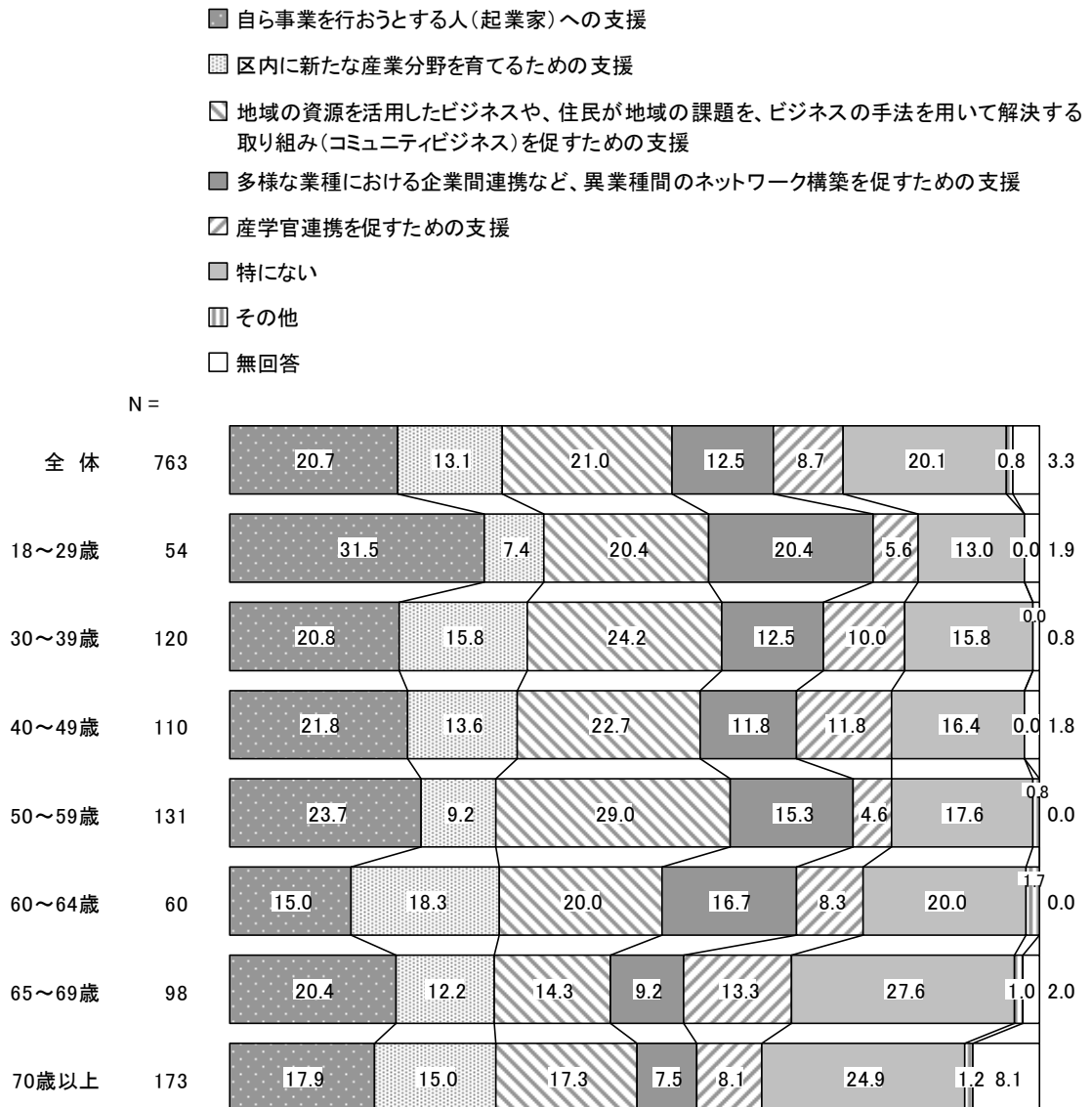
図表7-6-5 産業活性化のための重点施策【区の産業全体】



区の産業全体の振興のための重点施策を年齢別で見ると、「自ら事業を行おうとする人（起業家）への支援」は18～29歳（31.5%）で3割を超えて高くなっている。

（図表7-6-6）

図表7-6-6 産業活性化のための重点施策一年齢別 【区の産業全体】



(7) 地域文化振興のための重点施策

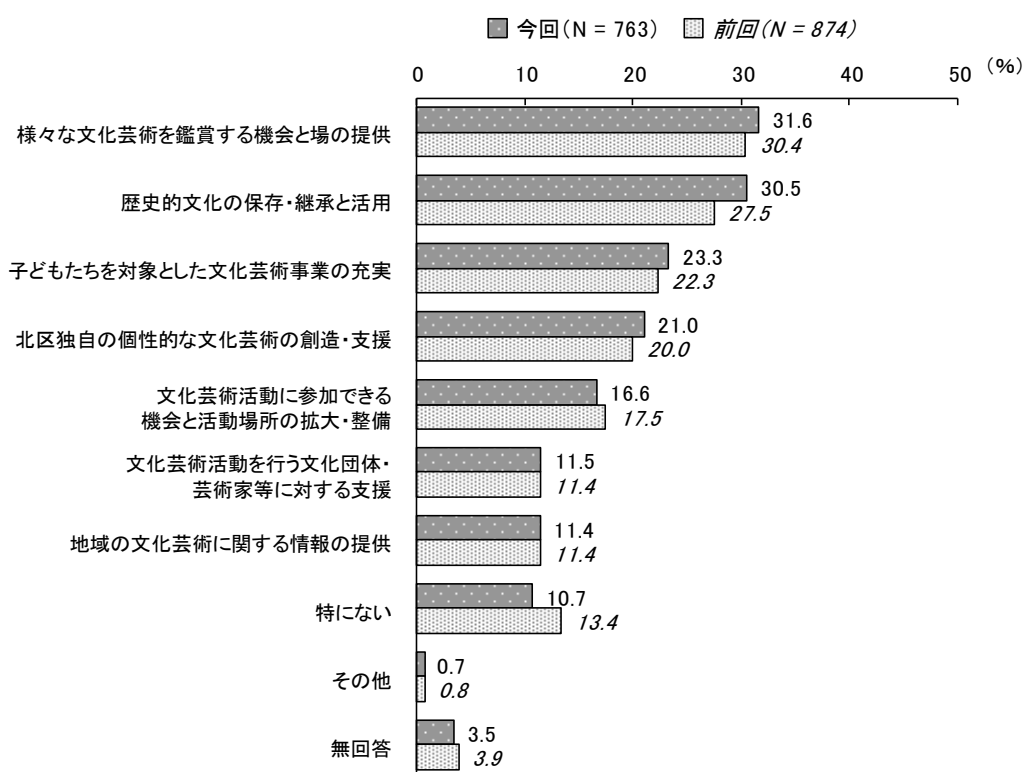
◇「様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供」が3割を超えている

問33 今後、地域の文化振興のため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

地域の文化振興のため、区が力をいれるべきだと思うことは、「様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供」(31.6%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「歴史的文化の保存・継承と活用」(30.5%)、「子どもたちを対象とした文化芸術事業の充実」(23.3%)、「北区独自の個性的な文化芸術の創造・支援」(21.0%)の順で続いている。

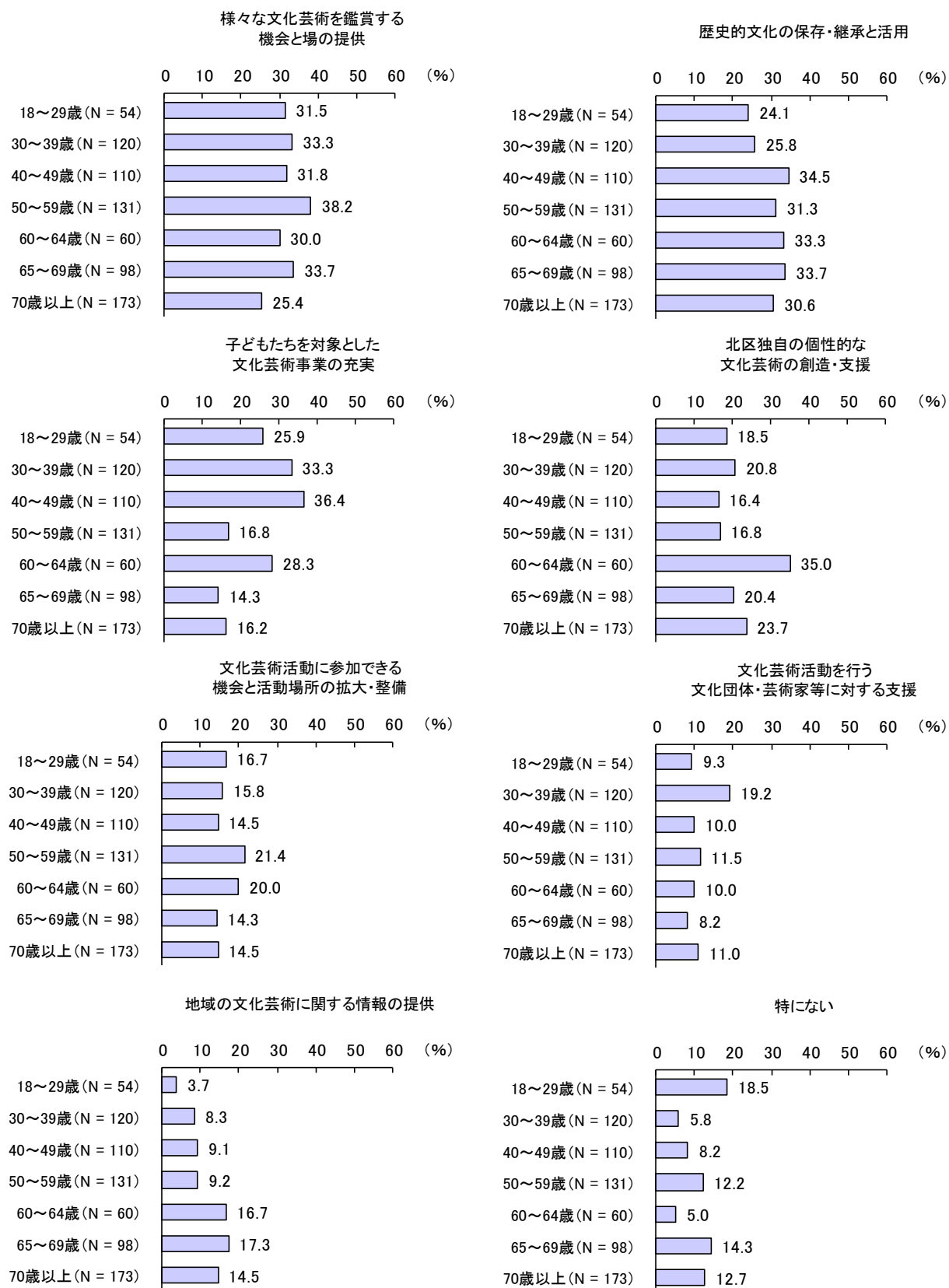
前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。(図表7-7-1)

図表7-7-1 地域文化振興のための重点施策



年齢別でみると、「様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供」で50～59歳が、「子どもたちを対象とした文化芸術事業の充実」で30～49歳が高くなっている。また、「北区独自の個性的な文化芸術の創造・支援」で60～64歳が高くなっている。(図表7-7-2)

図表7-7-2 地域文化振興のための重点施策一年齢別



(8) 生涯学習のための重点施策

◇「学習の場の充実(図書館や文化・スポーツ施設等)」「多様な学習意欲に応える講座等の充実」が3割以上で前回調査より増加

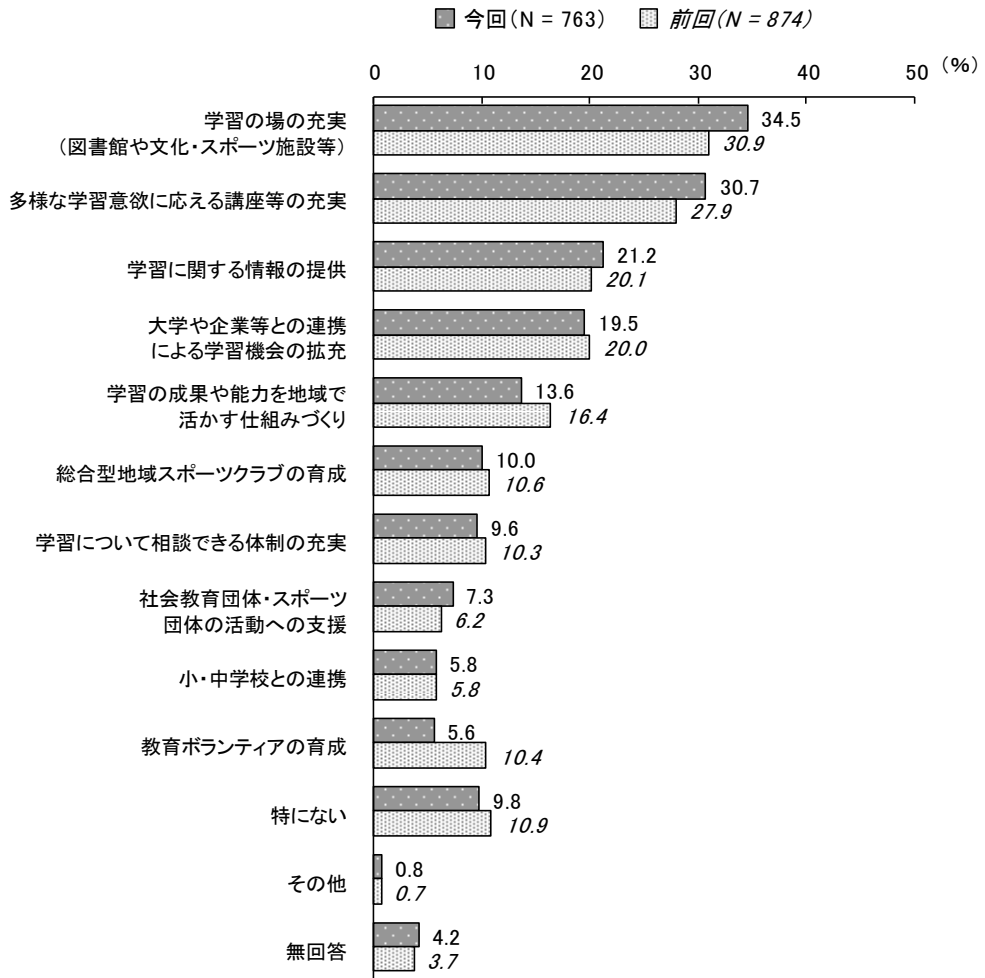
問34 今後、生涯学習を推進するため、区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

生涯学習を推進するため、区が力を入れるべきだと思うことは、「学習の場の充実(図書館や文化・スポーツ施設等)」(34.5%)が3割半ばと最も高くなっている。次いで、「多様な学習意欲に応える講座等の充実」(30.7%)、「学習に関する情報の提供」(21.2%)、「大学や企業等との連携による学習機会の拡充」(19.5%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「学習の場の充実(図書館や文化・スポーツ施設等)」、「多様な学習意欲に応える講座等の充実」が増加し、「教育ボランティアの育成」などが減少している。

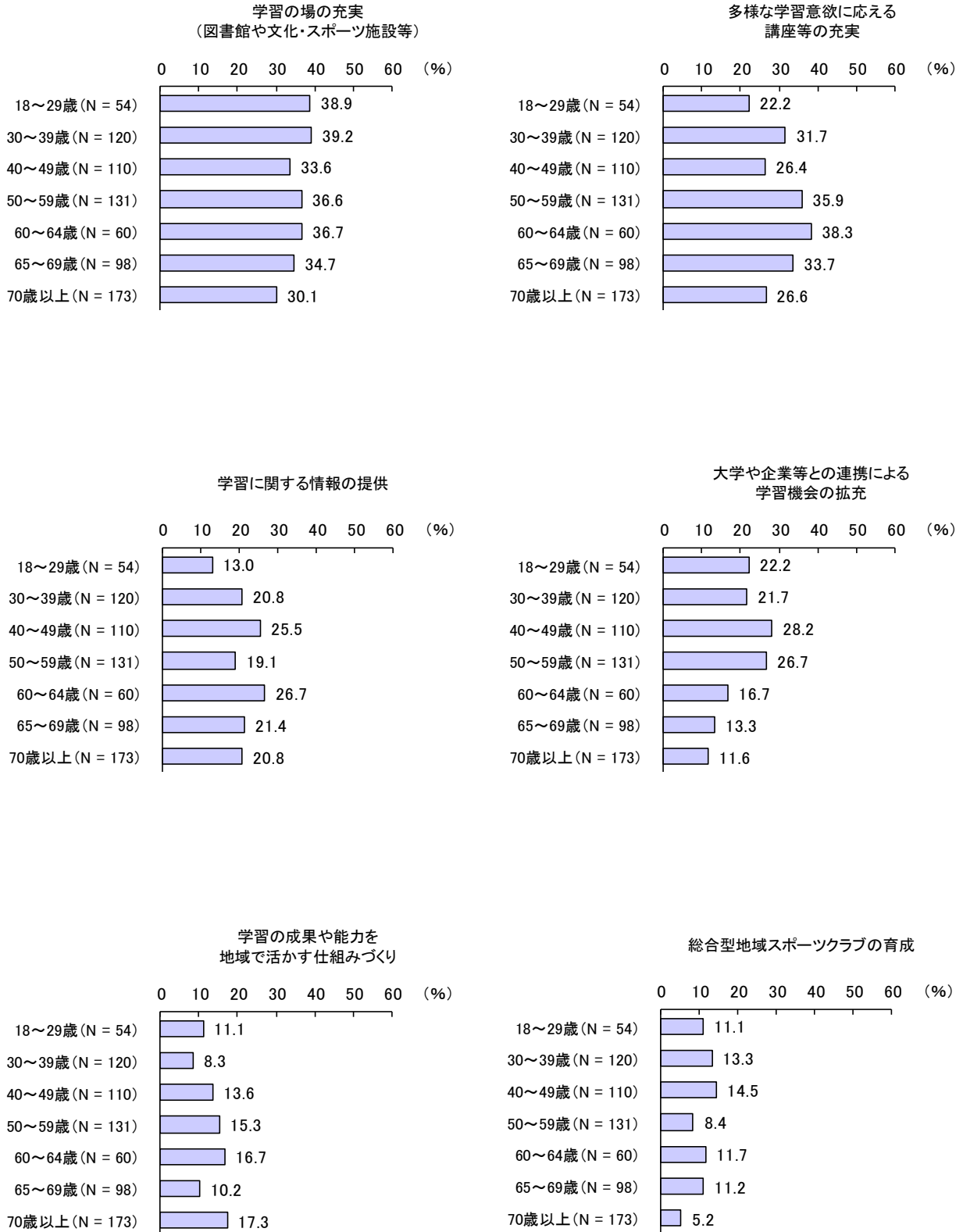
(図表7-8-1)

図表7-8-1 生涯学習のための重点施策

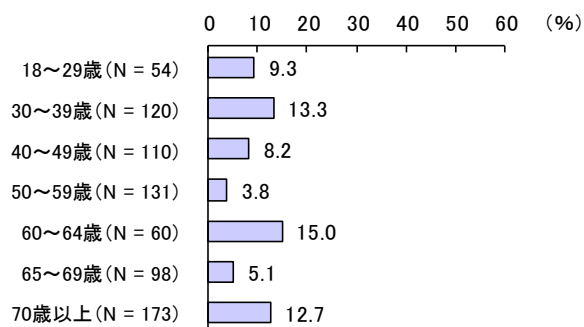


年齢別でみると、「学習の場の充実（図書館や文化・スポーツ施設等）」で18～39歳が、「多様な学習意欲に応える講座等の充実」で50～64歳が高くなっている。また、「大学や企業等との連携による学習機会の拡充」で40～59歳が高くなっている。（図表7-8-2）

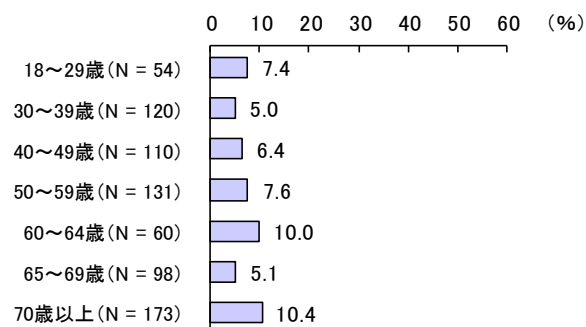
図表7-8-2 生涯学習のための重点施策一年齢別



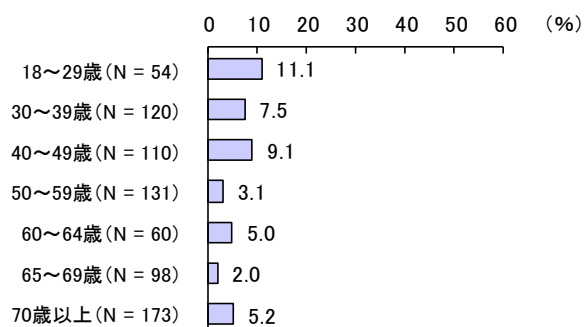
学習について相談できる体制の充実



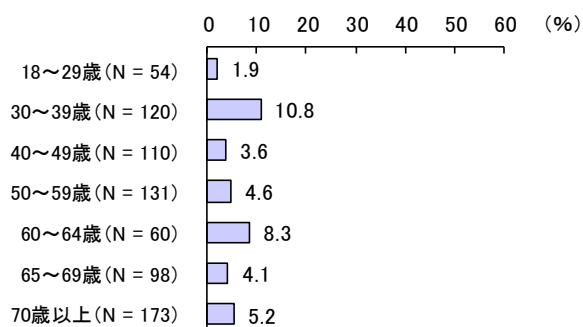
社会教育団体・スポーツ団体の活動への支援



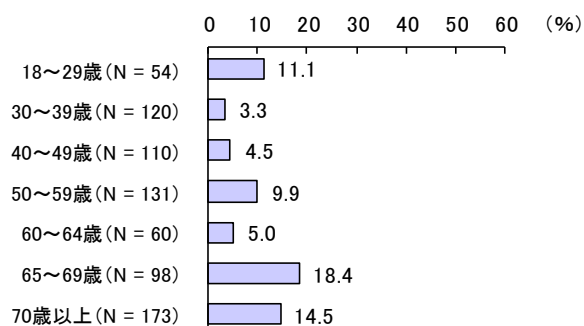
小・中学校との連携



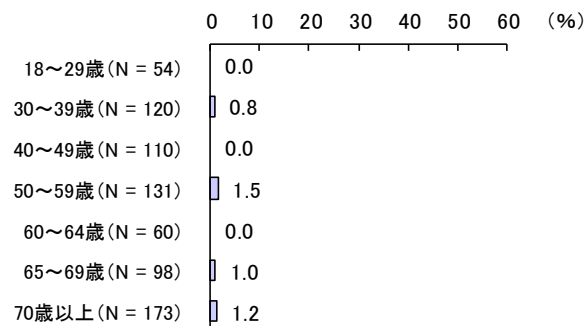
教育ボランティアの育成



特にない



その他



(9) 運動習慣

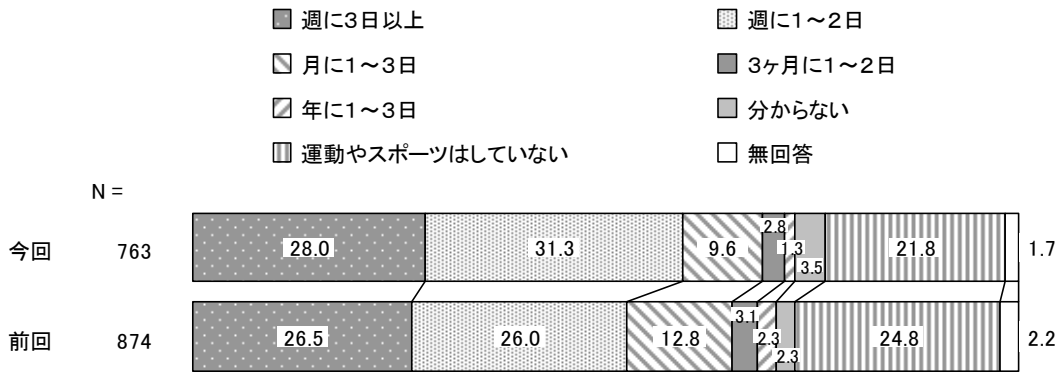
◇「週に1～2日」が3割を超えている

問35 あなたはどのくらいの頻度で運動やスポーツ（ストレッチや散歩等、比較的軽いものを含む）をしていますか。次の中からあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

どのくらいの頻度で運動やスポーツをしているかをみると、「週に1～2日」(31.3%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「週に3日以上」(28.0%)、「運動やスポーツはしていない」(21.8%)の順に続いている。

前回調査と比較すると、「分からない」、「運動やスポーツはしていない」人を除いた『運動している人』が増加している。(図表7-9-1)

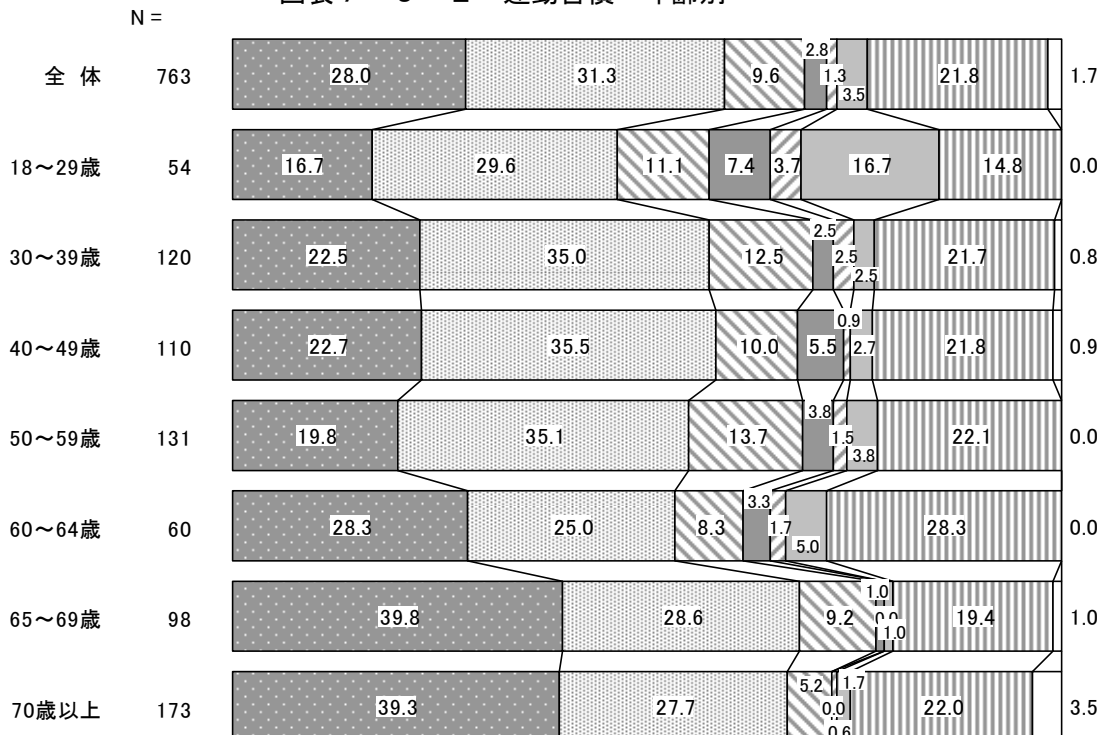
図表7-9-1 運動習慣



運動やスポーツの頻度を年齢別でみると、59歳以下では「週に1～2日」が3割程度と最も高く、65歳以上では「週に3日以上」が4割近くと最も高くなっている。一方、60～64歳では「週に3日以上」と「運動やスポーツはしていない」が3割近くと同率で最も高くなっている。

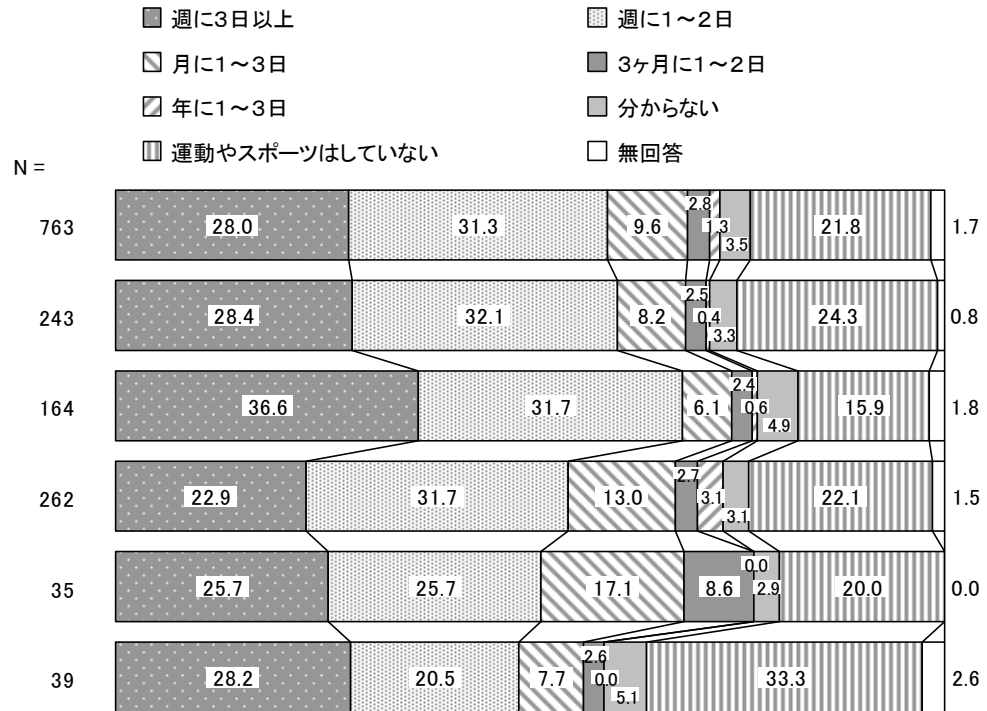
(図表7-9-2)

図表7-9-2 運動習慣一年齢別



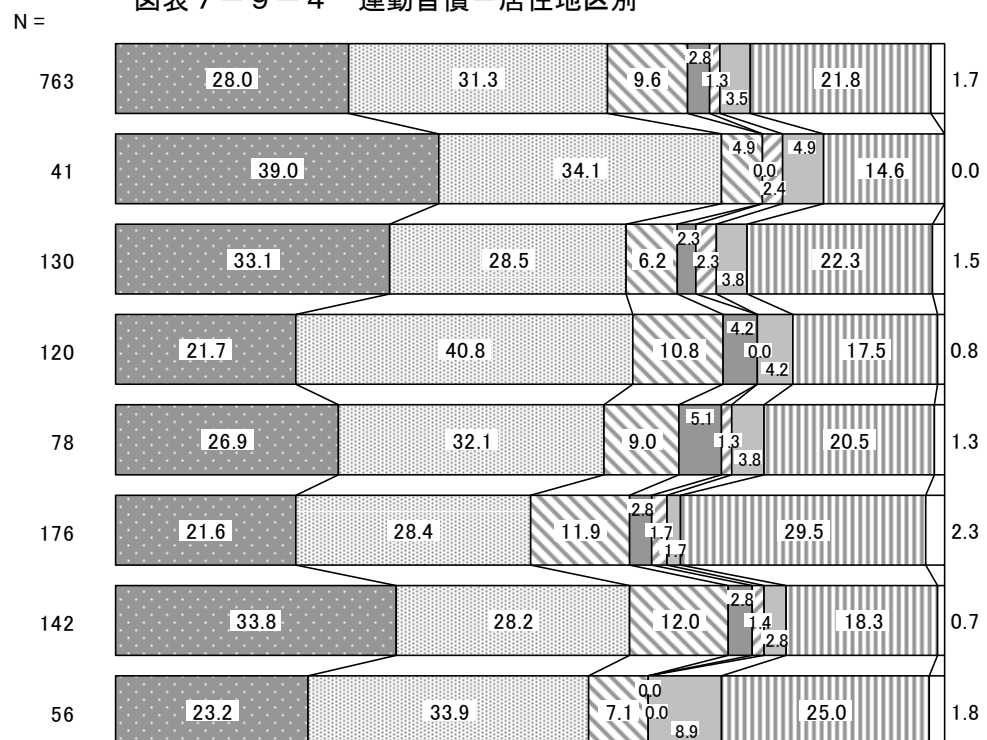
運動やスポーツの頻度を家族構成別でみると、“夫婦だけ”では「週に1～2日」が3割半ばと高くなっている。また、『運動している人』は“夫婦だけ”、“祖父母と親と子（3世代）”で高く、8割近くとなっている。（図表7-9-3）

図表7-9-3 運動習慣—家族構成別



運動やスポーツの頻度を居住地区別でみると、浮間で「週に3日以上」が4割近くと高くなっている。また、浮間、赤羽東、滝野川西で『運動している人』の割合が高く、約8割となっている。（図表7-9-4）

図表7-9-4 運動習慣—居住地区別



(10) 観光振興のための重点施策

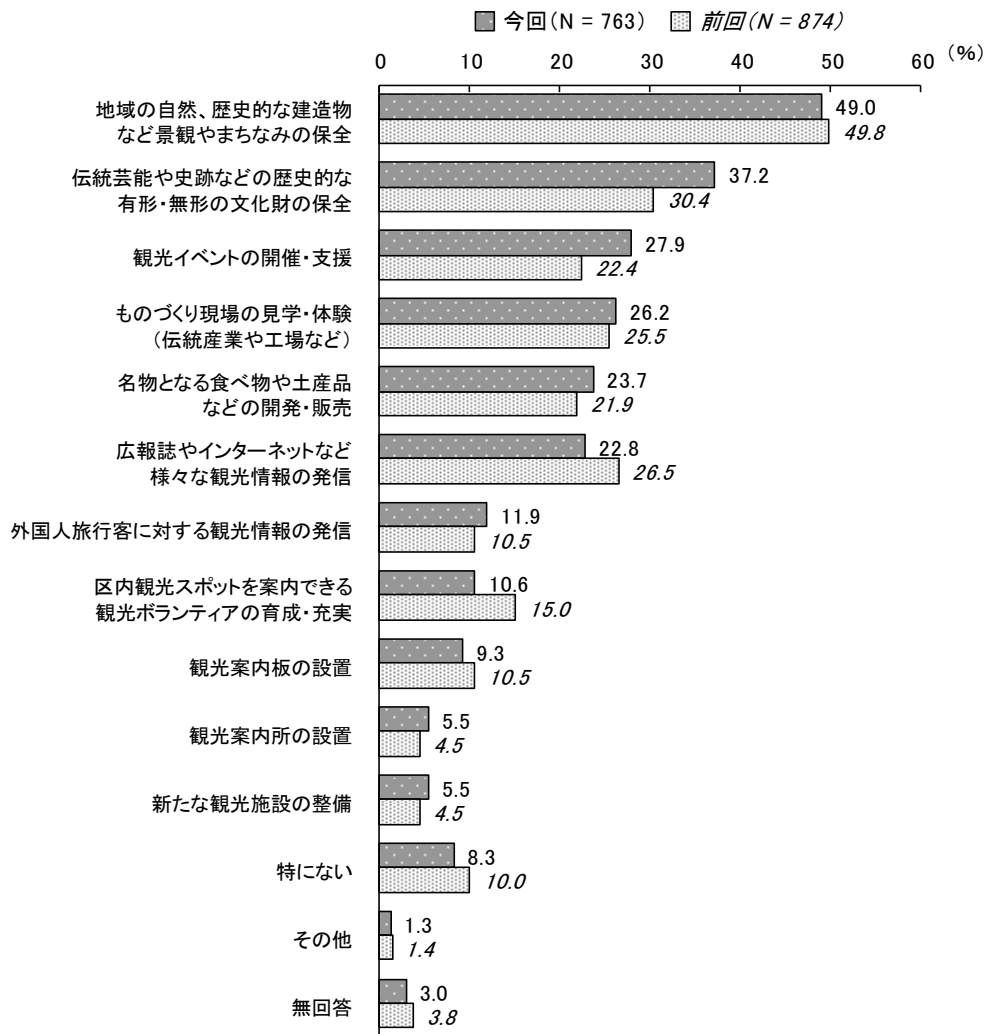
◇「地域の自然、歴史的な建造物など景観やまちなみの保全」が5割近く

問36 北区の観光振興に関する取組みのなかで、あなたが重視すべきだと思う取組みは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

観光振興に関する取組みのなかで、あなたが重視すべきだと思う取組みは、「地域の自然、歴史的な建造物など景観やまちなみの保全」(49.0%)が5割近くと最も高くなっている。次いで、「伝統芸能や史跡などの歴史的な有形・無形の文化財の保全」(37.2%)、「観光イベントの開催・支援」(27.9%)、「ものづくり現場の見学・体験(伝統産業や工場など)」(26.2%)、「名物となる食べ物や土産品などの開発・販売」(23.7%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「伝統芸能や史跡などの歴史的な有形・無形の文化財の保全」、「観光イベントの開催・支援」などが増加している。(図表7-10-1)

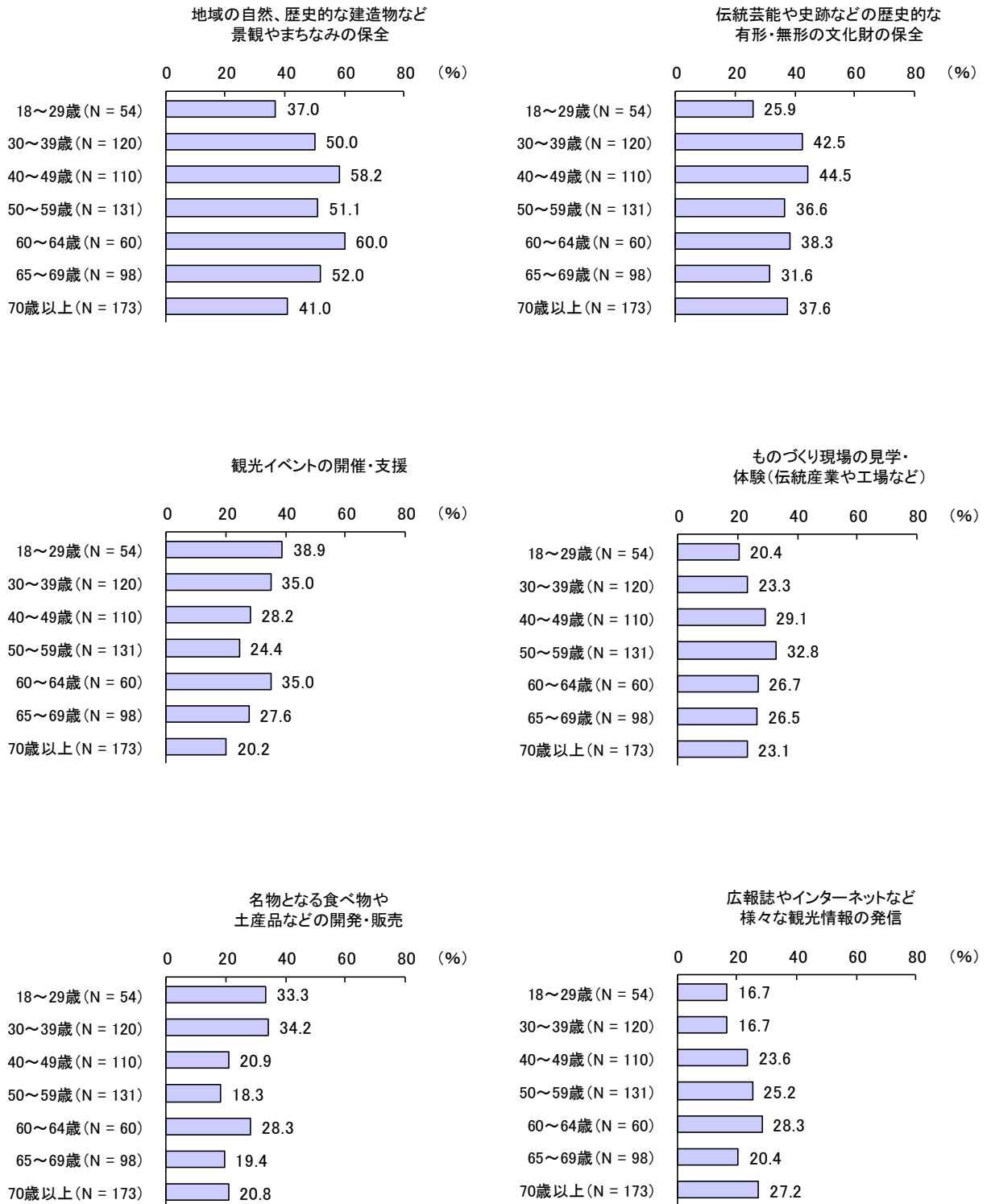
図表7-10-1 観光振興のための重点施策



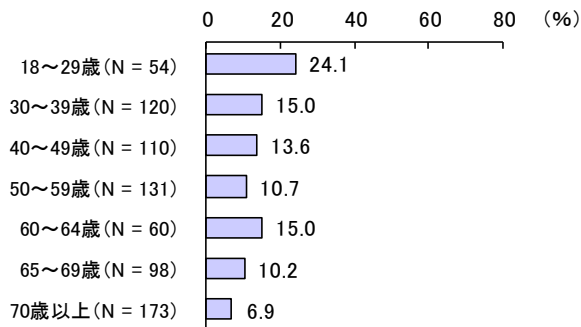
年齢別でみると、「地域の自然、歴史的な建造物など景観やまちなみの保全」で40～49歳、60～64歳が高くなっている。また、「観光イベントの開催・支援」で18～29歳が、「伝統芸能や史跡などの歴史的な有形・無形の文化財の保全」で39～49歳が高くなっている。

(図表7-10-2)

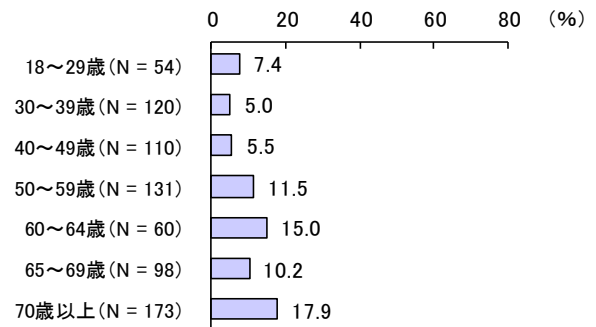
図表7-10-2 観光振興のための重点施策一年齢別



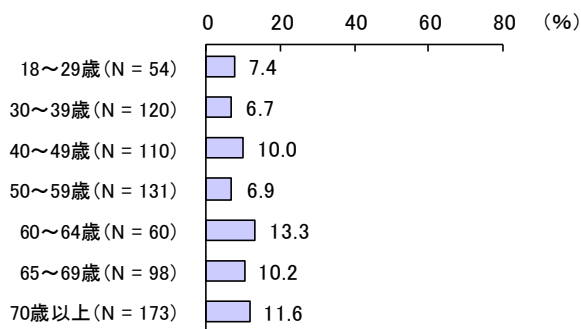
外国人旅行者に対する
観光情報の発信



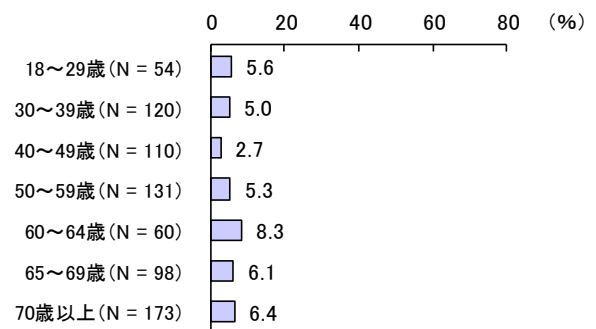
区内観光スポットを案内できる
観光ボランティアの育成・充実



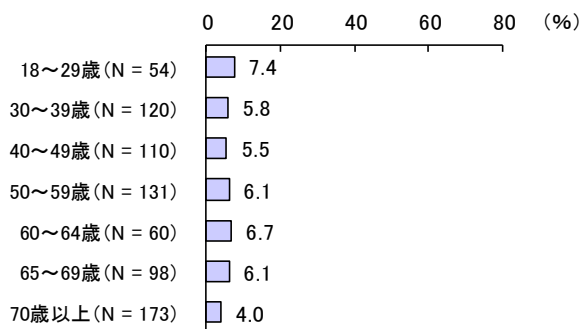
観光案内板の設置



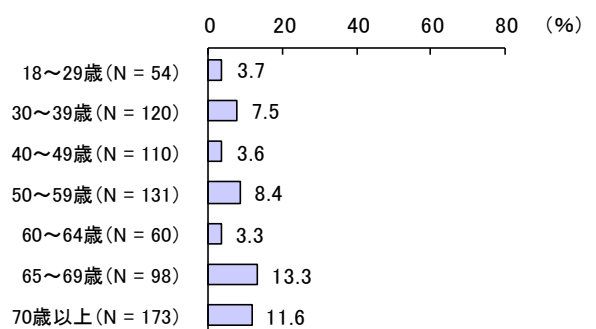
観光案内所の設置



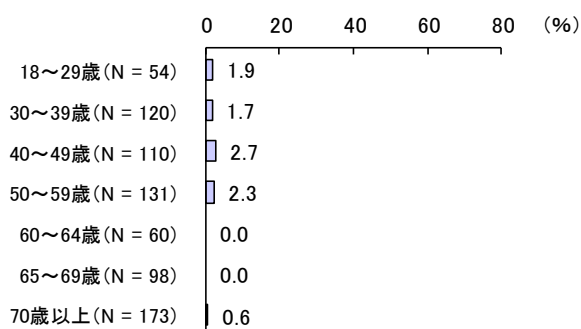
新たな観光施設の整備



特にない



その他



8 「花*みどり」・やすらぎ戦略

(1) 環境への配慮

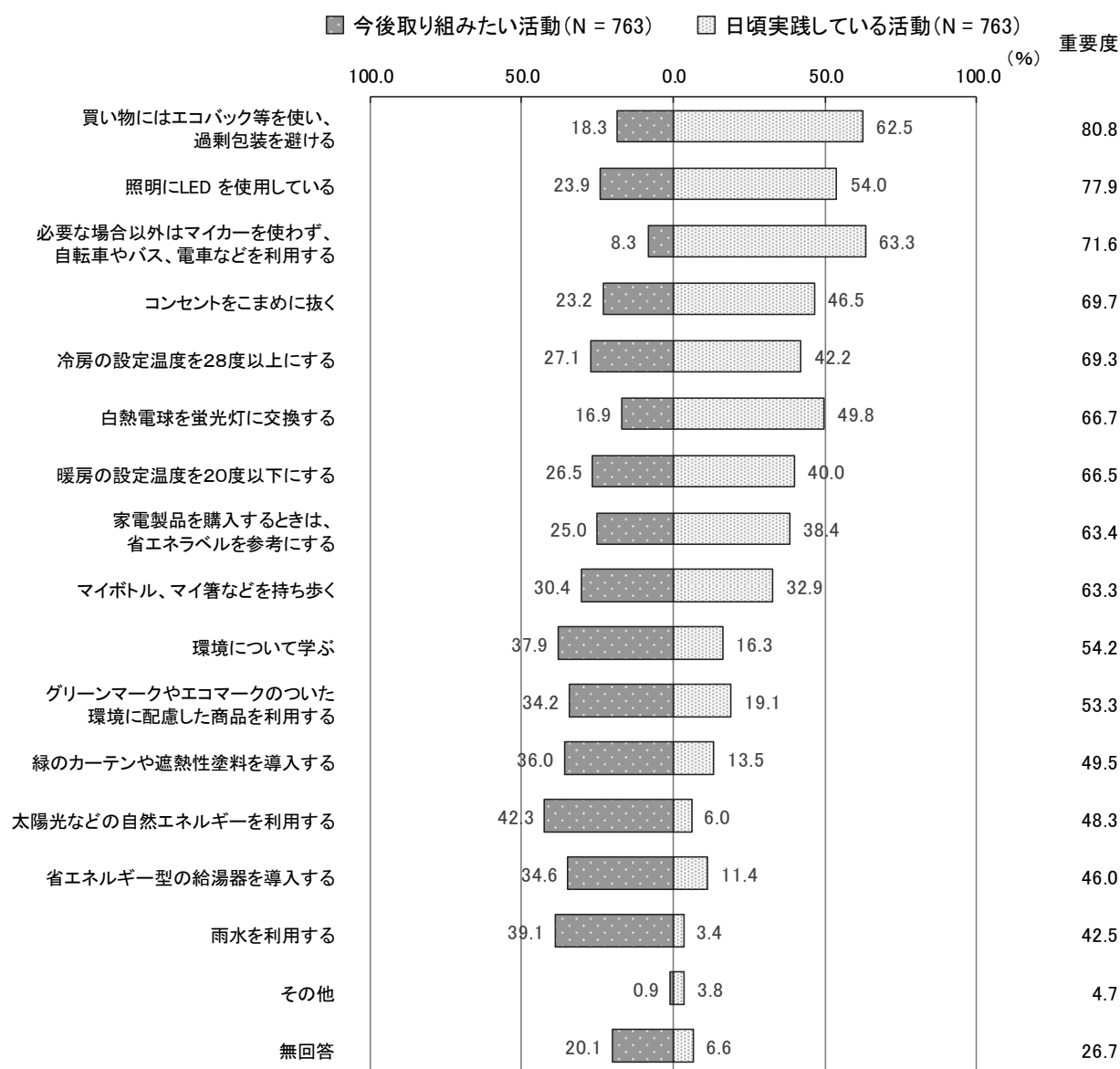
◇「買い物にはエコバック等を使い、過剰包装を避ける」、「照明にLEDを使用している」が重要度が高い

問37 あなたが、日頃地球温暖化対策として取り組んでいる活動は何ですか。またあなたが今後、取り組んでいきたいと思っている活動は何ですか。それぞれあてはまるものすべてに○をつけてください。

日頃、地球温暖化対策として取り組んでいる活動の割合と今後取り組んでいきたいと思っている活動の割合を足した割合を『重要度』と捉えると、「買い物にはエコバック等を使い、過剰包装を避ける」、「照明にLEDを使用している」の重要度が約80%と高い。

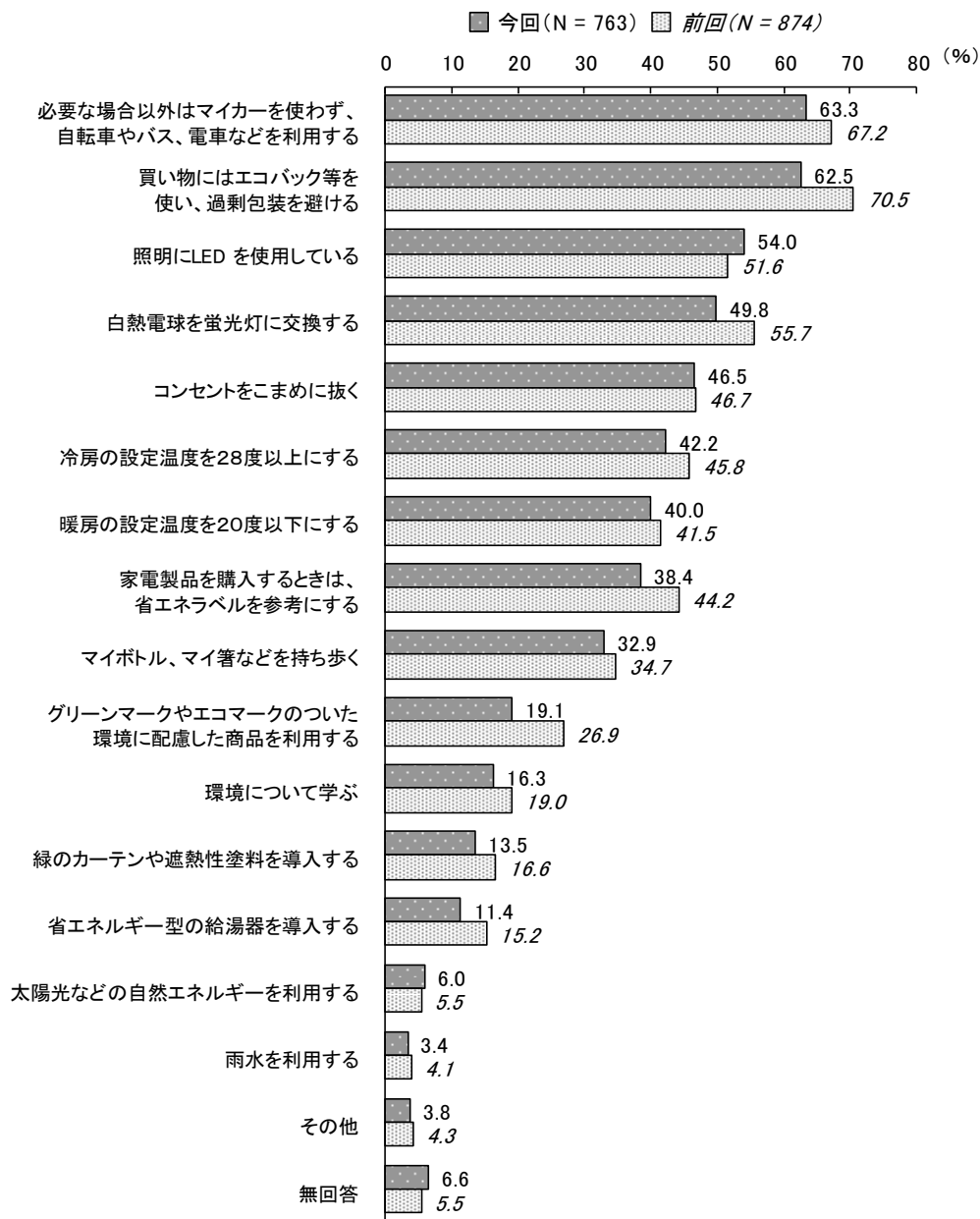
(図表8-1-1)

図表8-1-1 環境への配慮



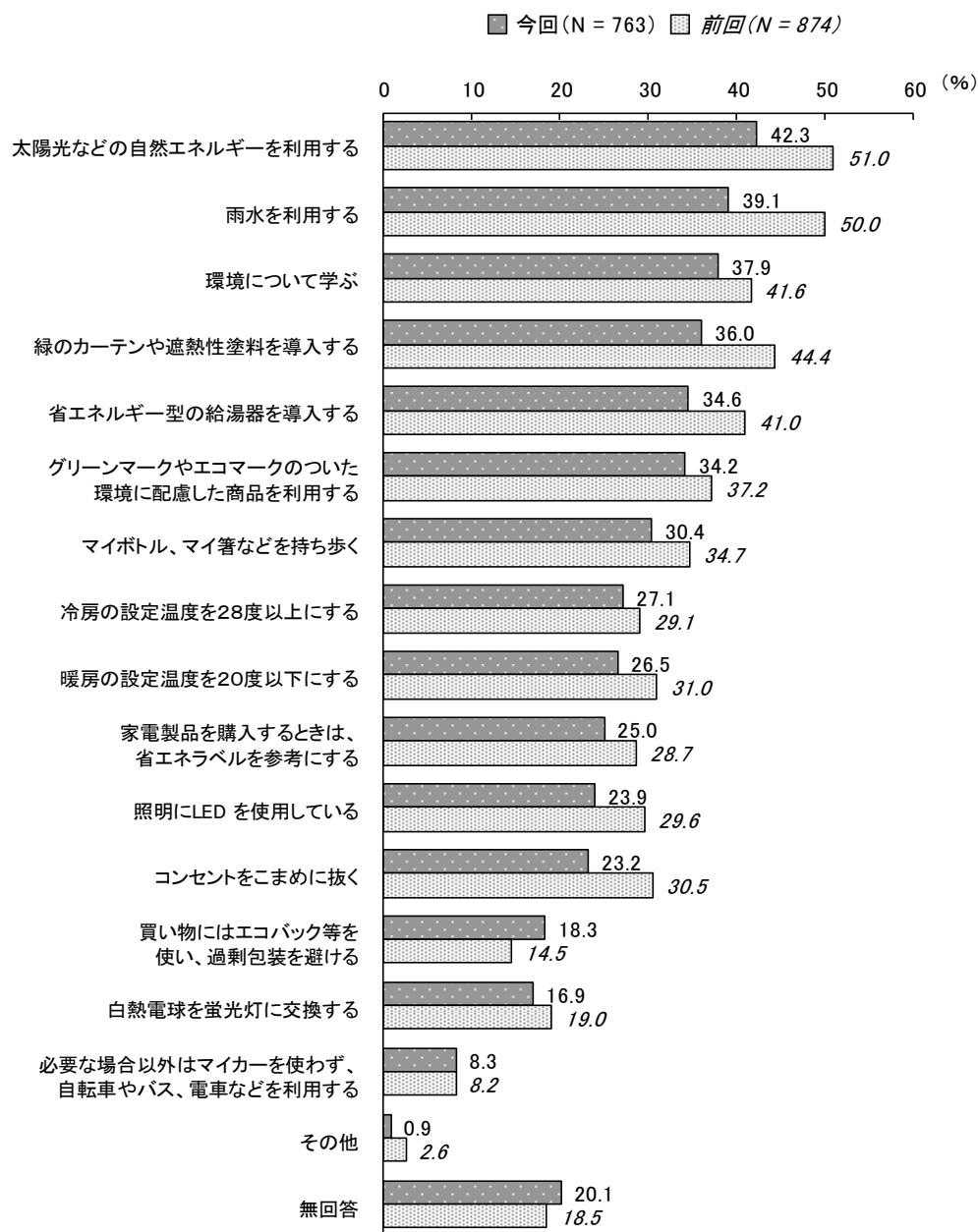
日頃から実践している活動を前回調査と比較すると、「照明にLEDを使用している」が増加し、「白熱電球を蛍光灯に交換する」が減少している。(図表8-1-2)

図表8-1-2 環境への配慮【日頃から実践している活動】



今後取り組んでいきたいと思っている活動を前回調査と比較すると、「雨水を利用する」が大きく減少している。(図表8-1-3)

図表8-1-3 環境への配慮【今後取り組みたい活動】

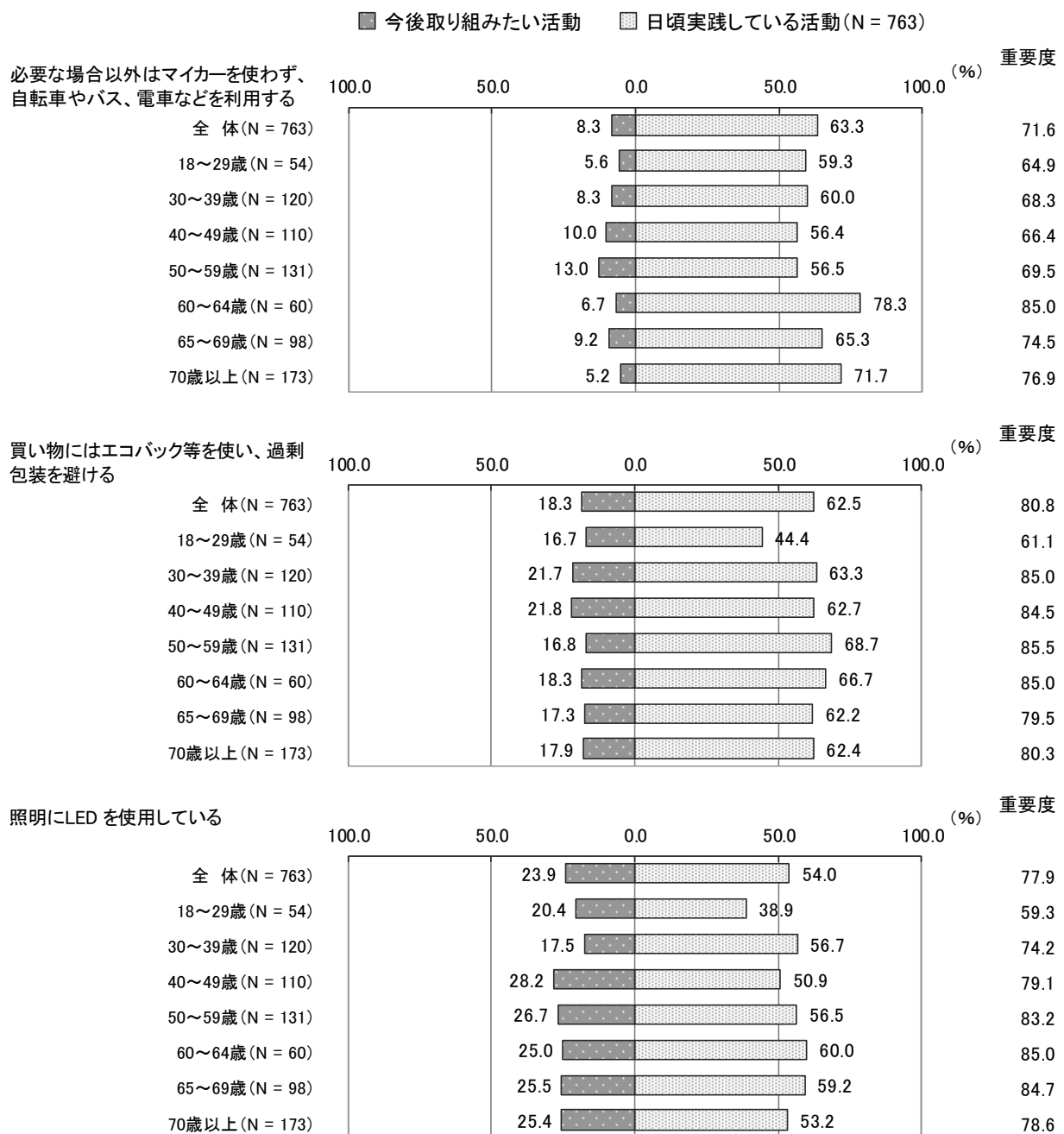


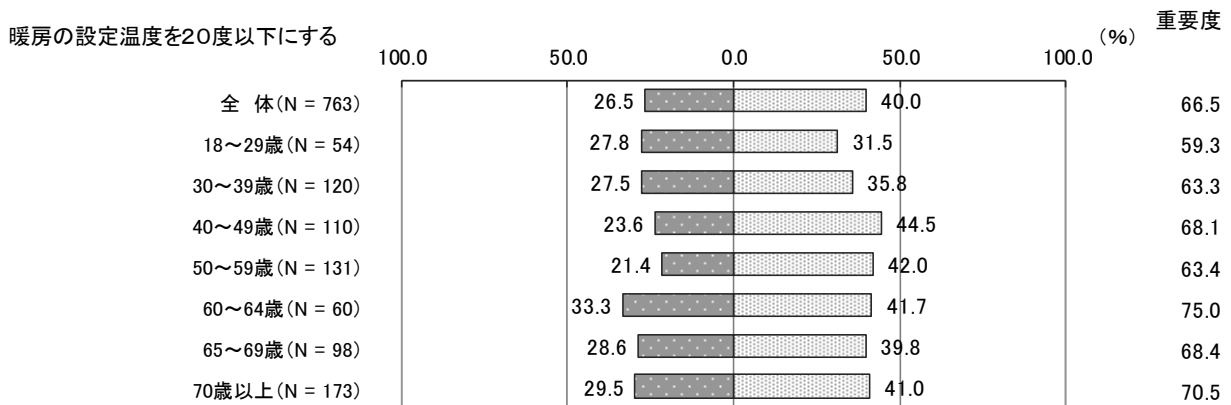
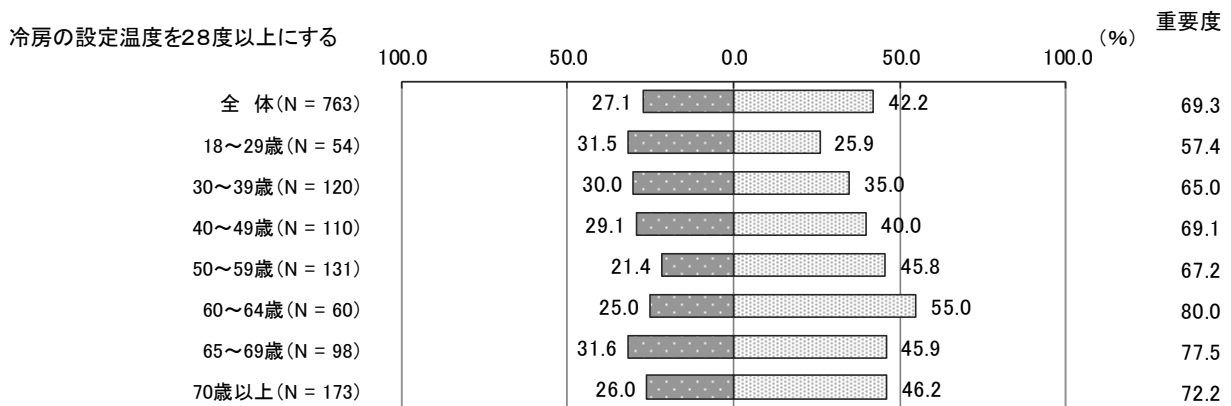
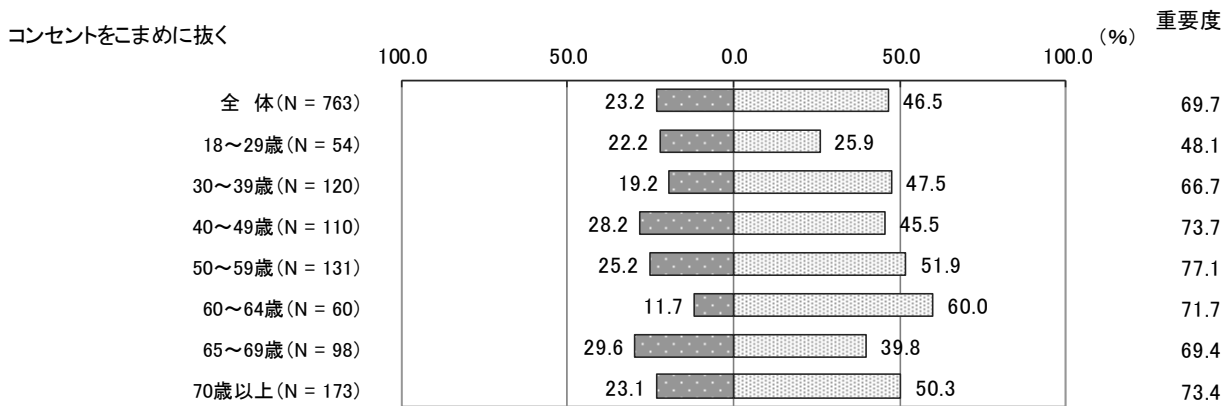
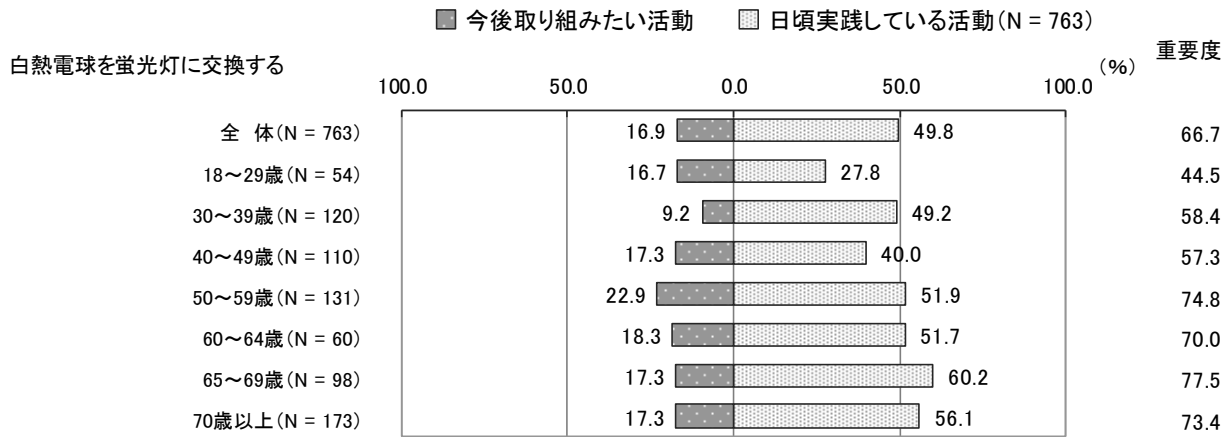
年齢別でみると、日頃から実践している活動は、18～29歳、60歳以上の年齢では「必要な場合以外はマイカーを使わず、自転車やバス、電車などを利用する」が最も高くなっている。また、30～59歳の年齢では「買い物にはエコバック等を使い、過剰包装を避ける」が最も高くなっている。

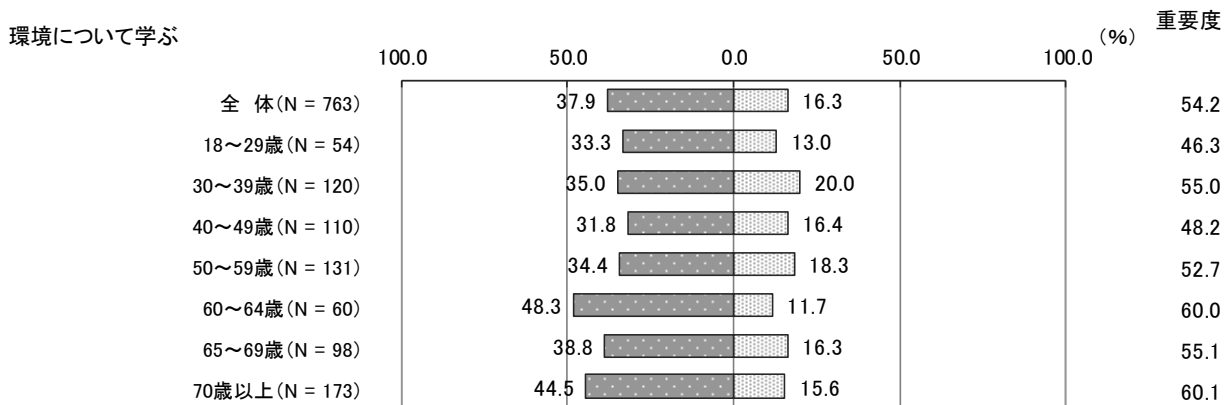
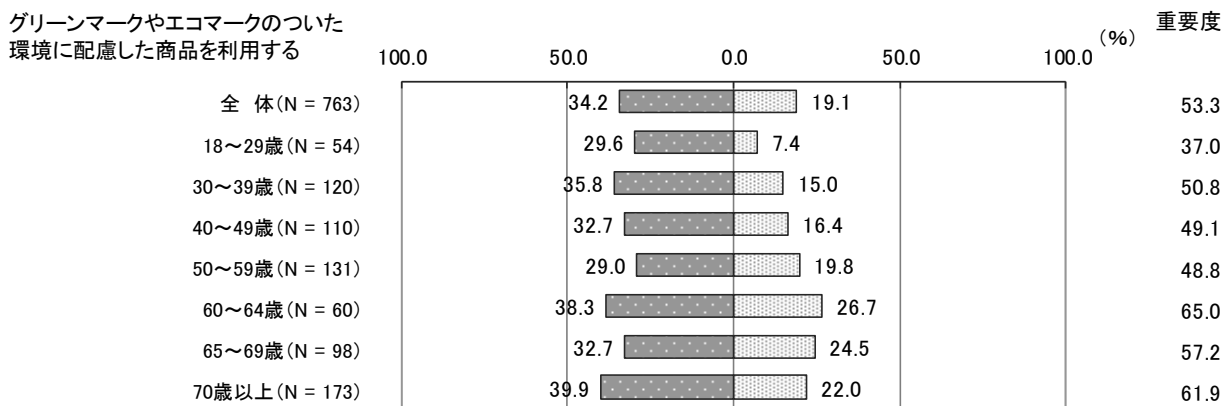
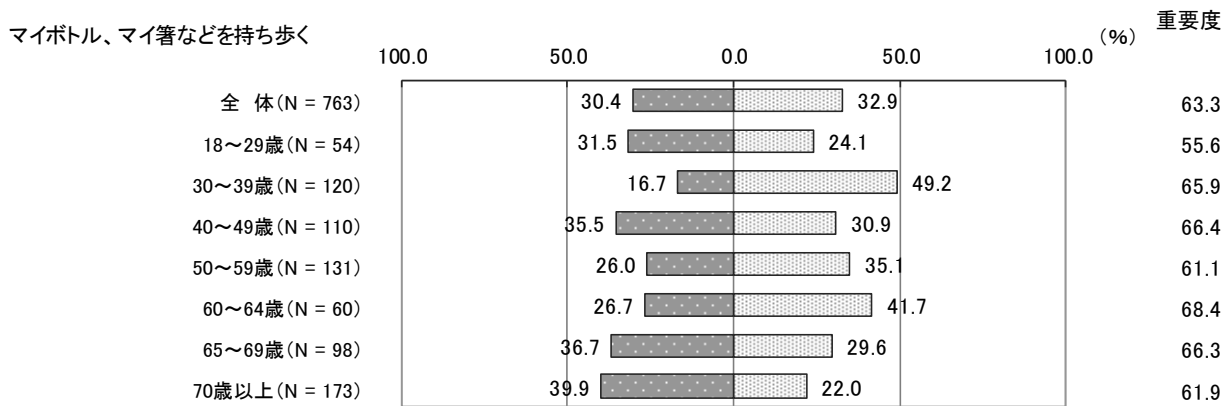
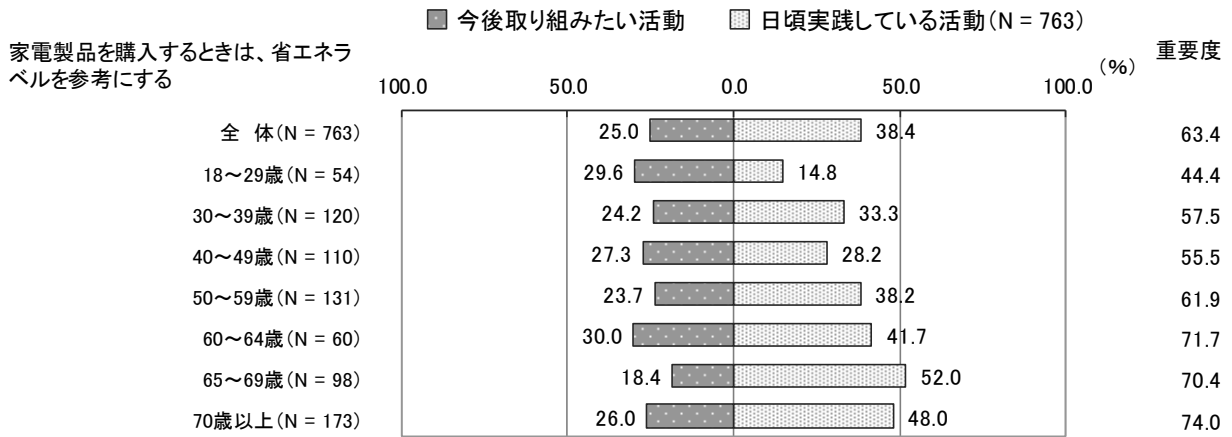
今後取り組んでいきたいと思っている活動は、18～29歳では「環境について学ぶ」、30～69歳で「太陽光などの自然エネルギーを利用する」が最も高くなっている。また、70歳以上の年齢では「雨水を利用する」が最も高くなっている。

(図表8-1-4)

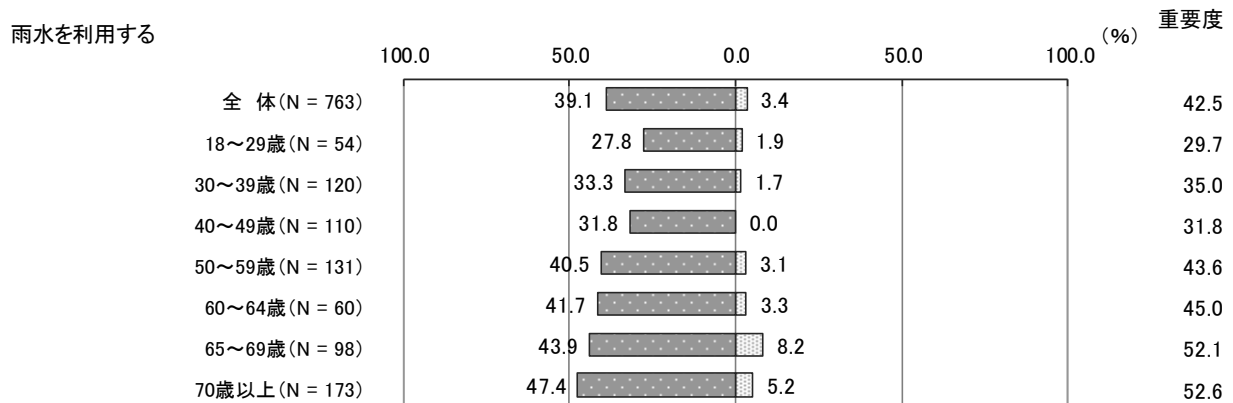
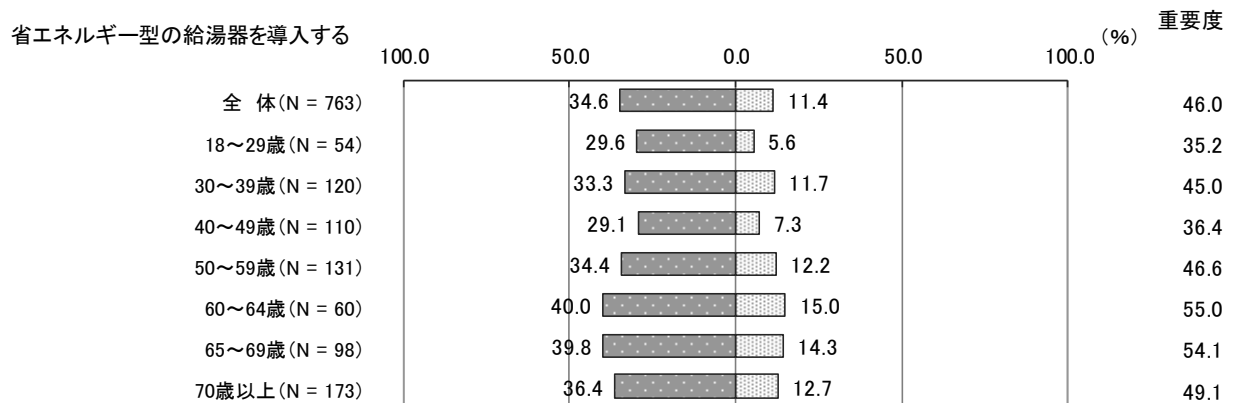
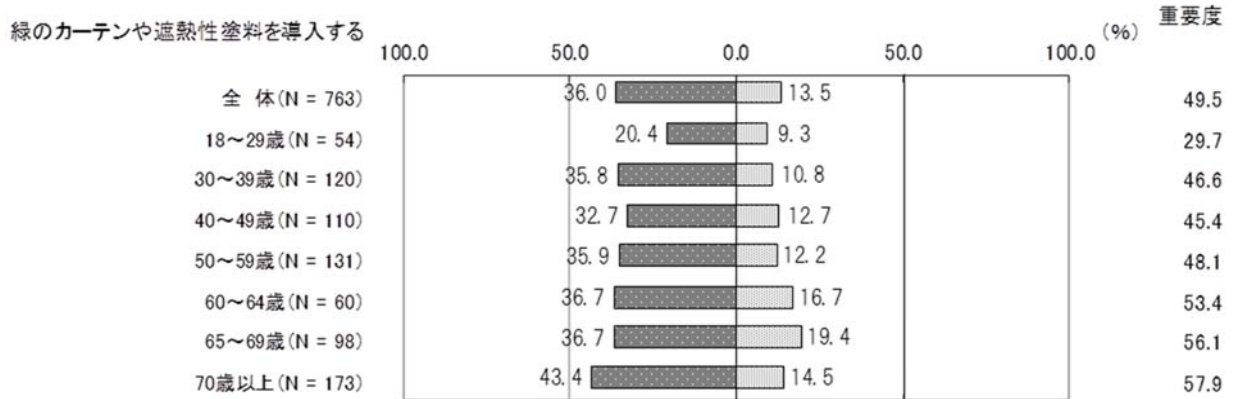
図表8-1-4 環境への配慮一年齢別







■ 今後取り組みたい活動 ▨ 日頃実践している活動(N = 763)



(2) 快適な都市環境のための重点施策

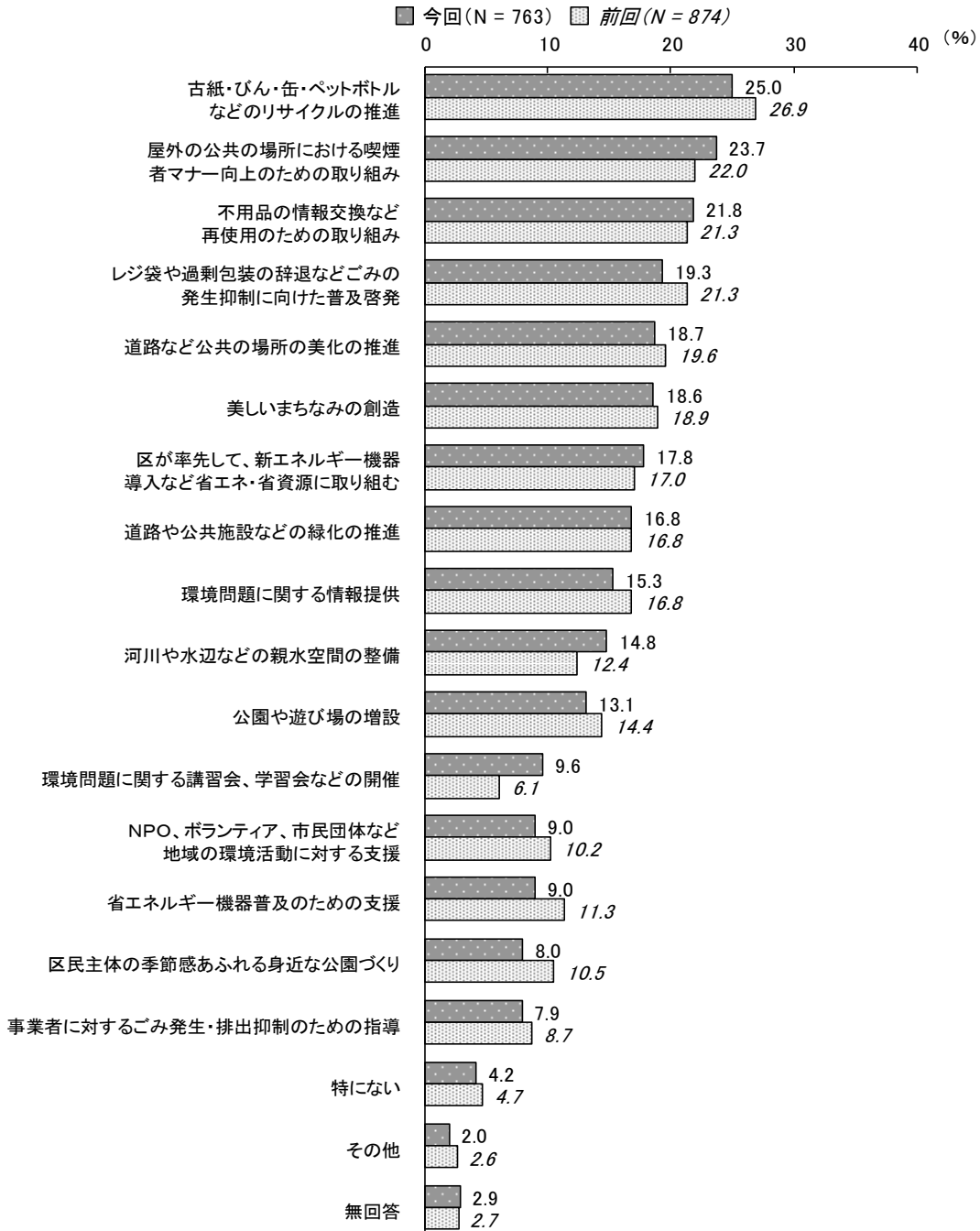
◇「古紙・びん・缶・ペットボトルなどのリサイクルの推進」が2割半ば

問38 今後、やすらぎのある快適な都市環境形成のため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

やすらぎのある快適な都市環境形成のため、区が力をいれるべきだと思うことは、「古紙・びん・缶・ペットボトルなどのリサイクルの推進」(25.0%)が2割半ばと最も高くなっている。次いで、「屋外の公共の場所における喫煙者マナー向上のための取り組み」(23.7%)、「不用品の情報交換など再使用のための取り組み」(21.8%)、「レジ袋や過剰包装の辞退などごみの発生抑制に向けた普及啓発」(19.3%)の順で続いている。

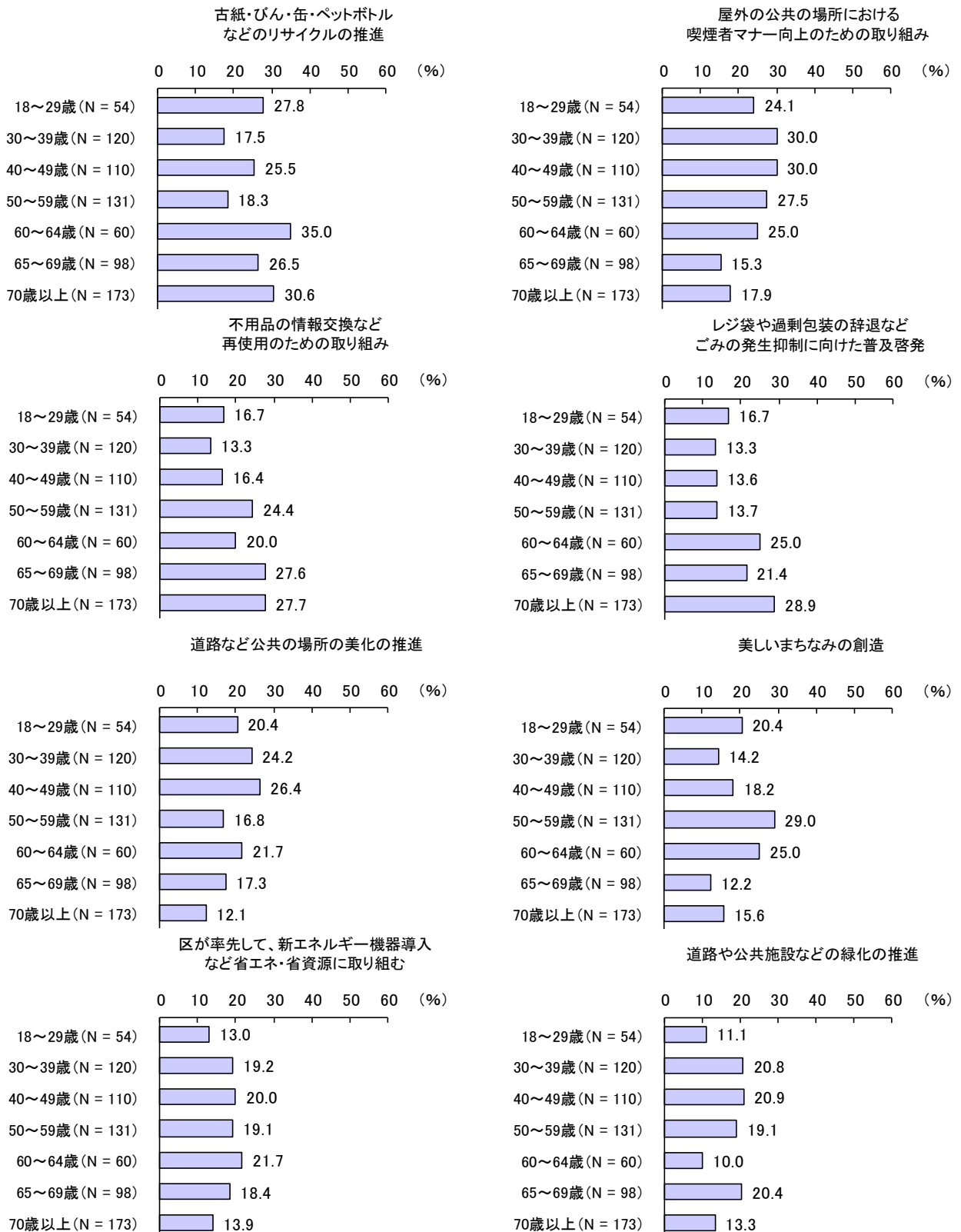
前回調査と比較すると、「河川や水辺などの親水空間の整備」、「屋外の公共の場所における喫煙者マナー向上のための取り組み」が増加している。(図表8-2-1)

図表8-2-1 快適な都市環境のための重点施策

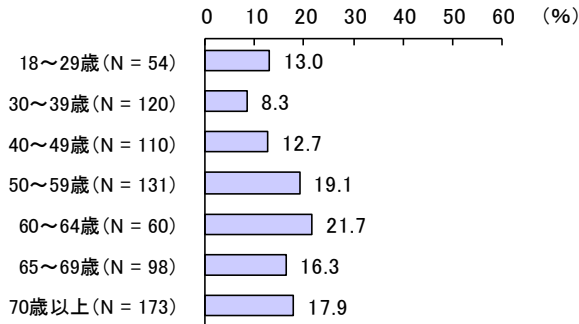


年齢別でみると、「古紙・びん・缶・ペットボトルなどのリサイクルの推進」で60歳以上が、「屋外の公共の場所における喫煙者マナー向上のための取り組み」で30～49歳が、「不用品の情報交換など再使用のための取り組み」で50歳以上の年齢が、「美しいまちなみの創造」で50～64歳が、「河川や水辺などの親水空間の整備」で18～49歳が高くなっている。（図表8-2-2）

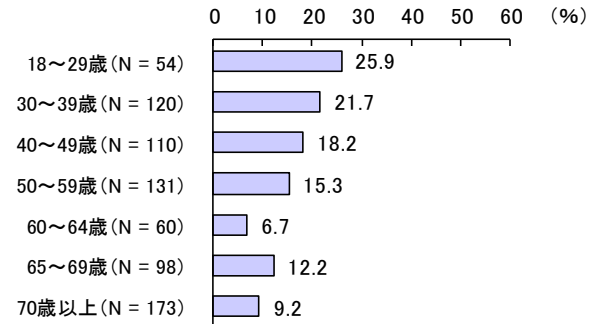
図表8-2-2 快適な都市環境のための重点施策一年齢別



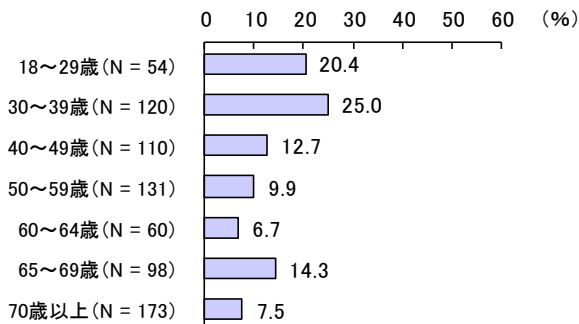
環境問題に関する情報提供



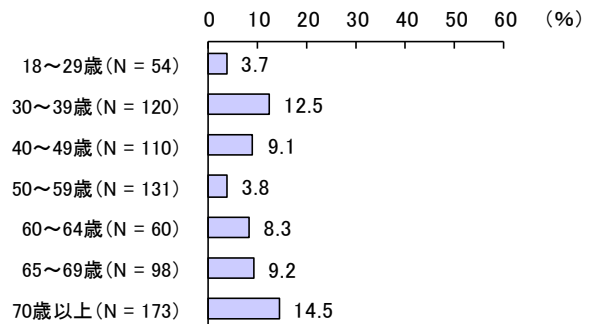
河川や水辺などの親水空間の整備



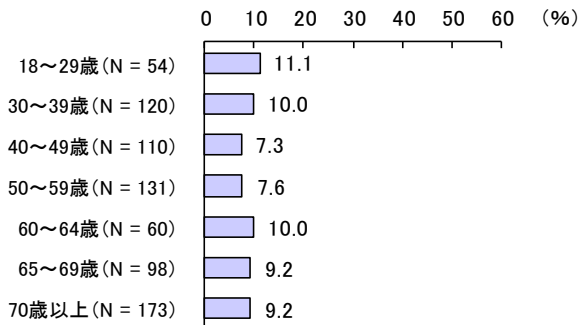
公園や遊び場の増設



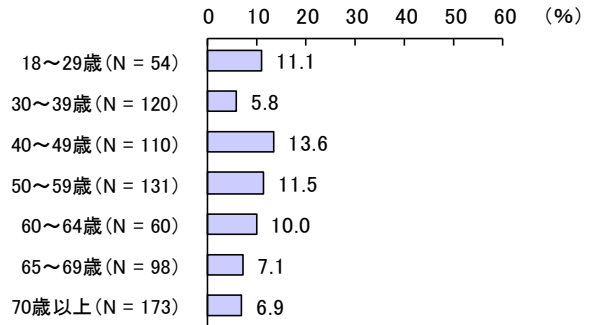
環境問題に関する講習会、
学習会などの開催



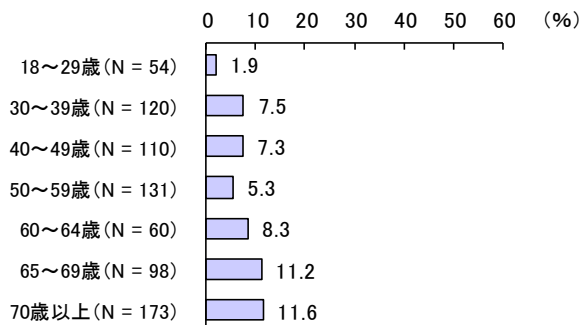
NPO、ボランティア、市民団体など
地域の環境活動に対する支援



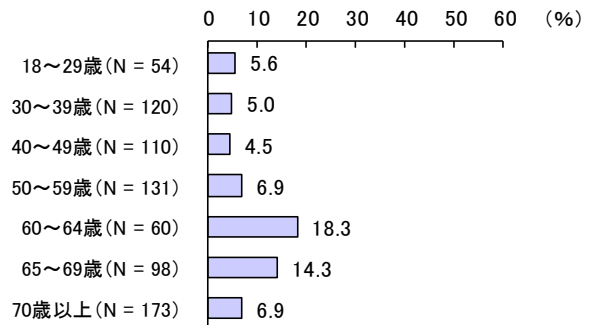
省エネルギー機器普及のための支援



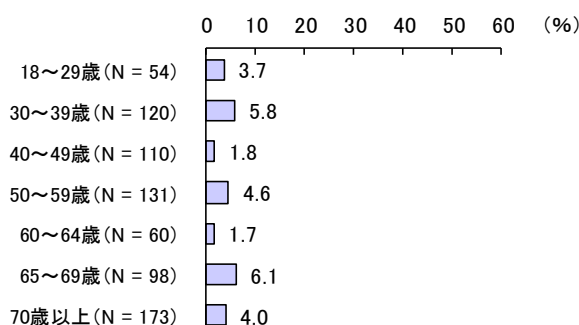
区民主体の季節感あふれる
身近な公園づくり



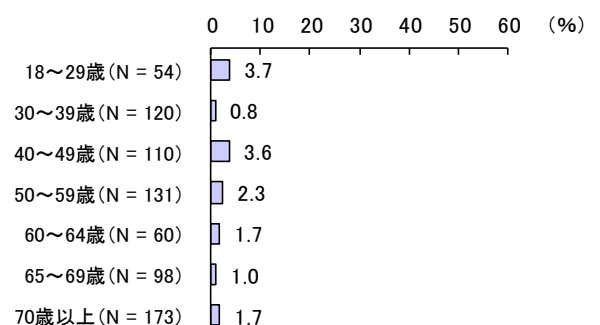
事業者に対するごみ
発生・排出抑制のための指導



特にない

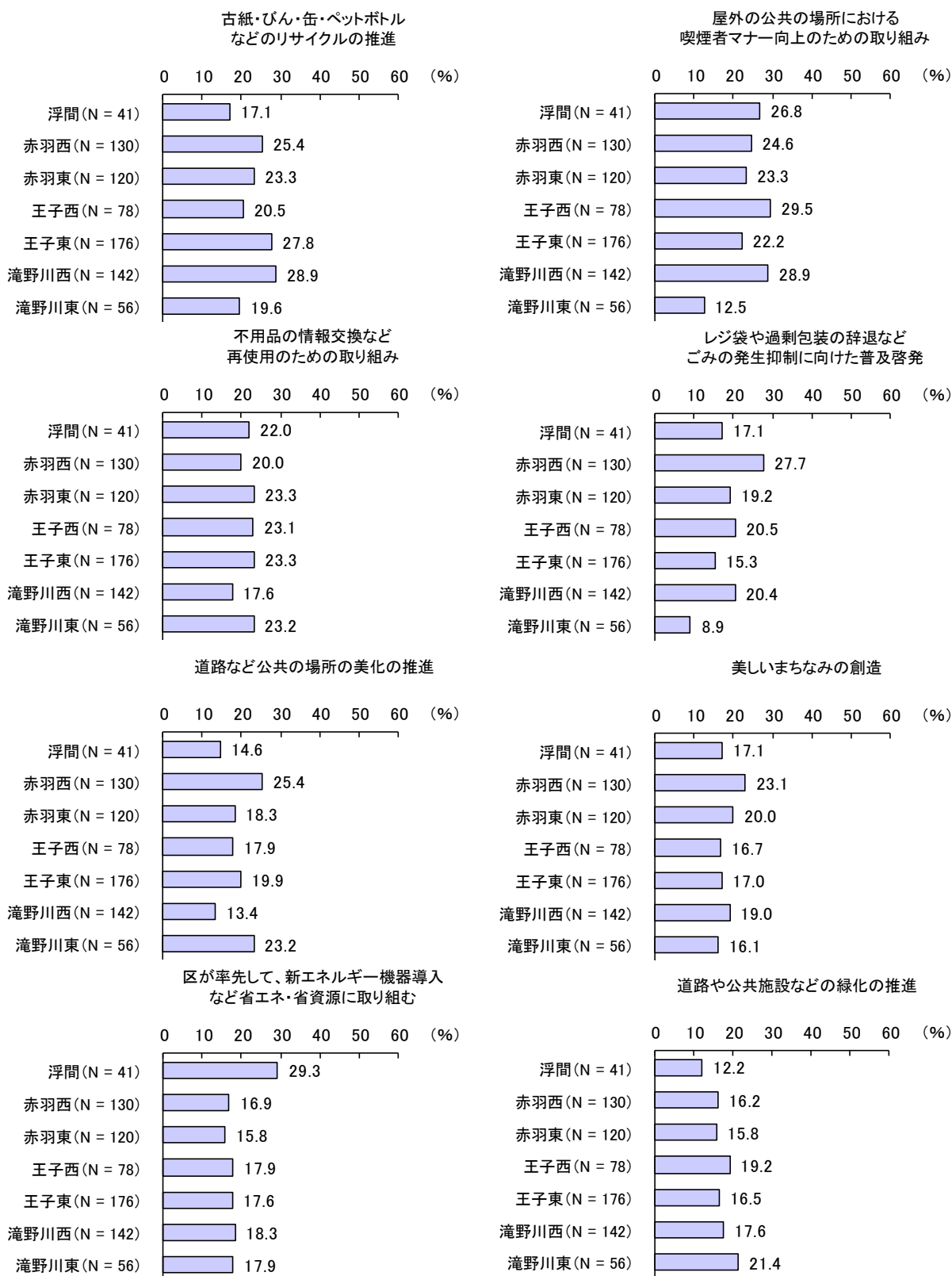


その他

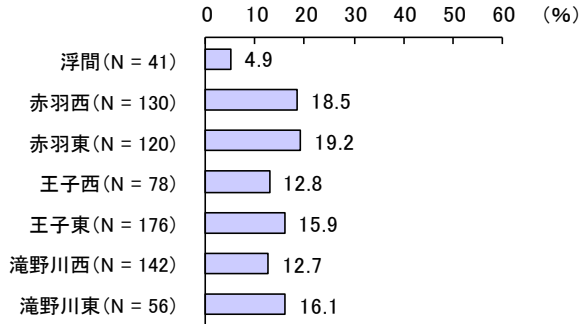


居住地区別でみると、「古紙・びん・缶・ペットボトルなどのリサイクルの推進」で王子東、滝野川西が、「屋外の公共の場所における喫煙者マナー向上のための取り組み」で王子西、滝野川西が、「レジ袋や過剰包装の辞退などごみの発生抑制に向けた普及啓発」で赤羽西が高くなっている。また、「区が率先して、新エネルギー機器導入など省エネ・省資源に取り組む」「公園や遊び場の増設」で浮間が高くなっている。（図表8-2-3）

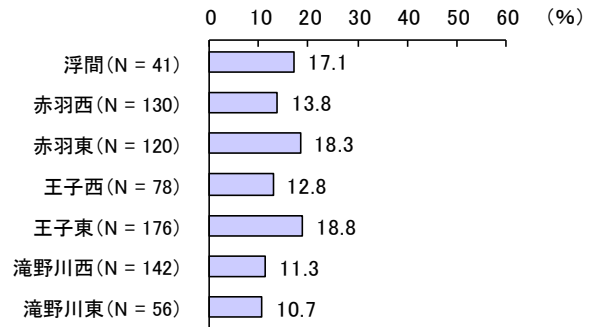
図表8-2-3 快適な都市環境のための重点施策－居住地区別



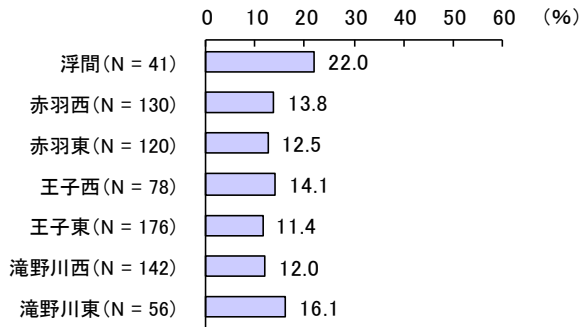
環境問題に関する情報提供



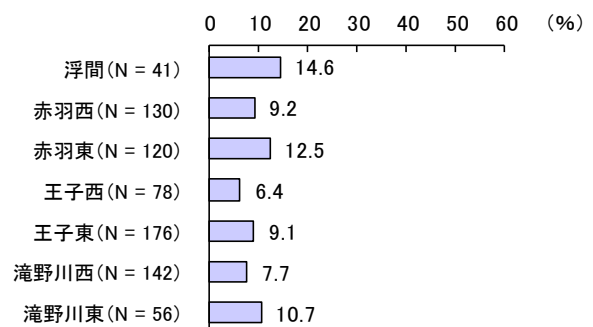
河川や水辺などの親水空間の整備



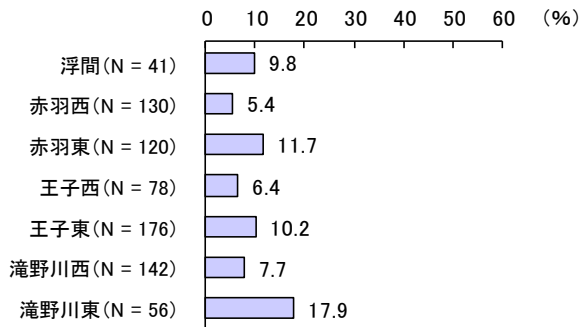
公園や遊び場の増設



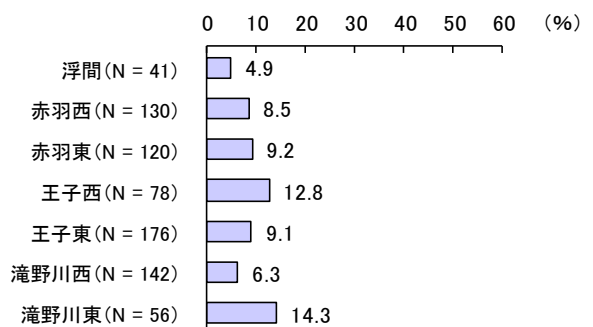
環境問題に関する講習会、
学習会などの開催



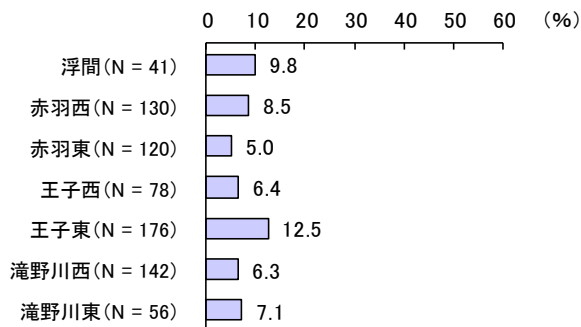
NPO、ボランティア、市民団体など
地域の環境活動に対する支援



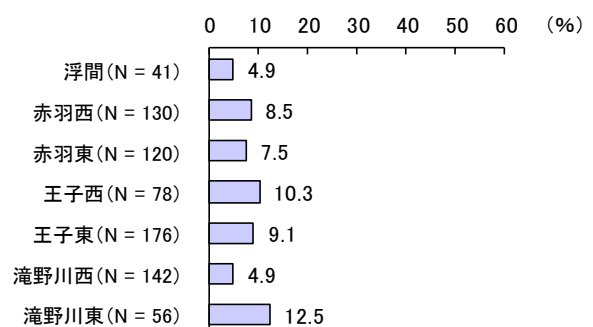
省エネルギー機器普及のための支援



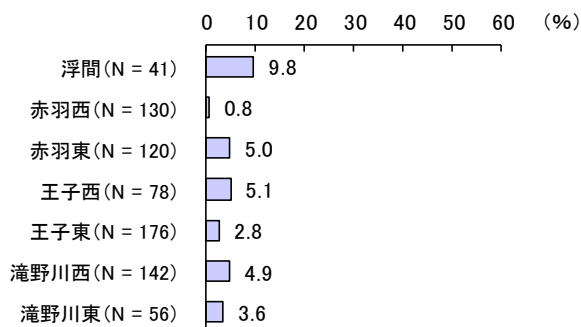
区民主体の季節感あふれる
身近な公園づくり



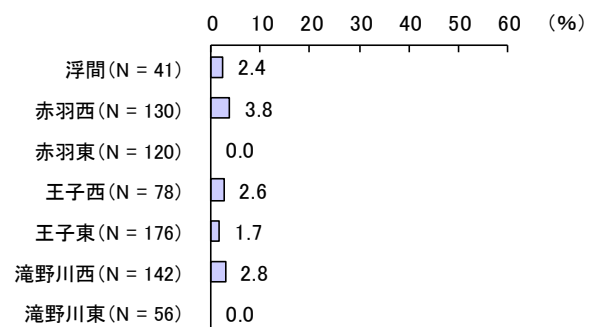
事業者に対するごみ
発生・排出抑制のための指導



特になし



その他



9 「安全・安心」・快適戦略

(1) 日常的な不安感

◇不安を『感じる』が3割半ば

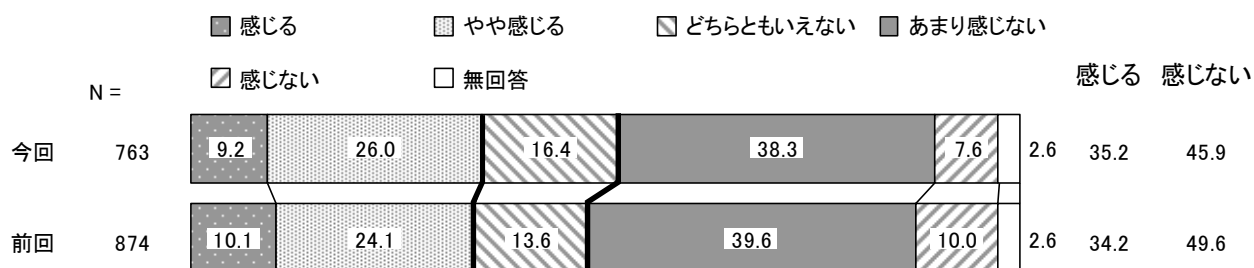
問39 あなたはお住まいの地域で日常的に不安を感じますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

居住地域で日常的に不安を感じるか聞いたところ、「感じる」(9.2%)と「やや感じる」(26.0%)を合わせた『不安を感じる』(35.2%)が3割半ばとなっている。

一方、「あまり感じない」(38.3%)と「感じない」(7.6%)を合わせた『不安を感じない』(45.9%)は4割半ばとなっている。

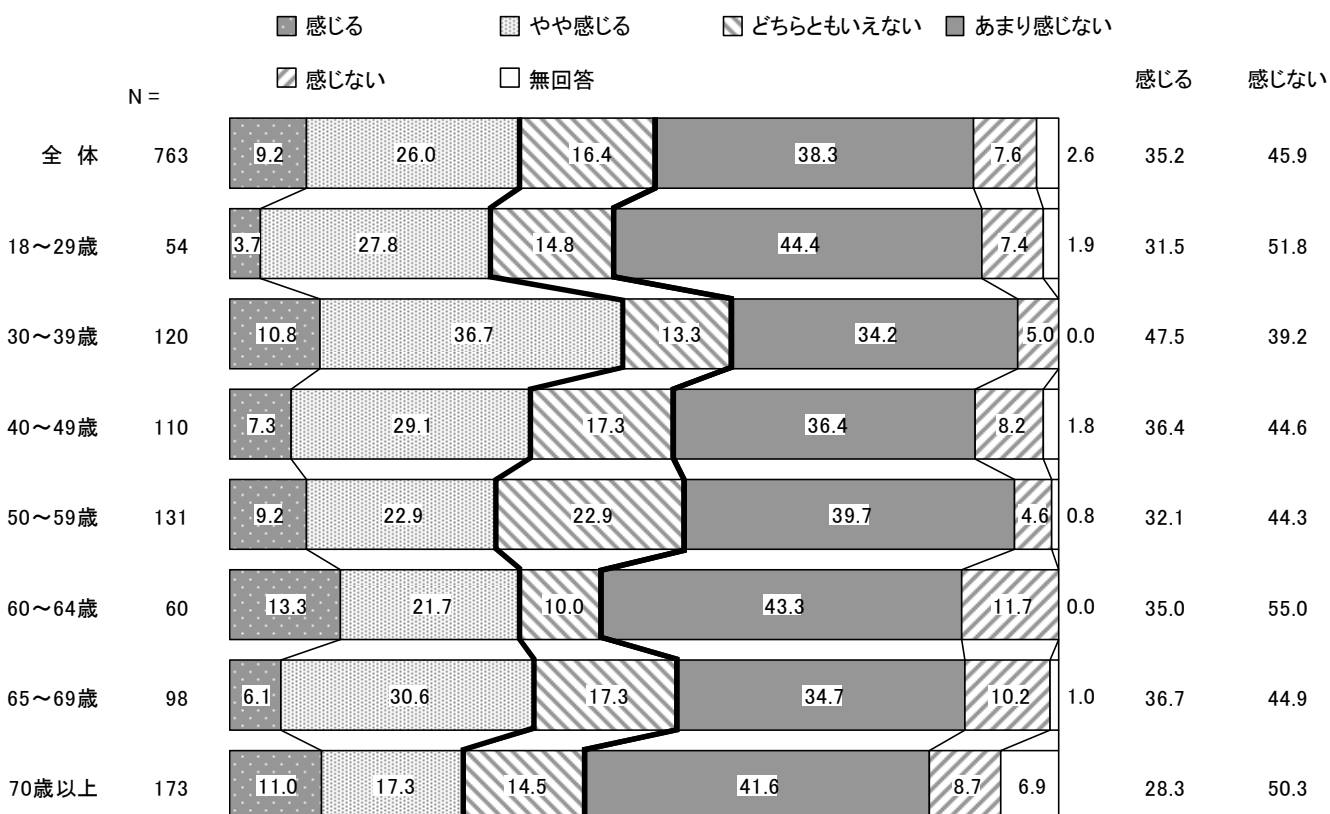
前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。(図表9-1-1)

図表9-1-1 日常的な不安感



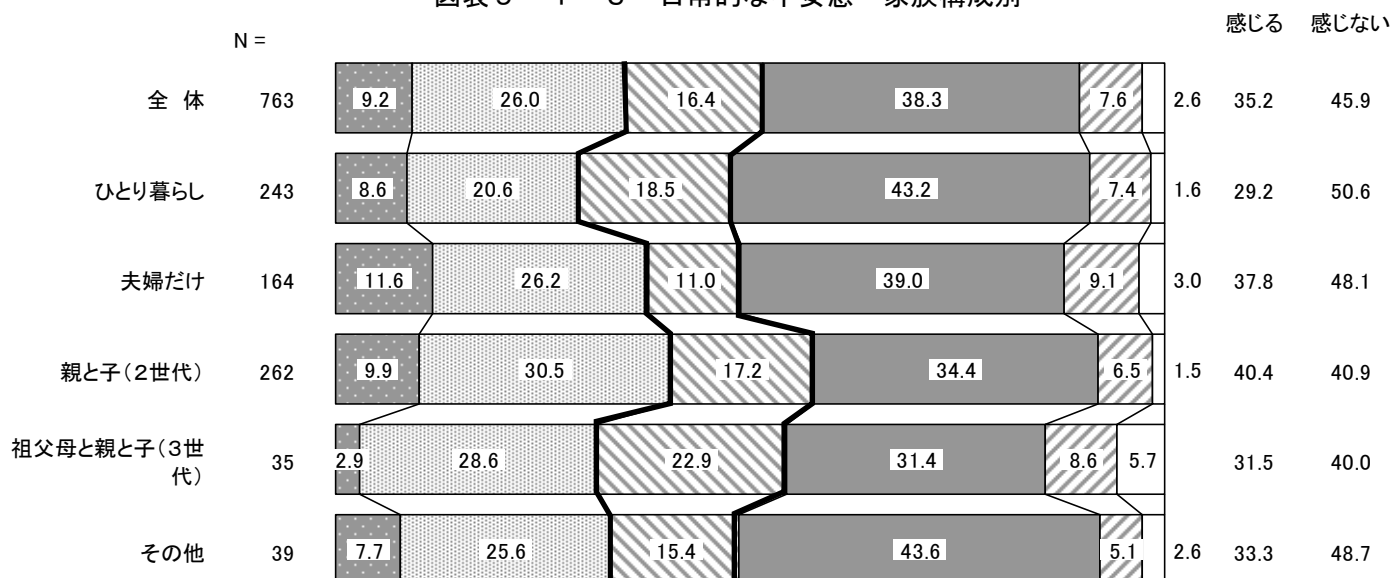
年齢別でみると、不安を『感じる』は30～39歳（47.5%）で5割近くと高くなっている。一方、不安を『感じない』は18～29歳（51.8%）と60～64歳（55.0%）で5割を超えて高くなっている。（図表9-1-2）

図表9-1-2 日常的な不安感—年齢別



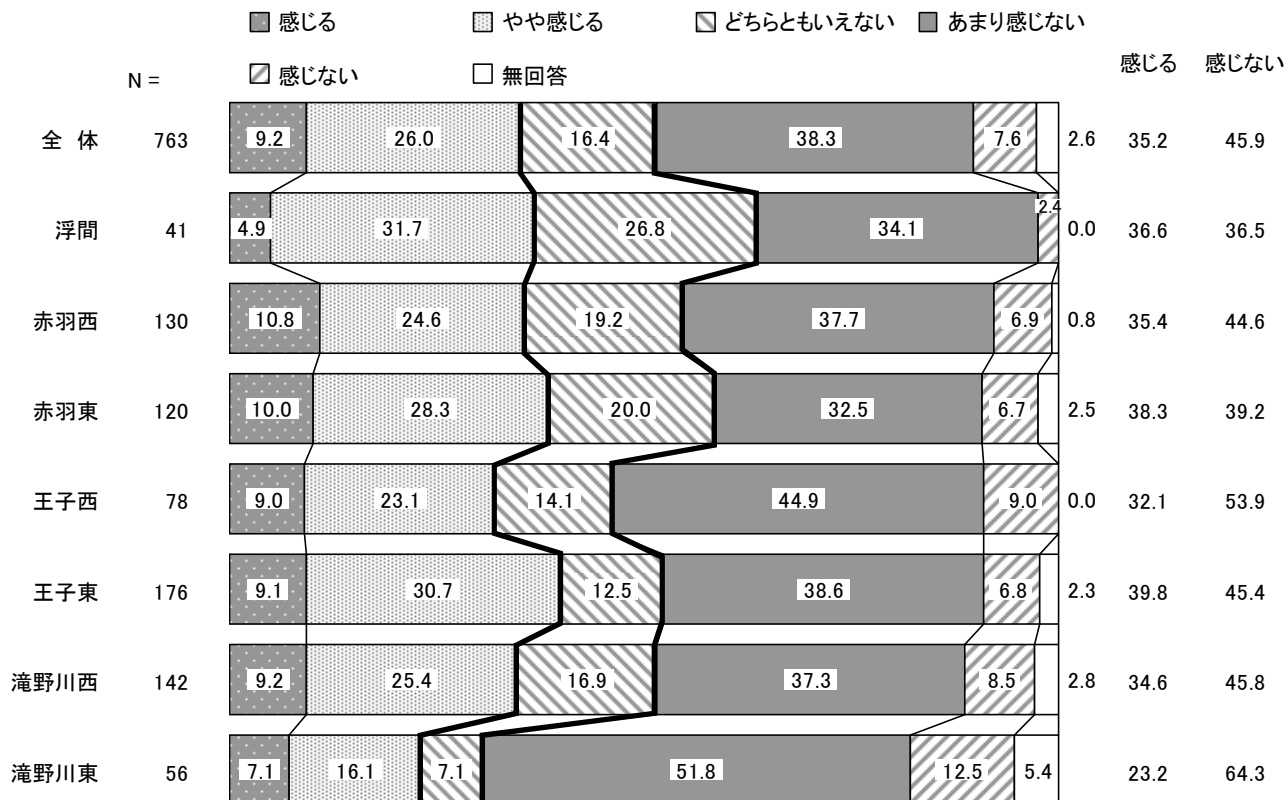
家族構成別でみると、不安を『感じる』は“親と子（2世代）”（40.4%）“夫婦だけ”（37.8%）で約4割と高くなっている。一方、不安を『感じない』は“ひとり暮らし”（50.6%）“夫婦だけ”（48.1%）で5割近くと高くなっている。（図表9-1-3）

図表9-1-3 日常的な不安感—家族構成別



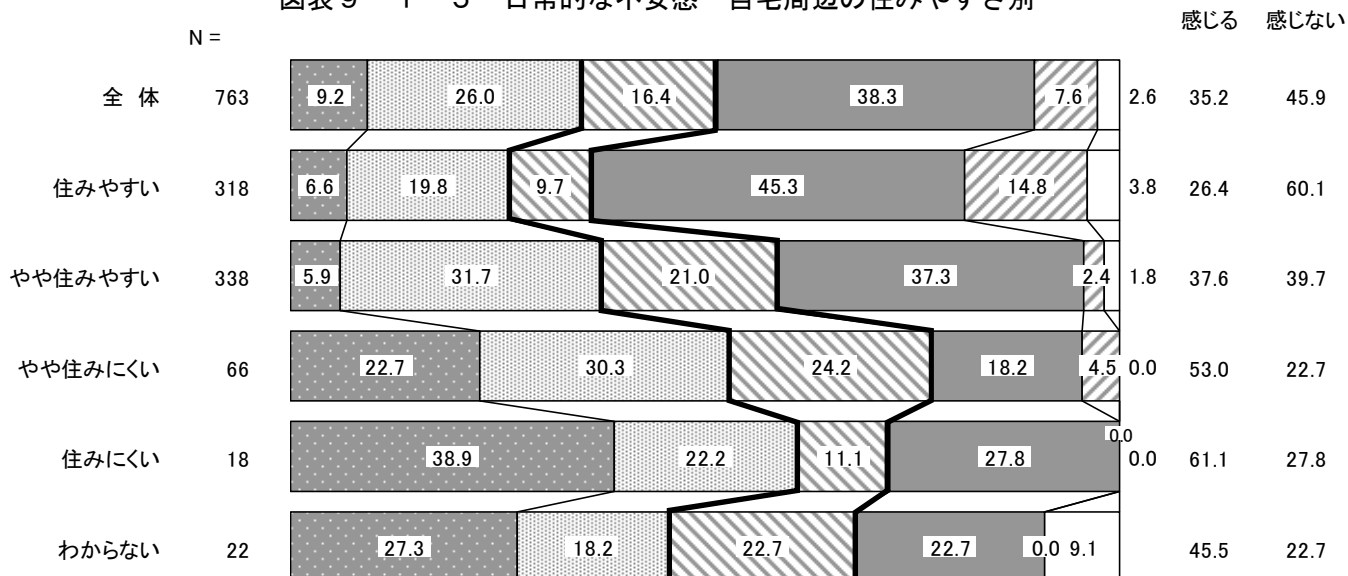
居住地区別でみると、不安を『感じる』は赤羽東（38.3%）、王子東（39.8%）で4割近くと高くなっている。一方、不安を『感じない』は滝野川東（64.3%）で6割半ばと高くなっている。（図表9-1-4）

図表9-1-4 日常的な不安感—居住地区別



自宅周辺の住みやすさ別でみると、不安を『感じる』は“やや住みにくい”（53.0%）で5割を超えて高くなっている。一方、不安を『感じない』は、自宅周辺を住みやすいと感じる人ほど割合が高くなっており、“住みやすい”（60.1%）で6割を超えて高くなっている。（図表9-1-5）

図表9-1-5 日常的な不安感—自宅周辺の住みやすさ別



(2) 不安を感じる内容

◇「地震や水害などの自然災害」が約5割

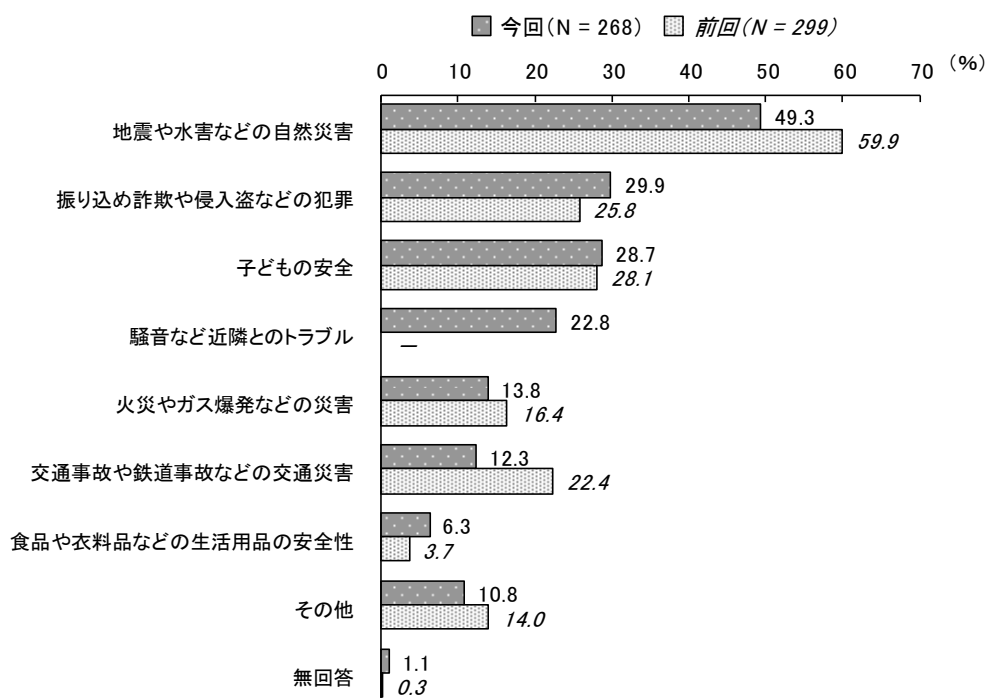
[問39で「感じる」、「やや感じる」を選んだ方にうかがいます]

問39-1 どのようなことに不安を感じますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

問39で、「感じる」、「やや感じる」と答えた方(268人)に、どのようなことに不安を感じるかを聞いたところ、「地震や水害などの自然災害」(49.3%)が約5割と突出して高くなっている。次いで、「振り込め詐欺や侵入盗などの犯罪」(29.9%)、「子どもの安全」(28.7%)、「騒音など近隣とのトラブル」(22.8%)、「火災やガス爆発などの災害」(13.8%)の順で続いている。

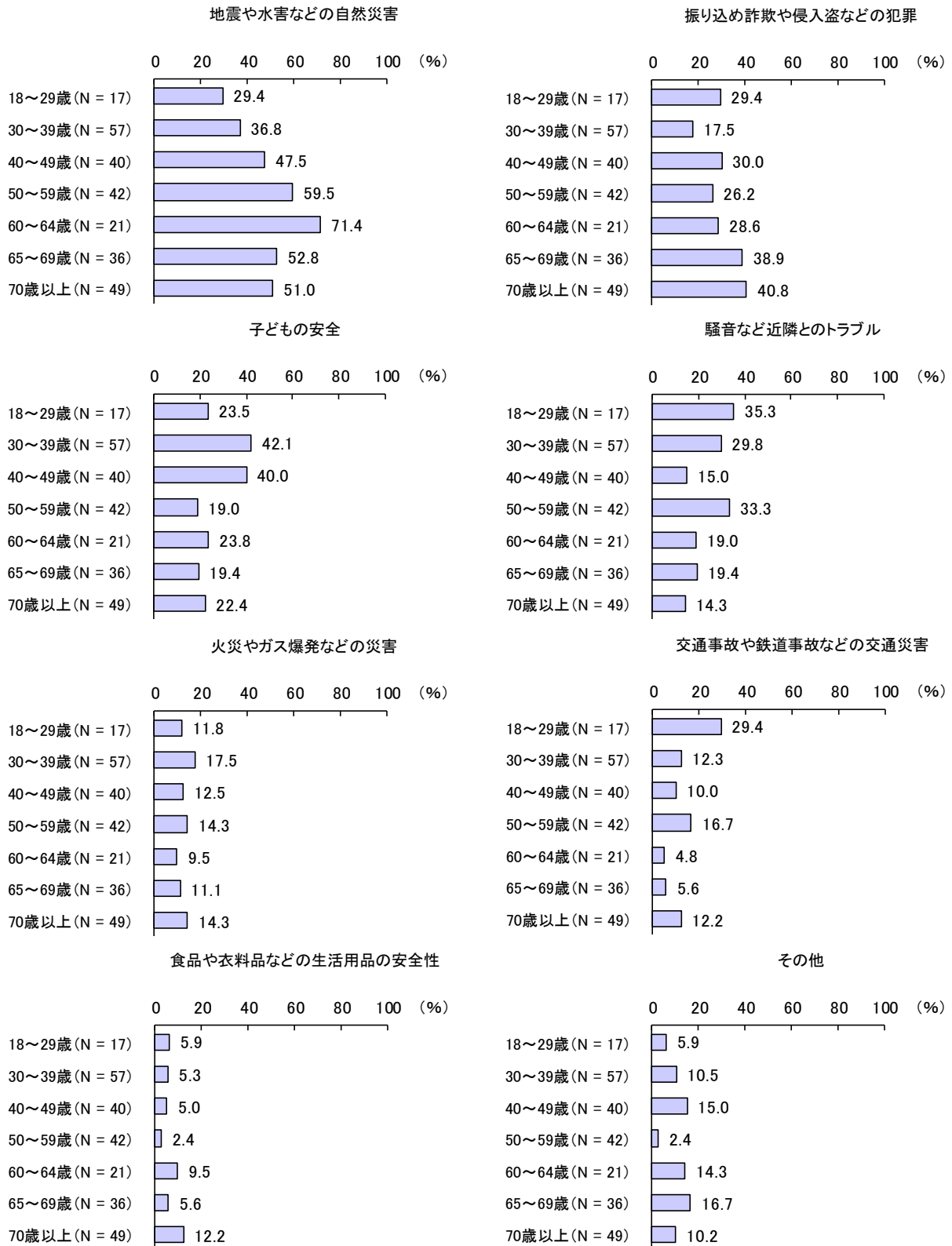
前回調査は、今回と選択肢が異なるため参考とする。(図表9-2-1)

図表9-2-1 不安を感じる内容



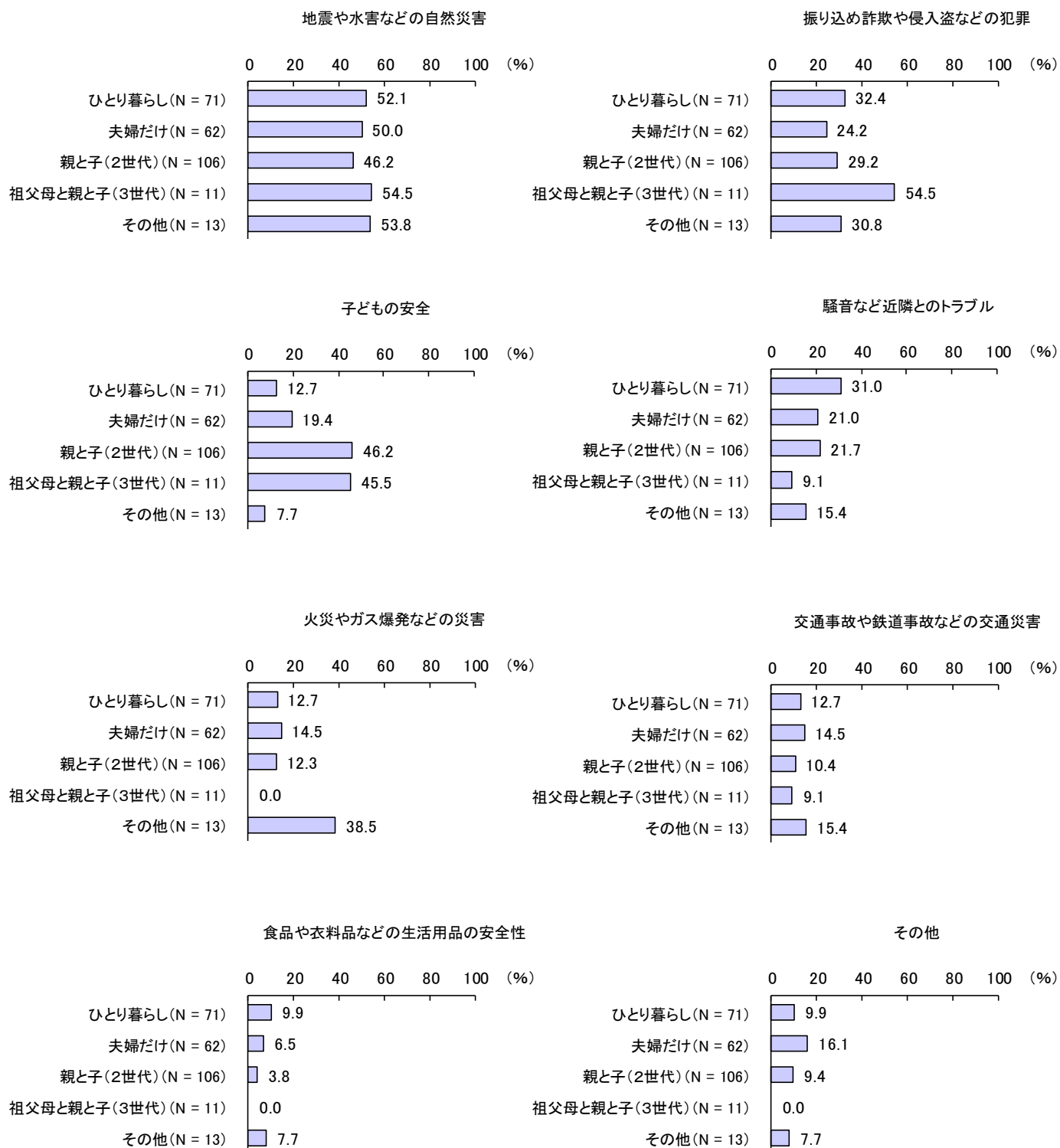
年齢別でみると、「地震や水害などの自然災害」で60～64歳が、「振り込め詐欺や侵入盗などの犯罪」で65歳以上が、「子どもの安全」で30～49歳が高くなっている。また、「交通事故や鉄道事故などの交通災害」で18～29歳が高くなっている。（図表9-2-2）

図表9-2-2 不安を感じる内容—年齢別



家族構成別でみると、「振り込め詐欺や侵入盗などの犯罪」で“祖父母と親と子（3世代）”が、「子どもの安全」で“親と子（2世代）”、“祖父母と親と子（3世代）”が、「騒音など近隣とのトラブル」で“ひとり暮らし”が高くなっている。（図表9-2-3）

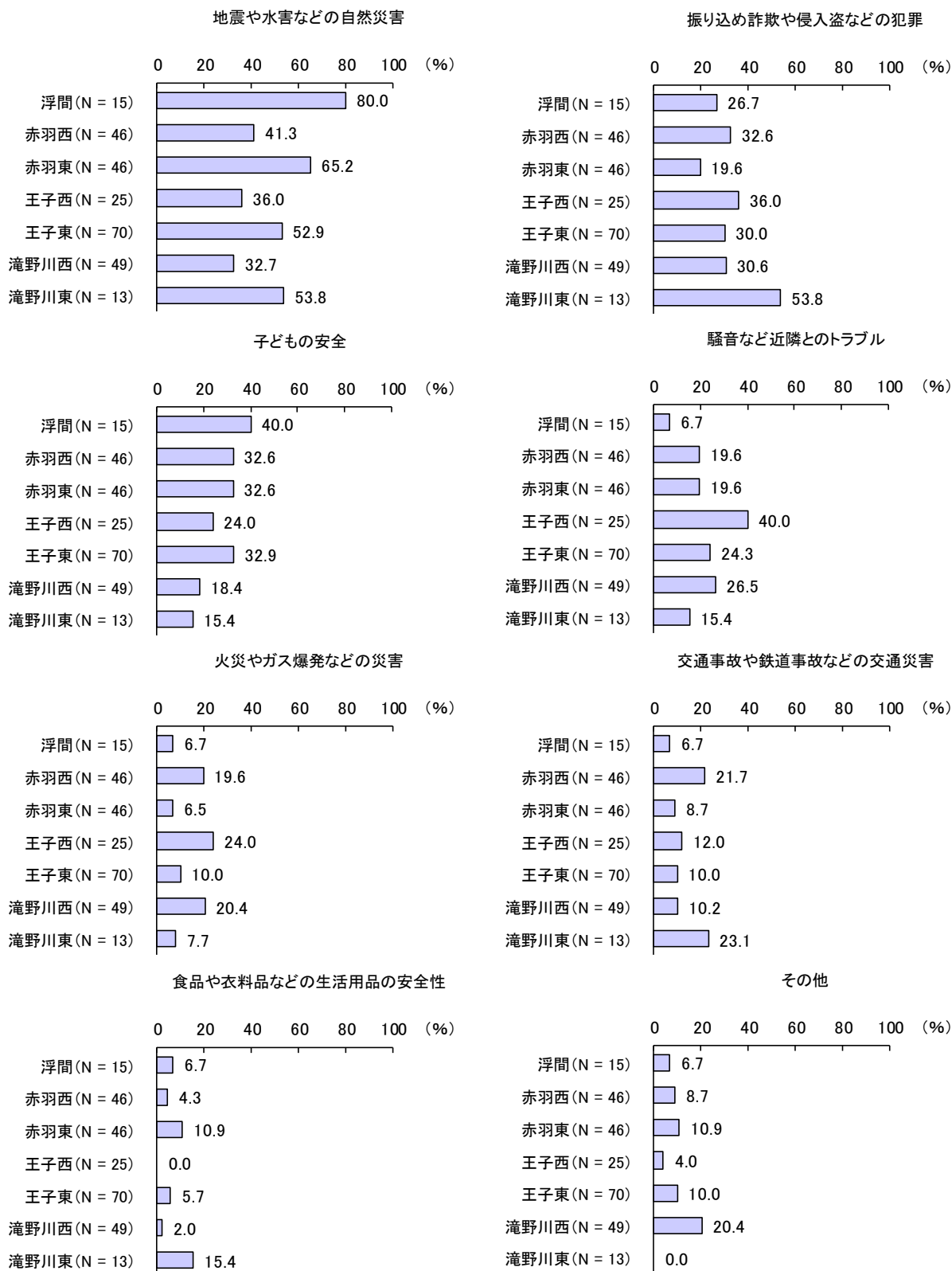
図表9-2-3 不安を感じる内容—家族構成別



居住地区別でみると、「地震や水害などの自然災害」「子どもの安全」で浮間が、「振り込め詐欺や侵入盗などの犯罪」で滝野川東が、「騒音など近隣とのトラブル」で王子西が高くなっている。

(図表 9-2-4)

図表 9-2-4 不安を感じる内容—居住地区別



(3) 安心なまちづくりのための重点施策

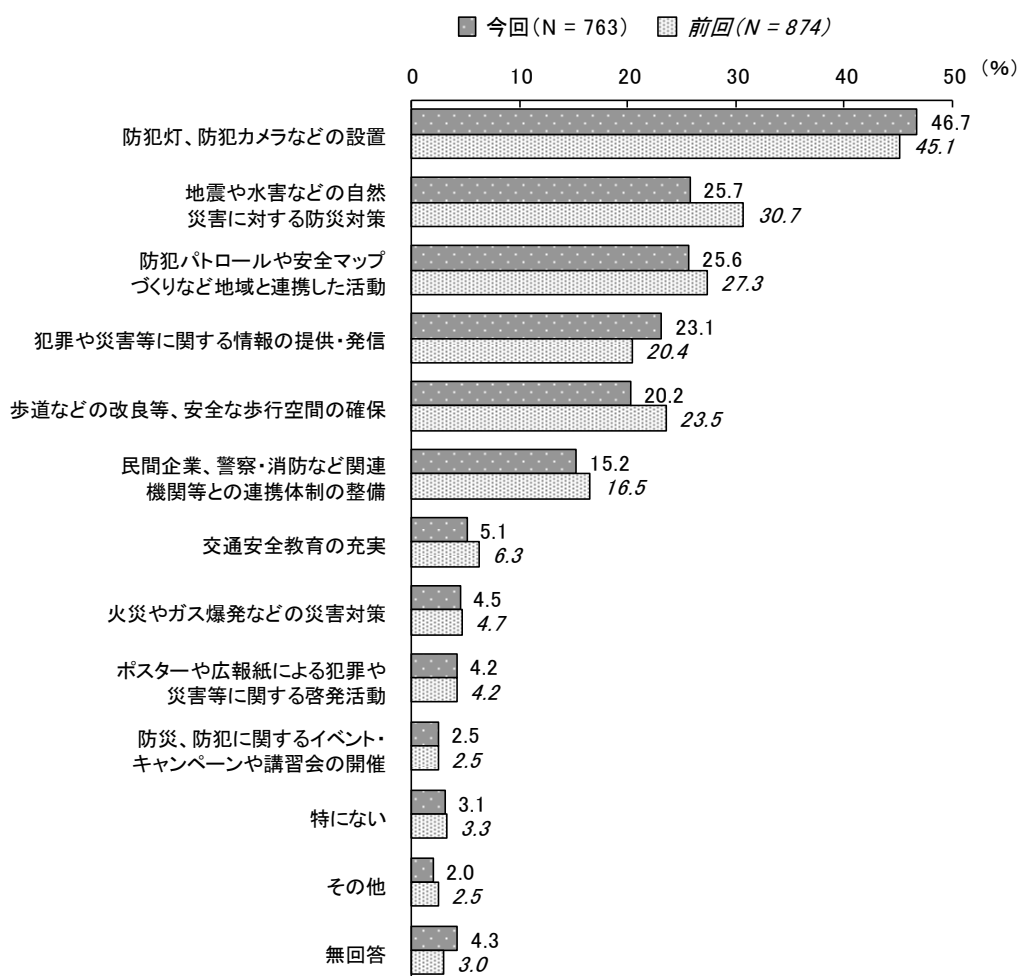
◇「防犯灯、防犯カメラなどの設置」が4割半ば

問40 あなたのお住まいの地域を安心なまちにするためには、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

居住地域を安心なまちにするためには、どのような取組みが効果的だと思うか聞いたところ、「防犯灯、防犯カメラなどの設置」(46.7%)が4割半ばと突出して高くなっている。次いで、「地震や水害などの自然災害に対する防災対策」(25.7%)、「防犯パトロールや安全マップづくりなど地域と連携した活動」(25.6%)、「犯罪や災害等に関する情報の提供・発信」(23.1%)の順で続いている。

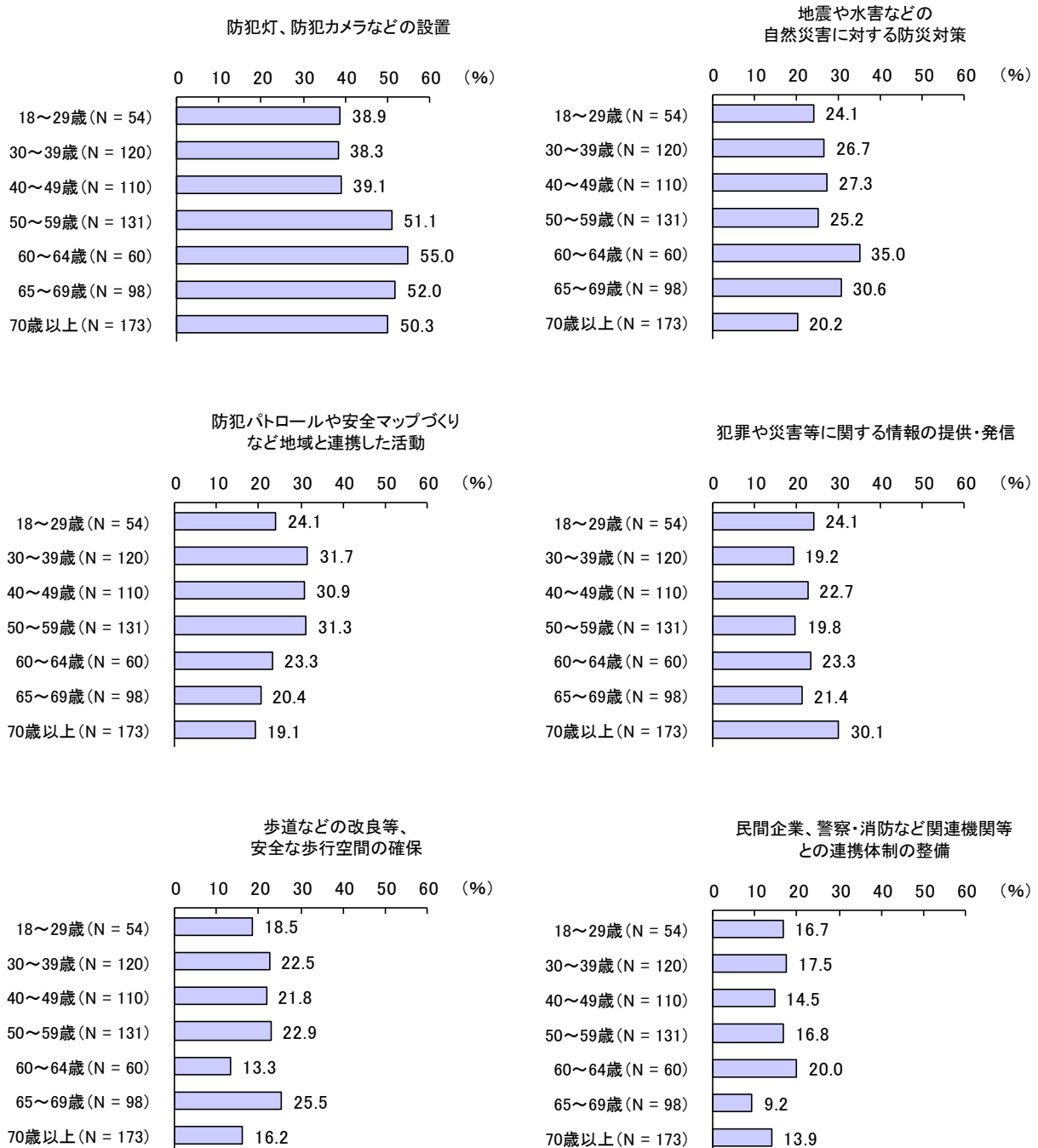
前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。(図表9-3-1)

図表9-3-1 安心なまちづくりのための重点施策

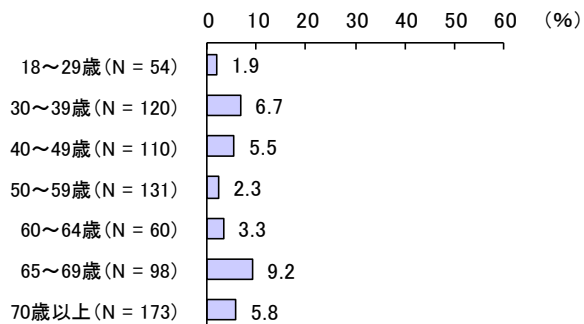


年齢別でみると、「防犯灯、防犯カメラなどの設置」で50歳以上が、「地震や水害などの自然災害に対する防災対策」で60～64歳が、「防犯パトロールや安全マップづくりなど地域と連携した活動」で30～59歳が、「犯罪や災害等に関する情報の提供・発信」で70歳以上が高くなっている。(図表9-3-2)

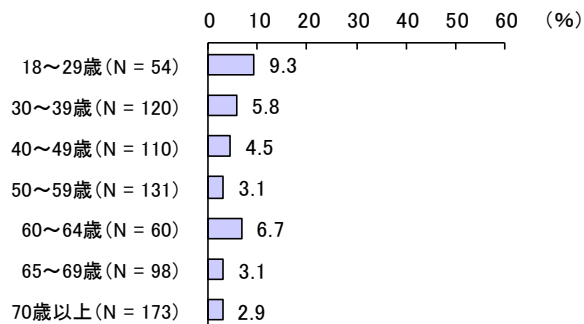
図表9-3-2 安心なまちづくりのための重点施策一年齢別



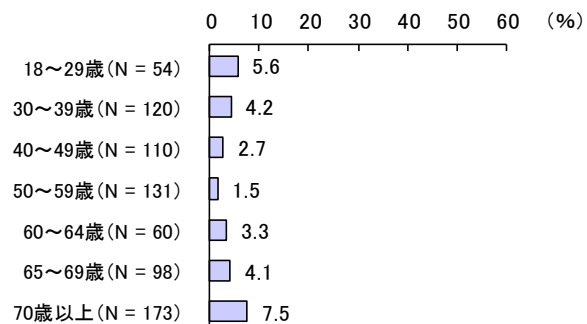
交通安全教育の充実



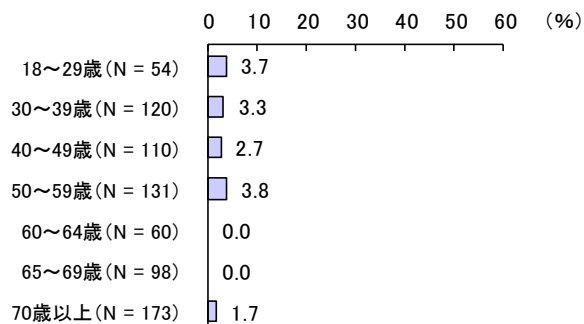
火災やガス爆発などの災害対策



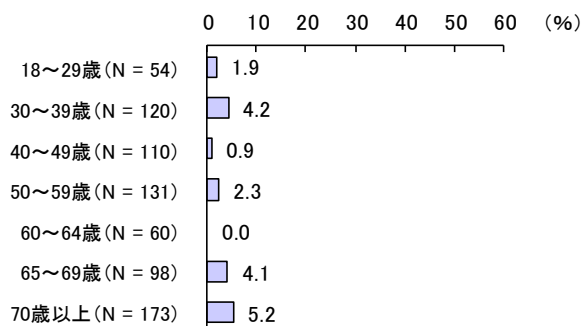
ポスターや広報紙による犯罪や災害等に関する啓発活動



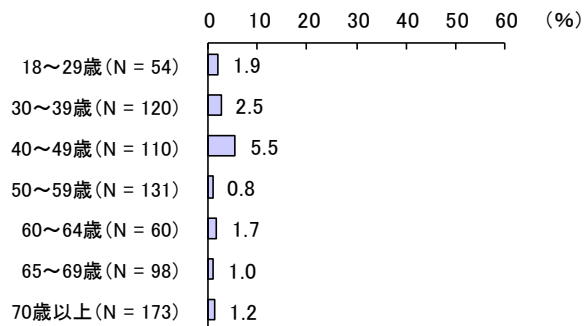
防災、防犯に関するイベント・キャンペーンや講習会の開催



特にない



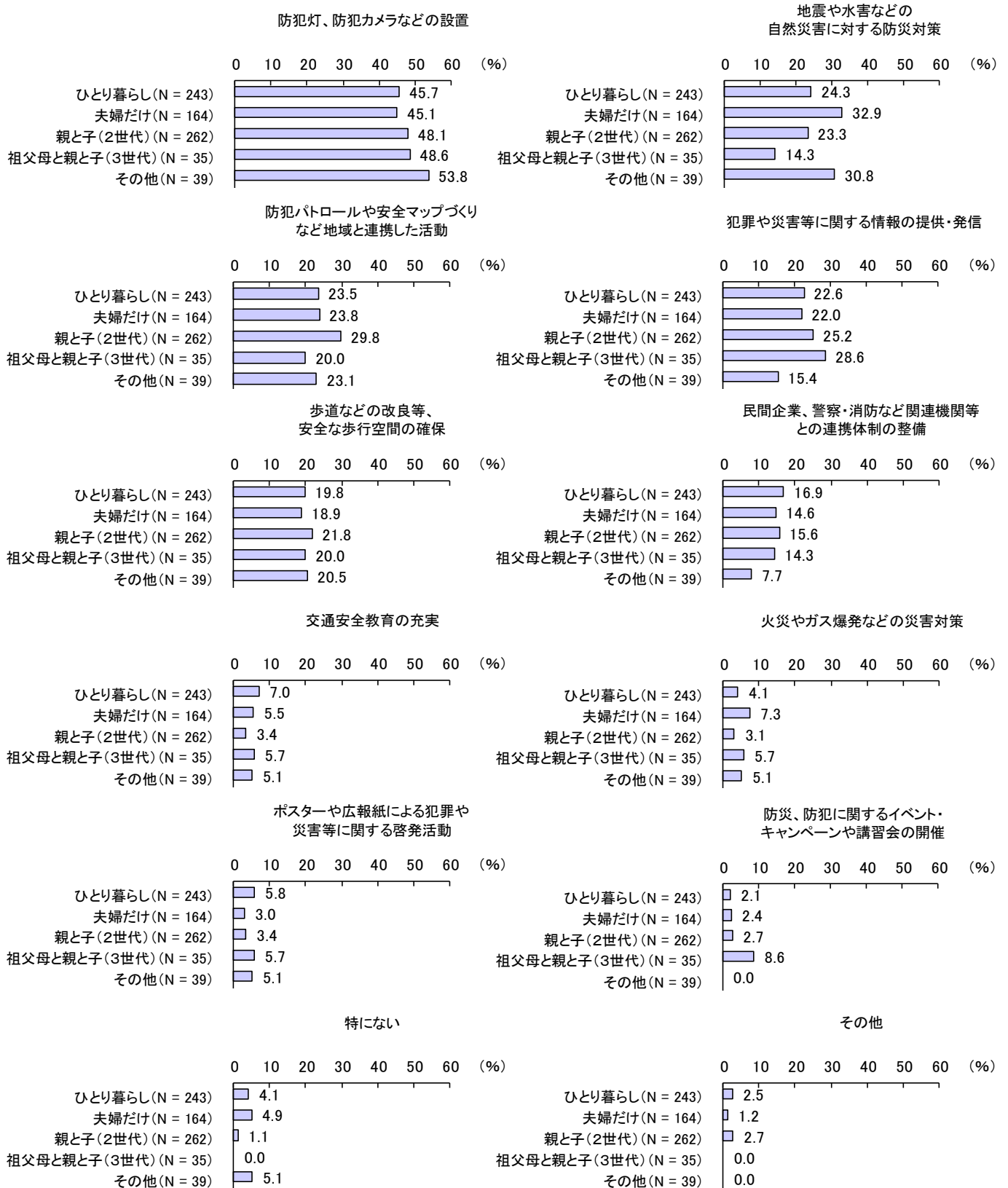
その他



家族構成別でみると、「地震や水害などの自然災害に対する防災対策」で“夫婦だけ”が、「防犯パトロールや安全マップづくりなど地域と連携した活動」で“親と子（2世代）”が、「犯罪や災害等に関する情報の提供・発信」で“祖父母と親と子（3世代）”が高くなっている。

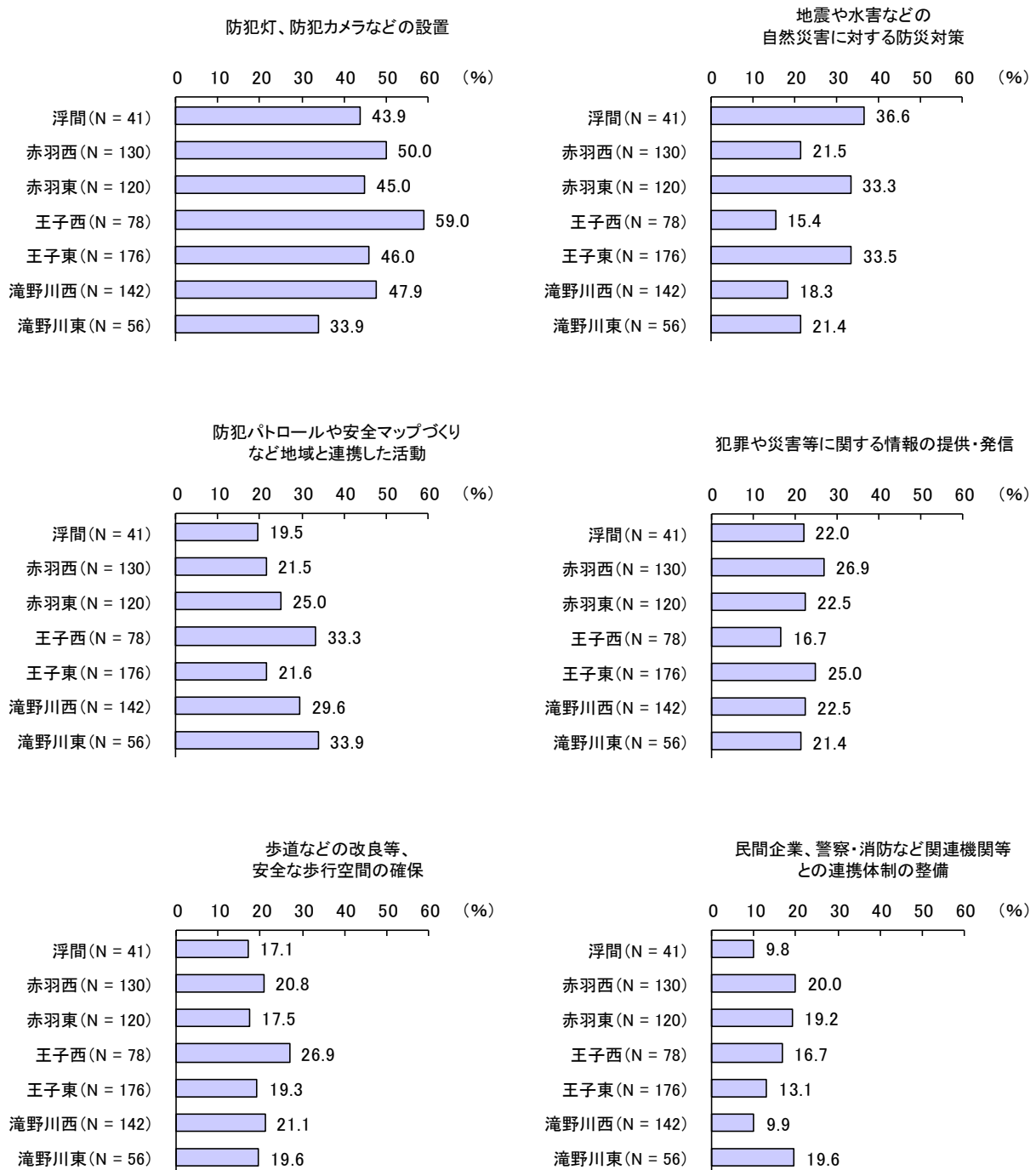
(図表9-3-3)

図表9-3-3 安心なまちづくりのための重点施策—家族構成別

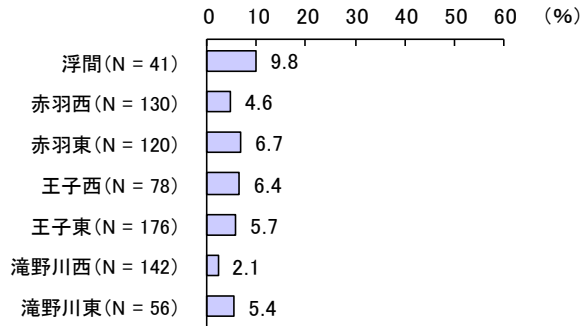


居住地区別でみると、「防犯灯、防犯カメラなどの設置」で王子西が、「地震や水害などの自然災害に対する防災対策」で浮間が、「防犯パトロールや安全マップづくりなど地域と連携した活動」で王子西、滝野川東が高くなっている。(図表9-3-4)

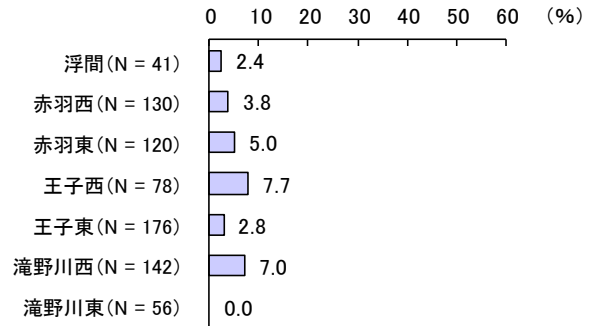
図表9-3-4 安心なまちづくりのための重点施策—居住地区別



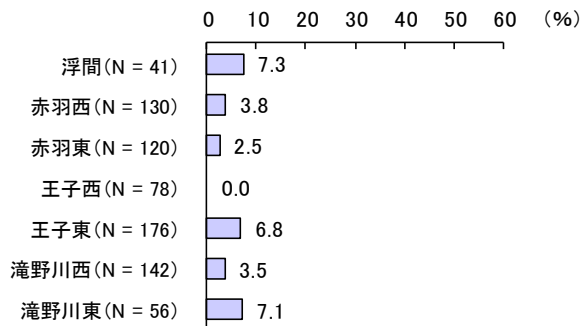
交通安全教育の充実



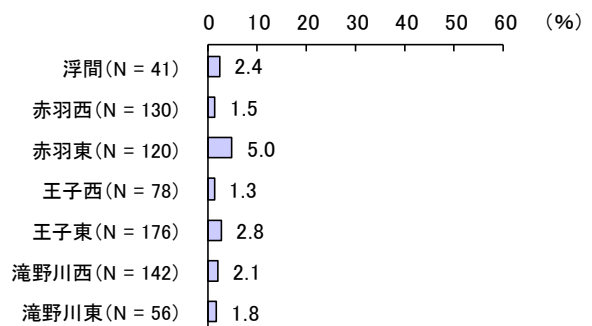
火災やガス爆発などの災害対策



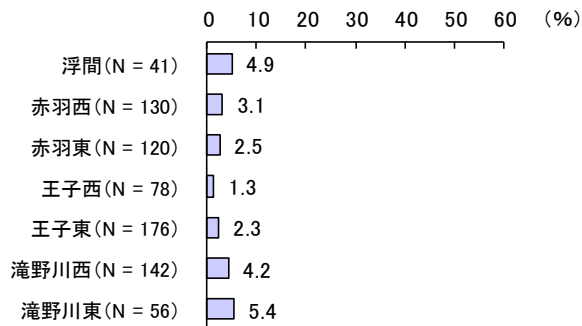
ポスターや広報紙による犯罪や災害等に関する啓発活動



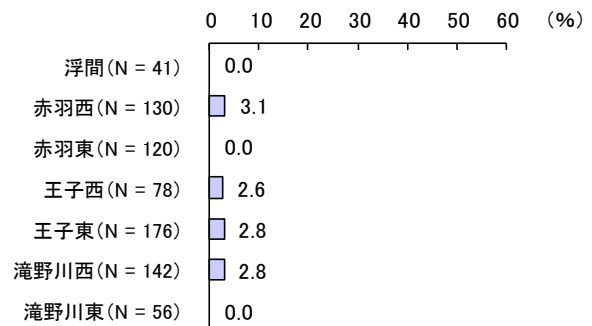
防災、防犯に関するイベント・キャンペーンや講習会の開催



特にない



その他



(4) 安全なまちづくりのための重点施策

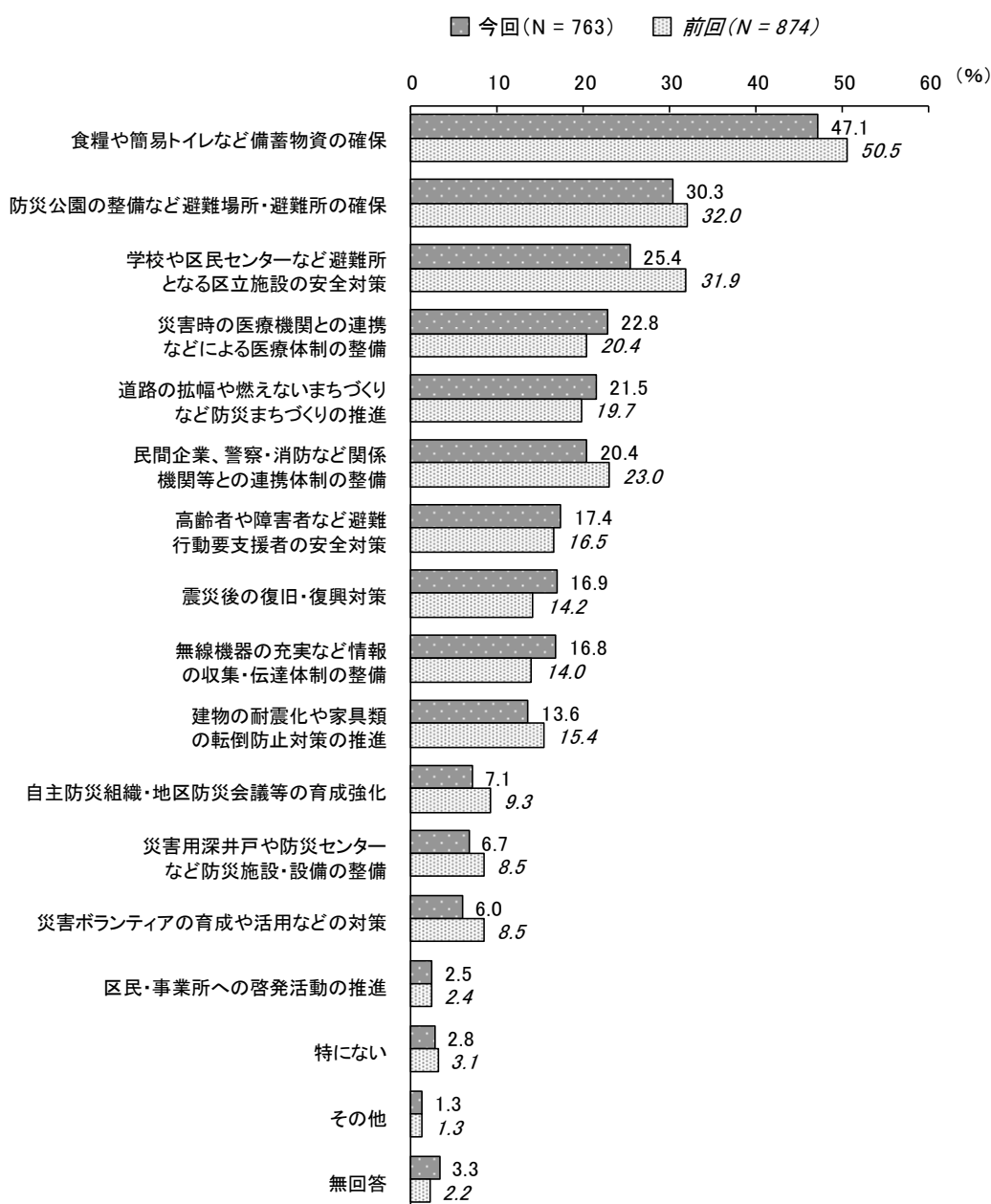
◇「食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保」が5割近く

問4-1 地震などの自然災害に対して安全なまちにするために、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

地震などの自然災害に対して安全なまちにするために、どのような取組みが効果的だと思うか聞いたところ、「食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保」(47.1%)が5割近くと最も高くなっている。次いで、「防災公園の整備など避難場所・避難所の確保」(30.3%)、「学校や区民センターなど避難所となる区立施設の安全対策」(25.4%)、「災害時の医療機関との連携などによる医療体制の整備」(22.8%)の順で続いている。

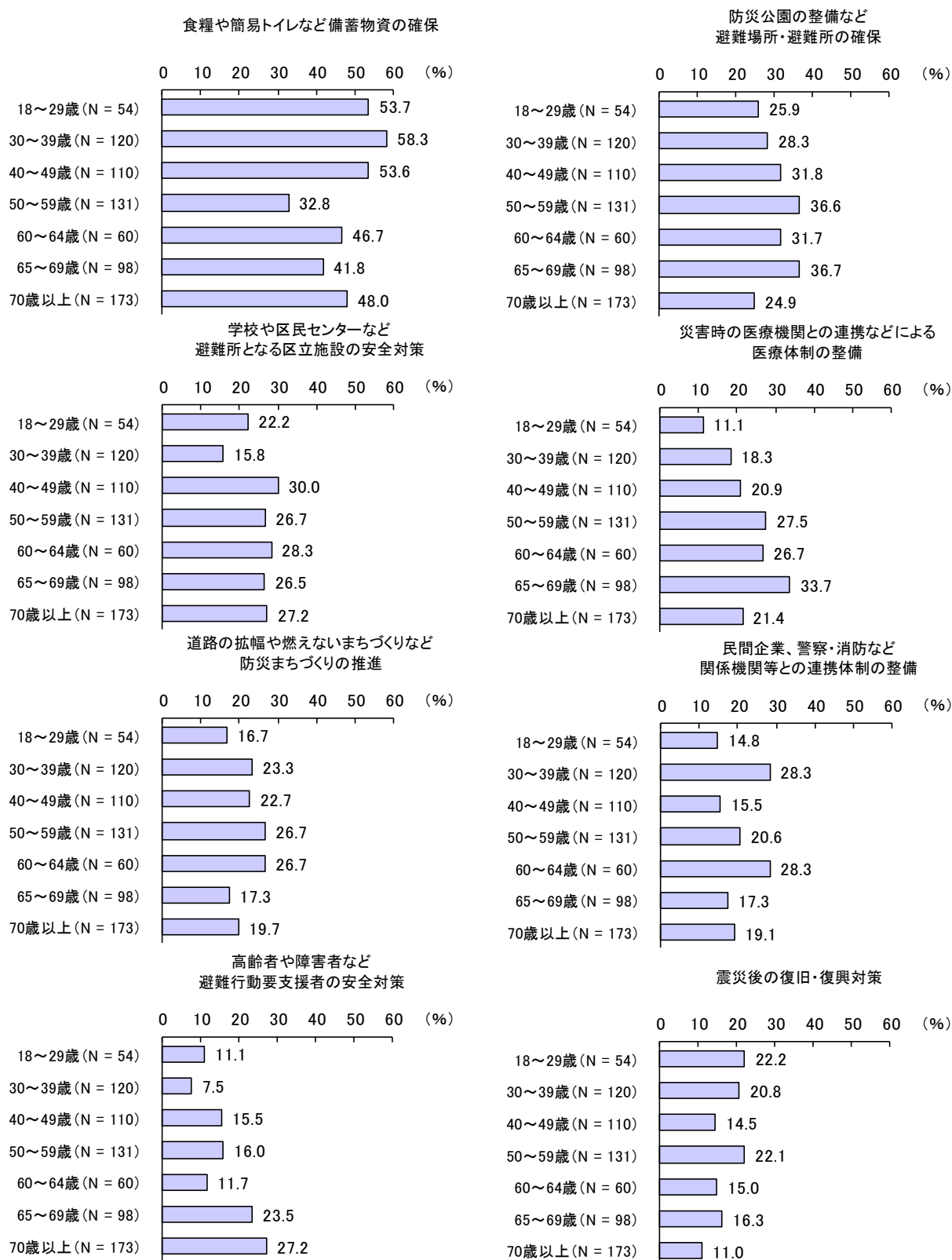
前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。(図表9-4-1)

図表9-4-1 安全なまちづくりのための重点施策

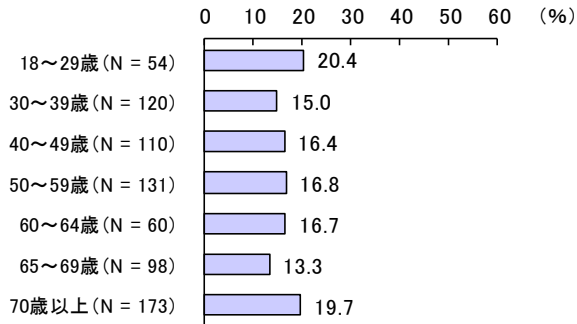


年齢別でみると、「食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保」で30～39歳が、「防災公園の整備など避難場所・避難所の確保」で50～59歳、65～69歳が高くなっている。また、「高齢者や障害者など避難行動要支援者の安全対策」でおおむね年齢が高くなるにつれ割合が高くなる傾向を示している。(図表9-4-2)

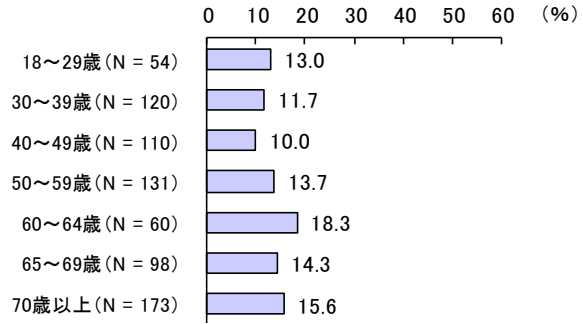
図表9-4-2 安全なまちづくりのための重点施策一年齢別



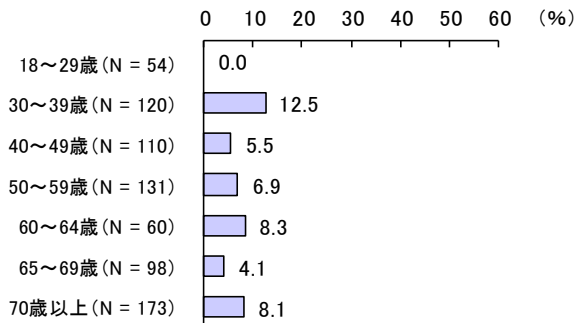
無線機器の充実など
情報の収集・伝達体制の整備



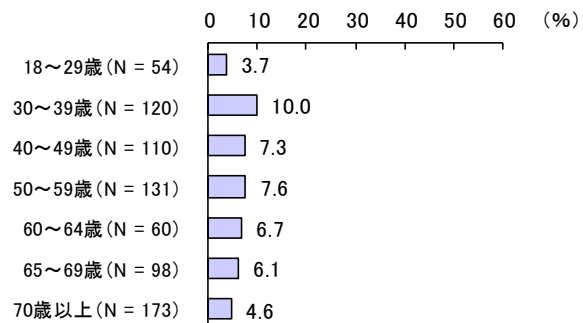
建物の耐震化や家具類の
転倒防止対策の推進



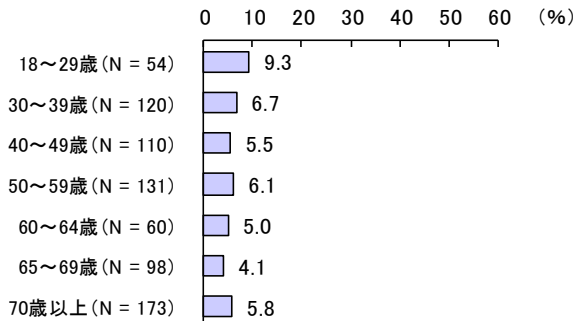
自主防災組織・地区防災会議等の育成強化



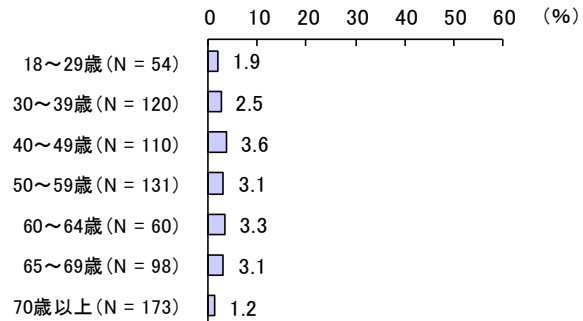
災害用深井戸や防災センターなど
防災施設・設備の整備



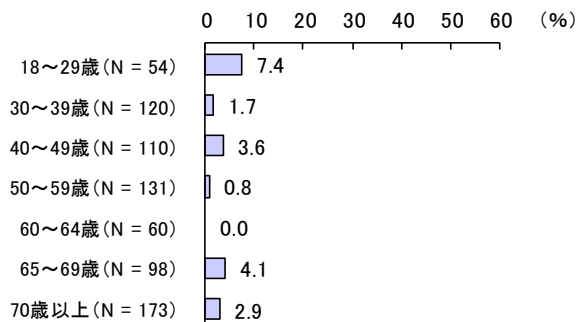
災害ボランティアの育成や活用などの対策



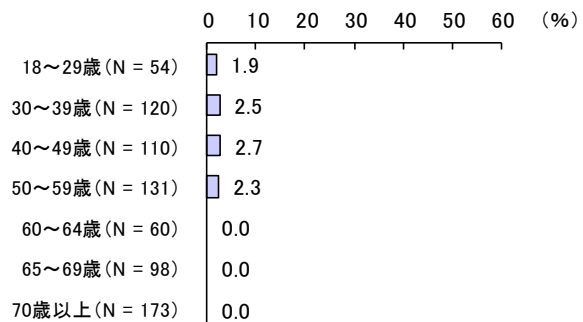
区民・事業所への啓発活動の推進



特にない

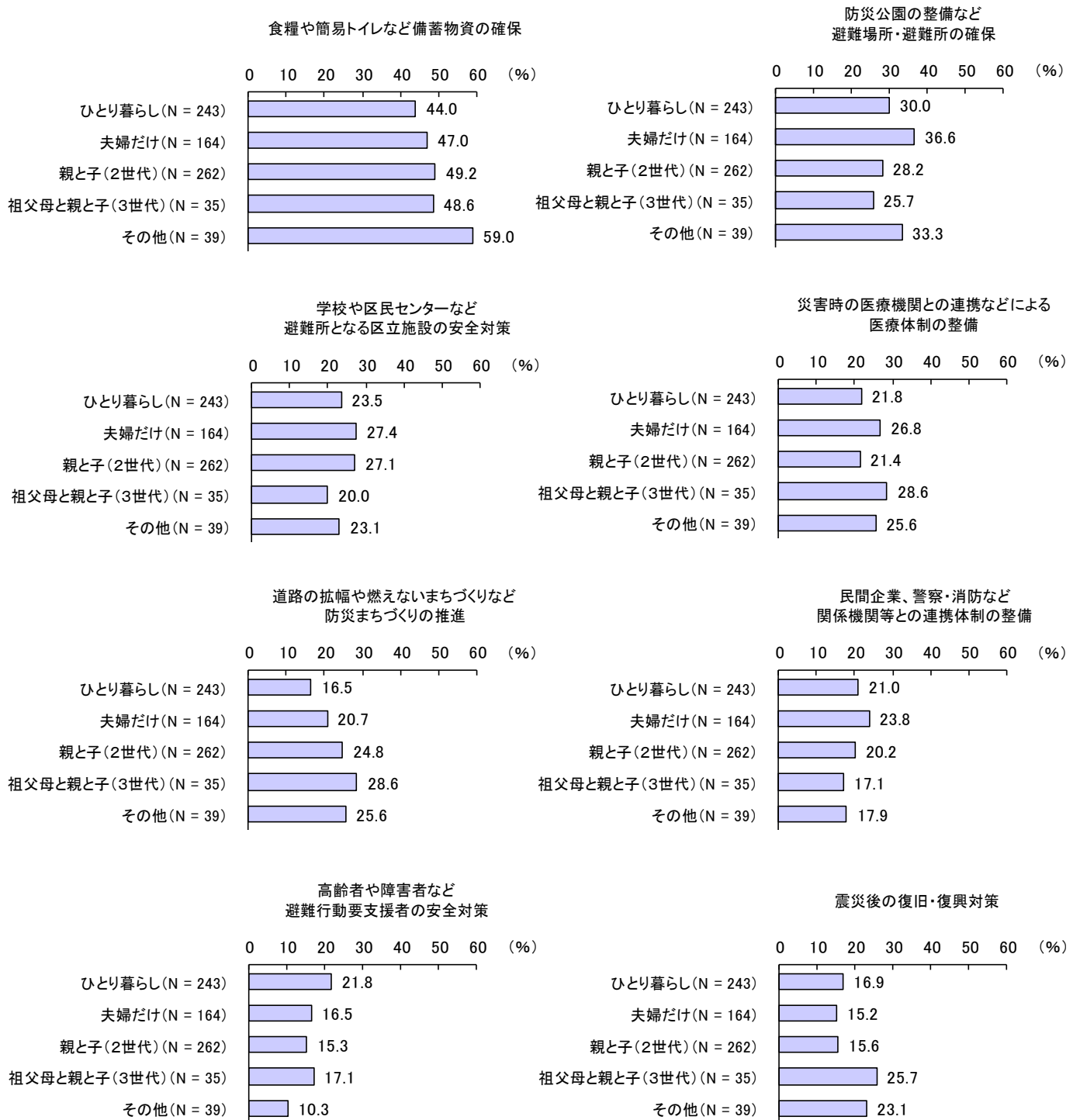


その他

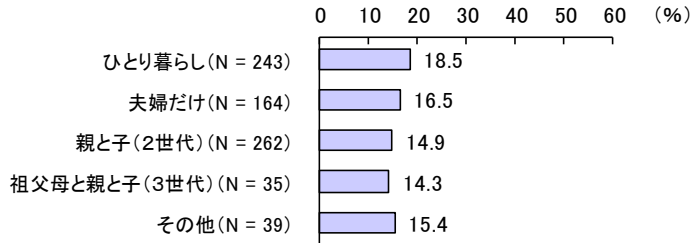


家族構成別でみると、「防災公園の整備など避難場所・避難所の確保」で“夫婦だけ”が、「学校や区民センターなど避難所となる区立施設の安全対策」で“夫婦だけ”、“親と子（2世代）”が、「災害時の医療機関との連携などによる医療体制の整備」「道路の拡幅や燃えないまちづくりなど防災まちづくりの推進」で“祖父母と親と子（3世代）”が高くなっている。（図表9-4-3）

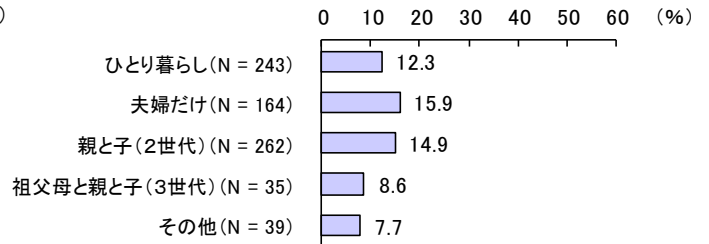
図表9-4-3 安全なまちづくりのための重点施策—家族構成別



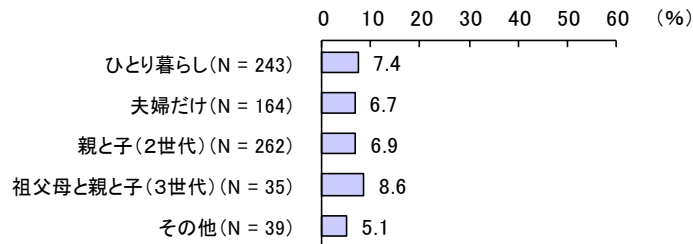
無線機器の充実など
情報の収集・伝達体制の整備



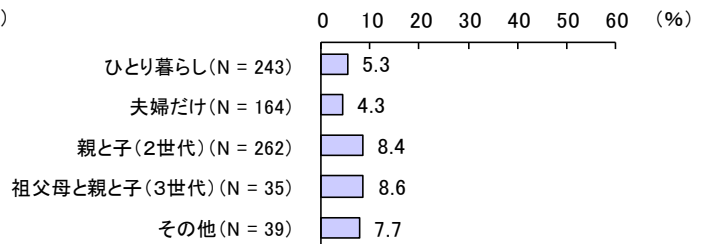
建物の耐震化や家具類の
転倒防止対策の推進



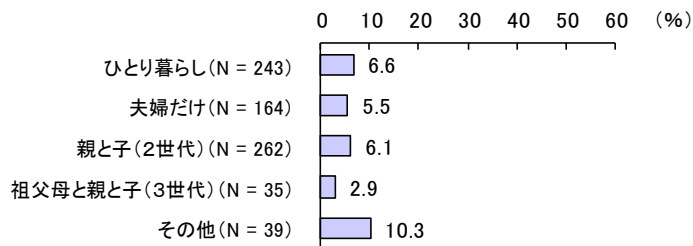
自主防災組織・地区防災会議等の育成強化



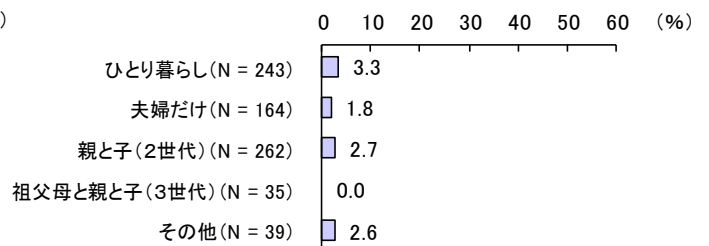
災害用深井戸や防災センターなど
防災施設・設備の整備



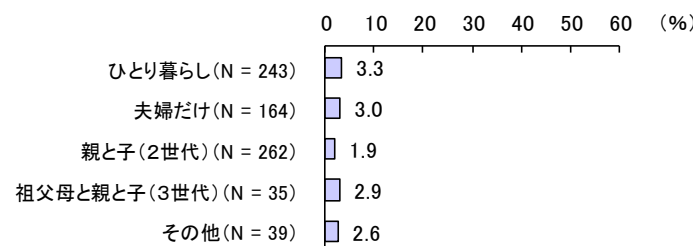
災害ボランティアの育成や活用などの対策



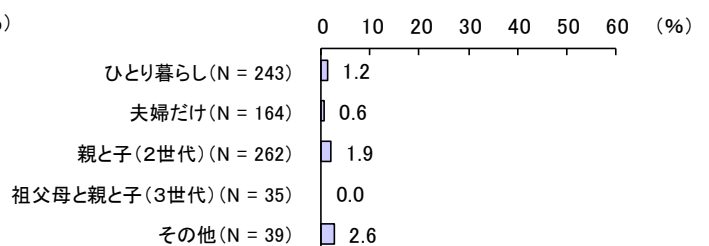
区民・事業所への啓発活動の推進



特にない

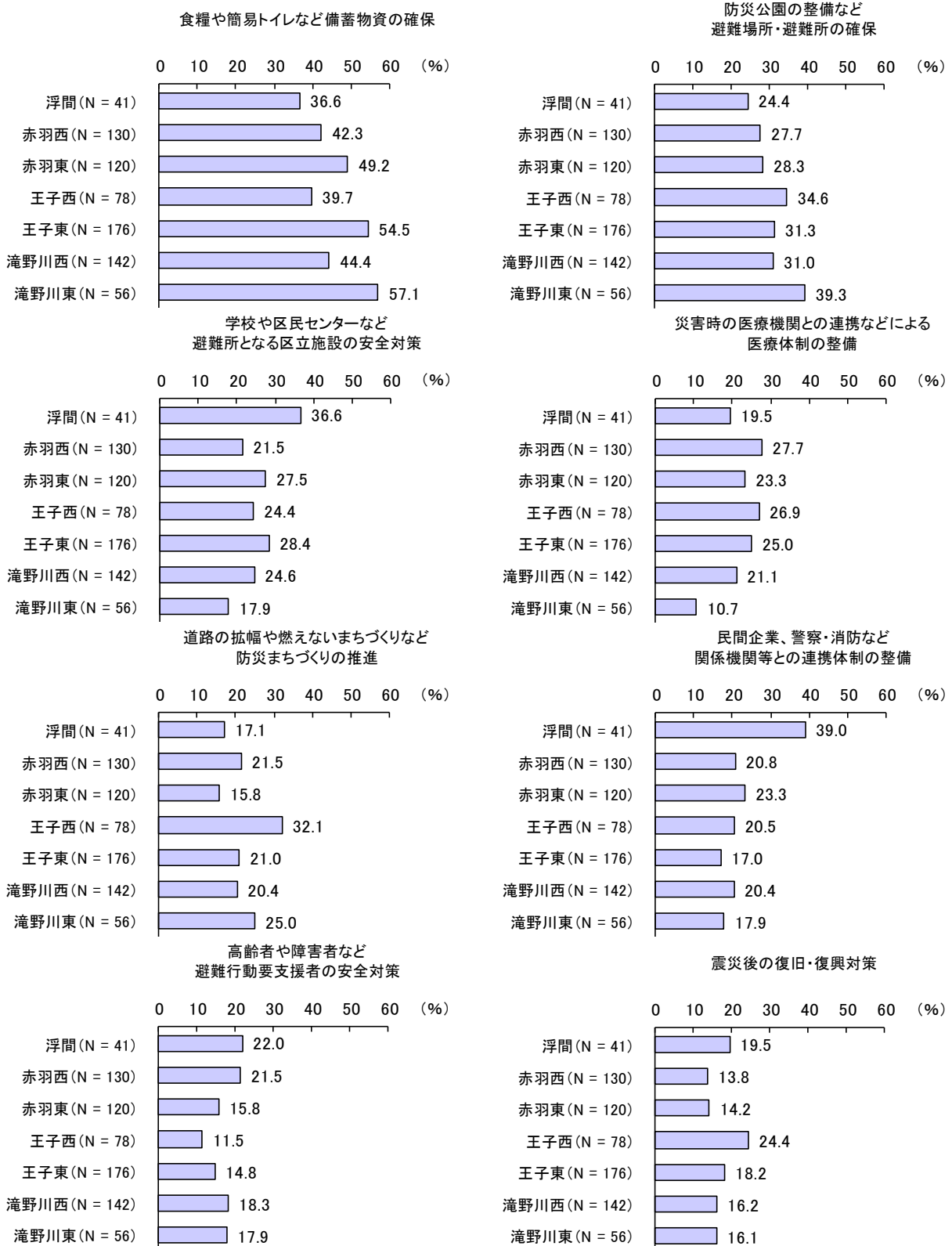


その他

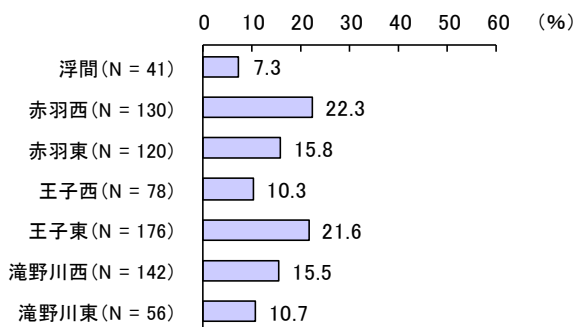


居住地区別でみると、「食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保」「防災公園の整備など避難場所・避難所の確保」で滝野川東が、「学校や区民センターなど避難所となる区立施設の安全対策」「民間企業、警察・消防など関係機関等との連携体制の整備」で浮間が高くなっている。また、「道路の拡幅や燃えないまちづくりなど防災まちづくりの推進」「震災後の復旧・復興対策」で王子西が高くなっている。(図表9-4-4)

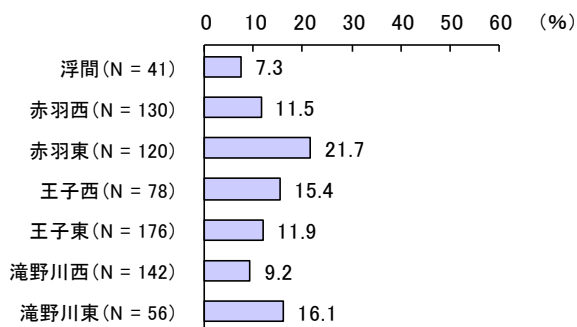
図表9-4-4 安全なまちづくりのための重点施策—居住地区別



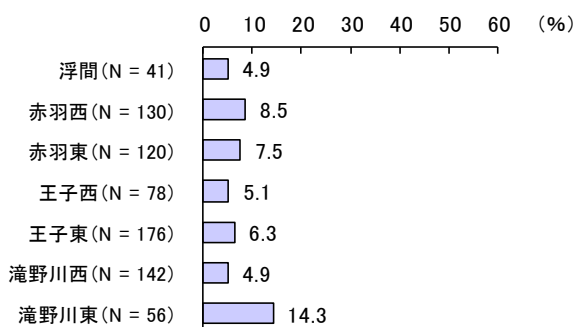
無線機器の充実など
情報の収集・伝達体制の整備



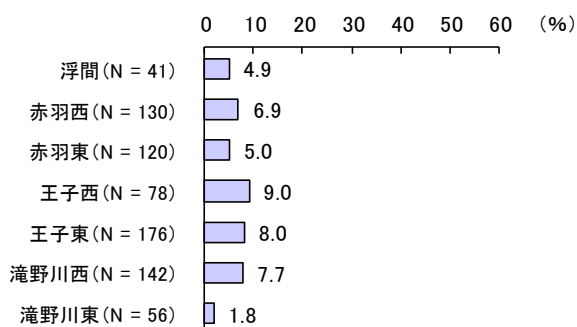
建物の耐震化や家具類の
転倒防止対策の推進



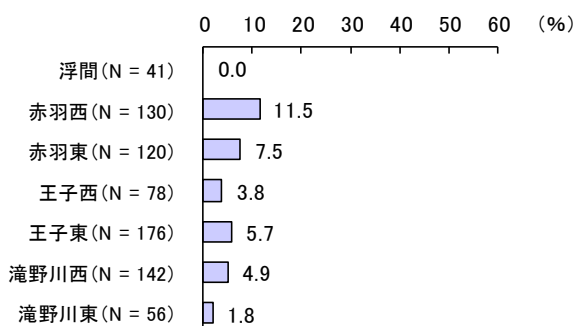
自主防災組織・地区防災会議等の育成強化



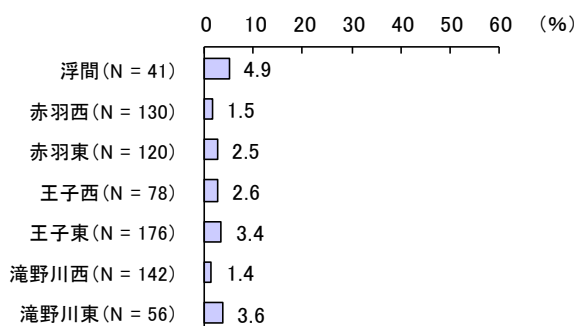
災害用深井戸や防災センターなど
防災施設・設備の整備



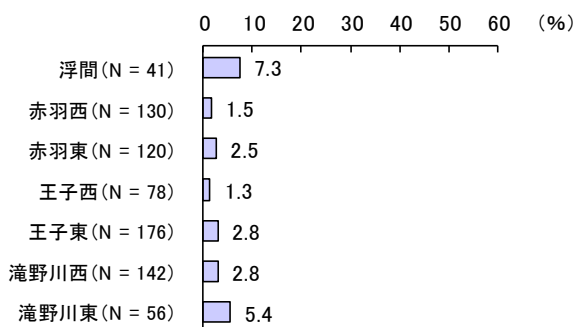
災害ボランティアの育成や活用などの対策



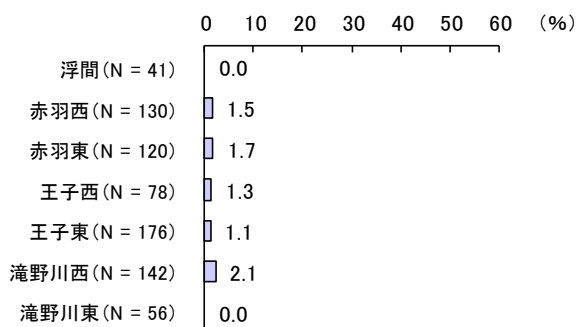
区民・事業所への啓発活動の推進



特にない



その他



(5) 災害への備え

◇災害の発生に対する備えをしている人が6割を超えている

問42 あなたは家庭の中で災害の発生に対する備えはしていますか。

家庭の中で災害の発生に対する備えはしているか聞いたところ「はい」(62.8%)が6割を超えており、「いいえ」(34.5%)が3割半ばとなっている。

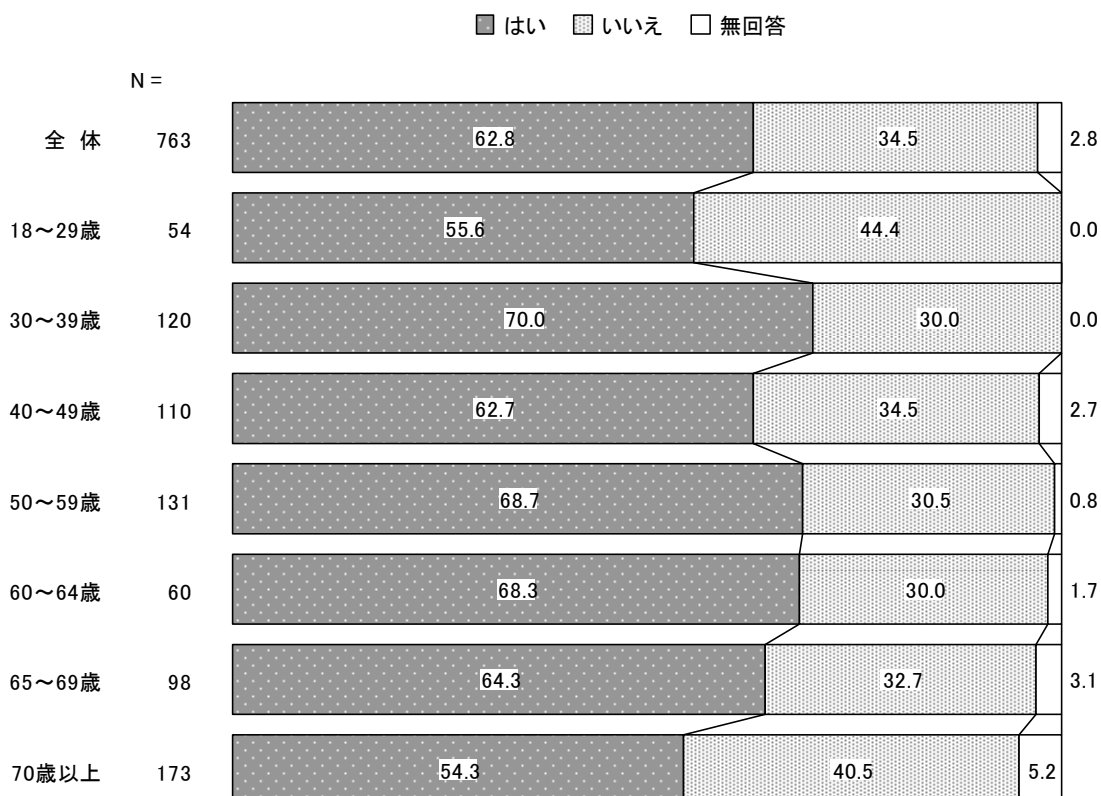
前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。(図表9-5-1)

図表9-5-1 災害への備え



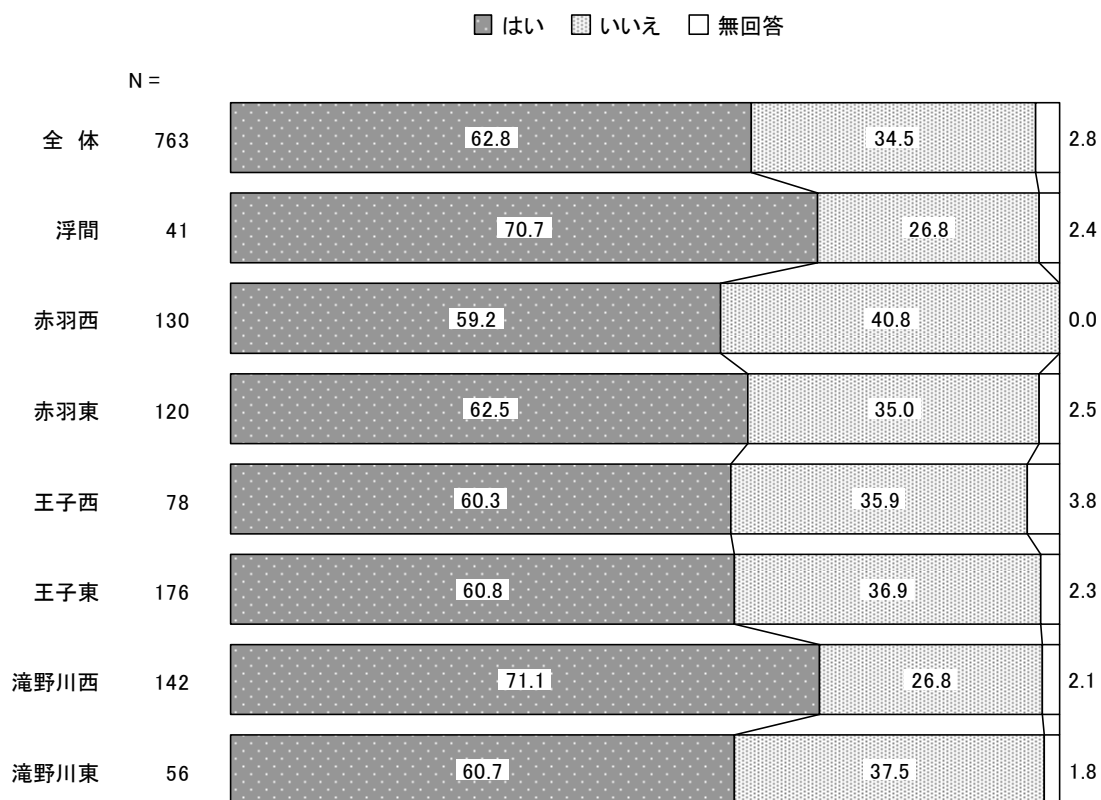
年齢別でみると、「はい」は30~39歳(70.0%)、50~59歳(68.7%)、60~64歳(68.3%)で7割近くと高くなっている。(図表9-5-2)

図表9-5-2 災害への備え一年齢別



居住地区別でみると、浮間、滝野川西で「はい」が7割を超えて高くなっている。一方、「いいえ」は赤羽西、滝野川東で約4割と高くなっている。(図表9-5-3)

図表9-5-3 災害への備え—居住地区別



(6) 災害に向け備えているもの

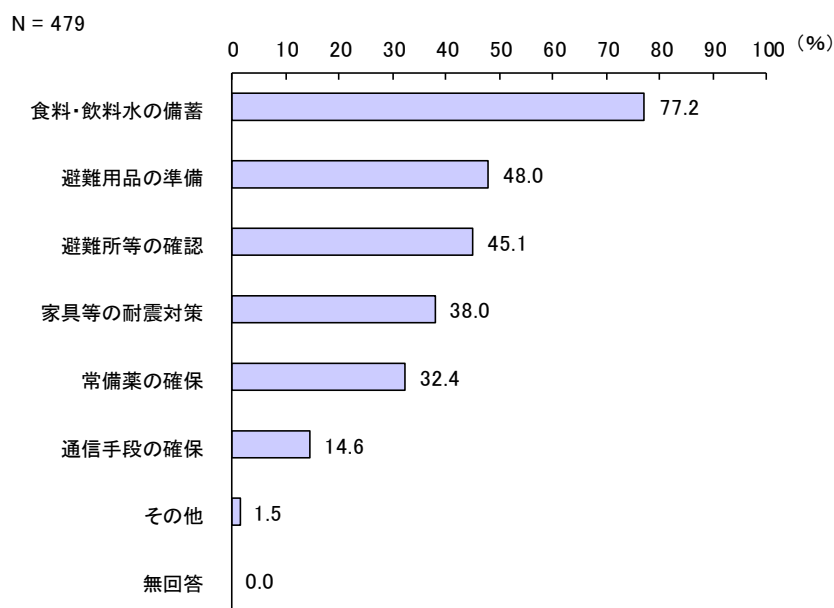
◇「食料・飲料水の備蓄」が8割近く

[問42で「はい」を選んだ方にうかがいます]

問42-1 どのような備えをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

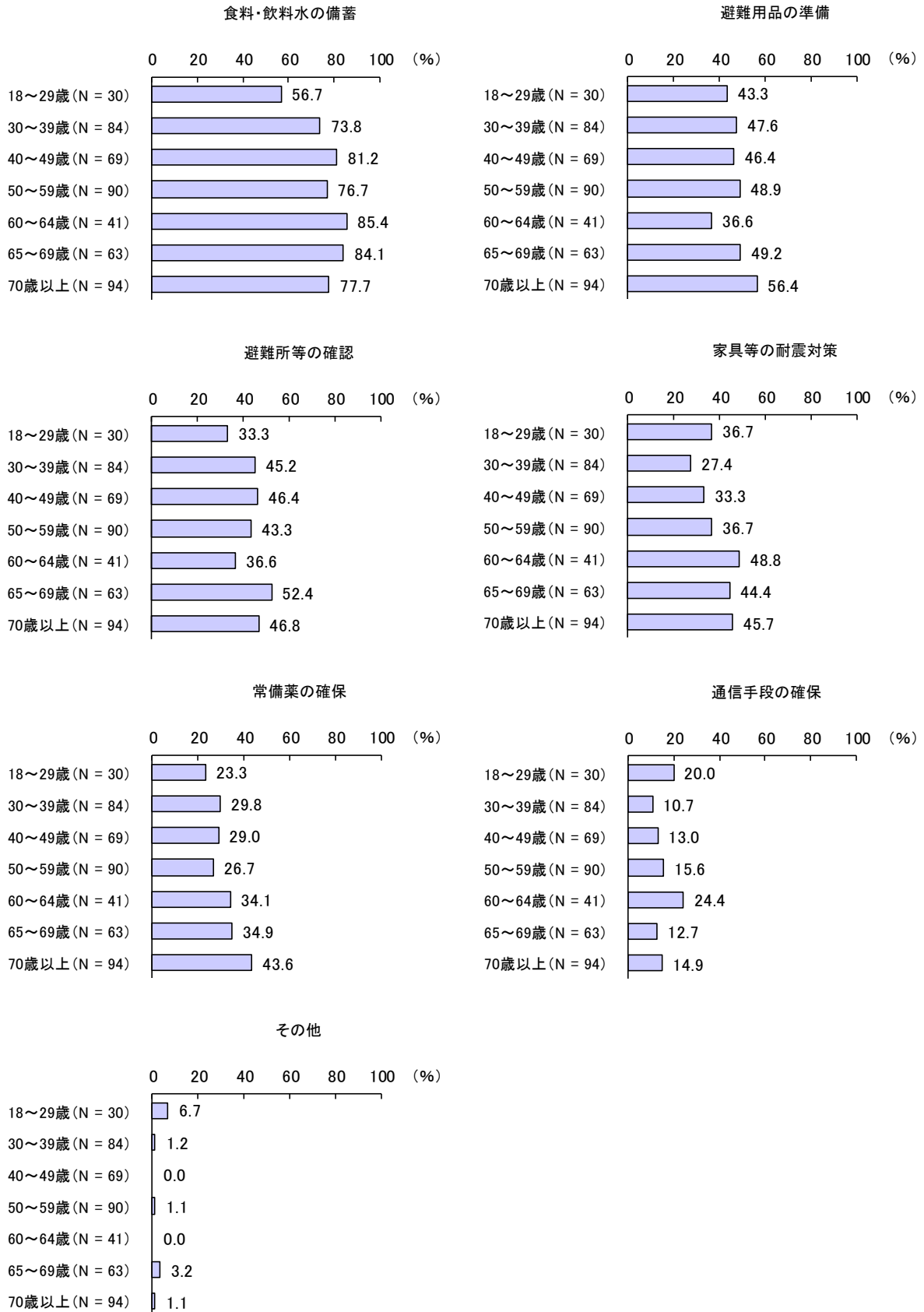
問42で「はい」と答えた人(479人)にどのような備えをしているか聞いたところ、「食料・飲料水の備蓄」(77.2%)が8割近くと突出して高くなっている。次いで「避難用品の準備」(48.0%)、「避難所等の確認」(45.1%)、「家具等の耐震対策」(38.0%)、「常備薬の確保」(32.4%)の順が続いている。(図表9-6-1)

図表9-6-1 災害に向け備えているもの



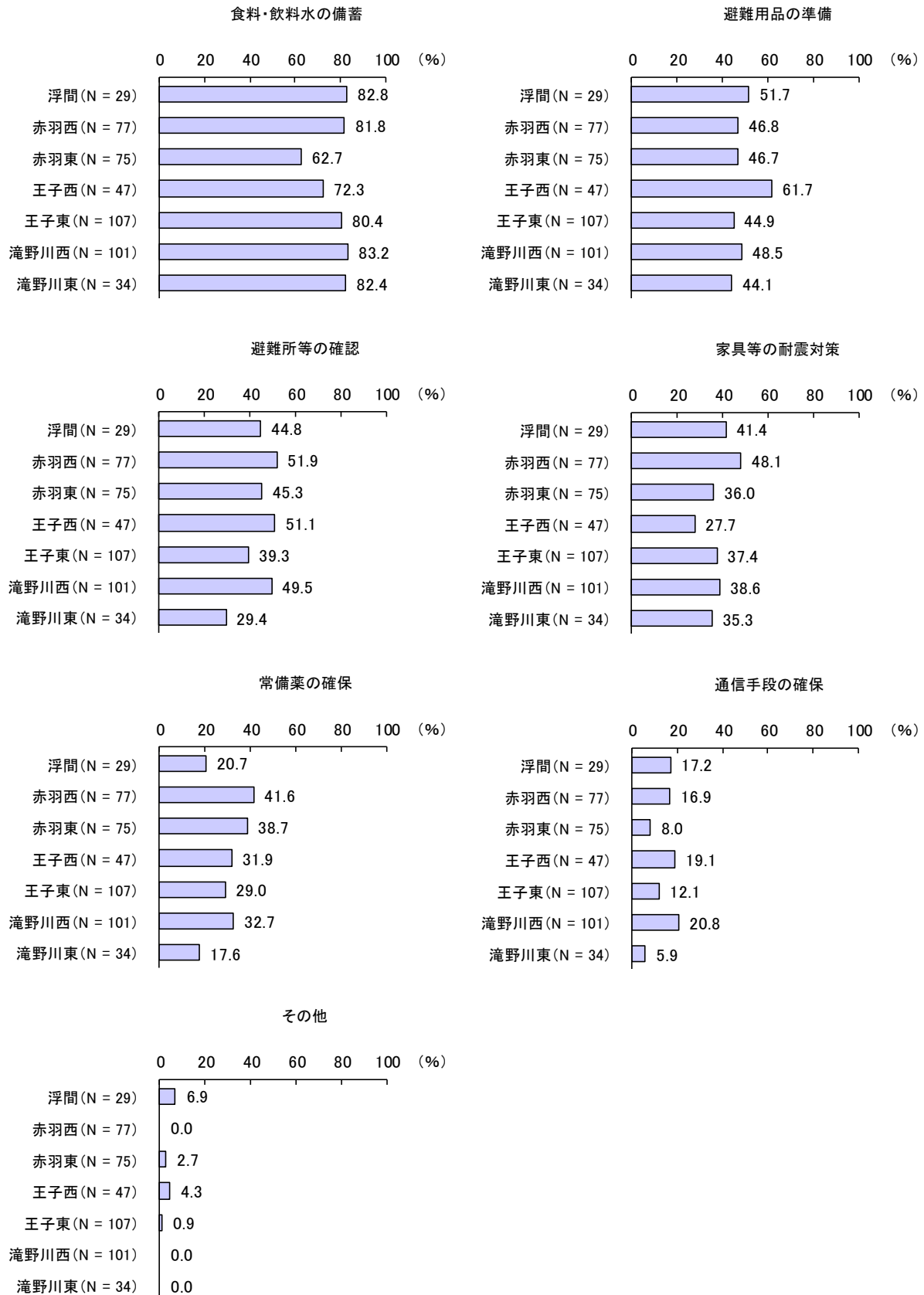
年齢別でみると、「食料・飲料水の備蓄」で40～49歳、60～69歳が、「避難用品の準備」で70歳以上が高くなっている。(図表9-6-2)

図表9-6-2 災害に向け備えているもの一年齢別



居住地区別でみると、「避難用品の準備」で王子西が、「避難所等の確認」で赤羽西、王子西、滝野川西が高くなっている。(図表9-6-3)

図表9-6-3 災害に向け備えているもの—居住地区別



10 北区の印象・将来像

(1) 区のイメージ

◇「便利で住みやすいまち」が5割半ば

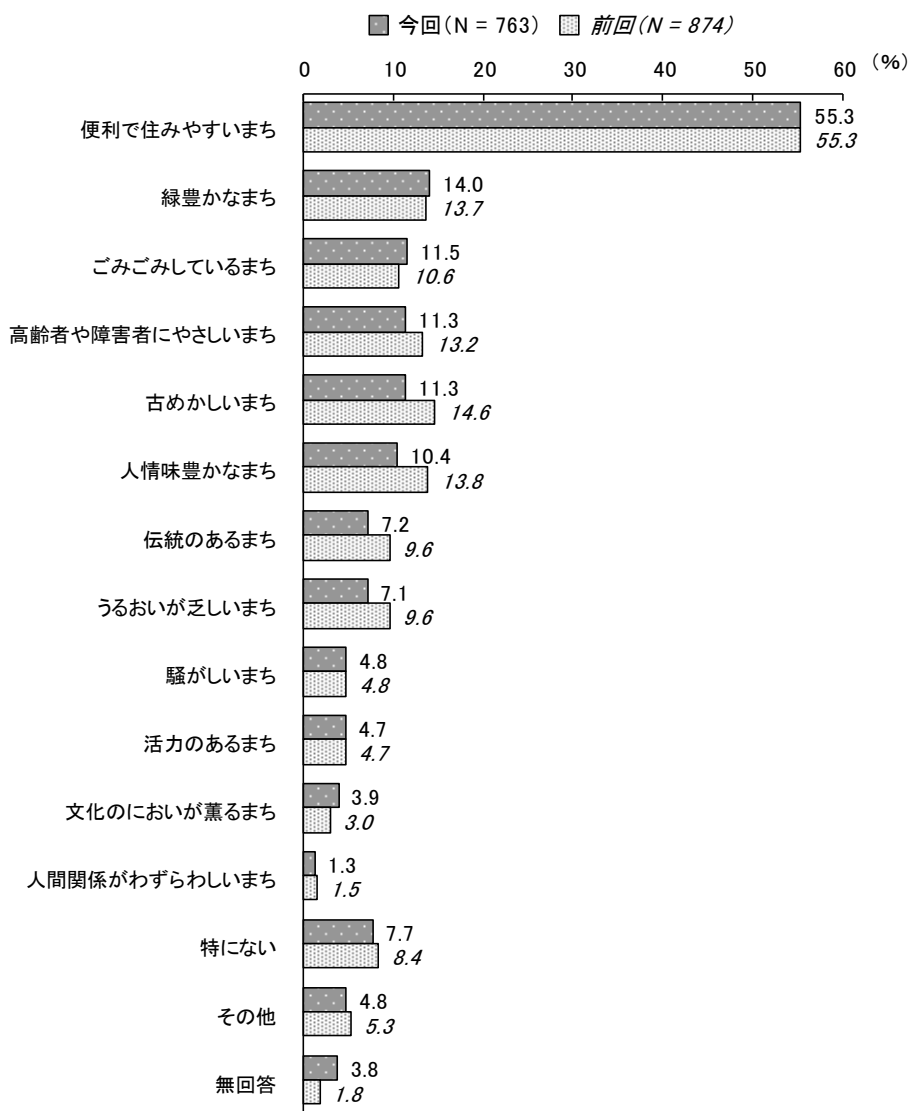
問43 あなたは、現在の北区についてどのようなイメージを持っていますか。
次の中から2つまで選んで○をつけてください。

北区についてどのようなイメージを持っているかを聞いたところ、「便利で住みやすいまち」(55.3%)が5割半ばと突出して高くなっている。次いで、「緑豊かなまち」(14.0%)、「ごみごみしているまち」(11.5%)、「高齢者や障害者にやさしいまち」(11.3%)、「古めかしいまち」(11.3%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「古めかしいまち」、「人情味豊かなまち」などが減少している。

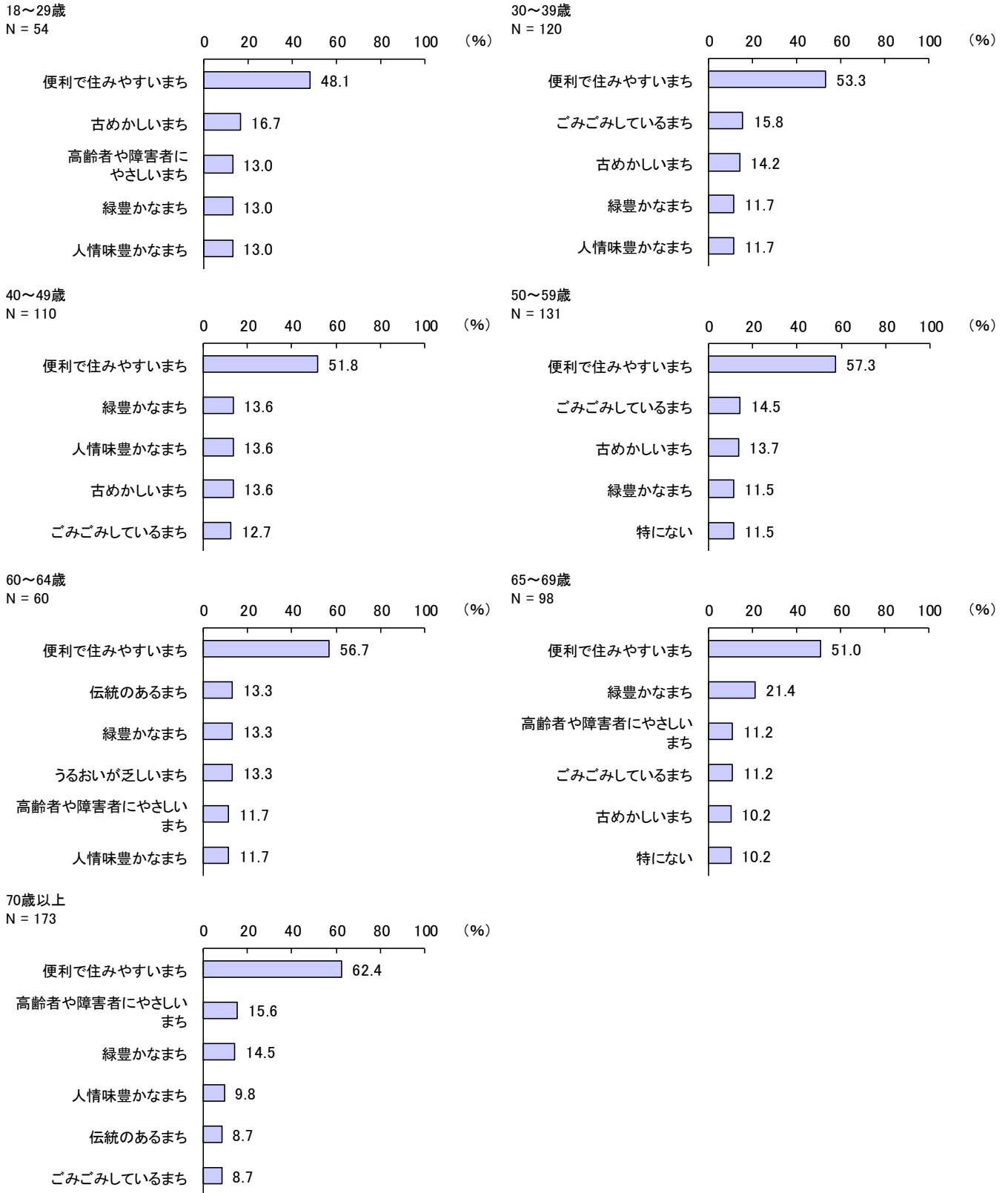
(図表 10-1-1)

図表 10-1-1 区のイメージ



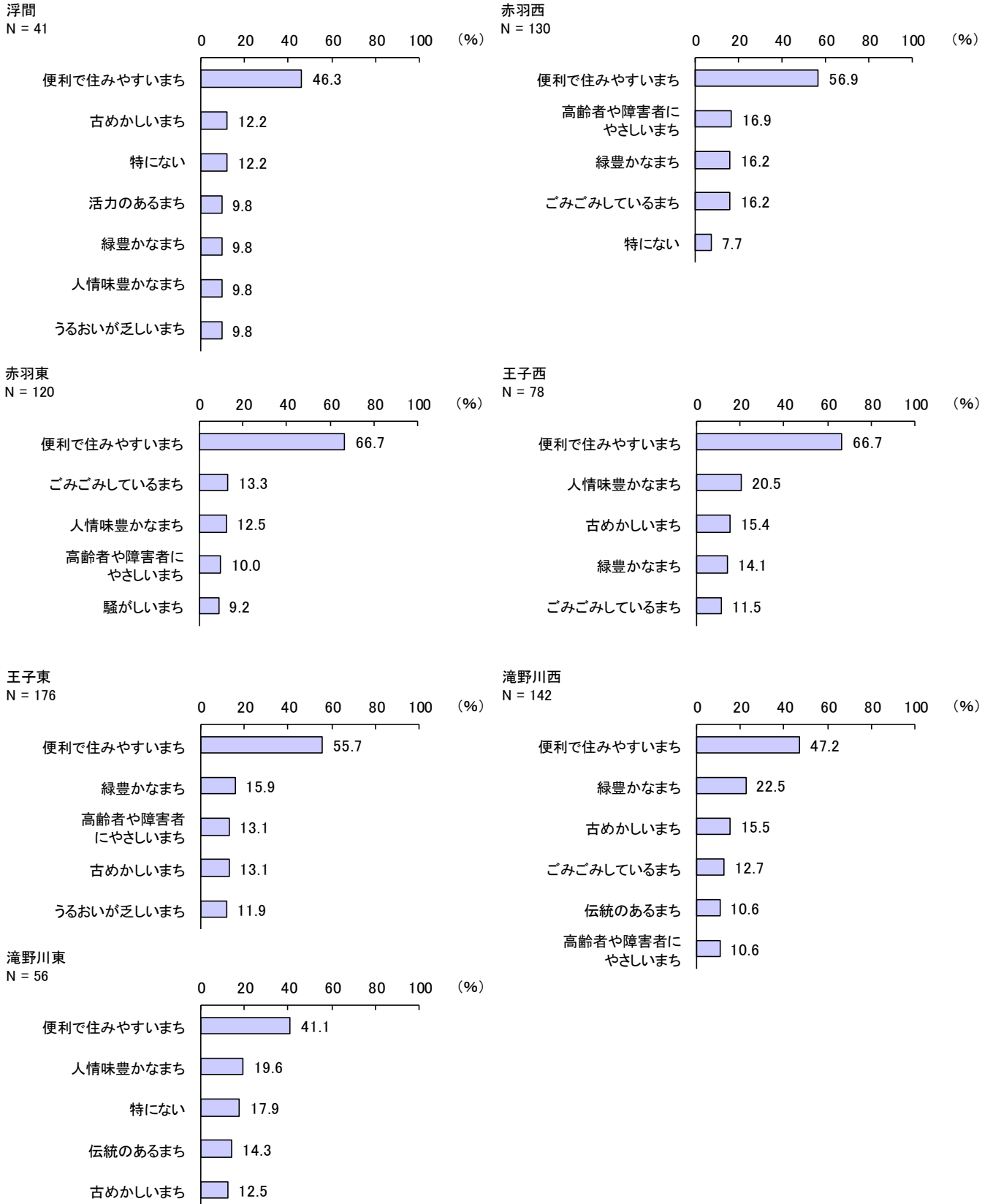
年齢別でみると、すべての年齢で「便利で住みやすいまち」が突出して高くなっている。
 (図表 10-1-2)

図表 10-1-2 区のイメージ年齢別（上位5項目）



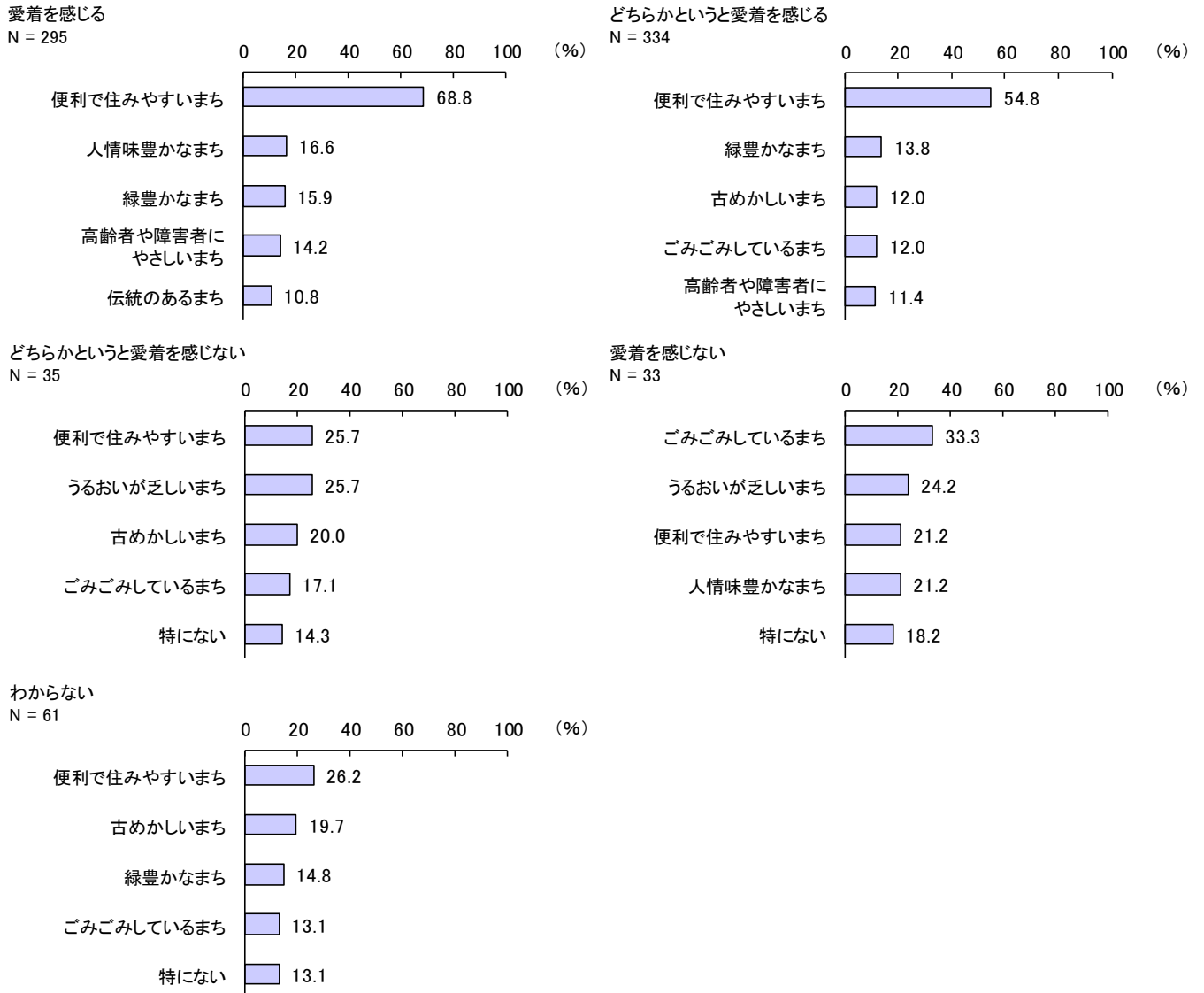
居住地区別でみると、すべての居住地区で「便利で住みやすいまち」が最も高くなっている。
 (図表 10-1-3)

図表 10-1-3 区のイメージ-居住地区別 (上位 5 項目)



区への愛着度別でみると、“愛着を感じる”、“どちらかという愛着を感じる”、“どちらかという愛着を感じない”、“わからない”で「便利で住みやすいまち」がも高くなっている。(図表 10-1-4)

図表 10-1-4 区のイメージ-区への愛着度別(上位5項目)



(2) 区の将来像

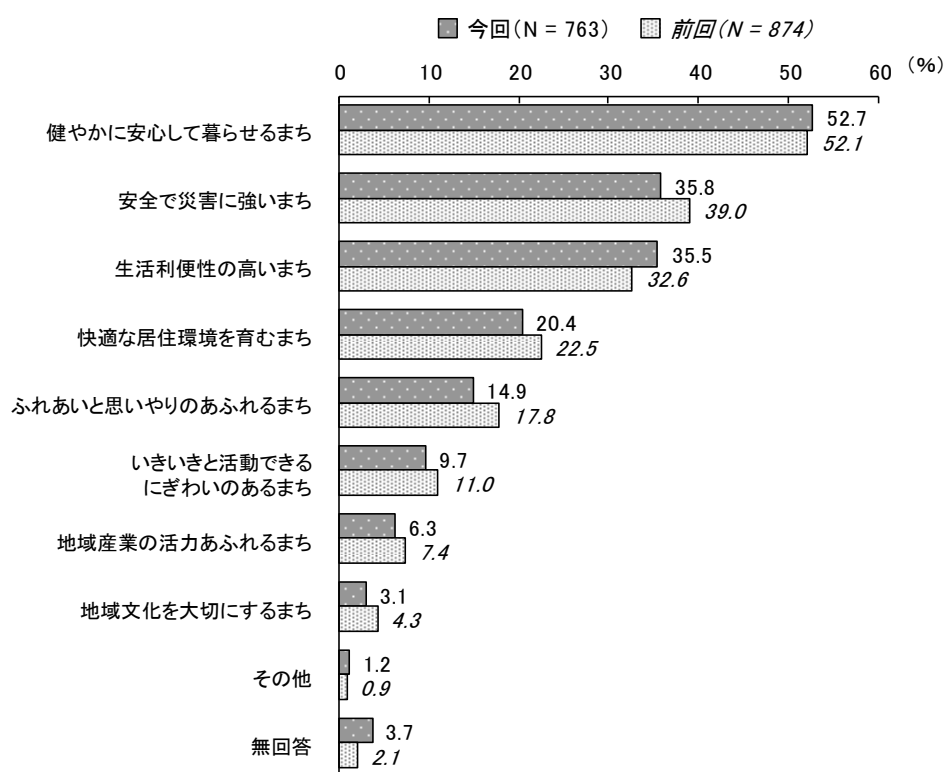
◇「健やかに安心して暮らせるまち」が5割を超えている

問44 あなたは、将来の北区はどのようなまちになれば良いと思いますか。
次の中から2つまで選んで○をつけてください。

将来の北区はどのようなまちになれば良いと思うか聞いたところ、「健やかに安心して暮らせるまち」(52.7%)が5割を超え最も高くなっている。次いで、「安全で災害に強いまち」(35.8%)、「生活利便性の高いまち」(35.5%)、「快適な居住環境を育むまち」(20.4%)、「ふれあいと思いやりのあふれるまち」(14.9%)の順で続いている。

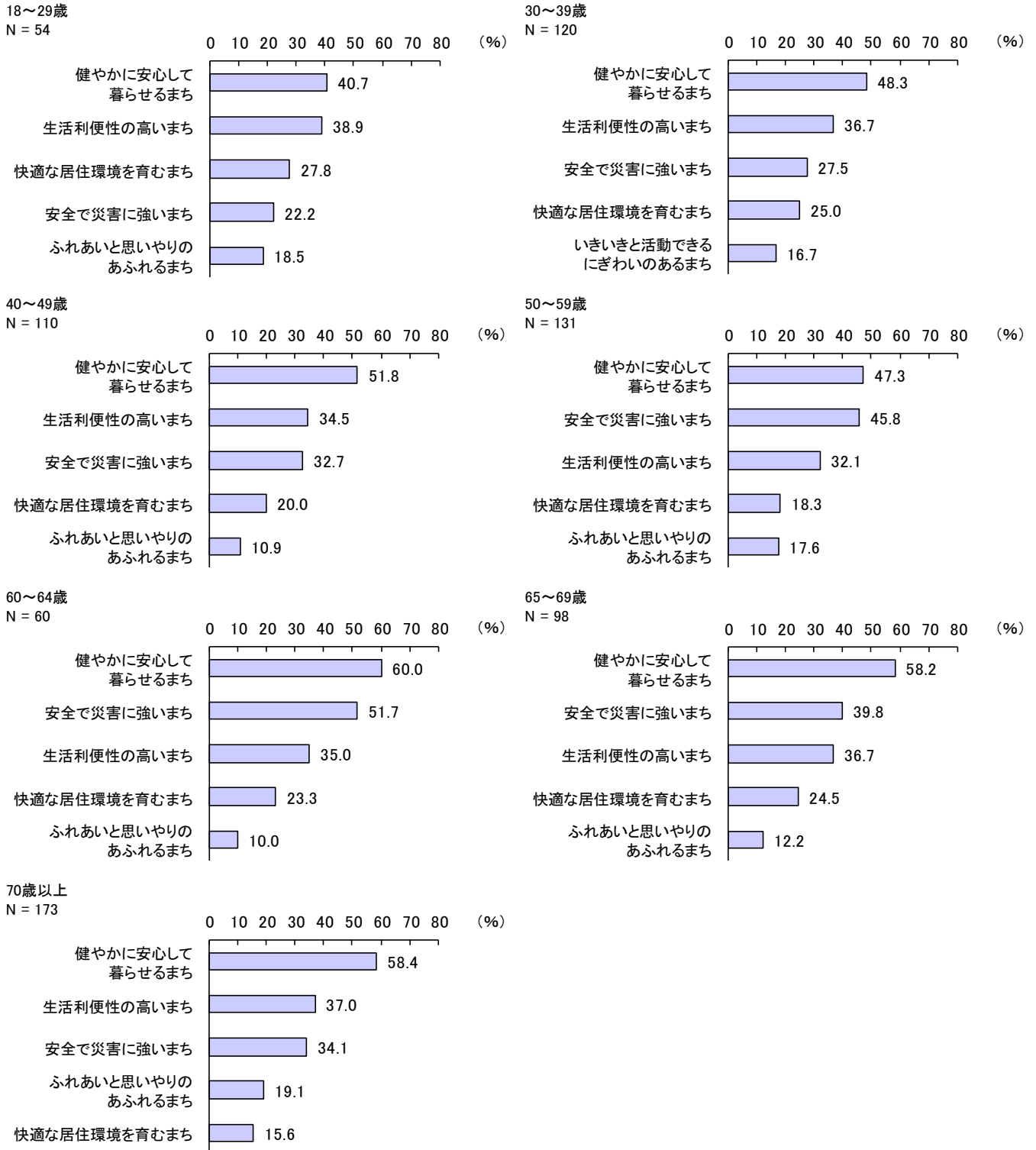
前回調査と比較すると、「安全で災害に強いまち」などが減少している。(図表10-2-1)

図表10-2-1 区の将来像



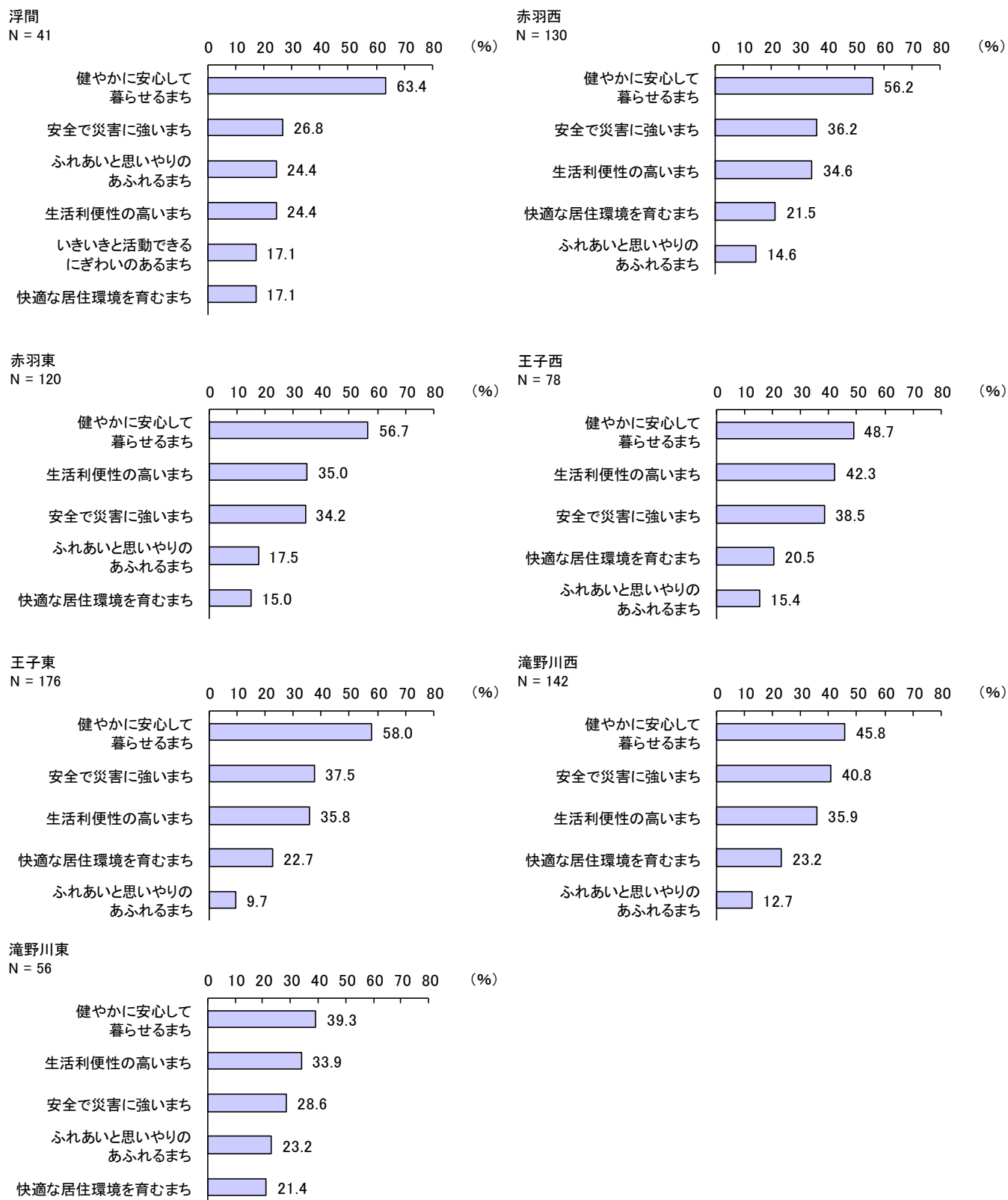
年齢別でみると、すべての年齢で「健やかに安心して暮らせるまち」が最も高くなっている。
 (図表 10-2-2)

図表 10-2-2 区の将来像—年齢別 (上位5項目)



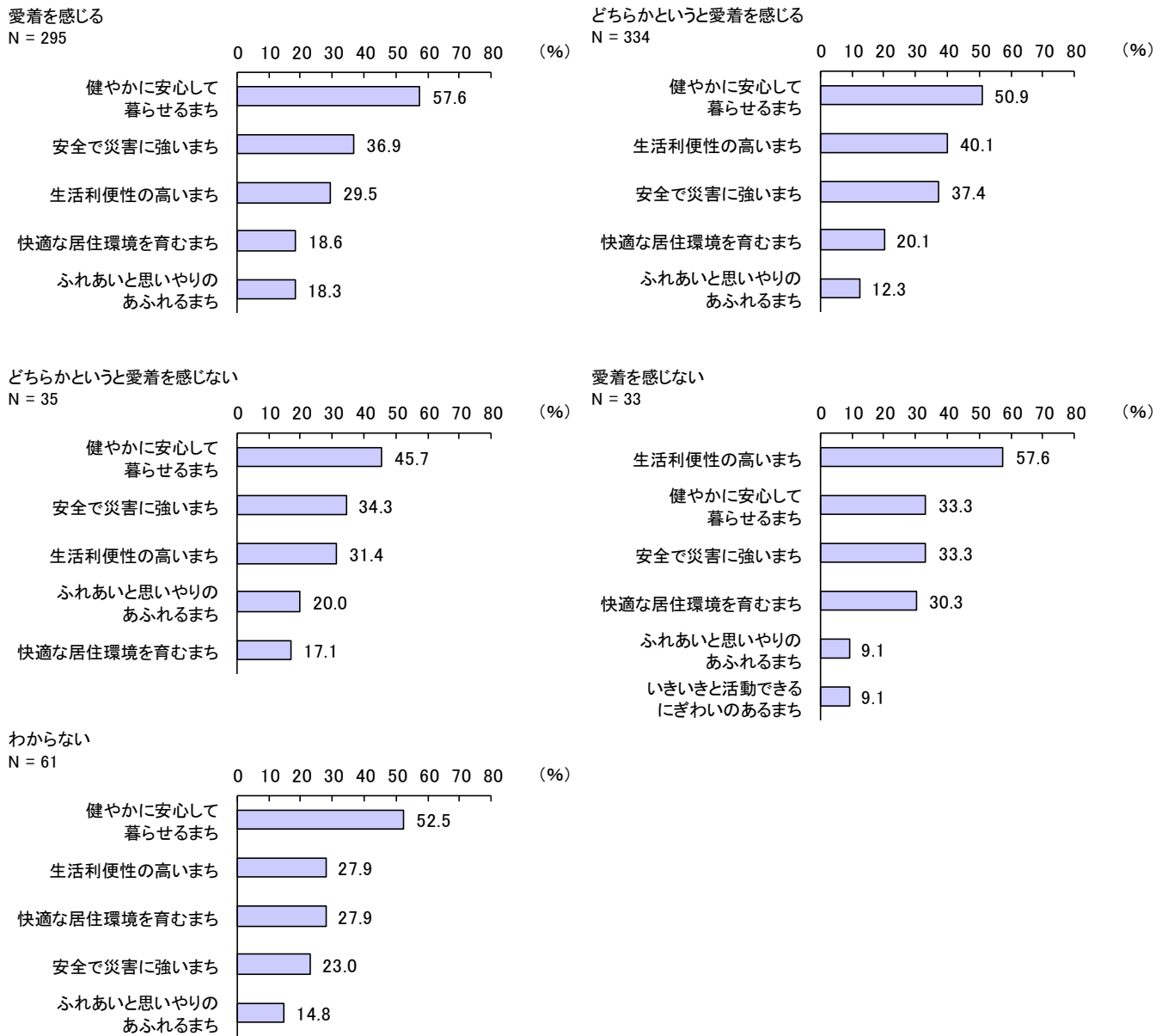
居住地区別でみると、すべての地区で「健やかに安心して暮らせるまち」が最も高くなっている。また、赤羽東、王子西、滝野川東では「生活利便性の高いまち」、それ以外の地区では「安全で災害に強いまち」がそれぞれ第2位となっている。(図表10-2-3)

図表10-2-3 区の将来像—居住地区別（上位5項目）



区への愛着度別でみると、愛着を感じるほど「健やかに安心して暮らせるまち」の割合が高くなっている。また、“愛着を感じない”で「生活利便性の高いまち」(57.6%)の割合が高くなっている。(図表 10-2-4)

図表 10-2-4 区の将来像－区への愛着度別



(3) 地域の将来像

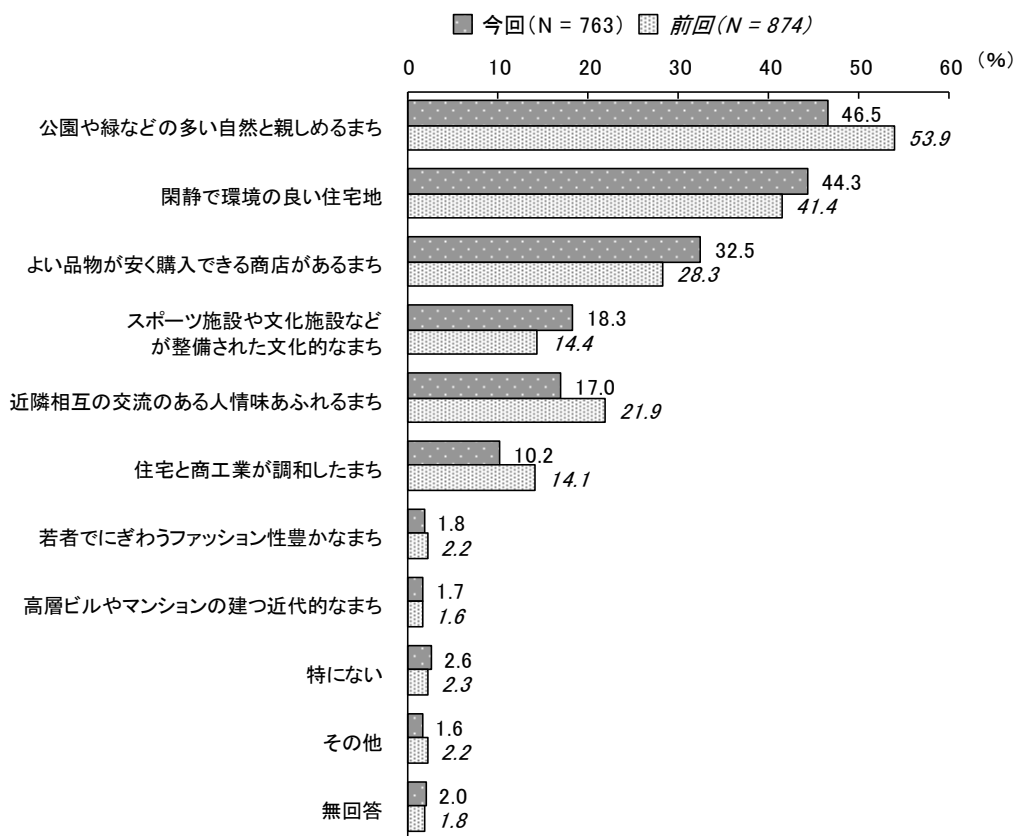
◇「公園や緑などの多い自然と親しめるまち」が4割半ば

問45 あなたがお住まいになっている地域は、将来どのようなまちに発展していくことを期待しますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

居住地域が将来どのようなまちに発展していくことを期待するか聞いたところ、「公園や緑などの多い自然と親しめるまち」(46.5%)が4割半ばと最も高くなっている。次いで、「閑静で環境の良い住宅地」(44.3%)、「よい品物が安く購入できる商店があるまち」(32.5%)、「スポーツ施設や文化施設などが整備された文化的なまち」(18.3%)、「近隣相互の交流のある人情味あふれるまち」(17.0%)の順で続いている。

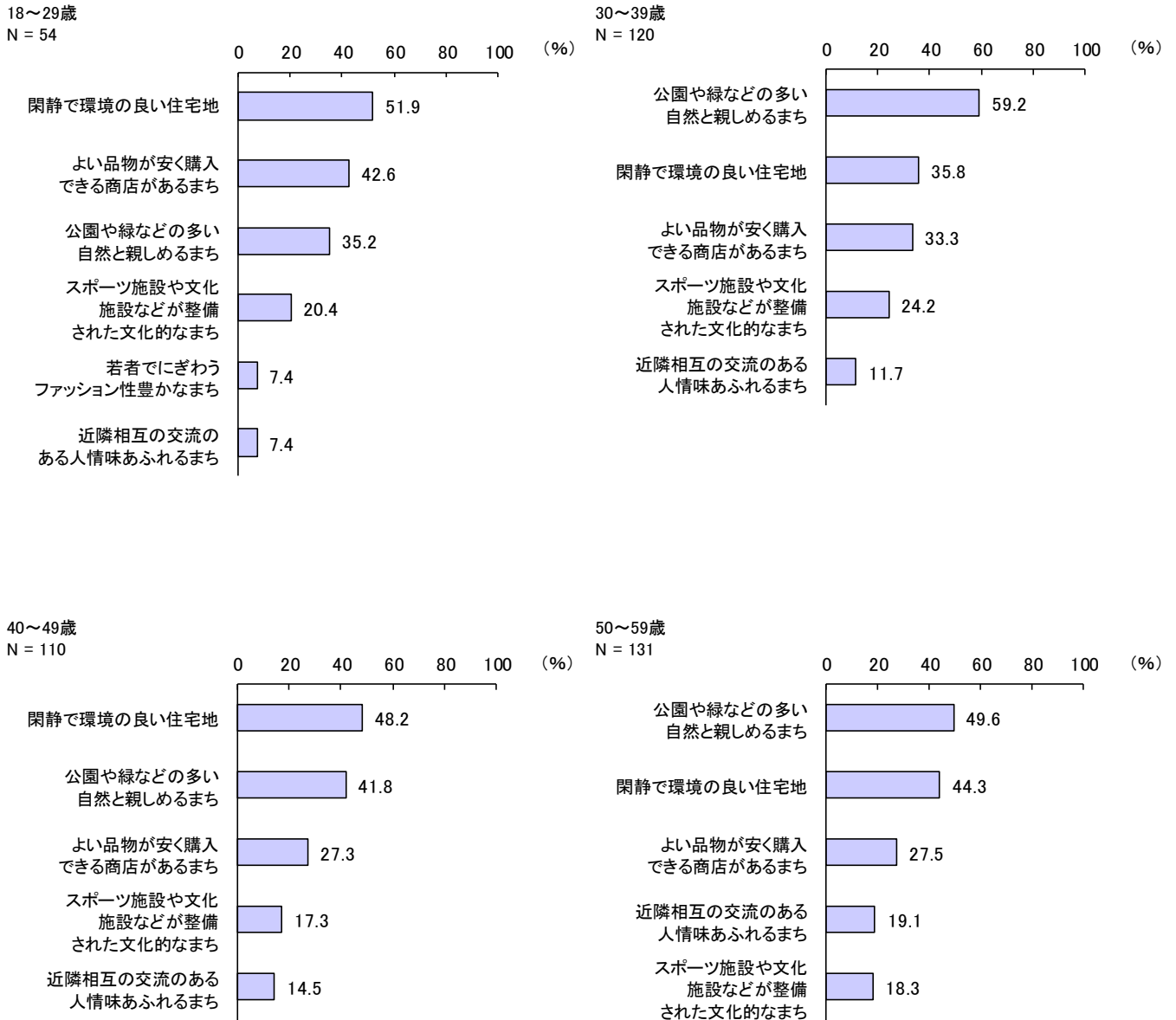
前回調査と比較すると、「よい品物が安く購入できる商店があるまち」などが増加し、「公園や緑などの多い自然と親しめるまち」、「近隣相互の交流のある人情味あふれるまち」などが減少している。(図表10-3-1)

図表10-3-1 地域の将来像

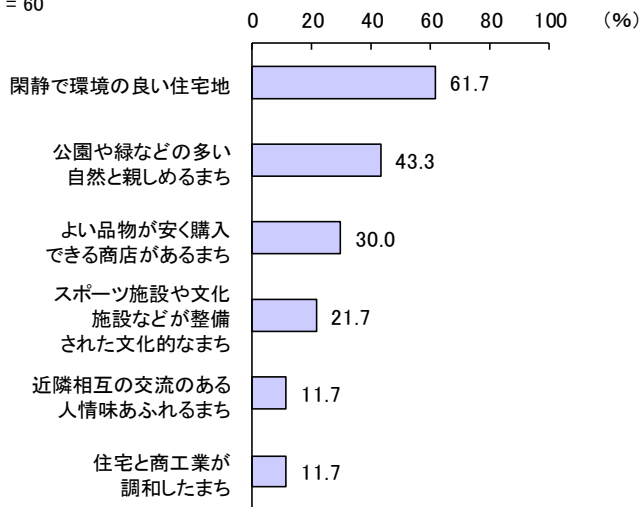


年齢別でみると、30歳以上の年齢で「閑静で環境の良い住宅地」、「公園や緑などの多い自然と親しめるまち」が上位2位を占めている。また、18～29歳では「閑静で環境の良い住宅地」が最も高くなっている。(図表10-3-2)

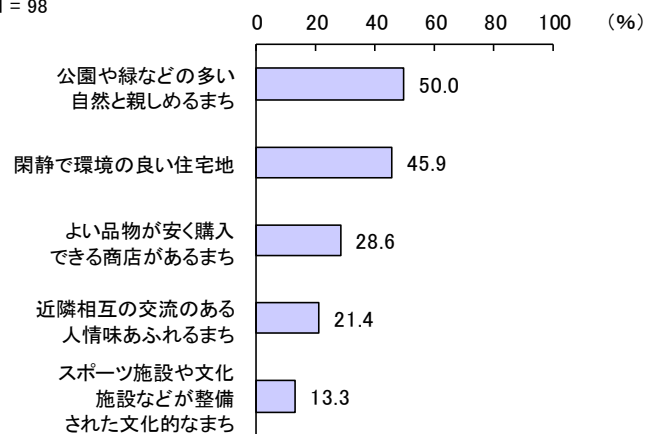
図表10-3-2 地域の将来像一年齢別(上位5項目)



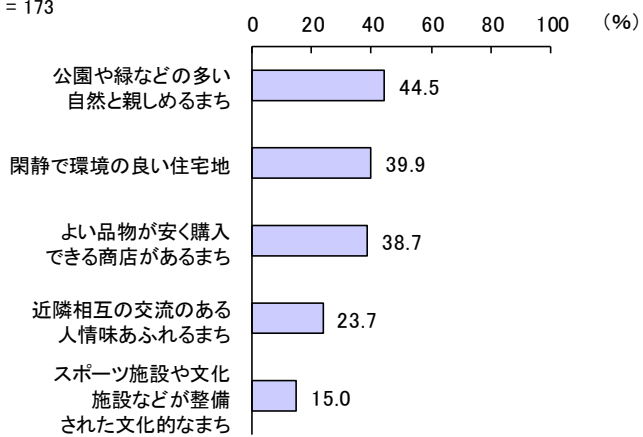
60～64歳
N = 60



65～69歳
N = 98

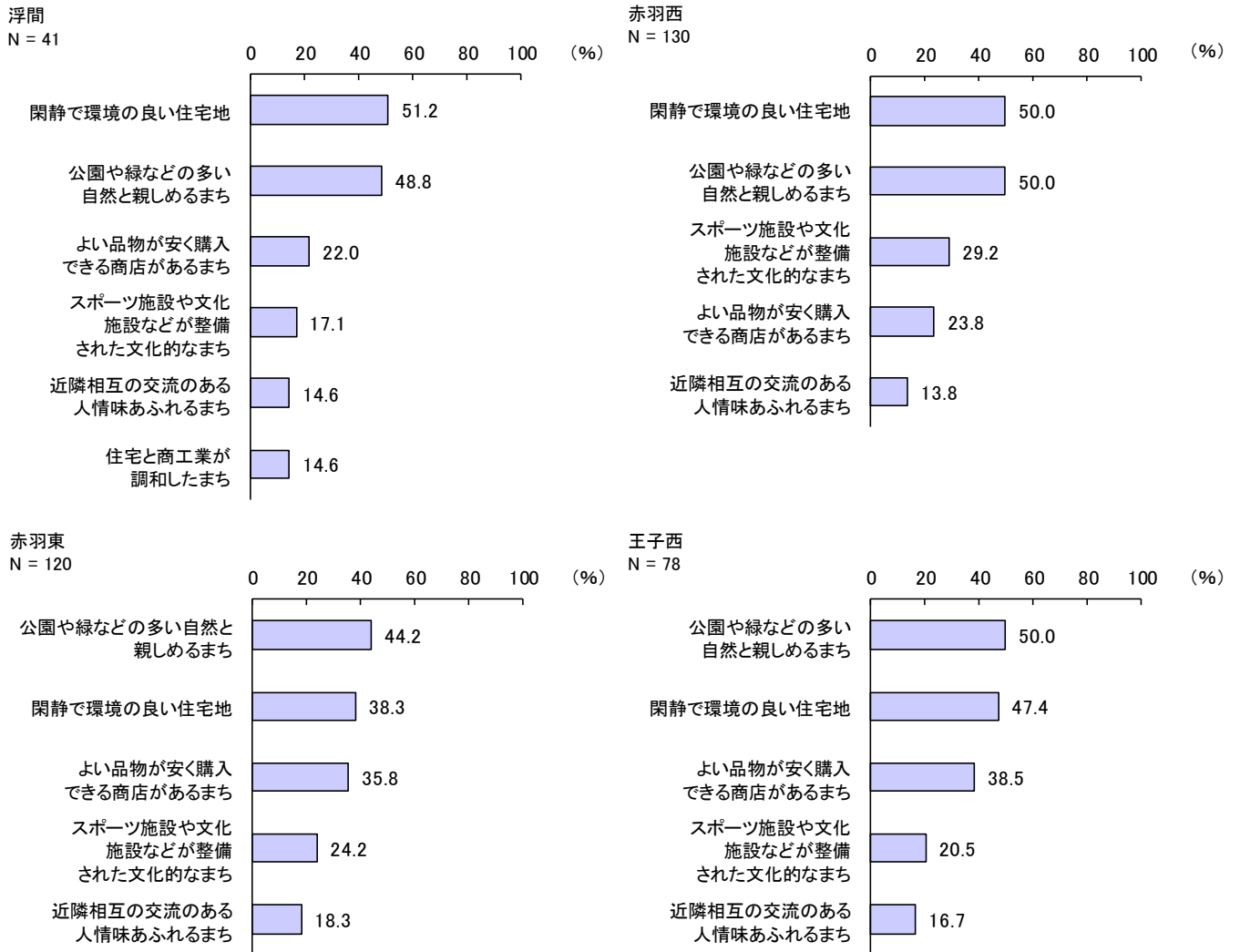


70歳以上
N = 173

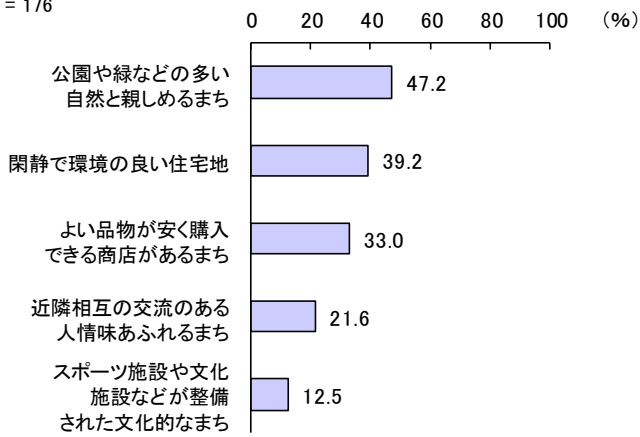


居住地区別でみると、滝野川東を除くすべての地区で「閑静で環境の良い住宅地」、「公園や緑などの多い自然と親しめるまち」が上位2位を占めている。また、滝野川東では、「よい品物が安く購入できる商店があるまち」、「公園や緑などの多い自然と親しめるまち」が同率で最も高くなっている。(図表 10-3-3)

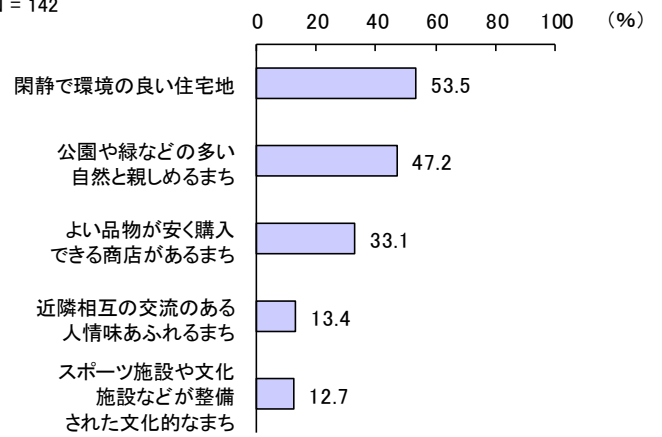
図表 10-3-3 地域の将来像—居住地区別（上位5項目）



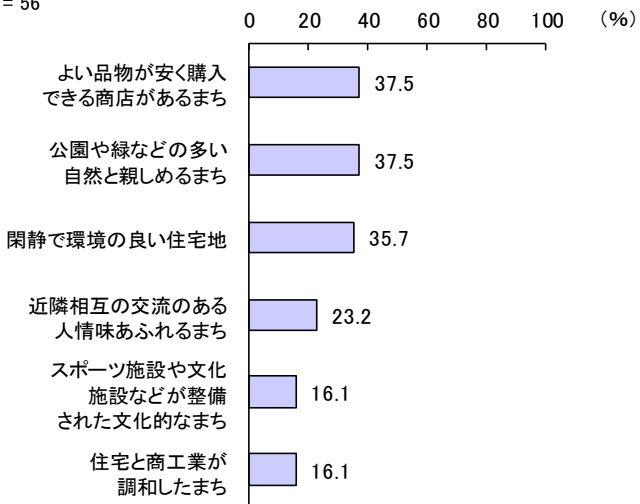
王子東
N = 176



滝野川西
N = 142

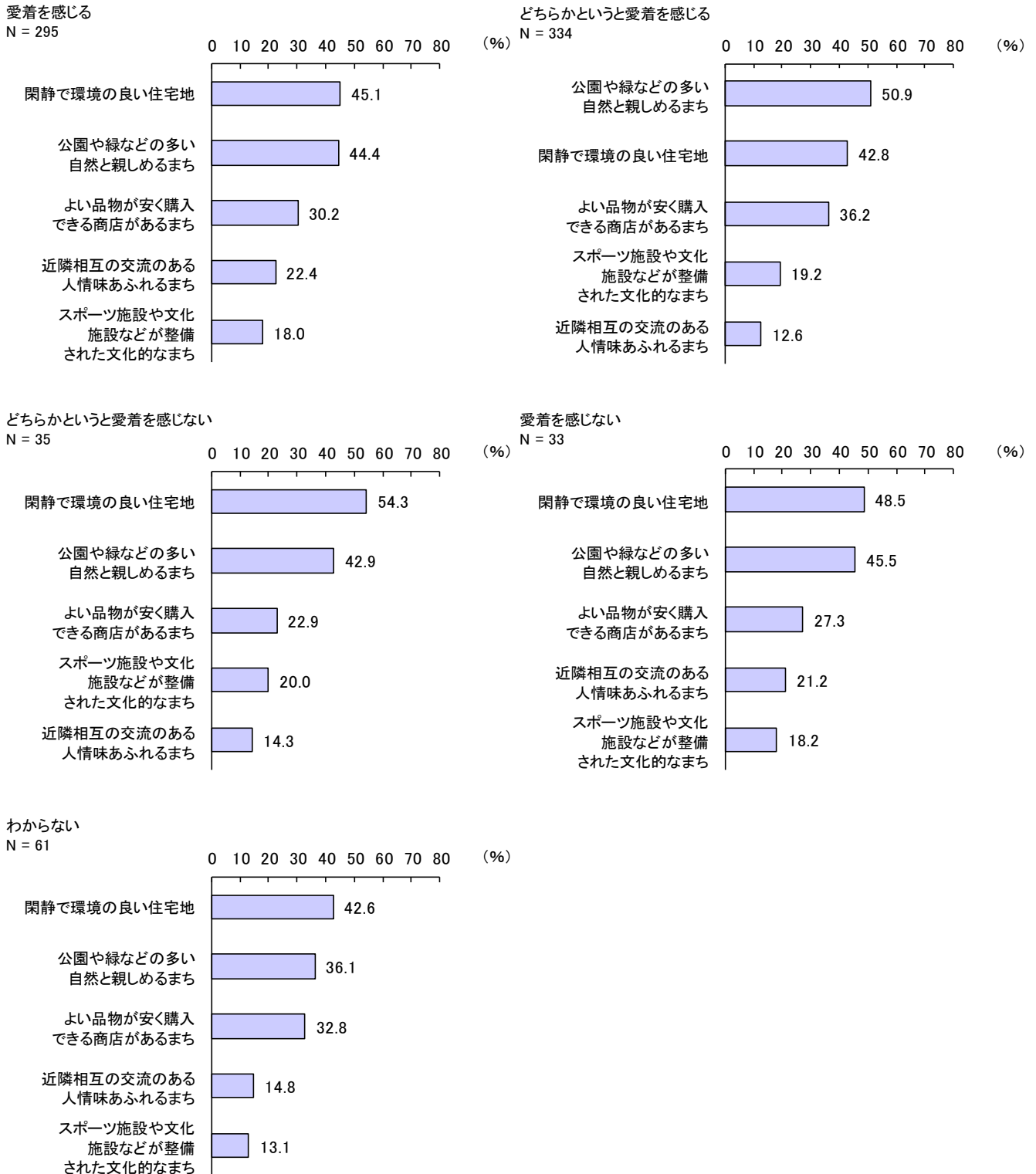


滝野川東
N = 56



区への愛着度別でみると、『愛着派』に比べ『非愛着派』で「閑静で環境の良い住宅地」の割合が高くなっている。(図表 10-3-4)

図表 10-3-4 地域の将来像—愛着度別（上位5項目）



(4) 区のイメージアップ施策

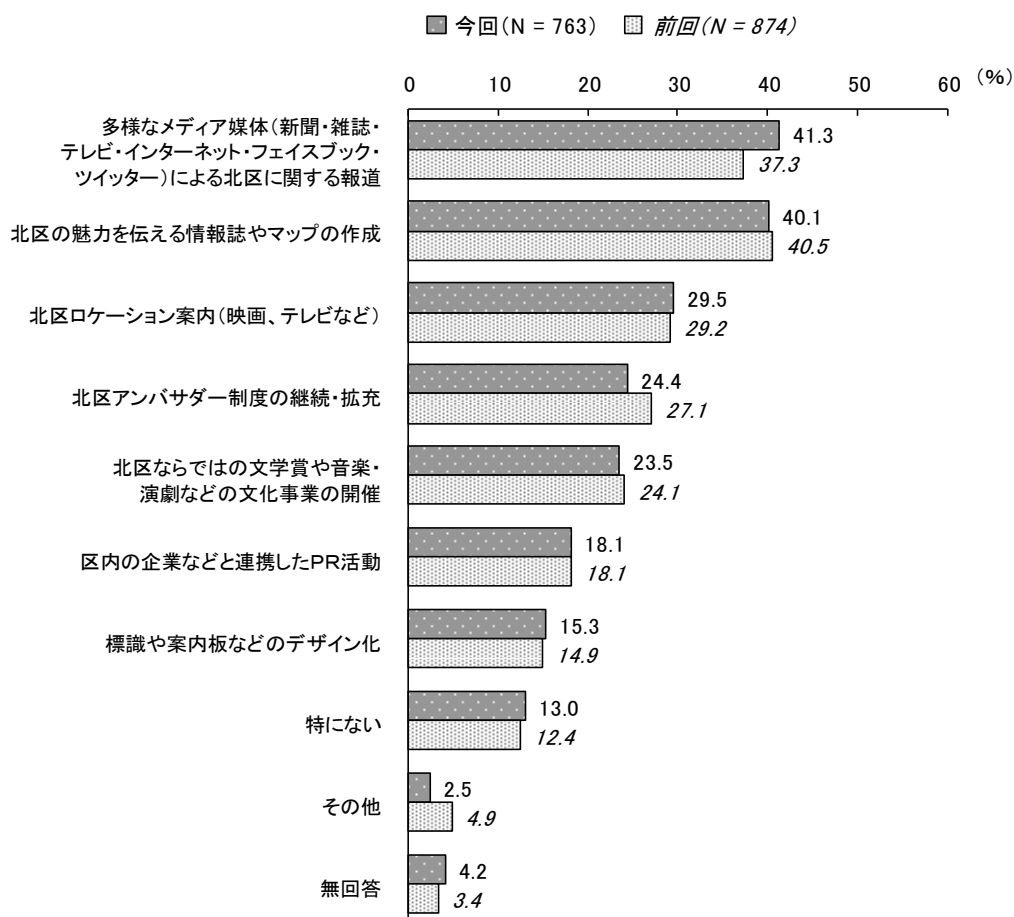
◇「多様なメディア媒体（新聞・雑誌・テレビ・インターネット・フェイスブック・ツイッター）による北区に関する報道」が4割を超え、前回調査より増加している

問46 北区の知名度や地域イメージを向上させるために、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

北区の知名度や地域イメージを向上させるために、どのような取組みが効果的だと思うか聞いたところ、「多様なメディア媒体（新聞・雑誌・テレビ・インターネット・フェイスブック・ツイッター）による北区に関する報道」（41.3%）が4割を超えて最も高くなっている。次いで、「北区の魅力伝える情報誌やマップの作成」（40.1%）、「北区ロケーション案内（映画、テレビなど）」（29.5%）、「北区アンバサダー制度の継続・拡充」（24.4%）、「北区ならではの文学賞や音楽・演劇などの文化事業の開催」（23.5%）の順で続いている。

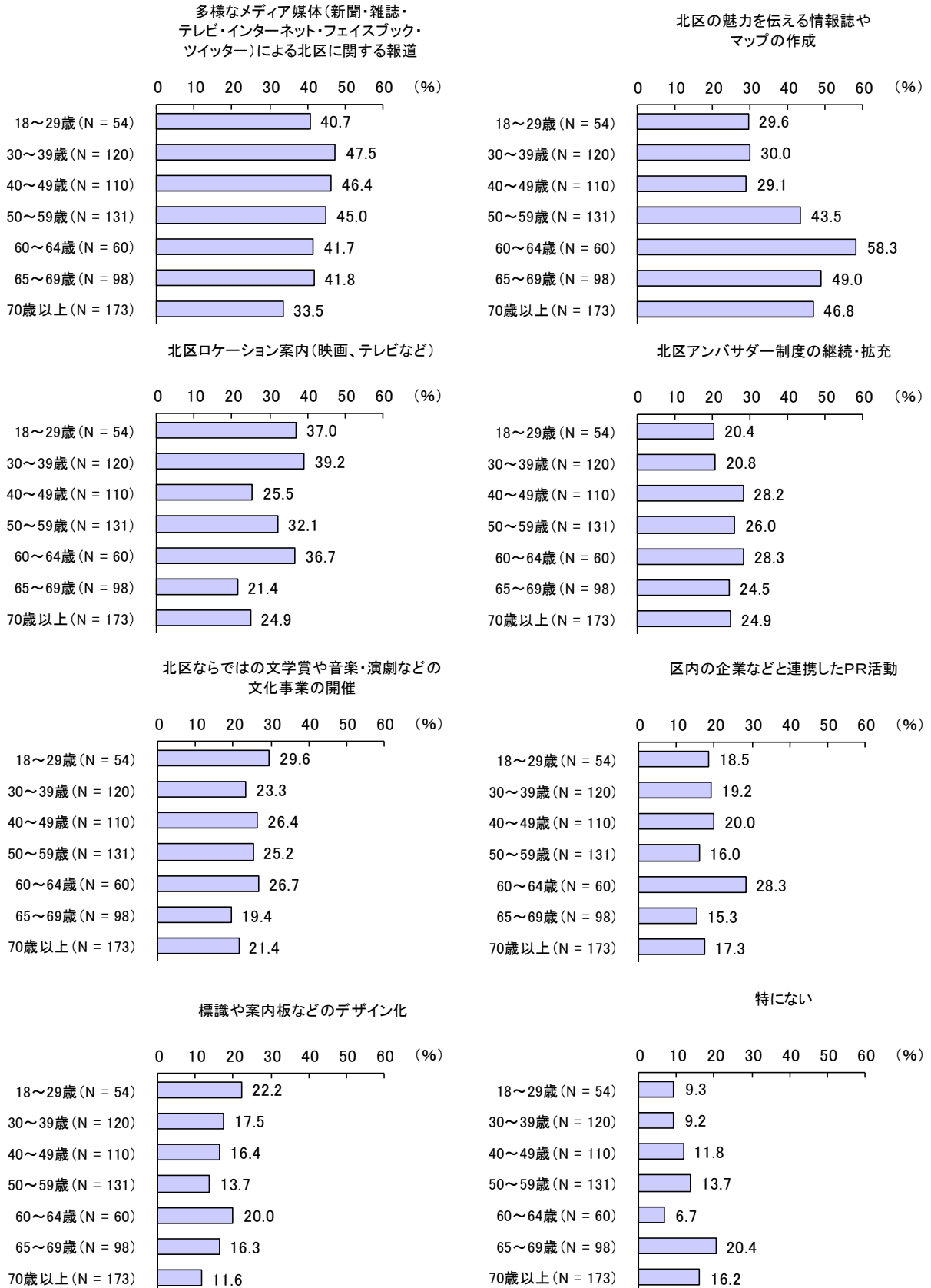
前回調査と比較すると、「多様なメディア媒体（新聞・雑誌・テレビ・インターネット・フェイスブック・ツイッター）による北区に関する報道」が増加している。（図表10-4-1）

図表10-4-1 区のイメージアップ施策



年齢別でみると、「北区の魅力伝える情報誌やマップの作成」「区内の企業などと連携したPR活動」で60～64歳が、「北区ロケーション案内（映画、テレビなど）」で18～39歳、60～64歳が高くなっている。（図表10-4-2）

図表10-4-2 区のイメージアップ施策一年齢別



(5) 北区のブランドメッセージ

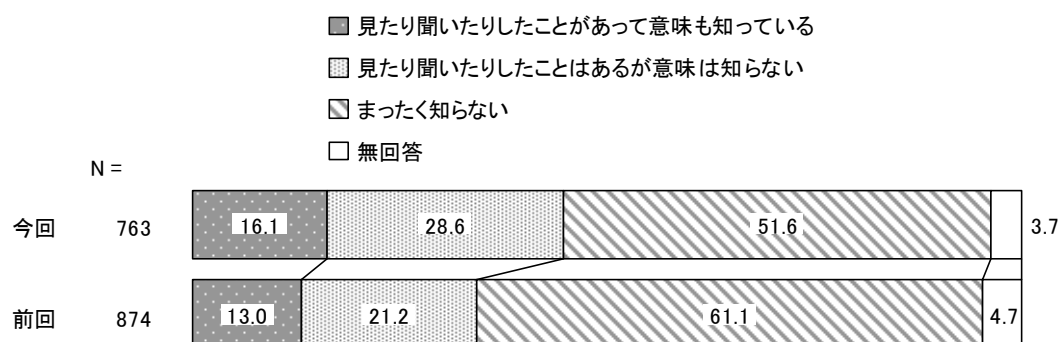
◇『知っている』が4割半ば

問47 北区のブランドメッセージ「住めば、北区東京。」について、次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

北区のブランドメッセージ「住めば、北区東京。」について、「見たり聞いたりしたことがあって意味も知っている」(16.1%)、「見たり聞いたりしたことはあるが意味は知らない」(28.6%)をあわせた『知っている』(44.7%)が4割半ばとなっている。

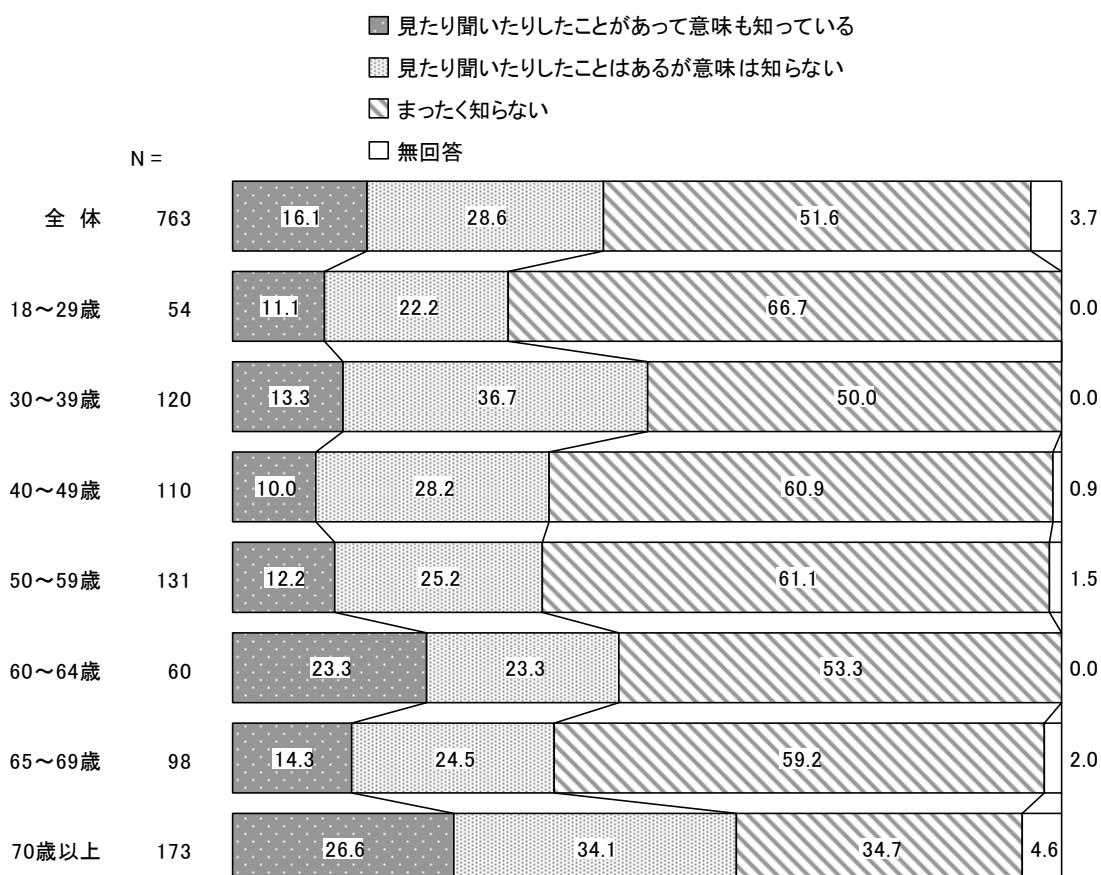
前回調査と比較すると、『知っている』が増加している。(図表10-5-1)

図表10-5-1 北区のブランドメッセージ



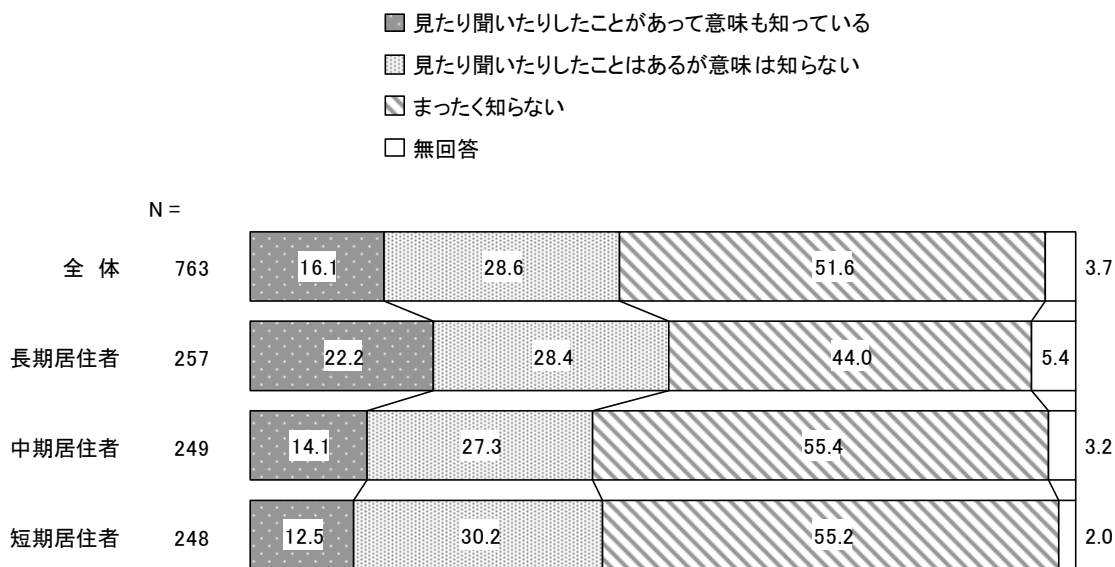
年齢別でみると、「見たり聞いたりしたことがあって意味も知っている」は60～64歳(23.3%)、70歳以上(26.6%)で2割を超えて高くなっている。一方、18～29歳で「まったく知らない」(66.7%)が6割半ばと高くなっている。(図表10-5-2)

図表10-5-2 北区のブランドメッセージの認知度一年齢別



居住年数別でみると、居住年数が『長期』の人ほど「見たり聞いたりしたことがあって意味も知っている」の割合が高い傾向を示している。(図表 10-5-3)

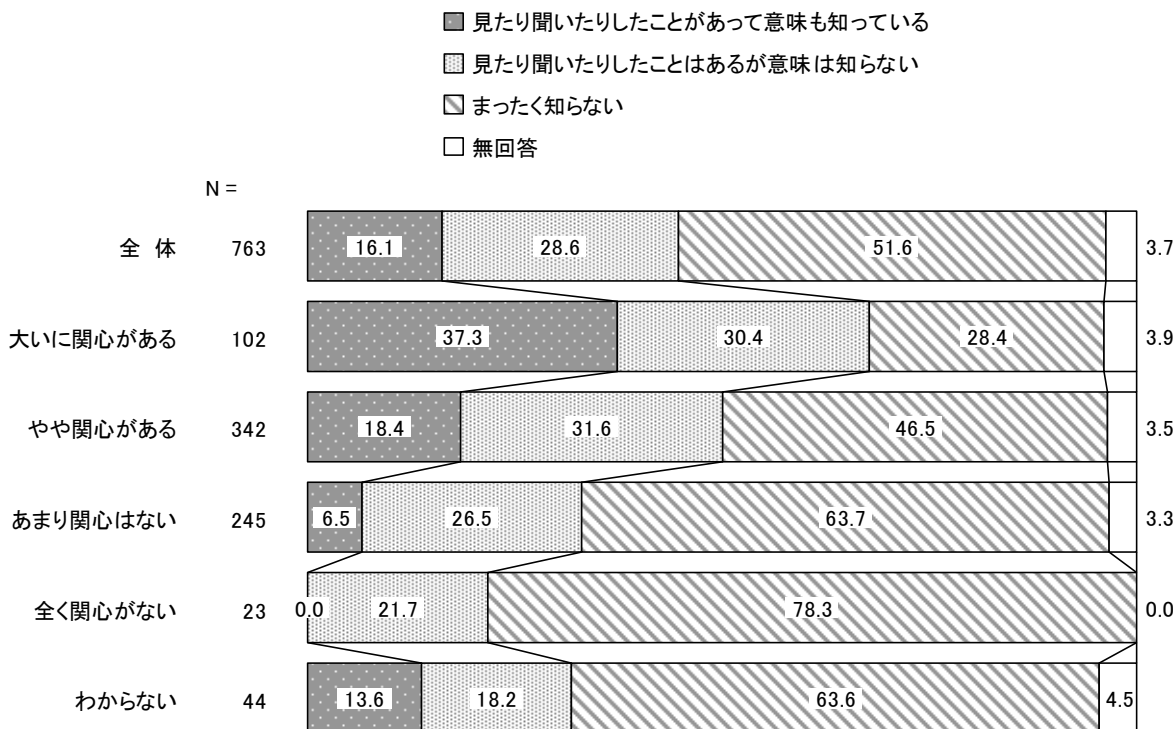
図表 10-5-3 北区のブランドメッセージの認知度－居住年数別



※長期居住者は昭和 50 年以前から居住している人、中期居住者は昭和 51 年～平成 17 年から居住している人、短期居住者は平成 18 年以降から居住している人のことです。

区政への関心度別でみると、関心が高いほど「見たり聞いたりしたことがあって意味も知っている」の割合が高くなる傾向を示しており、“大いに関心がある”(37.3%)で4割近くとなっている。(図表 10-5-4)

図表 10-5-4 北区のブランドメッセージの認知度－区政への関心度別



11 自由回答

区政に対するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

区政に対するご意見・ご要望を自由に記述していただいたところ、193 人（全体の 28.6%）から延べ 235 件の回答が寄せられた。以下の分類項目で該当する意見の件数を整理したところ、「生活環境（22 件）」、「行政改革・議会改革（22 件）」、「施設整備（20 件）」、「道路・駐車・駐輪場（15 件）」に関する意見が多く寄せられた。

なお、次ページ以降の【自由回答の記述】は、主な意見を原文のまま抜粋して掲載している。各自由回答の記述の後の【 】内の数字は、類似の意見の件数である。

分類回答	件数
1 保健・医療	5
2 高齢者・障害者福祉	14
3 子育て・児童・青少年	13
4 産業振興	12
5 区民参加・地域コミュニティ	2
6 文化・生涯学習	2
7 教育	2
8 まちづくりの方向	4
9 土地利用	1
10 市街地整備	6
11 防犯・防災	8
12 区政情報	7
13 道路・駐車・駐輪場	17
14 住宅	3
15 交通環境	13
16 生活環境	23
17 公園・緑化	7
18 施設整備	20
19 施設利用	5
20 イメージアップ対策	9
21 行政改革・議会改革	21
22 職員の対応	2
23 アンケートについて	14
24 その他	18
回答者数	228

※意見が複数の項目にあてはまる場合、それぞれの分類項目に振り分けて件数をカウントしています。そのため回答者数が 193 件を超えています。

【自由回答の記述】

保健・医療

- ・ 病院の支払いは高額医療費申請にあるので窓口で限度額払えばいいのですが薬局の方が別になっているのでその分が毎月区の方へ払い戻し請求しなければならず領収書のコピー等 1 人で続けられるか心配です。自動的に口座に振り込まれたらありがたいと思います。
- ・ 国の社会保障政策（国保、介護、年金、医療など）が厳しくなり自己負担が年々増えている中、自治体も大変でしょうが、公的援助を望みます。
- ・ 税務署や職安へのアクセスが悪い（年金事務所も）。同じ敷地にあるのが理想だが、無理であれば地域バスが通るようにする等、対策が必要と考えます。北区には大きな病院がない。安心して生活するには、あっても良いのでは。赤羽に社会保険 HP があるが、王子あたりにほしいものです。
- ・ 検診（がん検診等）の種類を増やして欲しい。
- ・ 北区には何故救急搬送で都立大塚に行く？まずはそこからでは？北区の救急対策がされていない及び対応が出来てない。税をかけるならそのような医療機関では？年寄りの多い街作りに期待はしてない。

高齢者・障害者福祉

- ・ 北区は高齢者が多いと聞きます。これからますます高齢化になるので、高齢化対策に力を入れて欲しい。北区にもっと特養他施設をつくったり、高齢者が 1 人でも住める住宅の整備、福祉サービス等。高齢者が 1 人でも安心して生活できる環境をつくっていただきたい。【9件】
- ・ 高い介護保険料を長いこと支払っていても、この年になるまでおかげさまで利用していません。少ない年金から引かれるので、利用しない人には特典もしくはポイントをつけてほしいものです。
- ・ 一度障害の認定を受ければ治ってももらえる矛盾が多々あるが、調査しているのでしょうか？
- ・ 弱者に優しい街にしてほしい（子ども、障害者）。大型の商業施設がなく、他区や他市に行くことが多い。そこでお金を落とすことが多いので、北区にもつくってほしい。
- ・ 都内でも、北区内の高齢者が際立って多いと聞いています。私もその一人で老老介護に疲れ果てて暮らしています。介護する周りの人を援助してほしい。（現実的に）私はシルバー人材センターの方がたに助けてもらっていますが、要望のアイディアがなかなかうかびません。
- ・ 北区は 23 区内及び他の市から比べると、とび抜けているとは思いませんが、低いとは思いません。全体に「中」を維持している区かな…と思われる。自分が現在住んでいる所は、静かでおだかやか町で、30～40 年前は子供の声がいつもにぎやかに聞こえてきて、活気がありましたが、現在はそれが無く、淋しい部分ではあります。少子化が進み、このような結果になり、以前の町の様子にもどればいいのだが…。高齢者にとって、子供との接点があるということは、健康面、地域とのつながりに良い結果となると思います。ささやかな希望です。

子育て・児童・青少年

- ・ 子育て支援の充実を望みます。【5件】
- ・ 保育園の数を増やすことが優先課題と認識していますが、現状の保育サービスの充実を図っていただきたい。その為に、保育園利用者へのアンケートによるヒアリングが必要と思います。すべてを公費でご対応いただく必要はなく、費用を負担するようなサービスを用意する等の柔軟な対応を期待します。例えば、オムツの準備・廃棄、シーツの洗濯、数あるルールは必要であるものの、その負担を減らすことがワークライフバランスの充実につながり、税収の増加、区政の充実につながるものと考えます。【5件】
- ・ 去年子どもが生まれ初めての子育てでこの1年とてもバタバタしました。健診や予防接種、各家庭毎のイベントなどスケジュールを考えながら大変でした。とくに予防接種はスケジュール帳みたいのを病院で頂いたが分かりにくい。もっと子育ての流れなどを分かりやすいしおりなどざっくりとした物でいいので欲しかったです。
- ・ 育児休業を希望期間取得しても、その後希望の保育園に入園できるようにしてほしいです。4月しか入園できず、子どもの負担です。
- ・ 北とびあに児童虐待について相談に行ったら、別の施設に行くように言われた。最初から児童虐待はどこの施設で相談したらいいのか明確化してほしい。深刻な問題になる前の対処のアドバイスや講演会、カウンセリングを希望しています。

産業振興

- ・ 商工業の活性化が必要。・赤羽止まりの埼京線をなくす様に JR 東日本に働きかけていただきたい。【9件】
- ・ 北区独自のふるさと納税品の充実をはかる。JR と連携した住まいと商業施設を融合した建築物をたてて、人口減対策にする。将来性のある企業の誘致をし、財政を磐石なものにする。その結果、活気があり、きれいな街なみのある北区にしてほしい。
- ・ 田端5丁目地域は北区の中心から離れている為、他区(文京、荒川、台東)の公共、企業の施設を利用することが多く、文化、催物への情報が少なく距離も遠い。区政の恩恵が少ないと思う。
- ・ 散歩が好きでよく歩きます。北区の散歩道はあまり有名ではありませんが、よく見るといい所が多数あります。わざわざ遠くから来てみる価値のある見所もあります。特に鉄道のポイント。そういうことも発信し、観光立区もあります。

区民参加・地域コミュニティ

- ・ アンケートをするにあたり、北区に住むようになり 10 年未満の年月なので関心がいかにかと思つた。子育てが終わり、マンション住まいだと地域とのつながりが少ないので地域と交流するには積極的に行動しなければとつくづく思つた。物よりも心情に関わる事に重点を置いてほしい。その点、夕方の児童の帰り時間の老人の見守りはいいと日頃感じている。

- ・ 恥ずかしい話ですが、ボタン付けが出来ません。区で単身者に向けた講義等あるか探してみましたが、多分なかったと思います。今後一人暮らしが多くなることは全国的に明白ですが、単身者が生活に困らないような「家庭科教室」みたいな企画があれば、参加される方は多いと思うし、交流も生まれるのでは。外国人が多くなるのは止められない(規制は必要だと思います。土地の所有とか。)でしょうが、ゴミ出し等のルールを守ってもらったり、交流を持ち文化を理解し合える場としては上記の方法もあるのでは。一考お願いします。

文化・生涯学習

- ・ 北区は高齢化率が 23 区で一番高く、特に街の中でも行き場をなくした高齢男性が目につきます。商業、公共施設でボンヤリと座っている老人の多さ！ 体力づくりに行政は比重をかけているようですが、それ以上に精神面での生涯学習が重要と思います。私は十年程絵手紙を区主催で続けていましたが 30 年度から打ち切りとなりました。残念です。絵手紙と写経の講座の応募者は 8 倍、9 倍の競争率であったことから、区民がいかにメンタルな部分の成長を願っているかの現れだと思います。ぜひとも今後考慮していただければ幸いです。
- ・ 北区王子駅周辺に引っ越しをしてきて半年ですが、静かでもとても住みやすく満足です。しかし、本屋や美術館等、文化的学習をする場が少ない気がします。

教育

- ・ 公共住宅をもっと開放すべき、年収で制限など廃止し子どもの教育(学費)にかかる世帯を支援するべき。今と昔を比べず時代が違うということを認識し、未来を育てる方に投資することで地元還元することが大事、教育支援は絶対にしてほしい。

まちづくりの方向

- ・ 赤羽生まれで赤羽育ち、北区赤羽が大好きです。荒川、生活の利便性、都心に出かける交通手段の充実など、良いところがたくさんです。でも最近、駅前騒がしく商店街も少し違う方向に変わりつつあるのに、こんなはずでは・・・と残念に思う今日この頃です。昔ながらの良さを残しつつ、安心して暮らせる健全な発展をお願い致します。【3件】
- ・ 区が取り組んでいる活動の認知度を上げてほしいです。北区に住みたくなる北区にしてほしいです。23 区のどこもやっていない新しい取り組みで北区の人气が上がるとういいます。今回初めて調査でしたが知らなかったことがたくさんありました。今、赤羽体育館に週 4 日行ってますが、もっと早く知りたかったです。

土地利用

- ・ 今、家の周りがもの凄い勢いで古い家が壊され、そこに 2 軒～3 軒と 3 階建ての家が建てられ町の様相が変わってます。北とびあは委託して活動量が多くなったように思います。

市街地整備

- ・ 王子駅は、区役所もある北区の中心の街なのに、駅前が古くさい。駅前のアクセスの悪さ（歩道橋、横断歩道）駅前にパチンコ屋が多い（子育て世代を誘致しているわりに）サンスクエアが古くさい。Atreなどの駅ビルを入れてほしい。【2件】
- ・ 駅の再開発をやめてほしい。赤羽駅のような駅ビルができるとうれしい。商店街も量より質！安全で安心。若者も買いたくなるお店の参入が駅ビルへでもあれば、若い人も住みやすくなる。
- ・ 高層マンションが増えている分、何か災害時の不都合を考えると恐ろしくなります。朝夕の通勤ラッシュ時の混雑対策も何か練って頂きたいなど。
- ・ 夏、街路樹に水をまいてください。都電が通るガード下の雑草が気になる。王子駅北口でたばこを吸っている人たちの場所をもう少しきちんと整備してください。王子駅中央口の川のごみ、自転車（日、祭休に多い）なんとかしてください。駅前の歩道橋なんとかならないか。
- ・ 周りに中小企業が多く、歩いていると化学薬品（酢酸エチルなど）の臭いがする。子どもの体に悪いので排気に気をつけてもらいたい。

防犯・防災

- ・ 防災放送のチャイムは聞こえるが、内容がほとんど聞こえない。選挙や光化学スモッグかと思われる時はいいが、それ以外の場合で不安な時は、区役所に電話で問い合わせたことがある。聞こえるようにしてほしい。【2件】
- ・ 東日本大震災後に、就職にともなう転居で世田谷区から北区に来ました。ネットで検索し、北区豊島の津波からの安全性から豊島に決めました。自身でも防災への備えをしていますが、日頃より避難場所や災害に関する情報の提供、またはそれに触れる機会があればと思います。大きな川もありますし、建物と建物との距離も近いので、津波や河川の氾濫、火災、建物の倒壊に普段から恐怖心を持っています。【3件】
- ・ 高齢者でも安心して1人住いできるよう、防犯等に気を付けているつもりですが、それでも住居侵入されたり、建物を傷つけられたりと、不安の種はつきません。人生100年時代に向け、区でもいろいろ努力されていると思いますが、区民の一人として、協力も忘れずにいたいと思います。【3件】

区政情報

- ・ アンケートに答えながら、区政についてあまり考えてこなかった事に気付きました。他の区と比べる事はできないので、何をどうすれば住みよくなるのか、どういう方法があるのか知らずに生活しています。まず大きな問題を感じていないという事かとも思います。回覧板でくる情報にもう少し目をむけたいと思うし、どういう問題があるのか発信してくれる人達がいてもいいかと思いました。【2件】
- ・ せっかく区民への補助金支給制度(例えば LED 照明や設備への転換工事費補助など)の広報が北区ニュースにあったので、実際これを利用しようとしたが、煩雑で雑多な手続きに閉口した。結果利用を断念した。もう少し利用したい人への声へ耳を傾けて欲しい。【2件】
- ・ 情報のデジタル化の推進をお願いしたいです。(紙で提出のものが多過ぎて不便)
- ・ 北区ニュースに掲載されているイベントや習い事などが、平日、日中ばかりで対象者が限られているのが不満。

- ・ 北区の財政状態について、北区ニュース等で公表されているが、グラフや数字などに適切なコメント、分かりやすいコメントが欲しい。(財政状態が良いのか悪いのか分かりにくい。)

道路・駐車・駐輪場

- ・ 歩道の拡幅、整備。・自転車専用通路帯の整備。【3件】
- ・ 自転車駐輪場整備をもっと進めていただきたい。住人が増えている現状で、利用者も多く、駅前がみっともない。【3件】
- ・ 商店街での自転車の乗り方。(12:00以降は押して歩くようにと記載があるのに、押して歩いている人はほとんどいないので、そのように記載するのであれば取り締まりをしてほしい。)
- ・ 道路工事が長すぎる。(年月)
- ・ 商店街の歩道への商品陳列多く車椅子利用の時困ります。何とかして欲しい。
- ・ いつも区民の生活の為に尽力いただきありがとうございます。王子本町の生活環境のさらなる改善にお取り組み下さい。権限坂の歩道を拡幅するか、電柱を撤去してください。歩行者、自転車、ベビーカーが多く、混みあっていて危険です。よろしくをお願いします。
- ・ 車や自転車置場は多くあるが、バイクの駐車が少なすぎるのもっと多く設けてほしい。
- ・ 道路清掃車の運行は今後も継続していただきたい。
- ・ 最近雨上がりの日に、小6の娘が何でもない歩道と車道の段差付近のポールの辺りで足をすべらせました。ポールの高さが高かった為か、手をつけられず歯から当たり前歯1本が抜けて治療しています。ポールの高さが高すぎるように思っていました。
- ・ 十条商店街を貫く道路計画は防災となっているが、南北方向なので大火災には役立たないと思います。町の活力をうばうような計画を推進するのはどうでしょうか。
- ・ 赤羽は居酒屋がふえ過ぎて、夜は歩いていてずいぶんガラが悪くなったと思います。自転車で道路を走っていて、せますぎてとてもこわいです。赤羽西の道路の立ち退きが進むと皆助かるのにと 생각합니다。
- ・ 弁天通の拡張は賛成も86号線は何の意味があるのか疑問。建築基準法改正にともない、地上げ屋的な業者が来ている。
- ・ 赤羽自然公園の中を通る都道86号線の計画は北区の環境保全のため中止を東京都に働きかけてください。

住宅

- ・ 高層マンションが次々と建設されています。本当に迷惑です。住みにくい街になってきました。まずは高層マンションの規制を強化願います。景観も悪くなってきました。バリアフリーも全然できていないので早急をお願いします。【3件】

交通環境

- ・ 北区のシャトルバスの運用について、質問にあったように高齢者が生き生き生活出来る為には「買い物」「病院」「娯楽施設」等に行く時の足が必要になります。現在北区が運用しているシャトルバスの運用路線及びバス停は適正とは言えません。何故かと言うと高齢者が必ず行く「病院」「スーパーマーケット」娯楽施設のある「区民センター」には止まりません。(例、滝野川病院、滝野川西区民センター、サミット前等)少し増便して、路線変更して区民の足として利用できるようにして頂けませんか？運用変更により大幅に人件費、経費は増えないと思います。そうすることにより転居する人も減り、北区のブランドメッセージ「住めば北区東京」の実現により近づくのではないのでしょうか。【5件】
- ・ 自転車のマナーが悪い。前を見ていない。スピード出し過ぎ。(ながらスマホ、イヤフォン等)・不法投棄多い。【7件】
- ・ 王子駅、親水公園の上にある音無橋。朝の通勤時、信号を渡る時に狭いため、自転車が数台いるとなおさら混雑がひどく、とても歩きづらいです。見た目は良いですが、もう少し広く通りやすくできないものでしょうか。住んでから20年程ずっと感じています。

生活環境

- ・ 分煙化をちゃんとしてほしい。歩きタバコがコワイ、禁止にしてほしい。分煙でタバコが吸えるスペースの近くの禁煙の所で吸っている人がたまにいる。家賃が高く、家賃の安い所に引っ越したいが、都営などには当たらない。都営に入れてほしい。他の所に引っ越すべきか考えてます。家賃補助がほしい。【6件】
- ・ タバコのマナーの悪い日本人、特に老人や男性が多いです。ゴミをポイ捨て、唾を吐く人が日本人に多いと外国人も真似します。モラルの向上や公共のマナーの教育は外国人以上に北区住民に必要だと思います。街がよごれる→もっとごみを捨てる人が増える→治安が悪くなる→人が減る→北区の税収が減る、の繰り返しだと思います。学校教育でタバコのポイ捨てやタバコを吸うことのリスクを小学校から教育することで、親のタバコのマナーも向上すると思います。是非、民間ボランティアだけでなく、ゴミ拾いのイベントを多数開催することで、その後に交流会を飲食店で行うことも経済活性につながると思います。ふるさと納税について、お米やお酒等生活に直接影響がある商品をラインナップしてもらえたら北区に積極的にします。【3件】
- ・ 資源ゴミの収集ステーション？について収集日以外の日の資源ゴミを出していたり、資源ゴミ以外のゴミ(粗大ゴミや不燃ゴミ)が出ていたり利用者マナー違反が目につく。こういった状態が続くと場所提供者に負担がかかる。生活に密着していることだけに何かしらの対策を強く希望する。【6件】
- ・ 隣人による迷惑行為があり、棟全体で困っていて、JKK、民生委員、福祉協議会員、北区役所へ連絡相談しても横のつながりが乏しく、共有情報(個人情報の問題)が得られないまま、泣き寝入り。もう少し連帯を持ってほしい。
- ・ 1.花粉症対策：(1)杉の木を伐採(2)杉の木の花粉を切り取る、2.受動喫煙対策：(1)全面禁煙(災害危険地区等、地域限定)(2)タバコの値段を上げる(一箱1,000~1,500円)、3.首都高速騒音・排ガス対策：(1)電気自動車割引制度(都政に提案する)、4.自然エネルギー導入：(1)太陽光、風力発電 ①外灯等の電源として使用 ②水を電気分解して水素を取り出し、水素自動車で利用(都政、国政の問題)

- ・ 飛鳥山公園へ猫や鳥にエサをあげに来る人達は、ここに住んでいる人の気持ちをわからず、エサを与えて何が悪い当然のことと主張する。家のゴミはカラスや猫に荒されたり、せつかく庭の手入れをしているのに猫がやってきて尿をして悪臭がする。注意をしたところで自分達はボランティアでエサを与えていると主張。近所迷惑を考えてもらいたい！！
- ・ 浮中の工事がうるさい、ゆれる。
- ・ 区全体的に住環境をよくし、駅周辺に店を増やしてほしい。
- ・ 公共サービスの受付時間を延長してほしい。
- ・ 犬を散歩させてる人のマナーをどうにかしてほしい。石神井川の道にふんがよく落ちてる。リードを異常に長くさせていて犬が怖い。
- ・ 野良（捨て）猫が増えないように、餌をやらないでなど表示するだけでなく、ボランティアなどの増員、補助金援助（避妊手術など）をしてほしい。猫が大好きですが年長的に飼えないので、やせた野良猫を見かけると胸が痛みます。北区は野良猫などに対する支援等が足りないと思われたいようにしてほしいと思います。

公園・緑化

- ・ 歩きたばこの取り締まりの強化。公園でのたばこ全面禁止。【2件】
- ・ 駅までの道や生活範囲の中にもっと緑があつて、四季がわかるようになると良いなと思います。冬なら土があれば寒さもわかるので、植込みでもなんでもよいので、あると良いと思います。【3件】
- ・ 公園の広場はあつても、遊具が足りない。少ない（他区と比べても）。小学生以下が利用できるすべり台とかがない。
- ・ ボール遊びができる公園を増やしてほしい。

施設整備

- ・ ・ 区庁舎の改築の進捗について興味があります。定期的情報公開（北区ニュース等）願います。きれいで便利な庁舎になることを期待しています。・ 小学校の放課後クラスをすべての学校で導入していただきたいです。・ 新田橋の架け替えについての情報をお願いします。・ 王子駅前周辺の再開発を検討していただきたいです。きれいで、安心安全なまちなみになることを希望します。【2件】
- ・ 子どもが遊べる施設がほしいです。【2件】
- ・ 運動できる施設の開放や、講座の充実化を図ってほしい。子どもたちが習えるようなスポーツ、講座をもっと気軽に参加できるようにしてほしい。【3件】
- ・ 外国人旅行者は北区で見たことはない。つまり、外国人旅行者は北区に行かない。ホテルはまあまあだが買物はしにくい。特に旅行者が好きな化粧品や家電製品がない。【2件】
- ・ 静かで住みやすい場所にしてください。おちついて楽しめる場所もあつたらいいなと思います。その意味でも図書館は助かっています。【2件】
- ・ 荒川河川敷で散歩できる場所で、ベンチなどの休憩できるものを増やしてほしいです。（芝生で座るのが苦手です）乳児を抱っこして散歩するので、休憩場所があればすごく助かります。
- ・ 浮間地区は公共の場が少ないと思う。体育館には遠い、学習する場所もない（公報にも載っていないので）。バスも走っていない、老人にとっては住みにくくなっている。

- ・ 外国人に対する差別意識はありませんが、文化の違い等があり、住環境良くない影響が出てくると思うので、民泊や簡易宿泊施設への規制はしっかりお願いします。
- ・ 外食の店が少ない。
- ・ 桐ヶ丘の体育館が、老朽化が著しくとても危険な状態です。早急に建て替えを検討してください。
- ・ 区の介護施設を増やして欲しい。
- ・ 公共施設の美化に力を入れてほしい。東十条駅北口改札を出てから東十条商店街へ行くまでの間の跨線橋、エレベーター、エスカレーター、窓ガラスなどすべてが汚い。窓ガラスは一度も拭いてないね。シルバー人材センターの人が跨線橋の床部分だけ、ほうきで掃いているのを見かけたことがある。費用を払い、民間の清掃業者に依頼して定期的に清掃してもらってほしい。また、防犯カメラ、監視カメラを設置して故意に汚した人（跨線橋の壁面、側面の汚れは100%故意によるもの）に、清掃代、修理代を請求してほしい。階段に自転車用スロープを設置して、エレベーターに自転車を乗せないでほしい。東十条駅北口は東京一汚らしい。北区の民度の低さを示していると思う。恥ずかしくて友人を呼べない。
- ・ 坂道が多いため、エレベーターや自転車専用のエレベーター設置、駅のエスカレーター設置、公園のジャリ化を止め、土化を推進。北区役所の老朽化。
- ・ 公園や区の設置のトイレ、石鹸が設置されていないことも多いので衛生面、感染面を考慮して設置してほしい。

施設利用

- ・ 公共施設の自転車置場の整備。図書館に行きたいのに駐輪場が空いていなくて困る。そこに止めて駅のほうから歩いていく人も多く見る（赤羽図書館）。
- ・ 区役所を使いやすくしてください。
- ・ 区民事務所分室の数を減らさないでほしい。北区役所まで行かずに簡単な書類などであれば交付できる所。
- ・ スポーツ施設をもっと気軽に予約、利用したい。無料駐輪場の拡大。
- ・ 赤羽台に在住しており、日頃赤羽図書館を利用しています。毎日赤羽駅を利用していますが、図書館は駅の反対側。返却期限が迫り返却したいものの、時間が足りず、図書館へ足を運べず…ということが多々あります。そこで赤羽駅に図書「返却ボックス」設置を希望致します。通勤通学で駅を毎日利用している区民で、図書を返却したいのに週末まで返却できないという人、けっこういるのではないのでしょうか。私の近所に住む知り合いにも同感している人、たくさんいます。いろいろと難しい点もあると思いますが是非ご検討ください。

イメージアップ対策

- ・ 若い人達に住んでもらえるように快適な通勤環境を整備していただいて北区に住んでもらって高齢者の区のイメージを変えていただきたいです。赤羽地区、王子地区以外の駅前の発展も重要だと思います。また有名な企業に北区を本社にさせていただいてたくさん税金をおさめていただいて北区の発展に使っていただきたいです。住民税が安くなれば北区に住む若い世代も増えると思います。【3件】

- ・ 交通利便性は都内有数。赤羽駅を乗換等の通過交通駅ではなく、赤羽駅を目的駅にするような施策が重要と思われる。駅前を再開発し、集客性の高い駅にすることで区の魅力も飛躍すると思われる。もともと北区に本社を置いていた大企業が新宿や港区に移ってしまったが、立地ポテンシャルとしては十分戦えると思われる。商業特区等を指定して再開発、北区の商業イメージを良くすることが重要と思われる。
【3件】
- ・ 北区のブランド向上の施策も継続をお願いします。そのため区名変更を区役所に主導して戴くことはかないませんか？
- ・ ふるさと納税寄附金の返礼品の品揃えをより充実したものにしてほしい。他の市区町村と比較して、ふるさと納税を呼び込むための取組みを行っていないように感じるため、税収減とならないか心配である。王子駅に湘南新宿ラインを停車させてほしい。隣接する商業エリア（池袋）との連絡を強化し、新宿・渋谷等の副都心エリアへのアクセスを容易にすることで、東京都における北の拠点となるように、北区（王子）の魅力を向上させてほしい。

行政改革・議会改革

- ・ 区民税の有効的な目的への使用を切に望む。【4件】
- ・ 安全で暮らしやすい街を実現すべく、区政の方も進めていただきたいと願っております。【3件】
- ・ 議員定数削減が必要です。【3件】
- ・ 区政での雇用の創出する。事業を立ちあげてほしい。北区は高齢者にはやさしいが、若い世代に厳しく、フォローが少ない。したがって若い世代の流入が少なく、より高齢化が進む悪循環が続いている。外国人にもやさしいが、もともと住む人にやさしくなければ人口（日本人）の流出ばかりで、他の区に移って行ってしまいます。選挙の票集めだけにとらわれないでいただきたいです。【3件】
- ・ 高齢者の多い地区ですが、高齢者と共に社会的弱者に対する施策に重点を置いた区政を望みます。
【3件】
- ・ 北区に移住してよかったと思っています。区政にもほぼ満足しており、福祉面も行き届いていると思います。
- ・ 区民・ボランティアに逃げず、行政自ら働いて問題を解決すべき。
- ・ 大変恐縮ではありますが、北区には北区の良さがあり、無理にブランド化やイメージアップを図るよりも、ありのままを活用した区政を期待していますので、一区民としましてご検討の程よろしくお願ひ申し上げます。
- ・ 区税を減らしてほしい。
- ・ 年に数回プレミアム商品券を発行しているが、販売開始直後にどの店も売切れになってしまう。税金が投入される以上「早い者勝ち」という現状は不公平感が強い。このやり方を続けるならやらないほうが良い。

職員の対応

- ・ 北区に転入時の接遇が不親切で、態度が悪かったです。今どき区民に対してもてなしの心をもたない職員は時代遅れであり、区としても恥ずかしいと思います。
- ・ 赤羽会館6階、難病科の方が本当に親切にさせていただいて、指の病気で字が良く書けないと言ったら全部書いていただきました。本当に感謝の気持ちでいっぱいでした。今は少し良くなったので、字が書ける様になりました。これからもお世話になると思います。宜しくおねがい致します。

アンケートについて

- ・ アンケートが長くて後半、集中できない。テーマをしぼったものにしたほうが良いのではないだろうか。
【7件】
- ・ 知らないことも多くて答えられないことが多く、申し訳ありません。緑も多くて住みやすい町だと思っています。【2件】
- ・ インターネットで回答していましたが、時間制限にひっかかり、入力内容が無駄になりました。まずは、こういうシステムの改善が必要なのではないのでしょうか？ 設問の数を考慮しているのでしょうか？ 善意で回答しているのにこういうことになると不快です。
- ・ これだけの問に対する回答は労力が必要でした。回答者にはなんらかの謝礼があってもいいと思います（図書券等）。封筒表面に明示すれば多くの方が協力すると思います。途中でもうやめようと思いましたが。
- ・ 今回の調査、お世話さまです。今回のアンケートは、協力しなくてはと思いながら、ちょっと面倒な気持ちもありました。以前は、区報等を見て区の催し物等、興味の有るモノに参加していましたが、最近では趣味や雑用等で忙しく、区報も見えていないのが現実です。アンケートには空白もあり、申し訳ありません。ただ唯一、これからのボケ防止に健康麻雀を覚えたいと、最近、名称は忘れましたが、高齢者向けに区が動いて下さっていると知り、利用させて頂いています。有難く思っております。子供が成長した時に独り立ち出来る教育をする区に、弱者にも優しい区に、を願っております。ノンポリに少しでも区の事を考えるきっかけを下さった、今回のアンケート。ありがとうございました。
- ・ 当アンケート作った業者の方へ、1つだけ、2つまで、3つまで等の制限選択の設問は論理的に100%を満たすかどうか学習して下さい。
- ・ 昨年かおとしにもアンケートが来た。母子家庭は必須なら仕方ないが、そうでないならアンケート対象から外してほしい。

その他

- ・ 浮間公園近辺にとどき現れる暴走族や音職人なんとかしてほしい。レストランを強制禁煙しないでもらいたい。家賃と不動産価格高すぎる。自国民が買えない家、購入者は外国人がいっぱい。外国人による不動産投資を制限してほしい（価格が上昇によって高くなりすぎる。）
- ・ 外国人と結婚するのにめんどくさい。

- ・ 北区に移住して、50 年を少し過ぎました。本当にありがたく日常を過ごしております。日頃の区政のおかげだと思います。暮らしやすいということは、安心を与えてくれます。特に高齢者になってからは強く感じます。皆様に感謝したいとおもいます。ありがとうございます。
- ・ 限界集落(当方の近隣では桐が丘)への対策もお願いしたいです。あの地区は毎日バスで通りますが、通りかかると気持ちが暗くなります。
- ・ 現在住んでいるところは、王子、赤羽などへの交通も便利で、特に有名な地域の観光の目玉などはないが、安全に過ごせる所です。地震などが起きてしまうと、どうなるか分かりませんが、現在は平穩に過ごせています。今後も北区に住むつもりでいます。
- ・ 子供がいても離れて暮らし、1人住いの方が多いと思う。健康でいるときは良いが、年々年を重ねるうちに健康への不安も大きくなってきます。その時になってどうするかとても不安です。マンションだと人の出入りも激しく、隣近所の交流も薄くなっているのが現状です。自分から交流に行くことも大事と考え、今のところ生活しています。75歳女性。
- ・ 今後の活動を期待しています。
- ・ 事業は有言実行するならして下さい。中途半端なことが多い。ブランドメッセージはあること自体知らなかった。
- ・ 調査お疲れさまです。北区と北区民のためにご尽力くださりありがとうございます。
- ・ 年齢に関係なく、就職に対する情報をもっと分かり易く発信して頂けたらと思います。又、物価が高いため食料品や生活必需品に関して1人暮らしでは生活していくのがやつのため、少しでも安くなる様見直して頂けたら幸いです。
- ・ 非正規職員を解雇してはだめですよ。クビを切るのは高給ばかりもらっている老害職員ですよ。非正規と同じ仕事なら非正規に合わせていくぐらいやってください。
- ・ 一人暮らしでバスなしのアパートで、銭湯もなくなるし、たたみ替えも難しく、求められなくて、好きな町ですが・・・これからは、きびしいかもね。ま、年寄りの愚痴ですね。すみません。がんばれ北区！終活と思い快適な暮らしも望んでいます！
- ・ 今回の趣旨と異なりますが、ネコより大きい動物を見かけます。尾が少しフサフサし横顔キツネのような、ネコとキツネの中間くらいの動物です。(掃除のとき窓の開けっ放しも考えてしまいます。)どうすれば？
- ・ 最初から回答する気はないので、ここにまとめます。・北区に住み続ける気はない。・外国人のモラル、マナーの低さに不快感を感じている。・子育てについては満足している。・国際化については、日本人に理解を求めるより、外国人のモラルやマナーの向上が優先。・私のいう外国人とは、主に中国人。別に参考にしなくてもいいです。期待もしていませんし、いずれは他区に移りますので。

IV 調査票

北区民意識・意向調査 ご協力のお願い

平成30年5月

この区民意識・意向調査は、「北区基本計画 2015」の改定に向けて実施するもので、区民の皆様の意識・意向などを把握するとともに、今後の区政運営に向けた課題の抽出、行政需要などを調査するものです。

この調査対象は、満18歳以上の北区民の中から2,000人の方を無作為抽出の方法で選ばせていただきました。

お答えいただきましたご意見、ご回答の結果は、すべてコンピュータで集計し、基礎資料として活用させていただきますが、個々のご回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

ご多忙中のところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

北区長 花川 與惣太

郵送での回答方法

ご記入いただいた調査票を、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

- ① 回答には、鉛筆か、黒又は青のボールペン・万年筆をお使いください。
- ② 回答は、あらかじめ設けてある選択肢の中からあてはまるものを選んで、その番号に○をつけてください。回答中の「その他（具体的に： ）」に○をつける場合は、（ ）内にできるだけ具体的にご記入ください。
- ③ 設問によって、選択肢を1つだけ選んでいただくものと複数選んでいただくものがありますので、ご注意ください。
- ④ 設問に該当する方のみにお答えいただくものもありますが、その場合は矢印や説明文に従ってお答えください。
- ⑤ 記入もれの無いように、お願いいたします。

インターネット（電子申請）での回答方法

～パソコン、スマートフォンから回答できます～

別紙「インターネット（電子申請）による回答をされる方へ」をご確認ください。

調査に関する業務は、北区の委託により株式会社名豊が行います。

担当 北区政策経営部企画課
電話 03-3908-1104 (受付時間 土日祝日を除く 8:30~17:00)

～この調査に関するお問い合わせ先～

株式会社名豊
担当：谷貝（やかい）
電話：052-322-0071
受付時間：9：30～18：00
※土、日、祝日を除く

Contact
Meihou
Yakai
Tel：052-322-0071
Office hours：9：30～18：00
※Closed on Sat, Sun, and national holidays

回答にあたってのお願い

1. ご本人が記入してください。
(ご病気等のご事情によりご本人が記入できない場合にはご相談ください。)

2. 外国語（英語、中国語、ハングル）で書かれた調査票が必要な方は、
お問い合わせ先にご連絡ください。

※ If you need a questionnaire written in foreign language (English, Chinese, Korean), please contact the following.

◎回答は、＜郵送＞または＜インターネット（電子申請）＞から行うことができます。
いずれかの方法で6月22日（金）までに投かんまたは送信をお願いいたします。

【定住意志】

問1 あなたは、いつ頃から北区に住んでいますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1 昭和30年以前から	4 昭和51～60年から	7 平成18～22年から
2 昭和31～40年から	5 昭和61～平成7年から	8 平成23～27年から
3 昭和41～50年から	6 平成8～17年から	9 平成28年以降から

問2 あなたは、現在のところに住む前は、どちらに住んでいましたか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。(4～8にあてはまる場合には、具体的な市町村名を記入してください。)

1 現住所(生まれてからずっと)	5 埼玉県(市・町・村)
2 北区内の他の場所	6 千葉県(市・町・村)
3 北区以外の特別区	7 神奈川県(市・町・村)
4 特別区以外の東京都(市・町・村)	8 その他(具体的に:)

→ [問2で3を選んだ方にうかがいます]

問2-1 何区ですか。

1 千代田区	7 墨田区	13 渋谷区	19 練馬区
2 中央区	8 江東区	14 中野区	20 足立区
3 港区	9 品川区	15 杉並区	21 葛飾区
4 新宿区	10 目黒区	16 豊島区	22 江戸川区
5 文京区	11 大田区	17 荒川区	
6 台東区	12 世田谷区	18 板橋区	

問3 あなたは、現在のところにこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1 ずっと住み続けたい	3 いずれは転居したい
2 当分は住み続けたい	4 すぐにでも転居したい

→ [問3で3、4を選んだ方にうかがいます]

問3-1 その主な理由は何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1 現在の住宅に不満があるから	10 商売や事業には向かないから
2 建替えによる立ち退きをせまられているから	11 自然環境に恵まれていないから
3 親や家族の事情から	12 近所付き合いや人間関係に不満があるから
4 相続税・固定資産税が高いから	13 現在のところに魅力や愛着がないから
5 物価が高く住みにくいから	14 自分の持ち家を持ちたいから
6 買い物や日常生活に不便だから	15 その他(具体的に:)
7 家賃・地代が高いから	
8 通勤・通学に不便だから	
9 文化施設や教育施設などの公共施設が少ないから	

○は2つまで

→ [問3で3、4を選んだ方にうかがいます]

問3-2 できたらどこへ転居したいと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1 北区内	7 戸田市
2 板橋区、豊島区、文京区、足立区、荒川区	8 埼玉県(5～7以外)
3 千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区	9 千葉県
4 その他(1～3)以外の都内区市町村	10 神奈川県
5 さいたま市	11 その他(具体的に:)
6 川口市	

問4 あなたは、北区に愛着を感じますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1 愛着を感じる | 4 愛着を感じない |
| 2 どちらかというとな愛着を感じる | 5 わからない |
| 3 どちらかというとな愛着を感じない | |

【生活圏・行動圏】

問5 あなたは、北区の施設を利用したことがありますか。

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1 <u>利用したことがある</u> | 2 利用したことがない |
|--------------------|-------------|

→ [問5で1を選んだ方にうかがいます]

問5-1 次にあげる区の施設のうち、あなたがこの1年間で利用したことがあるものを次の中から、すべて選んで○をつけてください。

- | | | |
|---|--|---|
| <p><区民サービス施設></p> <p>1 保健施設（保健所、健康支援センター）</p> <p>2 健康増進センター「へるしあKITA」</p> <p>3 スペースゆう（男女共同参画活動拠点施設）</p> <p>4 北とぴあ・会館（赤羽会館・滝野川会館）</p> <p>5 集会施設（区民センター、ふれあい館）</p> <p>6 地域振興室</p> <p>7 NPO・ボランティアぷらざ</p> | | <p>8 元気ぷらざ</p> <p>9 エコ広場館</p> <p>10 消費生活センター</p> <p>11 ネスト赤羽（創業支援施設）</p> <p>12 北区セレモニーホール</p> <p>13 区民事務所</p> |
| <p><区民福祉施設></p> <p>14 保育所</p> <p>15 児童館、子どもセンター、ティーンズセンター</p> <p>16 育ち愛ほっと館（子ども家庭支援センター）</p> <p>17 高齢者福祉施設
（特別養護老人ホーム、高齢者在宅サービスセンター、高齢者あんしんセンターなど）</p> <p>18 老人いこいの家、高齢者福祉コーナー（ふれあい館内）</p> <p>19 心身障害者施設（障害者福祉センター、福祉作業所など）</p> <p>20 子ども発達支援センターさくらんぼ園</p> | | |
| <p><教育・文化施設></p> <p>21 幼稚園・認定こども園</p> <p>22 図書館</p> <p>23 ふるさと農家体験館</p> <p>24 飛鳥山博物館</p> <p>25 田端文士村記念館</p> | | <p>26 ココキタ（北区文化芸術活動拠点）</p> <p>27 文化センター</p> <p>28 屋内スポーツ施設（体育館、温水プールなど）</p> <p>29 屋外スポーツ施設（テニスコート、野球場など）</p> |
| <p><その他施設></p> <p>30 公園、児童遊園、遊び場</p> <p>31 防災センター</p> <p>32 区民保養施設（しらかば荘など）</p> | | <p>33 区営自転車駐車場</p> <p>34 その他（具体的に：)</p> |

問6 あなたは、普段どのような場所で日用品や食料品を買いますか。もっとも多くあてはまるものに、次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1 徒歩か自転車で行ける近所で買い物をする | |
| 2 北区内ではあるが、バスや電車などに乗って行く場所で買い物をする | |
| 3 北区外の他区市（都内）で買い物をする | |
| 4 他県（都外）で買い物をする | |
| 5 その他（具体的に：) | |

【生活環境評価】

問7 あなたの自宅周辺の生活環境について、どのように感じていますか。例に従い、次の中からあてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

分類	項目	よい	よい やや	普通	わるい やや	わるい
例	日常の買い物の便利さ	1	②	3	4	5
7-1 生活の 利便性	1 日常の買い物の便利さ	1	2	3	4	5
	2 通勤・通学の便利さ	1	2	3	4	5
	3 診療所や病院などの医療機関の便利さ	1	2	3	4	5
	4 集会施設や図書館・スポーツ施設などの便利さ	1	2	3	4	5
7-2 生活の 快適性	1 まちなみの美しさや景観のよさ	1	2	3	4	5
	2 近隣の樹木や街路樹などの緑の豊かさ	1	2	3	4	5
	3 公園・広場・子どもの遊び場などの公共空間	1	2	3	4	5
	4 近所のクーラーやピアノなどの生活騒音	1	2	3	4	5
	5 建物のこみぐあい	1	2	3	4	5
	6 日当たりや風通し	1	2	3	4	5
	7 ごみの収集・処理	1	2	3	4	5
	8 工場、自動車、鉄道の騒音・振動	1	2	3	4	5
	9 自動車の排気ガスなどによる空気の汚れ具合	1	2	3	4	5
7-3 地域の 安全性	1 火災・震災時の安全性	1	2	3	4	5
	2 台風や豪雨時の水害への安全性	1	2	3	4	5
	3 風紀・防犯	1	2	3	4	5
	4 通園・通学・買い物時の交通の安全性	1	2	3	4	5
7-4 地域の 文化性	1 古いまちなみや史跡など歴史的雰囲気	1	2	3	4	5
	2 近所づきあいや地域の連帯感	1	2	3	4	5
	3 近代的なまちなみや建物など近代的雰囲気	1	2	3	4	5
7-5 地域の 国際性	1 外国出身の方にとっての住みやすさ	1	2	3	4	5
	2 まちなかの外国語表記の案内板等	1	2	3	4	5

問8 あなたの自宅周辺は、全体的に見て住みやすいところだと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1 住みやすい	4 住みにくい
2 やや住みやすい	5 わからない
3 やや住みにくい	

問9 あなたは今住んでいる住宅に満足していますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1 満足	4 やや不満
2 やや満足	5 不満
3 どちらとも言えない	

→ [問9で4、5とお答えの方にうかがいます]

問9-1 住宅に対する不満の理由は何ですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1 家賃、地代が高い	5 日当たりが悪い
2 住宅が狭い	6 騒音がひどい
3 建物が古い	7 大気汚染など環境が悪い
4 設備が悪い	8 その他(具体的に:)

【区政への関心・評価】

問10 あなたは北区政にどの程度関心がありますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1 大いに関心がある
2 やや関心がある
3 あまり関心はない
4 全く関心がない
5 わからない

問11 あなたは、北区政情報を主に何から入手していますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1 北区ニュース
2 インターネット(北区公式ホームページ、北区公式フェイスブック、北区公式ツイッター、YouTube北区公式チャンネル等)
3 わたしの便利帳
4 区の施設・窓口にあるポスターやパンフレット
5 区役所への問い合わせ
6 「安全・安心」快適メール・防災気象情報メール等の配信
7 J:COM東京北(J:COMチャンネル)
8 掲示板・回覧板
9 区政情報は特に入手していない
10 その他(具体的に:)

○は2つまで

問12 区が取り組んでいるそれぞれの施策について、あなたはどれくらい満足していますか。
例に従い、次の中からあてはまるものにそれぞれ1ずつ〇をつけてください。

項 目	満 足	満 足 や や	ど ち ら い も 言 え な い	不 満 や や	不 満
(例) 健康づくり(保健・医療体制)の充実	1	②	3	4	5
1 健康づくり(保健・医療体制)の充実	1	2	3	4	5
2 とともに支え合い助け合うしくみづくりの推進 (ボランティア・市民活動団体による福祉サービスなど)	1	2	3	4	5
3 高齢者・障害者の自立支援の推進	1	2	3	4	5
4 子育て支援の充実	1	2	3	4	5
5 子ども・高齢者・障害者などに配慮したバリアフリーの まちづくりの推進	1	2	3	4	5
6 区内産業・商店街の振興	1	2	3	4	5
7 就労支援	1	2	3	4	5
8 観光の推進	1	2	3	4	5
9 コミュニティ活動の支援・設備の充実	1	2	3	4	5
10 芸術文化活動の振興	1	2	3	4	5
11 生涯学習の推進	1	2	3	4	5
12 生涯スポーツの推進	1	2	3	4	5
13 学校教育の充実	1	2	3	4	5
14 青少年健全育成の推進	1	2	3	4	5
15 グローバル化(国際化)の推進	1	2	3	4	5
16 男女共同参画社会づくりの推進	1	2	3	4	5
17 消費者の保護・自立支援の推進	1	2	3	4	5
18 再開発などの計画的なまちづくりの推進	1	2	3	4	5
19 防犯対策の充実	1	2	3	4	5
20 防災対策の充実	1	2	3	4	5
21 インターネット等による電子自治体の推進 (電子申請やマイナンバー制度の活用など)	1	2	3	4	5
22 広報・広聴活動	1	2	3	4	5
23 幹線道路、狭小道路の整備	1	2	3	4	5
24 自転車駐車場の整備	1	2	3	4	5
25 住宅対策(定住化促進)	1	2	3	4	5
26 まちなみや景観の整備	1	2	3	4	5
27 公園や遊び場の整備	1	2	3	4	5
28 省資源・省エネルギー対策の推進	1	2	3	4	5
29 ごみ減量・リサイクルの推進	1	2	3	4	5
30 自然環境の保全・創出の推進	1	2	3	4	5
31 行財政改革	1	2	3	4	5

問13 区が取り組んでいるそれぞれの施策は、あなたにとってどれくらい重要であると思いますか。
例に従い、次の中からあてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

項 目	重要	重要 やや	どちらとも 言えない	重要でない やや	重要でない
(例) 健康づくり(保健・医療体制)の充実	1	②	3	4	5
1 健康づくり(保健・医療体制)の充実	1	2	3	4	5
2 ともに支え合い助け合うしくみづくりの推進 (ボランティア・市民活動団体による福祉サービスなど)	1	2	3	4	5
3 高齢者・障害者の自立支援の推進	1	2	3	4	5
4 子育て支援の充実	1	2	3	4	5
5 子ども・高齢者・障害者などに配慮したバリアフリーの まちづくりの推進	1	2	3	4	5
6 区内産業・商店街の振興	1	2	3	4	5
7 就労支援	1	2	3	4	5
8 観光の推進	1	2	3	4	5
9 コミュニティ活動の支援・設備の充実	1	2	3	4	5
10 芸術文化活動の振興	1	2	3	4	5
11 生涯学習の推進	1	2	3	4	5
12 生涯スポーツの推進	1	2	3	4	5
13 学校教育の充実	1	2	3	4	5
14 青少年健全育成の推進	1	2	3	4	5
15 グローバル化(国際化)の推進	1	2	3	4	5
16 男女共同参画社会づくりの推進	1	2	3	4	5
17 消費者の保護・自立支援の推進	1	2	3	4	5
18 再開発などの計画的なまちづくりの推進	1	2	3	4	5
19 防犯対策の充実	1	2	3	4	5
20 防災対策の充実	1	2	3	4	5
21 インターネット等による電子自治体の推進 (電子申請やマイナンバー制度の活用など)	1	2	3	4	5
22 広報・広聴活動	1	2	3	4	5
23 幹線道路、狭小道路の整備	1	2	3	4	5
24 自転車駐車場の整備	1	2	3	4	5
25 住宅対策(定住化促進)	1	2	3	4	5
26 まちなみや景観の整備	1	2	3	4	5
27 公園や遊び場の整備	1	2	3	4	5
28 省資源・省エネルギー対策の推進	1	2	3	4	5
29 ごみ減量・リサイクルの推進	1	2	3	4	5
30 自然環境の保全・創出の推進	1	2	3	4	5
31 行財政改革	1	2	3	4	5

問14 あなたは、この1年間に区の施設に出かけたり、電話をかけたりしたことなどがありますか。
次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1 出かけたことがある | 3 1~2をしたことはないが電子メールを出したことがある |
| 2 出かけたことはないが電話をかけたことがある | 4 1~3をしたことがない |

→ [問14で1~2とお答えの方にかがいます]

問14-1 その時に対応した職員に対して、あなたはどのように感じましたか。

- | | | |
|--------|-------------|--------|
| 1 よかった | 2 どちらとも言えない | 3 悪かった |
|--------|-------------|--------|

→ [問14-1で3とお答えの方にかがいます]

問14-2 悪かった理由は、何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- | |
|------------------------|
| 1 職員からの挨拶や案内の声かけがなかった |
| 2 職員の服装や髪が見苦しかった |
| 3 職員の事務処理が遅く、長い時間待たされた |
| 4 職員の態度が横柄、機械的だった |
| 5 その他（具体的に： _____） |

○は2つまで

問15 北区では、これまで事業や組織の見直しなど経営改革に取り組んできました。今後、より効率的な行政を進めるために、区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- | |
|--|
| 1 部や課を統合したり、職員を減らす |
| 2 効果の薄れた事業、補助金を廃止、縮小する |
| 3 行政以外でできるサービスは、民間企業やNPOなどへの外部委託や指定管理者制度(※)、民営化を推進する |
| 4 パートナシップ（区民と区との協力関係）推進を図る |
| 5 区政運営全般の情報化（電子区役所）やマイナンバー制度の活用を推進する |
| 6 窓口の開庁時間の延長や、便利で分かりやすい窓口の整備を図る |
| 7 区政に関する情報を積極的に公開する |
| 8 職員の能力の向上を図る |
| 9 窓口での職員の対応を向上させる（窓口サービスの改善） |
| 10 行政サービスの利用者（受益者）負担を適正化する |
| 11 区の仕事について区自らが評価する制度（行政評価制度）を充実する |
| 12 未使用の区施設に対し、他用途への転用や売却等の有効活用を図る |
| 13 外郭団体(※)の財源の自立化や経営の効率化を図る |
| 14 特になし |
| 15 その他（具体的に： _____） |

○は3つまで

※「指定管理者制度」：公の施設の管理運営を民間の団体に代行させること。

※「外郭団体」：区から出資・補助金等を受けて、補完的あるいは代替的な業務を行う団体の総称。

問16 北区では、公共施設の老朽化が進行しており、その改築・改修に伴う経費の増加が財政状況を圧迫する可能性があります。今後、公共施設にかかる経費の削減のために、区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 建物の適正な維持管理を行い、できるだけ長い期間、建物を使用することで、公共施設の建て替え経費を削減する
- 2 公共施設に対する区民の新たなニーズに対して、新しい施設を建てず、今ある施設の用途を変更して対応することで、施設の建設経費を削減する
- 3 公共施設を利用する際の施設使用料を見直し、施設利用者の負担を増やすことで、区が税金で負担する施設の管理運営費を削減する
- 4 公共施設の集約化・複合化を行うことで、施設数を減らし、施設にかかる経費を削減する
- 5 公共施設を統廃合や廃止をすることで、施設数を減らし、施設にかかる経費を削減する
- 6 公共施設の建て替えや改修工事、施設の管理運営面で、民間のノウハウや資金を活用することで、区が税金で負担する施設にかかる経費を削減する
- 7 他の経費を削減し、公共施設にかかる経費を重点的に投下する
- 8 特になし

問17 公共施設にかかる経費を削減するために、施設の数減らしていかなければならなくなった場合、どのような状況の施設から削減していけば良いと考えますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 老朽化が著しい施設
- 2 あまり利用されていない施設
- 3 同じような施設や代わりに利用できる施設が近隣にある施設
- 4 区民のニーズに合わなくなった施設（具体的に： _____）
- 5 施設の管理や運営に高い経費がかかる施設
- 6 区内全域で利用するような規模の大きな施設（北とびあ・会館、文化センター、体育館など）
- 7 各地域に配置されているような規模の小さな施設（ふれあい館、図書館など）

北区は「区民とともに」という基本姿勢と、「子ども」・かがやき戦略、「元気」・いきいき戦略、「花＊みどり」・やすらぎ戦略、「安全・安心」・快適戦略という四つの重点戦略を掲げ、重点的で効率的・効果的な区政推進に努めています。
次からは、基本姿勢と重点戦略に関するご意見をお伺いいたします。

【区民とともに】

問 18 今までに、区政参画または地域活動にスタッフとして参加したことがありますか。

1 ある

2 ない

→ [問 18 で 1 を選んだ方にうかがいます]

問 18-1 どのような活動に参加しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 審議会や委員会の公募委員
- 2 パブリックコメント（区民意見公募手続）などの意見の提出
- 3 町会・自治会活動
- 4 ボランティア活動
- 5 高齢者や障害者に対するサービス活動
- 6 子育てに関する活動
- 7 生涯学習に関する活動
- 8 健康づくりに関する活動
- 9 文化・芸術・スポーツに関する活動
- 10 まちづくりに関する活動
- 11 環境保全や緑化推進に関する活動
- 12 防災に関する活動
- 13 交通安全に関する活動
- 14 その他（具体的に： _____）

→ [問 18 で 2 を選んだ方にうかがいます]

問 18-2 活動に参加しない理由は何ですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 参加・活動するきっかけがない
- 2 家事や仕事が忙しく時間がない
- 3 参加・活動したいが情報がない
- 4 参加したいと思う活動がない
- 5 興味がない
- 6 その他（具体的に： _____）

問 19 今後、区民の区政への参画または地域活動への参加を促進するために、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- 1 区民と一緒に計画を策定し事業を実施する
- 2 情報公開など開かれた区政の推進
- 3 パブリックコメント（区民意見公募手続）の推進
- 4 審議会や委員会等の委員の公募
- 5 NPO・ボランティアなどの自主的な活動への支援
- 6 NPO・ボランティアなどの情報提供
- 7 自治基本条例や区民参画条例の制定
- 8 区民の出資による文化基金や福祉基金を活用した事業の実施
- 9 多様な手段を活用した区政の情報発信
- 10 広聴活動の充実
- 11 特にない
- 12 その他（具体的に： _____）

○は2つまで

問 20 あなたは町会・自治会に加入していますか。

1 はい

2 いいえ

問2 1 国籍や性別、年齢、障害による差別や偏見が身近にあると感じますか。

- 1 はい 2 いいえ

[問2 1で1を選んだ方にうかがいます]

問2 1-1 どのようなことに関して感じましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 国籍に関して 2 性別に関して 3 年齢に関して 4 障害の有無に関して
5 その他(具体的に:)

問2 2 今後、国際化を推進していくなかで、あなたが重視すべきだと思う取組みは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- 1 異文化理解に関する教育の推進
2 外国人区民が日本語や日本文化を学ぶ機会の充実
3 国際交流ができる場や機会の拡大
4 国際交流・協力ボランティアの育成・充実
5 多言語による区政情報や生活情報の発信
6 多言語による公共施設などの案内表示の促進
7 外国人区民にきめ細かく対応できる相談体制の整備
8 外国人区民の地域社会への参画推進
9 外国人区民と日本人区民による多文化共生社会(※)の実現
10 特にな
11 その他(具体的に:)

○は3つまで

※ 「多文化共生社会」: 異なる文化や価値観を認め合い、支え合って、共に地域で暮らすこと。

問2 3 あなたの国籍はどちらですか。

- 1 日本国籍 2 外国籍

[問2 3で1を選んだ方にうかがいます]

問2 3-1 在住外国人が増加するなかで、地域に住む外国人を好意的に思っていますか。

- 1 好意的に思っている
2 どちらかといえば好意的に思っている
3 どちらかといえば好意的に思っていない
4 好意的に思っていない
5 その他(具体的に:)

[問2 3で2を選んだ方にうかがいます]

問2 3-2 日本で生活するなかで、地域に住む日本人を好意的に思っていますか。

- 1 好意的に思っている
2 どちらかといえば好意的に思っている
3 どちらかといえば好意的に思っていない
4 好意的に思っていない
5 その他(具体的に:)

問2 4 外国人と日本人がお互いを尊重しながら共存していくためには、何が重要だと思いますか。

あてはまるものに1つだけ 選んで○をつけてください。

- 1 日本人と外国人のコミュニケーションの充実
2 お互いの文化に対する理解促進
3 国内における外国人の活躍及び地域貢献
4 多文化共生に取り組む支援団体及びボランティア等の育成
5 その他(具体的に:)

【「子ども」・かがやき戦略】

問25 今後、子どもの健やかな成長支援を推進するために区が力をいれるべき子育て支援策は何だと思えますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- 1 子育て情報の収集・提供
- 2 子どもたち向けの自然にふれあえる場の提供
- 3 様々な集団での経験や高齢者などの異世代との交流の場の提供
- 4 地域の青少年健全育成活動の充実
- 5 学校など子どもが利用する施設の充実
- 6 待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備
- 7 子どもの医療や健康づくり・保健事業の充実
- 8 子どもや保護者が悩みを相談できる場の充実
- 9 幼稚園・保育所などの幼児教育・保育内容の充実
- 10 休日保育や一時保育など多様な保育サービスの拡充
- 11 困難を抱える（貧困世帯など）子どもへの支援
- 12 子育て家庭の交流の場の提供
- 13 児童虐待防止の取り組みの充実
- 14 地域で子どもたちを守り育てるという意識の高揚
- 15 乳幼児親子が外出しやすい環境整備
- 16 子育て家庭への経済的な支援の充実
- 17 特になし
- 18 その他（具体的に： _____）

○は3つまで

問26 今後、子どもの健やかな成長支援を推進するための学校教育について、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- 1 小学校と中学校の連携
- 2 児童生徒一人ひとりの個性に応じた教育
- 3 特色ある教育の推進（英語など）
- 4 学力向上への取り組み
- 5 人権教育の推進
- 6 道徳教育の推進
- 7 郷土学習の推進
- 8 学校規模の適正化・適正配置
- 9 計画的な小・中学校の改築・改修（教育環境の充実）
- 10 不登校児童・生徒などへの教育支援体制の充実
- 11 学校・家庭（PTA）・地域との連携
- 12 地域社会との交流促進
- 13 児童・生徒の社会参加の推進
- 14 特になし
- 15 その他（具体的に： _____）

○は3つまで

【「元気」・いきいき戦略】

問27 今後、健康づくりを推進するため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- 1 運動できる施設の開放や整備
- 2 散歩道や公園の整備
- 3 健康づくりに関する知識や施策内容についての情報の提供
- 4 健康づくりに関する講習会、栄養指導や運動指導を行う教室の開催
- 5 健康づくりを一緒に行う仲間づくりへの支援
- 6 健康づくりに関する行事（イベント）の開催
- 7 利用しやすい健康相談窓口の設置
- 8 公共の場や企業・飲食店などへの分煙化の推進
- 9 世代やライフサイクルに応じた食育の推進
- 10 外食（飲食店・惣菜）産業への栄養成分や産地表示などの推進
- 11 特にない
- 12 その他（具体的に： _____)

○は2つまで

問28 今後、女性がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取組みが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- 1 女性の就労の場や機会の拡大
- 2 女性の就労における相談体制の充実
- 3 女性の健康づくり活動の支援
- 4 女性の趣味・教養・文化・スポーツの支援
- 5 女性の地域貢献・ボランティア活動の支援
- 6 ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供
- 7 ワーク・ライフ・バランスを推進する企業への支援
- 8 ワーク・ライフ・バランスに関する相談体制の充実
- 9 全ての世代で担う子育ての推進
- 10 子育て支援施策の充実
- 11 特にない
- 12 その他（具体的に： _____)

○は3つまで

問29 あなたにはかかりつけの医者はいますか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

問30 今後、高齢者がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取組みが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1 高齢者の就労の場や機会の拡大) ○は3つまで
2 高齢者の相談体制の充実	
3 高齢者の福祉サービスの充実	
4 高齢者の保健・医療サービスの充実	
5 高齢者の健康づくりの支援	
6 バリアフリーなどの生活環境の整備	
7 高齢者の趣味・教養・文化・スポーツの支援	
8 高齢者の地域貢献・ボランティア活動の支援	
9 安心できる防犯・防災対策の充実	
10 高齢者の見守りや声かけ活動の充実	
11 高齢者向け住宅の整備	
12 高齢者施設の整備	
13 介護者に対する支援	
14 要介護状態にならないための対策	
15 在宅介護サービスの充実	
16 介護が必要になったときの在宅療養(※)支援の充実	
17 認知症に対する支援の充実と地域づくりの整備	
18 高齢者向けの情報収集・発信	
19 高齢者虐待に対する啓発活動と支援の充実	
20 特にない	
21 その他(具体的に:	

※ 「在宅療養」：自宅や入所中の施設など、病院外での「生活の場」で、訪問診療・看護等の医療だけでなく、介護・福祉などを合わせた多目的なサービスを受けながら行う療養のこと。

問31 今後、障害者がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取組みが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1 障害者の就労の場及び機会の拡大) ○は3つまで
2 障害者の相談体制の充実	
3 障害者の福祉サービスの充実	
4 障害者の保健・医療サービスの充実	
5 障害者の健康づくりの支援	
6 バリアフリーなどの生活環境の整備	
7 障害者向けの生涯学習・文化・スポーツの支援	
8 障害児の保育・教育の充実	
9 安心できる防犯・防災対策の充実	
10 障害者の見守りや声かけ運動の充実	
11 多様な生活の場の整備充実	
12 障害者と地域との交流活動	
13 障害及び障害者に対する理解の促進	
14 障害者向けの情報収集・発信	
15 障害者虐待に対する啓発活動と支援の充実	
16 特にない	
17 その他(具体的に:	

問3 2 今後、産業の活性化を推進するため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。各テーマから1つずつ選んで○をつけてください。

【商店街の振興に関すること】 1つだけ○をつけてください。

- 1 消費者に安全・安心な商品が販売されるための支援
- 2 楽しく買い物ができる商店街活動への支援
- 3 商店街の環境整備への支援
- 4 空き店舗活用への支援
- 5 商品やサービスにこだわりを持つ店舗を増やすための支援
- 6 特にない
- 7 その他（具体的に： _____）

【中小企業の振興に関すること】 1つだけ○をつけてください。

- 1 企業の優れた技術や技能を伸ばし、技術力を継承するための支援
- 2 福利厚生など、中小企業に働く社員のための支援
- 3 地域の特性を活かした新たなブランドづくりへの支援
- 4 新商品開発など、企業間の技術の連携を促すための支援
- 5 経営者の経営力を高めるための支援
- 6 企業間の受発注を活発にするための支援など、販路開拓を推進するための支援
- 7 特にない
- 8 その他（具体的に： _____）

【区の産業全体に関すること】 1つだけ○をつけてください。

- 1 自ら事業を行おうとする人（起業家）への支援
- 2 区内に新たな産業分野を育てるための支援
- 3 地域の資源を活用したビジネスや、住民が地域の課題を、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み（コミュニティビジネス）を促すための支援
- 4 多様な業種における企業間連携など、異業種間のネットワーク構築を促すための支援
- 5 産学官連携（※）を促すための支援
- 6 特にない
- 7 その他（具体的に： _____）

※ 「産学官連携」：新技術の研究開発や、新事業の創出を図ることを目的として、大学などの教育機関・研究機関と民間企業等と政府・地方公共団体が連携すること。

問3 3 今後、地域の文化振興のため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- 1 北区独自の個性的な文化芸術の創造・支援
- 2 文化芸術活動を行う文化団体・芸術家等に対する支援
- 3 様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供
- 4 文化芸術活動に参加できる機会と活動場所の拡大・整備
- 5 子どもたちを対象とした文化芸術事業の充実
- 6 地域の文化芸術に関する情報の提供
- 7 歴史的文化の保存・継承と活用
- 8 特にない
- 9 その他（具体的に： _____）

○は2つまで

問34 今後、生涯学習を推進するため、区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|----------|
| 1 学習に関する情報の提供 |) ○は2つまで |
| 2 学習について相談できる体制の充実 | |
| 3 多様な学習意欲に応える講座等の充実 | |
| 4 大学や企業等との連携による学習機会の拡充 | |
| 5 小・中学校との連携 | |
| 6 教育ボランティアの育成 | |
| 7 学習の成果や能力を地域で活かす仕組みづくり | |
| 8 社会教育団体・スポーツ団体の活動への支援 | |
| 9 総合型地域スポーツクラブ(※)の育成 | |
| 10 学習の場の充実(図書館や文化・スポーツ施設等) | |
| 11 特になし | |
| 12 その他(具体的に:) | |

※ 「総合型地域スポーツクラブ」: 地域住民が主体的に運営するスポーツクラブ。多様な世代が多様な目的で参加でき、定期的・継続的なスポーツ活動ができる活動拠点のこと。

問35 あなたはどのくらいの頻度で運動やスポーツ(ストレッチや散歩等、比較的軽いものを含む)をしていますか。次の中からあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | |
|-----------------|
| 1 週に3日以上 |
| 2 週に1~2日 |
| 3 月に1~3日 |
| 4 3ヶ月に1~2日 |
| 5 年に1~3日 |
| 6 分からない |
| 7 運動やスポーツはしていない |

問36 北区の観光振興に関する取組みのなかで、あなたが重視すべきだと思う取組みは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|----------|
| 1 地域の自然、歴史的な建造物など景観やまちなみの保全 |) ○は3つまで |
| 2 伝統芸能や史跡などの歴史的な有形・無形の文化財の保全 | |
| 3 観光イベントの開催・支援 | |
| 4 名物となる食べ物や土産品などの開発・販売 | |
| 5 広報誌やインターネットなど様々な観光情報の発信 | |
| 6 外国人旅行者に対する観光情報の発信 | |
| 7 区内観光スポットを案内できる観光ボランティアの育成・充実 | |
| 8 観光案内板の設置 | |
| 9 観光案内所の設置 | |
| 10 新たな観光施設の整備 | |
| 11 ものづくり現場の見学・体験(伝統産業や工場など) | |
| 12 特になし | |
| 13 その他(具体的に:) | |

問37 あなたが、日頃地球温暖化対策として取り組んでいる活動は何ですか。またあなたが今後、取り組んでいきたいと思っている活動は何ですか。それぞれあてはまるものすべてに○をつけてください。

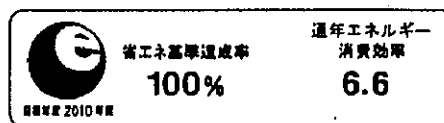
項目	解答欄	
	日頃実践している	組み取りたい
1 暖房の設定温度を20度以下にする		
2 冷房の設定温度を28度以上にする		
3 白熱電球を蛍光灯に交換する		
4 コンセントをこまめに抜く		
5 買い物にはエコバック等を使い、過剰包装を避ける		
6 マイボトル、マイ箸などを持ち歩く		
7 雨水を利用する		
8 太陽光などの自然エネルギーを利用する		
9 省エネルギー型の給湯器を導入する		
10 グリーンマーク（※1）やエコマーク（※2）のついた環境に配慮した商品を利用する		
11 家電製品を購入するときは、省エネラベル（※3）を参考にする		
12 緑のカーテンや遮熱性塗料を導入する		
13 環境について学ぶ		
14 必要な場合以外はマイカーを使わず、自転車やバス、電車などを利用する		
15 照明にLEDを使用している		
16 その他（具体的に： _____）		



グリーンマーク



エコマーク



省エネラベル（例）

- ※1 「グリーンマーク」：グリーンマークは、古紙利用製品の使用拡大を通じて古紙の回収・利用の促進を図るため、古紙を原料に利用した製品であることを容器に識別できる目印としてつけられています。（原則として古紙を40%以上原料に使用した紙・紙製品）
- ※2 「エコマーク」：エコマークは、資源の再生利用によってつくられたものなど、環境にやさしい商品に付けられるマークのことです。
- ※3 「省エネラベル」：2000年8月にJIS規格として導入された表示制度で、エネルギー消費機器の省エネ性能を示すものです。省エネラベルは、家電製品やガス石油機器などが国の定める目標値（トップランナー基準＝省エネ基準）をどの程度達成しているか、その達成度合い（%）を表示しています。

問38 今後、やすらぎのある快適な都市環境形成のため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1	環境問題に関する講習会、学習会などの開催
2	環境問題に関する情報提供
3	NPO、ボランティア、市民団体など地域の環境活動に対する支援
4	区が率先して、新エネルギー機器導入など省エネ・省資源に取り組む
5	省エネルギー機器普及のための支援
6	レジ袋や過剰包装の辞退などごみの発生抑制に向けた普及啓発
7	不用品の情報交換など再使用のための取り組み
8	古紙・びん・缶・ペットボトルなどのリサイクルの推進
9	事業者に対するごみ発生・排出抑制のための指導
10	屋外の公共の場所における喫煙者マナー向上のための取り組み
11	道路など公共の場所の美化の推進
12	河川や水辺などの親水空間の整備
13	道路や公共施設などの緑化の推進
14	公園や遊び場の増設
15	区民主体の季節感あふれる身近な公園づくり
16	美しいまちなみの創造
17	特にない
18	その他（具体的に： _____)

○は3つまで

【「安全・安心」・快適戦略】

問39 あなたはお住まいの地域で日常的に不安を感じますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1	感じる	4	あまり感じない
2	やや感じる	5	感じない
3	どちらともいえない		

→ [問39で1、2を選んだ方にうかがいます]

問39-1 どのようなことに不安を感じますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1	子どもの安全
2	振り込め詐欺や侵入盗などの犯罪
3	交通事故や鉄道事故などの交通災害
4	地震や水害などの自然災害
5	騒音など近隣とのトラブル
6	火災やガス爆発などの災害
7	食品や衣料品などの生活用品の安全性
8	その他（具体的な内容、場所等： _____)

○は2つまで

問40 あなたのお住まいの地域を安心なまちにするためには、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- | | | | |
|----|-----------------------------|---|--------|
| 1 | 犯罪や災害等に関する情報の提供・発信 |) | ○は2つまで |
| 2 | ポスターや広報紙による犯罪や災害等に関する啓発活動 | | |
| 3 | 防犯パトロールや安全マップづくりなど地域と連携した活動 | | |
| 4 | 民間企業、警察・消防など関連機関等との連携体制の整備 | | |
| 5 | 防災、防犯に関するイベント・キャンペーンや講習会の開催 | | |
| 6 | 防犯灯、防犯カメラなどの設置 | | |
| 7 | 交通安全教育の充実 | | |
| 8 | 歩道などの改良等、安全な歩行空間の確保 | | |
| 9 | 地震や水害などの自然災害に対する防災対策 | | |
| 10 | 火災やガス爆発などの災害対策 | | |
| 11 | 特になし | | |
| 12 | その他（具体的に：_____） | | |

問41 地震などの自然災害に対して安全なまちにするために、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- | | | | |
|----|-----------------------------|---|--------|
| 1 | 無線機器の充実など情報の収集・伝達体制の整備 |) | ○は3つまで |
| 2 | 民間企業、警察・消防など関係機関等との連携体制の整備 | | |
| 3 | 自主防災組織・地区防災会議等の育成強化 | | |
| 4 | 食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保 | | |
| 5 | 防災公園の整備など避難場所・避難所の確保 | | |
| 6 | 災害用深井戸や防災センターなど防災施設・設備の整備 | | |
| 7 | 学校や区民センターなど避難所となる区立施設の安全対策 | | |
| 8 | 災害時の医療機関との連携などによる医療体制の整備 | | |
| 9 | 高齢者や障害者など災害時要援護者の安全対策 | | |
| 10 | 災害ボランティアの育成や活用などの対策 | | |
| 11 | 区民・事業所への啓発活動の推進 | | |
| 12 | 道路の拡幅や燃えないまちづくりなど防災まちづくりの推進 | | |
| 13 | 震災後の復旧・復興対策 | | |
| 14 | 建物の耐震化や家具類の転倒防止対策の推進 | | |
| 15 | 特になし | | |
| 16 | その他（具体的に：_____） | | |

問42 あなたは家庭の中で災害の発生に対する備えはしていますか。

- | | | | |
|---|----|---|-----|
| 1 | はい | 2 | いいえ |
|---|----|---|-----|

→ [問41で1を選んだ方にうかがいます]

問42-1 どのような備えをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---|-----------------|---|
| 1 | 食料・飲料水の備蓄 |) |
| 2 | 避難用品の準備 | |
| 3 | 常備薬の確保 | |
| 4 | 家具等の耐震対策 | |
| 5 | 通信手段の確保 | |
| 6 | 避難所等の確認 | |
| 7 | その他（具体的に：_____） | |

【北区の印象・将来像】

問43 あなたは、現在の北区についてどのようなイメージを持っていますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1 伝統のあるまち	8 古めかしいまち
2 活力のあるまち	9 騒がしいまち
3 便利で住みやすいまち	10 ごみごみしているまち
4 文化のにおいが薫るまち	11 うるおいが乏しいまち
5 高齢者や障害者にやさしいまち	12 人間関係がわずらわしいまち
6 緑豊かなまち	13 特にない
7 人情味豊かなまち	14 その他
(具体的に：)	

○は2つまで

問44 あなたは、将来の北区はどのようなまちになれば良いと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1 健やかに安心して暮らせるまち
2 ふれあいと思いやりのあふれるまち
3 地域産業の活力あふれるまち
4 いきいきと活動できるにぎわいのあるまち
5 地域文化を大切にするまち
6 生活利便性の高いまち
7 安全で災害に強いまち
8 快適な居住環境を育むまち
9 その他 (具体的に：)

○は2つまで

問45 あなたがお住まいになっている地域は、将来どのようなまちに発展していくことを期待しますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1 閑静で環境の良い住宅地
2 よい品物が安く購入できる商店があるまち
3 若者でにぎわうファッション性豊かなまち
4 スポーツ施設や文化施設などが整備された文化的なまち
5 高層ビルやマンションの建つ近代的なまち
6 公園や緑などの多い自然と親しめるまち
7 近隣相互の交流のある人情味あふれるまち
8 住宅と商工業が調和したまち
9 特にない
10 その他 (具体的に：)

○は2つまで

問46 北区の知名度や地域イメージを向上させるために、どのような取組みが効果的だと思いますか。
次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 北区アンバサダー制度（※）の継続・拡充
- 2 北区ならではの文学賞や音楽・演劇などの文化事業の開催
- 3 北区ロケーション案内（映画、テレビなど）
- 4 標識や案内板などのデザイン化
- 5 北区の魅力を伝える情報誌やマップの作成
- 6 区内の企業などと連携したPR活動
- 7 多様なメディア媒体（新聞・雑誌・テレビ・インターネット・フェイスブック・ツイッター）による北区に関する報道
- 8 特にない
- 9 その他（具体的に： _____）

※ 「北区アンバサダー制度」：北区にゆかりのある著名人・文化人を「北区アンバサダー（大使）」に委嘱し、北区を宣伝してもらう制度。現在のアンバサダーは、弦哲也氏、ドナルド・キーン氏、倍賞千恵子氏、水森かおり氏の4名。

問47 北区のブランドメッセージ「住めば、北区東京。」について、次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 見たり聞いたりしたことがあって意味も知っている
- 2 見たり聞いたりしたことはあるが意味は知らない
- 3 まったく知らない

【フェイスシート（基本属性）】

あなた自身のことについてお聞きします。

F 1 あなたの性別は何ですか。

1	男
2	女

F 2 あなたの年齢は満何歳になりますか。

1	18～19 歳
2	20～29 歳
3	30～39 歳
4	40～49 歳
5	50～59 歳
6	60～64 歳
7	65～69 歳
8	70 歳以上

F 3 あなたの主な職業や仕事は何ですか。

1	自営業（店舗や事業所の経営者）
2	自由業（開業医、弁護士、作家など）
3	管理職（課長以上）
4	専門技術職（大学教授、裁判官、研究員など）
5	事務職（事務系社員、教員など）
6	技能・労務職
7	販売・サービス業
8	学生
9	家事
10	無職
11	その他（具体的に： _____）

[F 3 で 1 ～ 8 または 1 1 を 選 ん だ 方 に う か が い ま す]

F 3 - 1 通勤先・通学先はどちらになりますか。

1	北区内
2	板橋区、豊島区、文京区、足立区、荒川区
3	千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区
4	その他（1～3）以外の都内区市町村
5	さいたま市
6	川口市
7	戸田市
8	埼玉県（5～7 以外）
9	千葉県
10	神奈川県
11	その他（具体的に： _____）

F 4 あなたと一緒に住んでいる家族の構成は、どれにあてはまりますか。

- | | |
|---|--------------|
| 1 | ひとり暮らし |
| 2 | 夫婦だけ |
| 3 | 親と子（2世代） |
| 4 | 祖父母と親と子（3世代） |
| 5 | その他（) |

[F 4で1以外を選んだ方にうかがいます]

F 4-1 一緒にお住まいの方に次に該当する方がおられますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 | 小学校入学前の子どもがいる（5歳以下） |
| 2 | 小学生・中学生・高校生の子がいる（6歳～18歳） |
| 3 | 高校卒業後の未婚の子がいる（19歳以上・未婚） |
| 4 | 65歳以上の高齢者がいる |

F 5 あなたの現在のお住まいは、どれにあたりますか。次の中からあてはまるものに1つだけ○をつけください。

- | | | | |
|---|-------------------|---|-------------------|
| 1 | 一戸建持ち家 | 6 | 公共住宅（都営、公団、公社の賃貸） |
| 2 | 一戸建借家 | 7 | 社宅・公務員住宅 |
| 3 | 分譲マンション | 8 | 間借り、下宿、寮、住み込み |
| 4 | 賃貸アパート・マンション（非木造） | 9 | その他（具体的に：) |
| 5 | 賃貸アパート（木造） | | |

F 6 あなたの現在のお住まいの地区は、どれにあてはまりますか。次の中からあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

地区名	該当する町丁名
1 浮間	浮間1～5丁目
2 赤羽西	赤羽北1～3丁目、桐ヶ丘1・2丁目、赤羽西1～6丁目、赤羽台1～4丁目、西が丘1～3丁目、上十条5丁目、十条仲原3・4丁目、中十条4丁目
3 赤羽東	赤羽1～3丁目、岩淵町、赤羽南1・2丁目、志茂1～5丁目、神谷2・3丁目、東十条5・6丁目
4 王子西	十条仲原1・2丁目、上十条1～4丁目、中十条1～3丁目、十条台1・2丁目、王子本町1～3丁目、岸町1・2丁目、滝野川4丁目
5 王子東	神谷1丁目、東十条1～4丁目、王子1～6丁目、豊島1～8丁目、堀船1～4丁目
6 滝野川西	滝野川1～3丁目、滝野川5～7丁目、西ヶ原1～4丁目、中里1～3丁目、上中里1丁目、田端1～6丁目
7 滝野川東	栄町、上中里2・3丁目、昭和町1～3丁目、東田端1・2丁目、田端新町1～3丁目

F7 あなたがよく利用されるSNS（※）はどれですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1 ツイッター	5 インスタグラム
2 フェイスブック	6 特に利用していない
3 YouTube	7 その他(具体的に:)
4 LINE	

※ 「SNS」：ソーシャル・ネットワーク・サービス。インターネットで他者につながり、コミュニティを作り出すサービスのこと。

[外国籍の方にうかがいます]

F8 外国人住民にとって暮らしやすいまちにするために、区に対するご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

【自由意見】

区政に対するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。
本調査結果は、「北区基本計画 2015」の見直しや今後の区政運営に反映させてまいります。

北区民意識・意向調査報告書

平成 30 年 8 月

刊行物登録番号

30-1-60

発行 北区政策経営部企画課
北区王子本町 1-15-22
電話 03 (3908) 1104 (ダイヤルイン)

調査分析 株式会社名豊
愛知県名古屋市中区松原 2-2-33
電話 052 (322) 0071 (代表)